

男女共同参画に関する市民アンケート 結果報告書



「男女共同参画社会づくり」ポスターコンクール
令和5年度 最優秀賞
川岸小学校5年 加賀山 侑那さん

令和6年1月

岡谷市

(企画政策部地域創生推進課)

男女共同参画に関する市民アンケート

目次

■ 調査の概要	1
■ 調査結果	
1 回答者の属性	2
2 調査結果の分析	9
(1) 男女の役割や地位に関する意識について	9
(2) 家庭生活での男女の役割について	25
(3) 結婚・家庭に対する意識について	28
(4) 女性が仕事をする事に関する男女の意識について	37
(5) 地域活動における男女共同参画の状況について	45
(6) 男女がともに社会に参加するために重要なこと	53
(7) 男女の人権について	55
(8) 男女共同参画に関する言葉や法律の認知度	63
(9) 男女共同参画社会実現のために望むこと	73
【意見・要望】	75
■ 資料編	80

調査の概要

調査の概要

1 目的

この調査は「岡谷市男女共同参画条例」第10条の規定に基づき、「男女共同参画おかやプランⅦ（令和7～11年度）」の策定に向けて、市民の男女共同参画に対する考え方の傾向を把握することを目的として実施する。

また、これまでに実施した調査結果をもとに、市民の意識の推移を考察する。

2 内容

(1) 調査時点 令和5年8月

(2) 調査期間 令和5年8月18日～令和5年9月20日

(3) 調査対象、調査内容

調査対象	主な調査内容
市内在住の満18歳以上の男女1,000人 (岡谷市の人口構成に応じて、性別、年齢別に無作為抽出)	<ul style="list-style-type: none">男女平等に関する意識について家庭生活について仕事について地域活動について男女の人権について男女共同参画に関する施策について

(4) 調査方法 郵送（無記名）

3 アンケート回収状況

475人（回収率 47.5%）

（参考）アンケート回収状況の推移 単位：件

年度	送付	回答	回収率
H20	1,000	422	42.2%
H25	1,000	437	43.7%
H30	1,000	479	47.9%
R5	1,000	475	47.5%

4 調査データを利用する際のルール

- 最大回答数を超過して回答された設問は、無効扱いとする。
- 割合を出す際は小数点第2位を四捨五入するため、百分率の合計が100%にならない場合がある。
- 複数回答を求める設問では、割合を出す際は回答者数を分母とするため、百分率の合計が100%を超えることがある。
- 10代の回答がほとんど無いため、20代に含めて考察する。

調 査 結 果

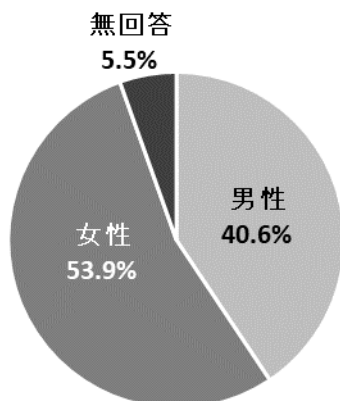
調査結果

1 回答者の属性

回答者における男女の割合は女性の方が13.3%多くなっている。

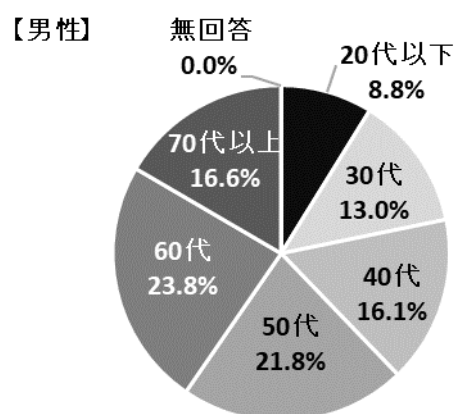
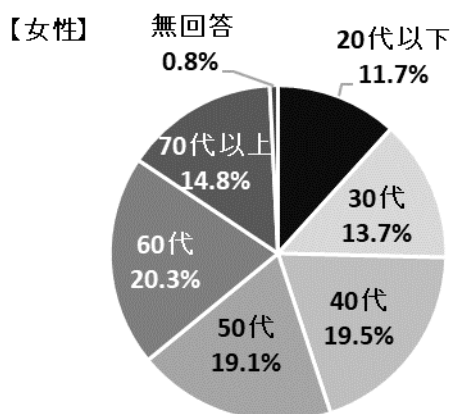
年代別では、10代～20代の回答が少なく、50代～70代以上が半数を占めるため、若い層の傾向より、50代～70代以上の傾向が強く反映されているものと考えられる。

■ 性別



性別	回答数	割合
男性	193	40.6%
女性	256	53.9%
無回答	26	5.5%
総数	475	

■ 年代



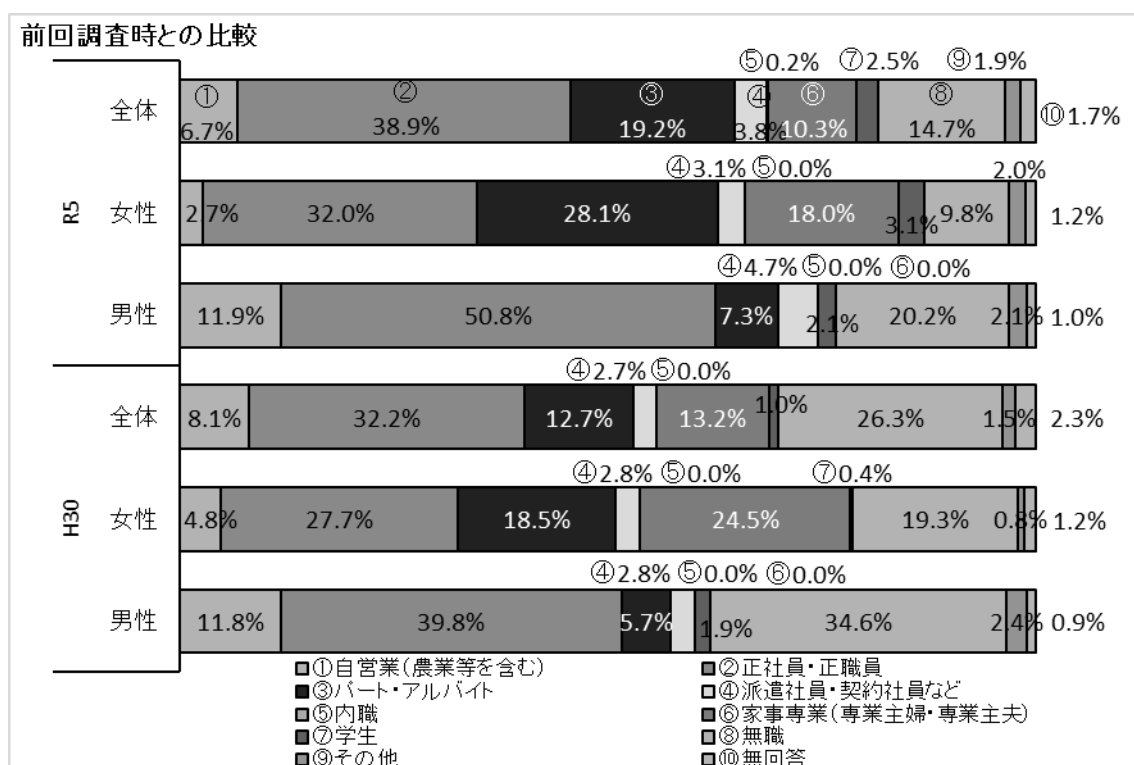
▼年代別（無回答のものを除く）

	女性		男性	
	回答数	割合	回答数	割合
20代以下	30	11.7%	17	8.8%
30代	35	13.7%	25	13.0%
40代	50	19.5%	31	16.1%
50代	49	19.1%	42	21.8%
60代	52	20.3%	46	23.8%
70代以上	38	14.8%	32	16.6%
無回答	2	0.8%	0	0.0%
総数	256	100.0%	193	100.0%

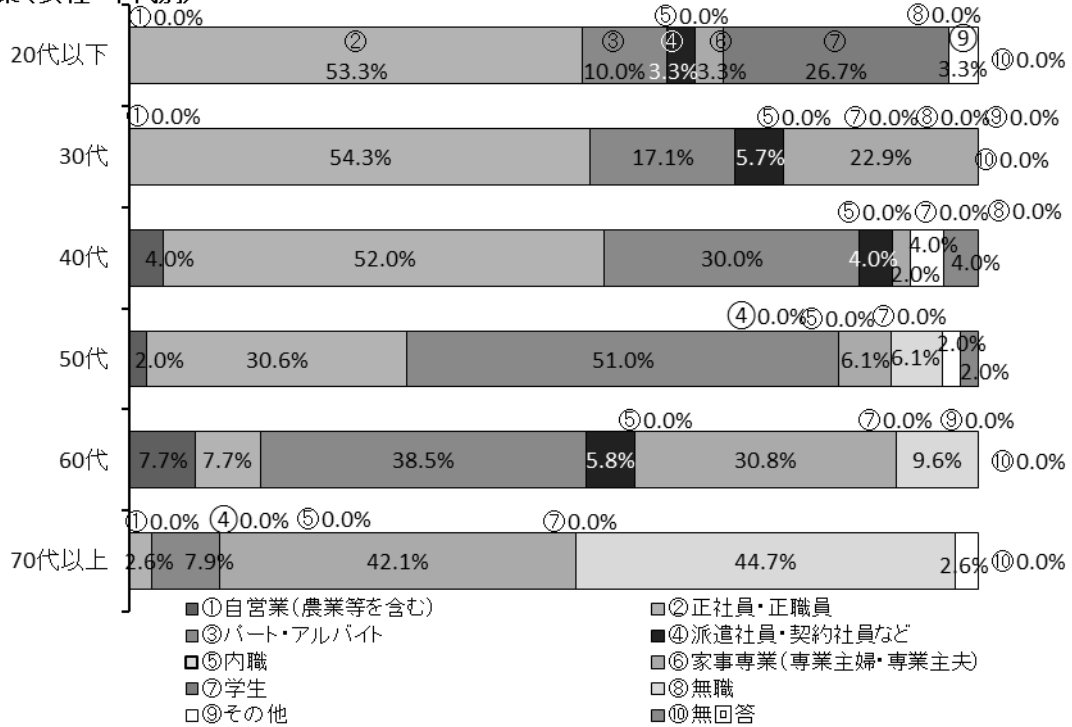
■ 職業の状況

全体では「正社員・正職員」38.9%、「パート・アルバイト」19.2%が半数以上を占めており、前回（「正社員・正職員」32.2%「パート・アルバイト」12.7%）よりもどちらも増えている。特に男性の「正社員・正職員」が11.0ポイント増えている。一方、「無職」が全体で11.6ポイント減っている。このことから男女とも仕事に従事している人が増えていると考えられる。

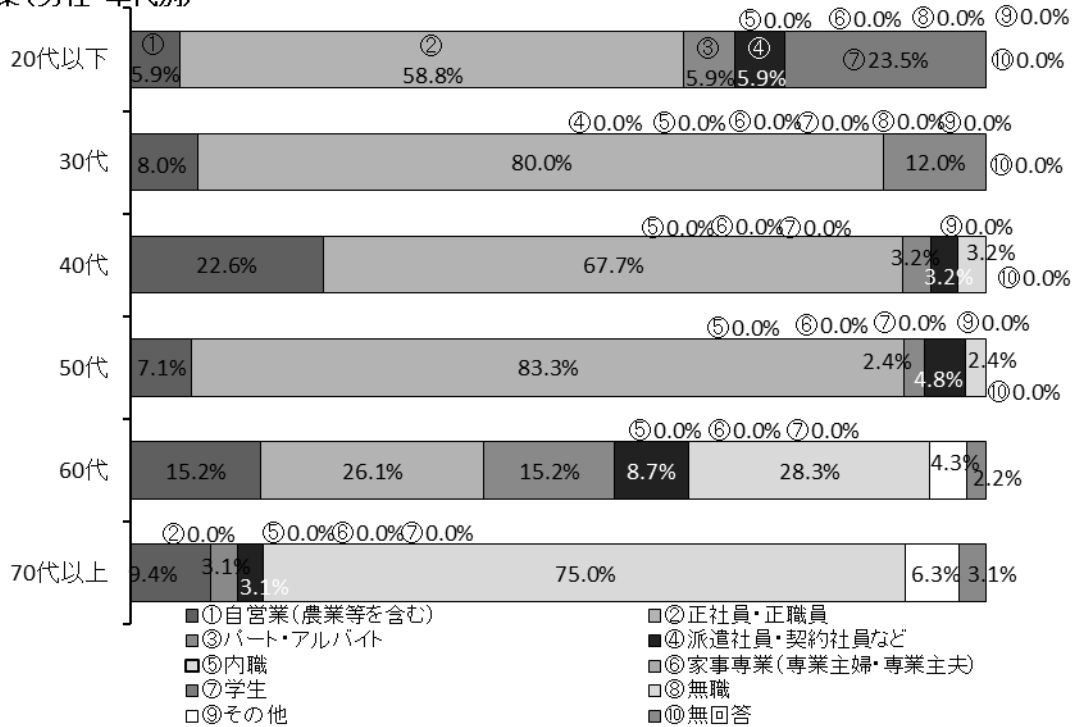
なお、男性の6割以上が「自営業（農業等を含む）」、「正社員・正職員」であるのに対し、女性は、「正社員・正職員」に次いで「パート・アルバイト」も多くなっているほか、「家事専業」も多い。



職業(女性・年代別)



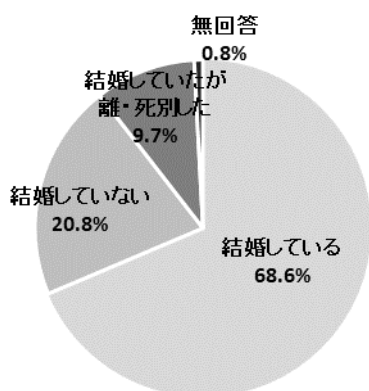
職業(男性・年代別)



■ 結婚の状況

「結婚している」と回答した人は、68.6%であった。年代別でみると、「結婚している」は60代が一番多く、「結婚していない」は20代以下が多い。

なお、「既婚（死別・離別）」と回答した人は、50代、70代以上の人が多い。女性では、「既婚（死別・離別）」と回答した人が12.5%で、男性の6.2%と比べると6.3ポイント多い。

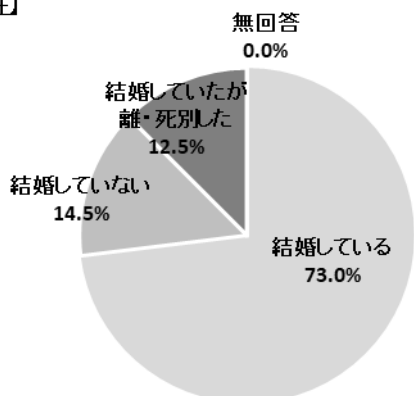


結婚	回答数	割合
結婚している	326	68.6%
結婚していない	99	20.8%
結婚していたが離・死別した	46	9.7%
無回答	4	0.8%
総数	475	

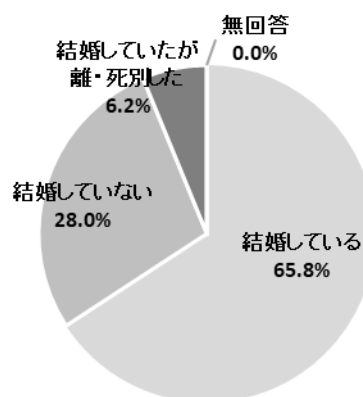
▼年代別（無回答のものを除く）

		回答数	結婚している	結婚していない	結婚していたが離・死別した
合計		471	69.2%	21.0%	9.8%
年代	20代以下	48	20.8%	79.2%	0.0%
	30代	62	69.4%	29.0%	1.6%
	40代	84	76.2%	15.5%	8.3%
	50代	93	69.9%	15.1%	15.1%
	60代	104	81.7%	13.5%	4.8%
	70代以上	78	73.1%	2.6%	24.4%

【女性】

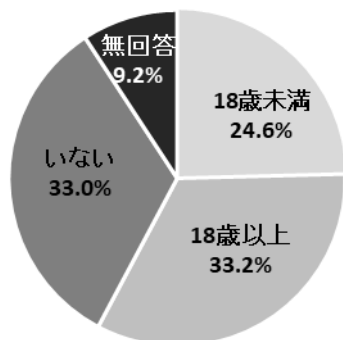


【男性】



■ 子どもの状況

「子どもがいる」と回答した人は、57.8%と半数以上であった。特に40代、50代、60代で「子どもがいる」と回答した人が多く、50代以上では18歳以上の子どもが多い。



※複数回答あり

子ども	回答数	割合
18歳未満	120	24.6%
18歳以上	162	33.2%
いない	161	33.0%
無回答	45	9.2%
総数	488	

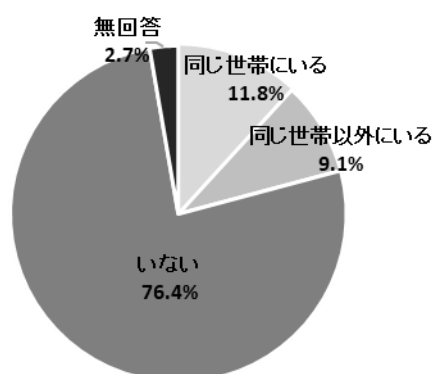
▼年代別（無回答のものを除く）

		回答数	18歳未満の子 どもがいる	18歳以上の子 どもがいる	いない
合計		443	27.1%	36.6%	36.3%
年代	20代以下	41	17.1%	0.0%	82.9%
	30代	59	66.1%	1.7%	32.2%
	40代	84	63.1%	16.7%	20.2%
	50代	89	21.3%	52.8%	25.8%
	60代	98	1.0%	58.2%	40.8%
	70代以上	70	1.4%	60.0%	38.6%

■ 介護の状況

「介護が必要な人がいない」と回答した人は7割を超えている。

「介護が必要な人が同じ世帯にいる」、「介護が必要な人が同じ世帯以外にいる」と回答した人は、50代、60代、70代以上に多い。



介護が必要な人	回答数	割合
同じ世帯にいる	56	11.8%
同じ世帯以外にいる	43	9.1%
いない	363	76.4%
無回答	13	2.7%
総数	475	

▼年代別（無回答のものを除く）

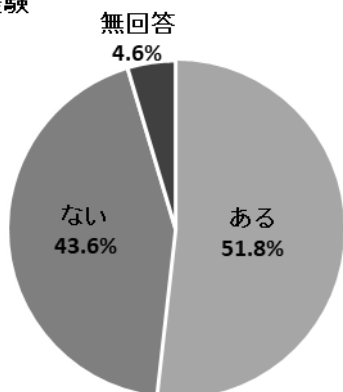
		回答数	同じ世帯 にいる	同じ世帯以外 にいる	いない
合計		462	12.1%	9.3%	78.6%
年代	20代以下	48	6.3%	6.3%	87.5%
	30代	62	9.7%	1.6%	88.7%
	40代	84	9.5%	7.1%	83.3%
	50代	89	15.7%	13.5%	70.8%
	60代	102	10.8%	16.7%	72.5%
	70代以上	75	18.7%	4.0%	77.3%

■ 離職の経験

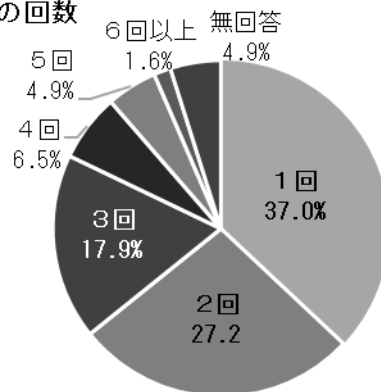
全体の半数以上で離職経験があると回答している。

特に女性では7割近く離職経験があり、その理由としては、結婚（22.1%）、出産・子育て（36.2%）によるものが多い。

離職の経験

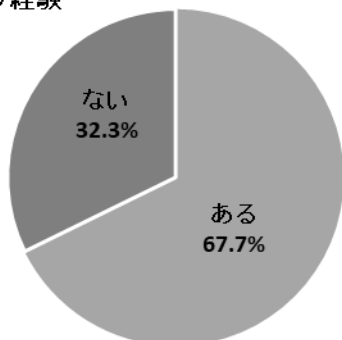


離職の回数

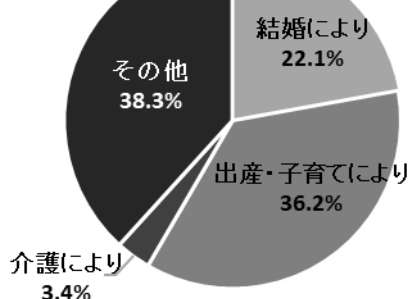


【女性】

離職の経験

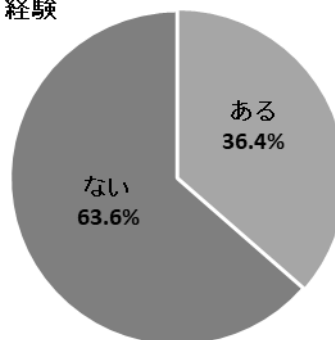


離職の理由

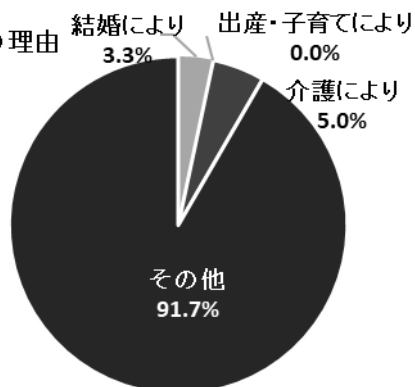


【男性】

離職の経験



離職の理由



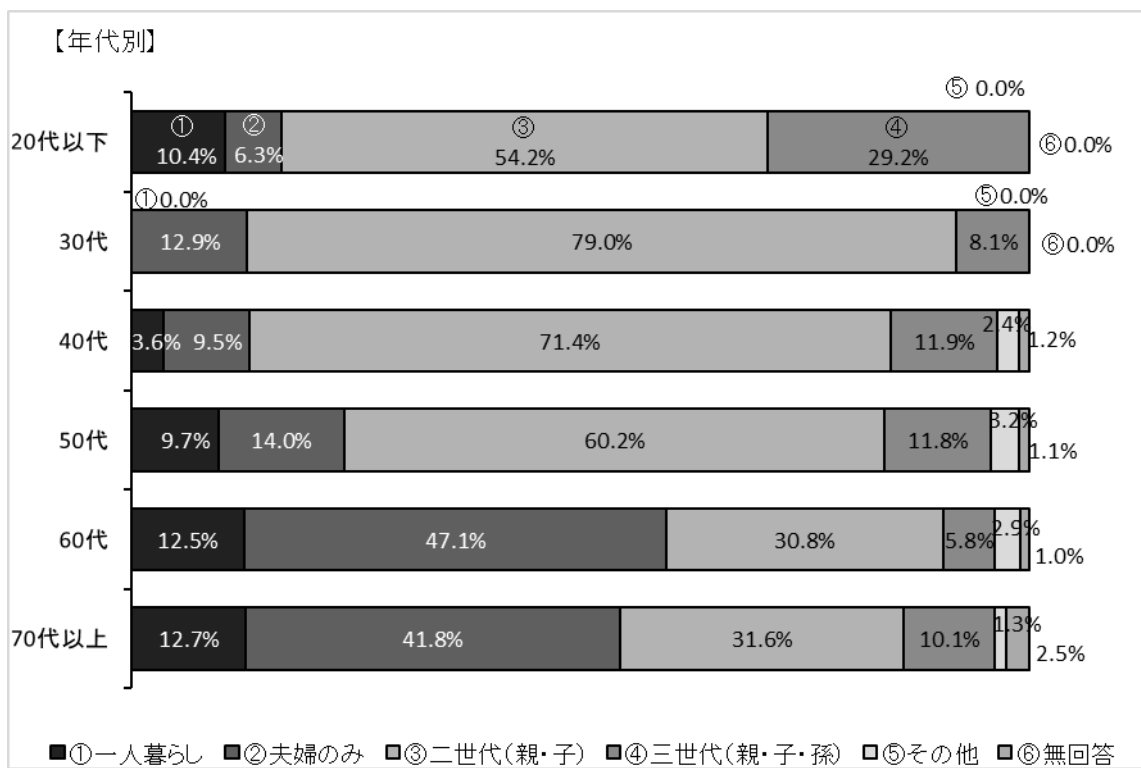
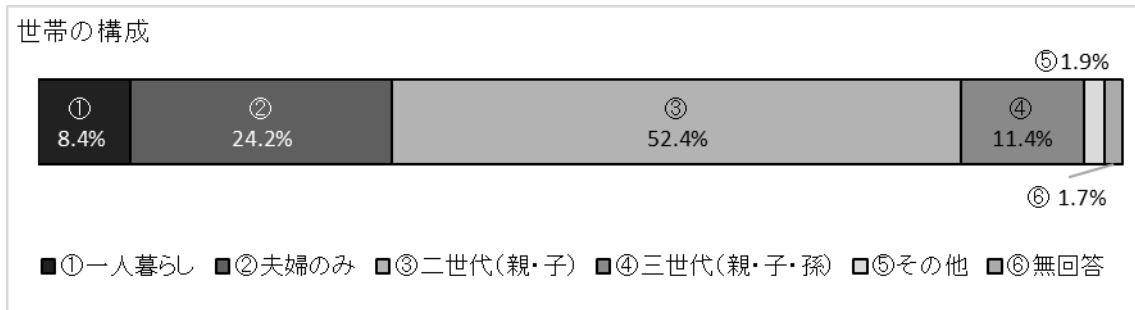
▼年代別（無回答のものを除く）

		回答数	ある	ない
合計		453	54.3%	45.7%
年代	20代以下	46	19.6%	80.4%
	30代	61	54.1%	45.9%
	40代	80	67.5%	32.5%
	50代	90	57.8%	42.2%
	60代	102	64.7%	35.3%
	70代以上	72	43.1%	56.9%

■ 家族構成

二世世代世帯が多く全体で52.4%となっている。

三世世代世帯は、若い世代に多く、年齢が高くなると夫婦のみ世帯が多くなっている。



2 調査結果の分析

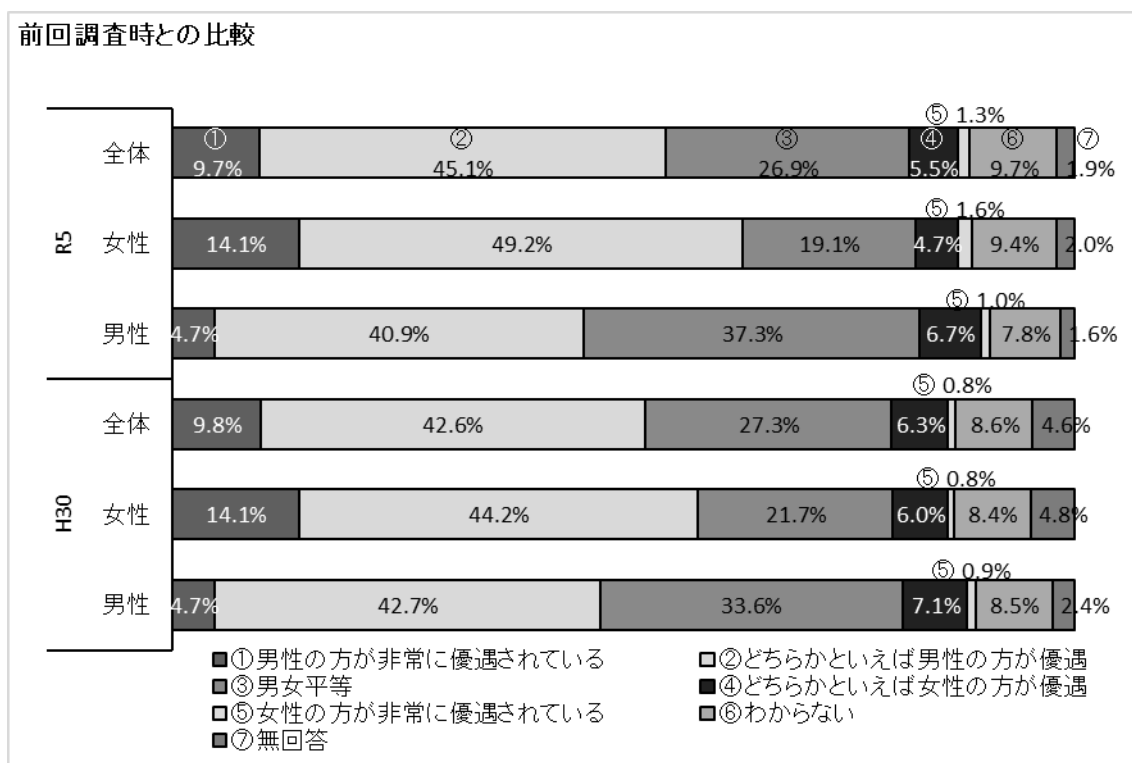
(1) 男女の役割や地位に関する意識について

■ 家庭生活

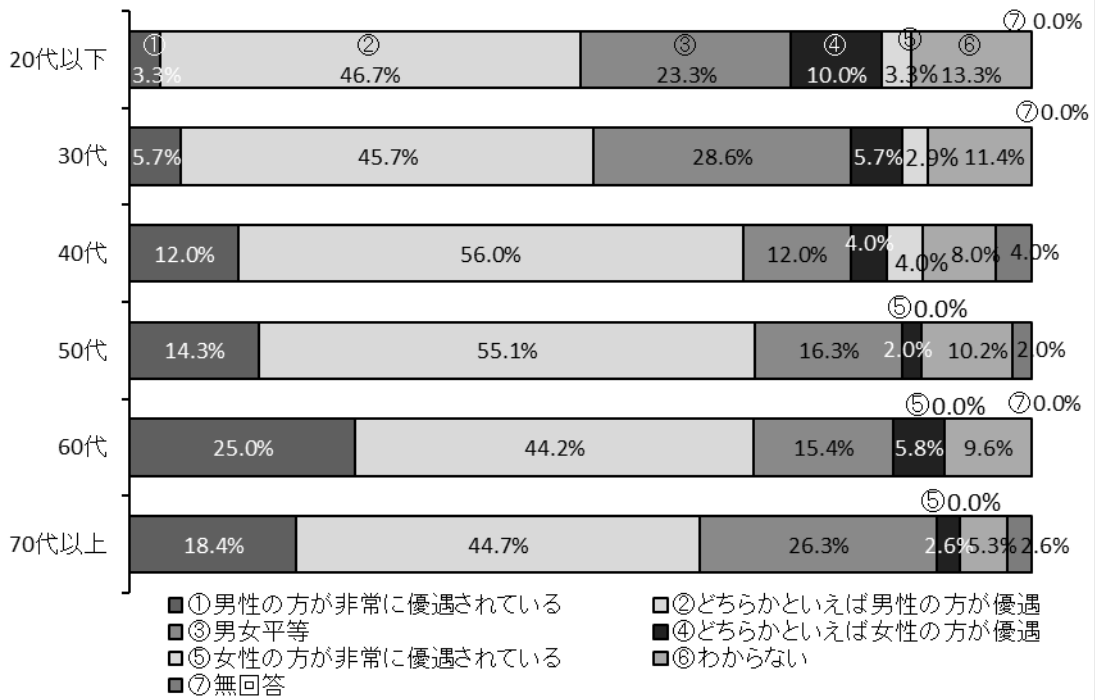
全体では、「男女平等」と回答した人は、26.9%であり、前回(27.3%)から0.4ポイント減っている。性別で見ると、女性は19.1%(前回21.7%)、男性は37.3%(前回33.6%)と前回に比べ、男性では増えているが、女性は減っている。

また、「男性の方が優遇されている」と感じている人が、全体の半数以上いるが、特に女性が多い結果となった。

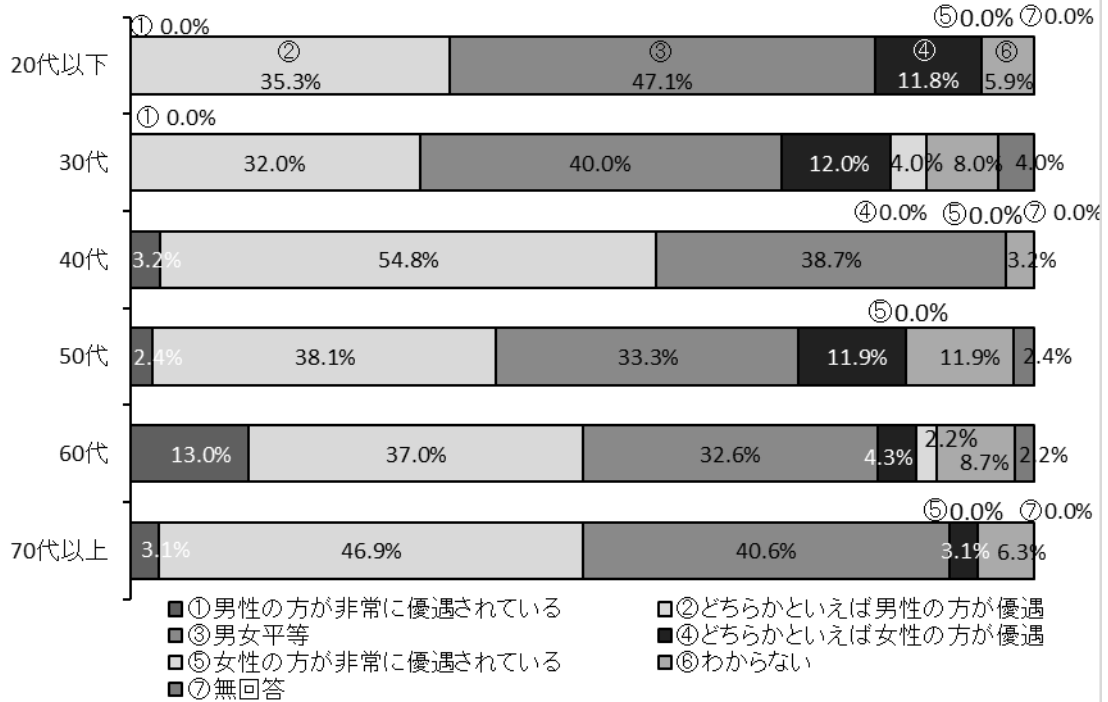
年代別で見ると、女性のすべての年代で「男性の方が非常に優遇されている」「どちらかといえば男性の方が優遇されている」と回答している人が5割を超えている。



【女性】



【男性】



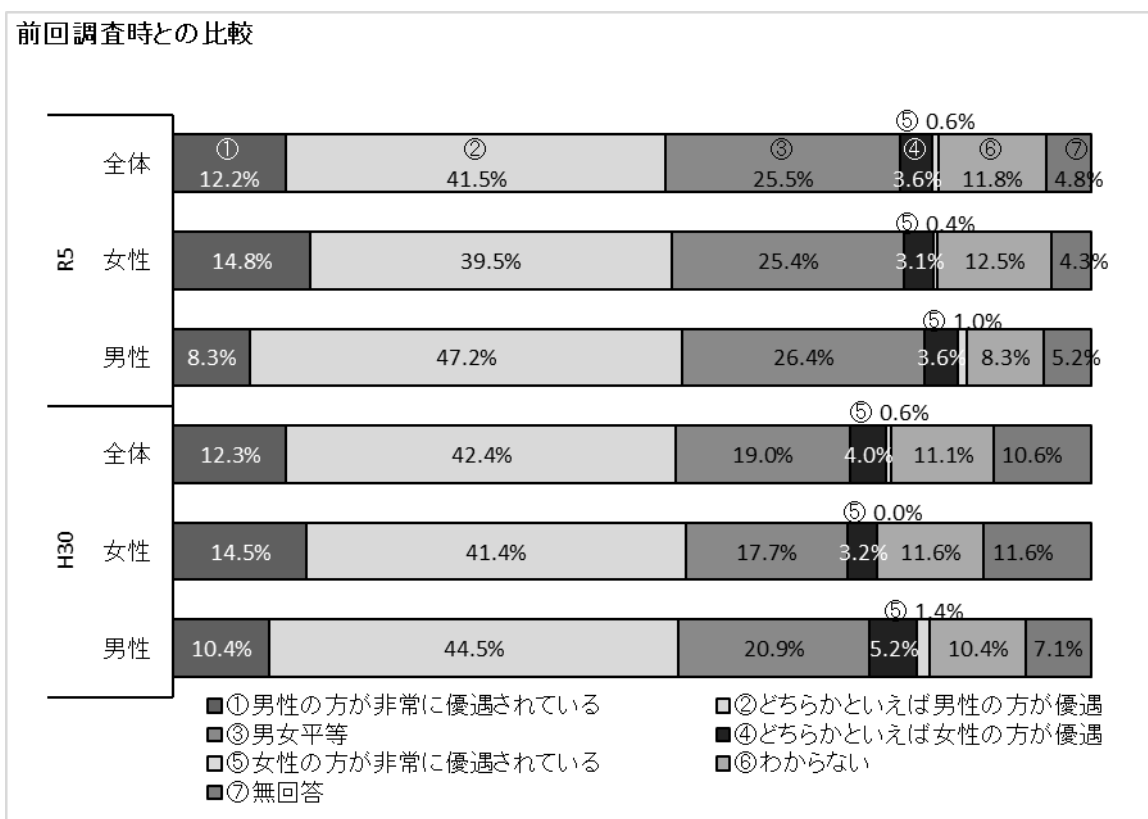
■ 職 場

「男女平等」と回答した人は、男女とも増えて全体で25.5%となり、前回（19.0%）より6.5ポイント増えた。「男女平等」と回答した人が最も多い年代は、女性では30代（37.1%）、男性では60代（34.8%）であった。

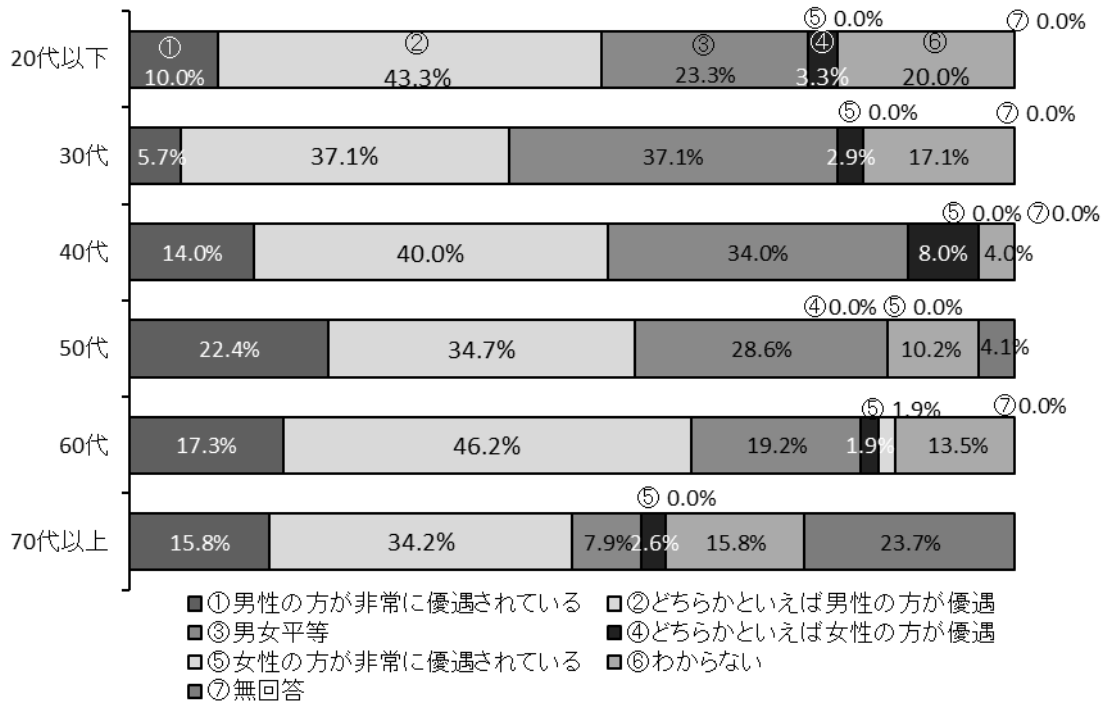
しかし、全体では依然として「男性の方が非常に優遇されている」「どちらかといえば男性の方が優遇されている」と回答した人が5割を超え、不平等感がある。

なお、女性の60代、男性の40代、50代で、「男性の方が非常に優遇されている」「どちらかといえば男性の方が優遇されている」と回答した人が6割を超えている。

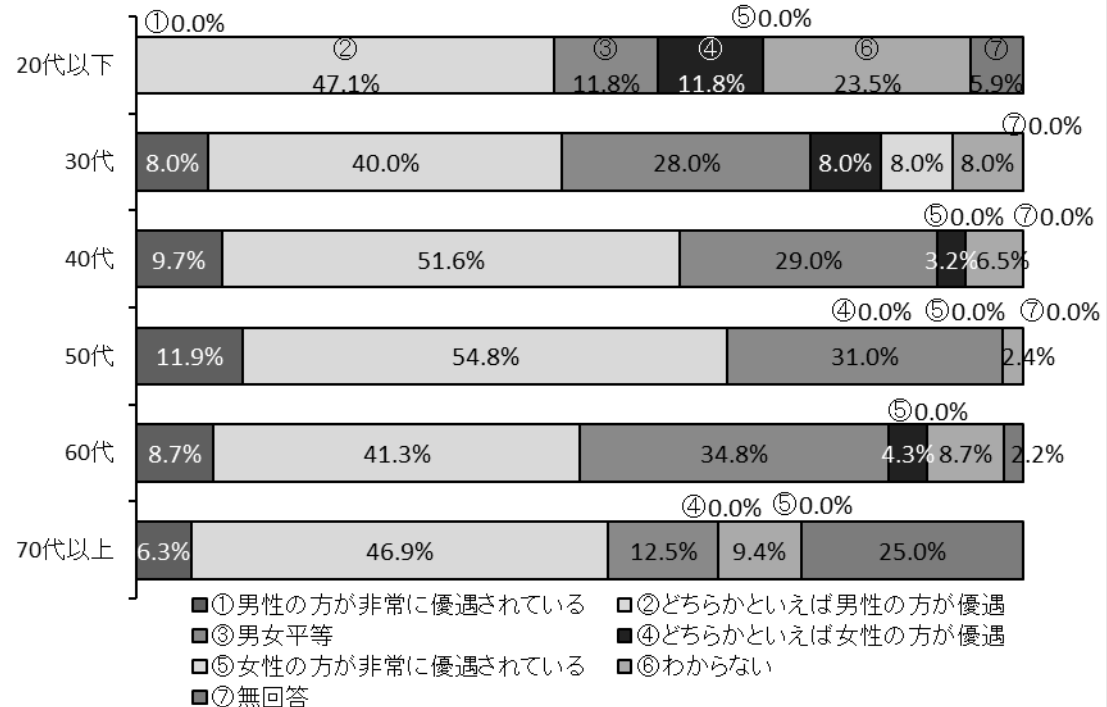
男性の20代では、「どちらかといえば女性の方が優遇されている」と回答した人がどの年代よりも多く11.8%となっている。



【女性】



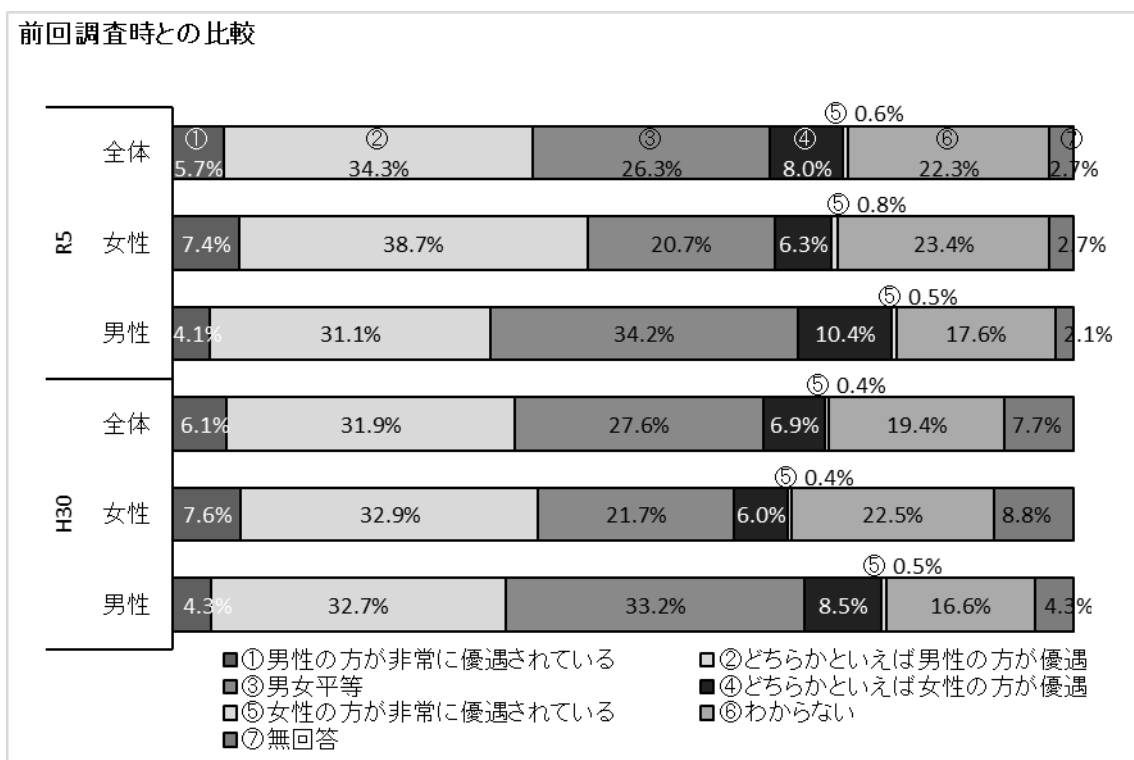
【男性】



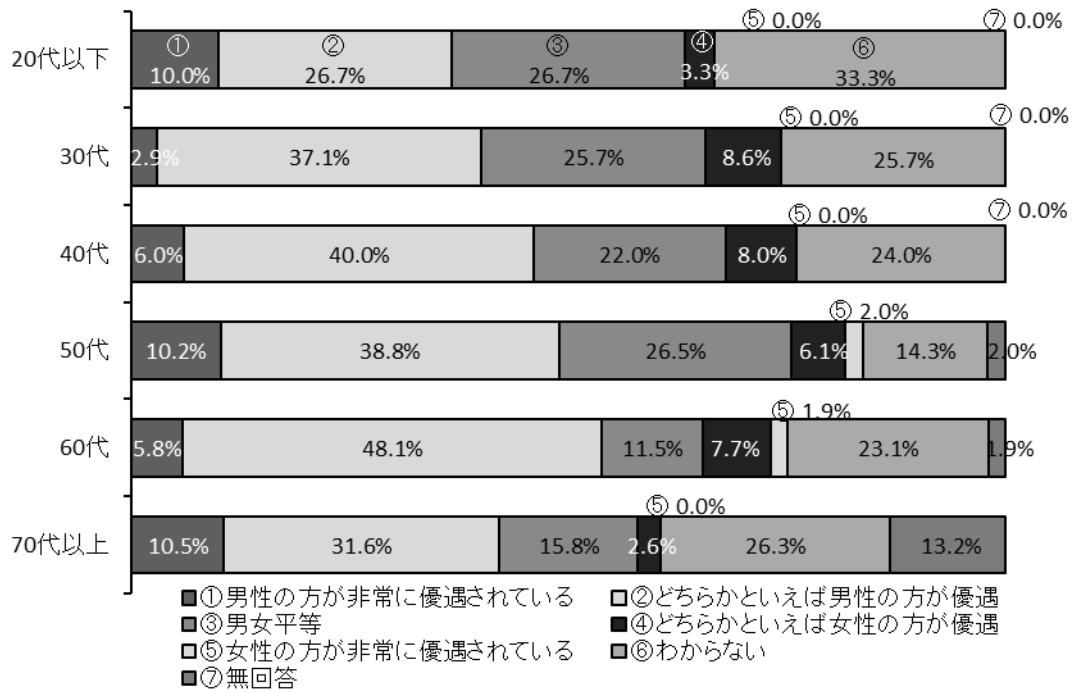
■ 地域活動

全体では、「男女平等」と回答した人は、26.3%であり、前回（27.6%）から1.3ポイント減っている。「男性の方が非常に優遇されている」、「どちらかといえば男性の方が優遇されている」と回答した人は前回と比べて2.0ポイント増えており、依然として不平等感がある。一方で、「どちらかといえば女性の方が優遇されている」、「女性の方が優遇されている」と回答した人は前回と比べて1.3ポイント増えている。

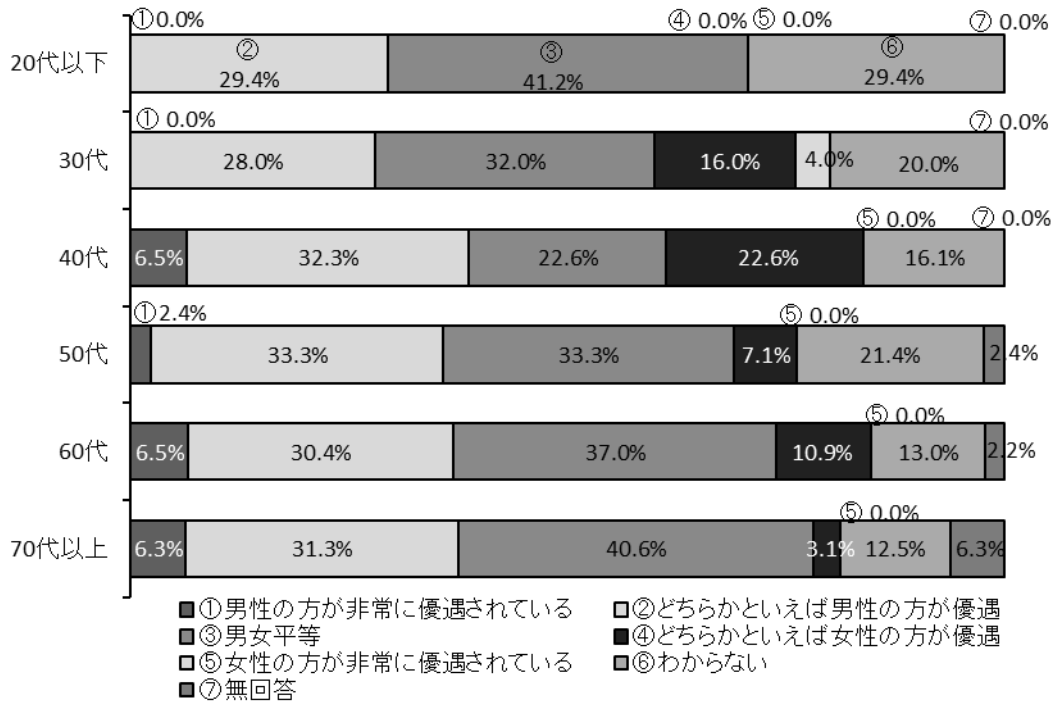
「わからない」と回答した人が、男女とも20代に多く、この年代では、地域とのかかわりが少ない可能性がうかがわれる。



【女性】



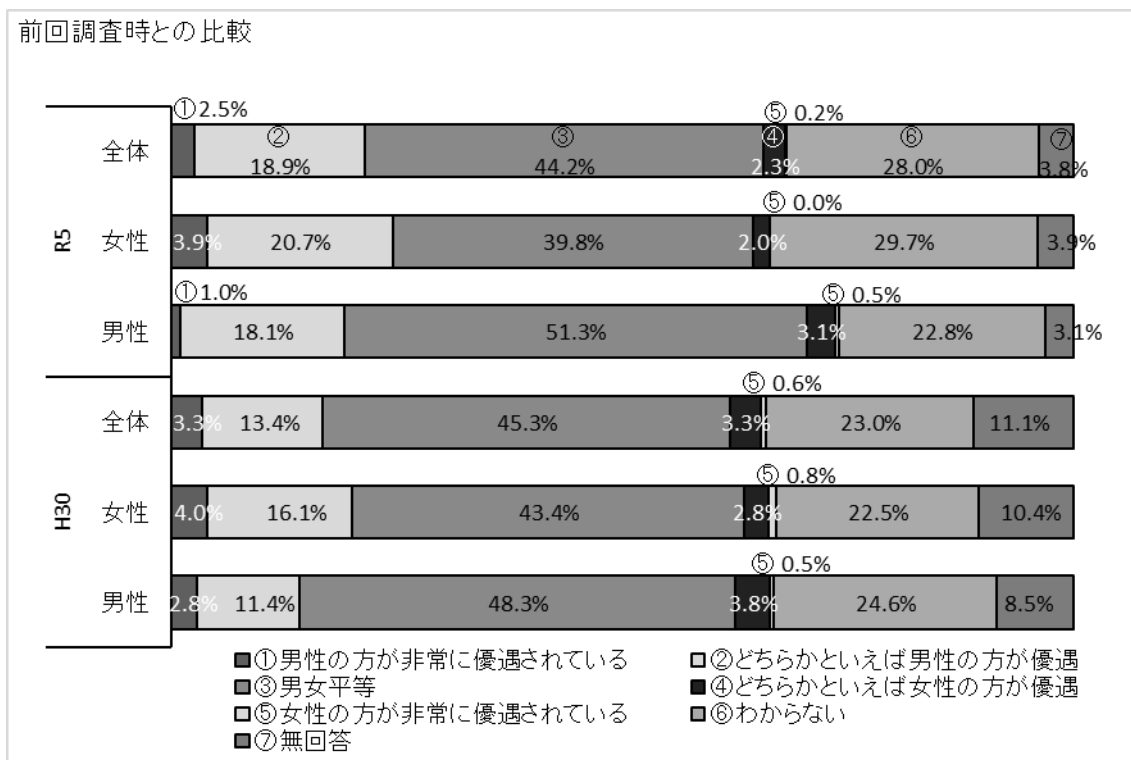
【男性】



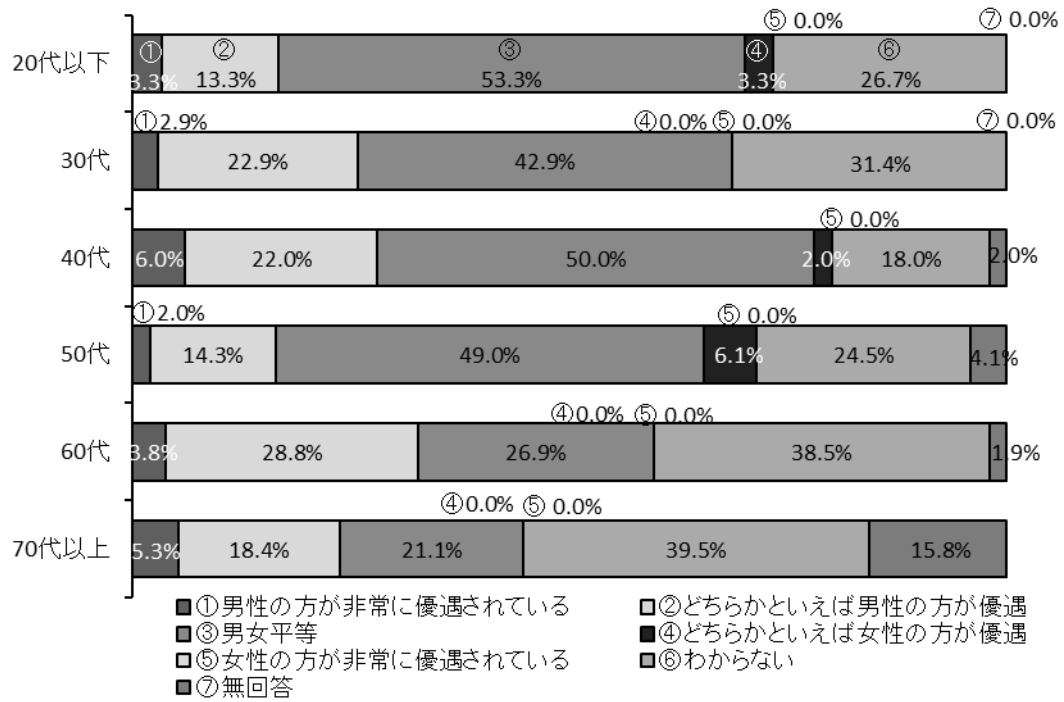
■ 学校教育の場

全体では、「男女平等」と回答した人は44.2%であり、前回（45.3%）から1.1ポイント減っている。特に女性では、「男女平等」と回答した人が3.6ポイント減っているが、「どちらかといえば男性の方が優遇されている」と回答した人が4.6ポイント増えている。

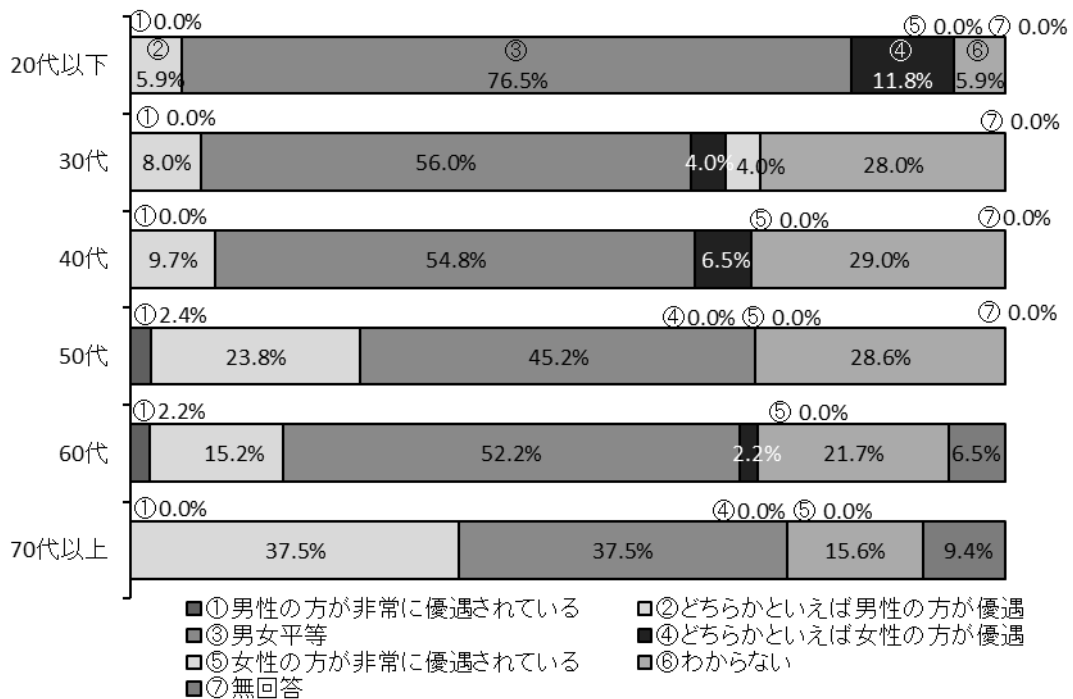
「男女平等」と回答した人が最も多い年代は、男女とも20代（女性53.3%、男性76.5%）であった。



【女性】



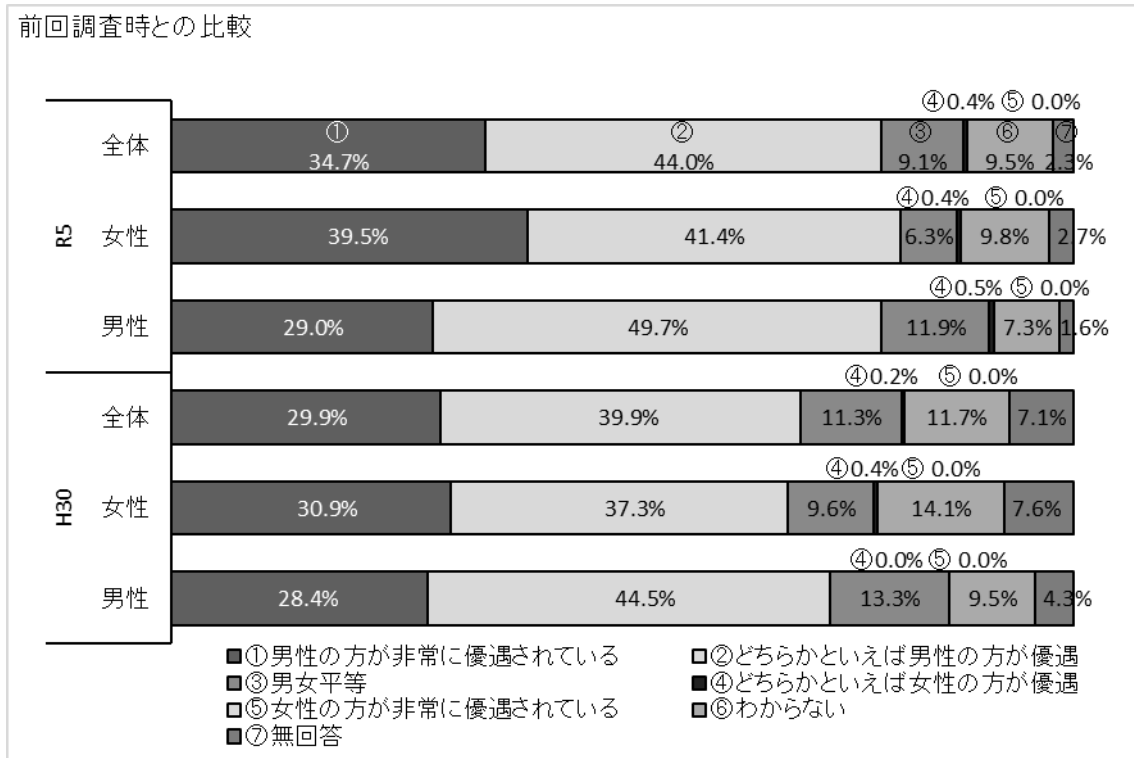
【男性】



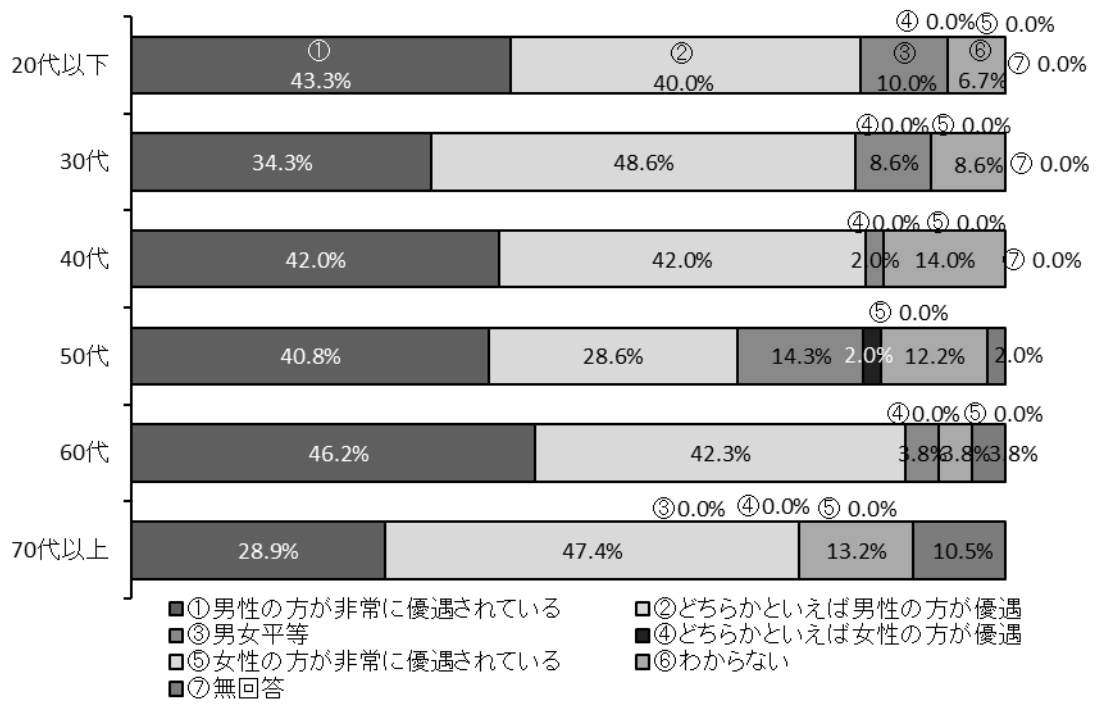
■ 政治の場

全体では、「男女平等」と回答した人は、9.1%と低く、前回（11.3%）より2.2ポイント減っている。特に女性で、3.3ポイント減っている。

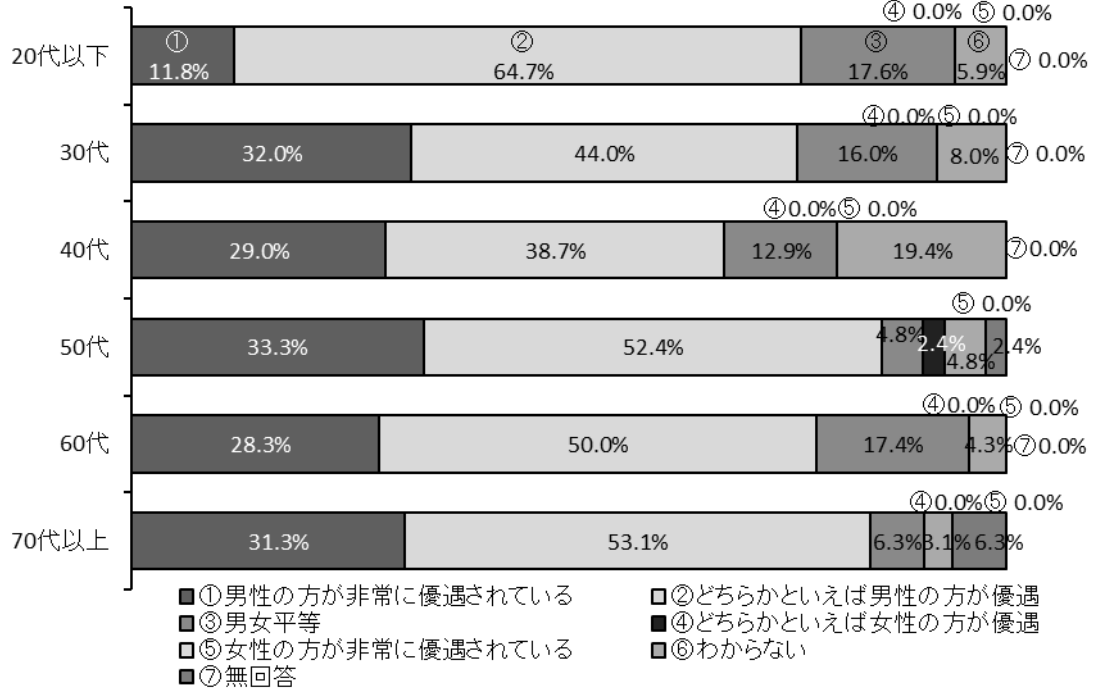
男女とも「男性の方が非常に優遇されている」または「どちらかといえば男性の方が優遇されている」と回答した人が多く、すべての年代で6割を超えている。



【女性】



【男性】

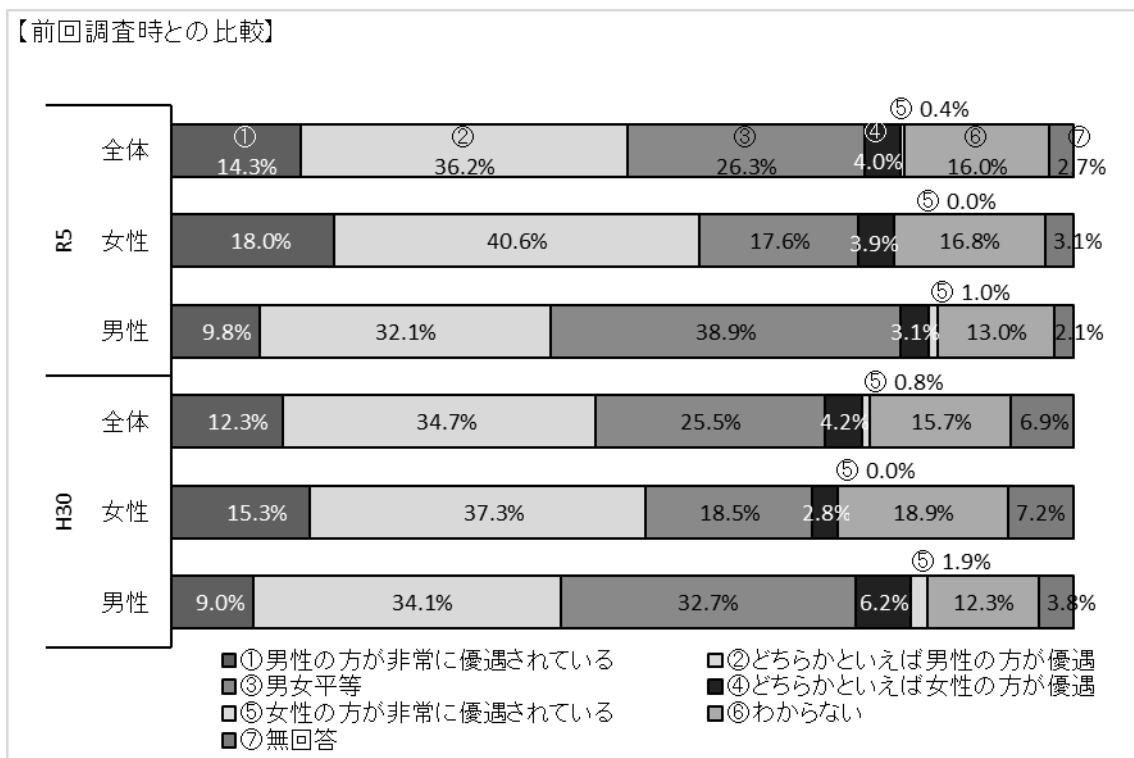


■ 法律や制度上

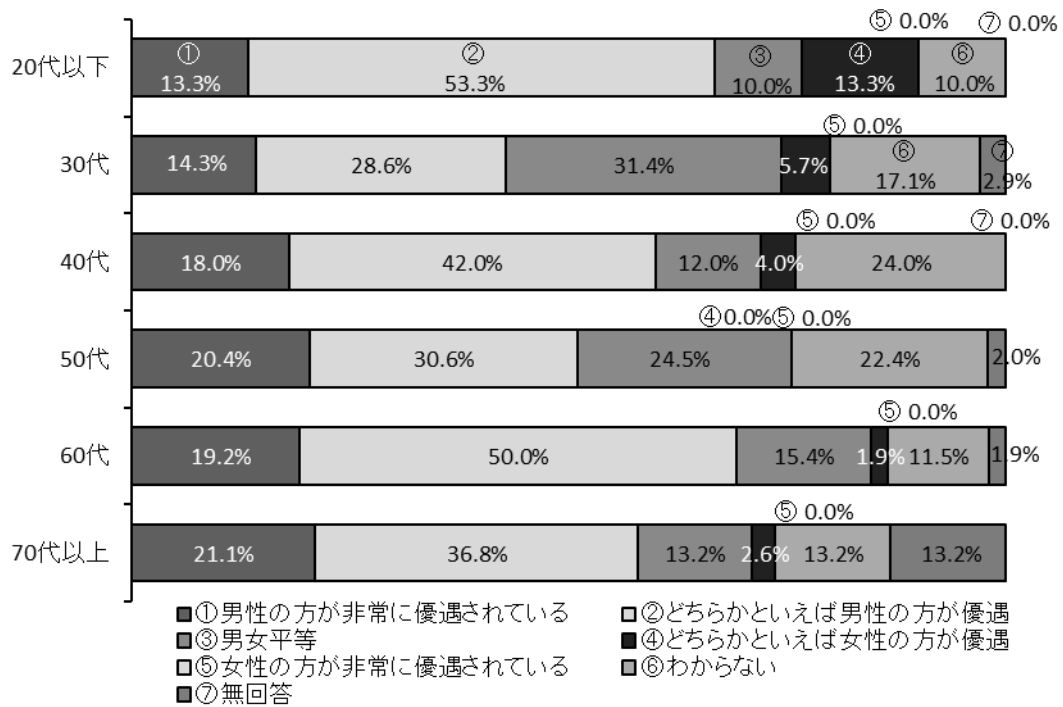
「男女平等」と回答した人は、全体で前回（25.5%）より0.8ポイント増えているが、26.3%と低い。男性が6.2ポイント増えたが、女性は0.9ポイント減っている。

「男性の方が非常に優遇されている」、「どちらかといえば男性の方が優遇されている」を合わせると、年代別では、女性の30代以外で5割を超えているのに対して、男性のすべての年代で5割以下となっている。

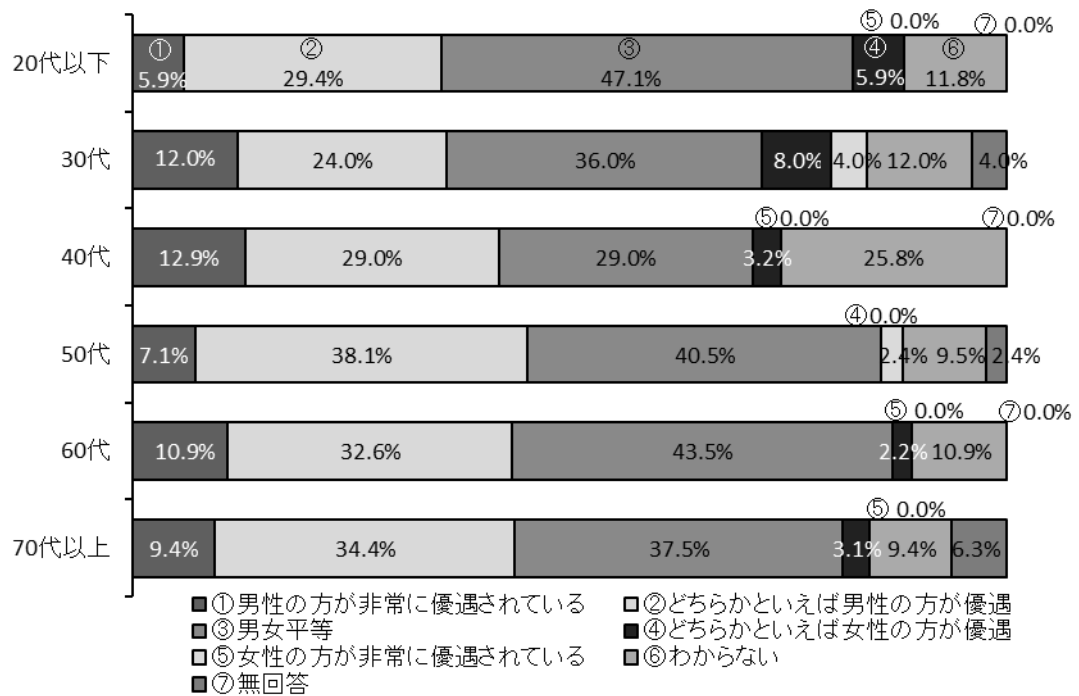
また、女性の20代では「どちらかといえば女性の方が優遇されている」（13.3%）と回答した人が、ほかの年代に比べて多くなっている。



【女性】



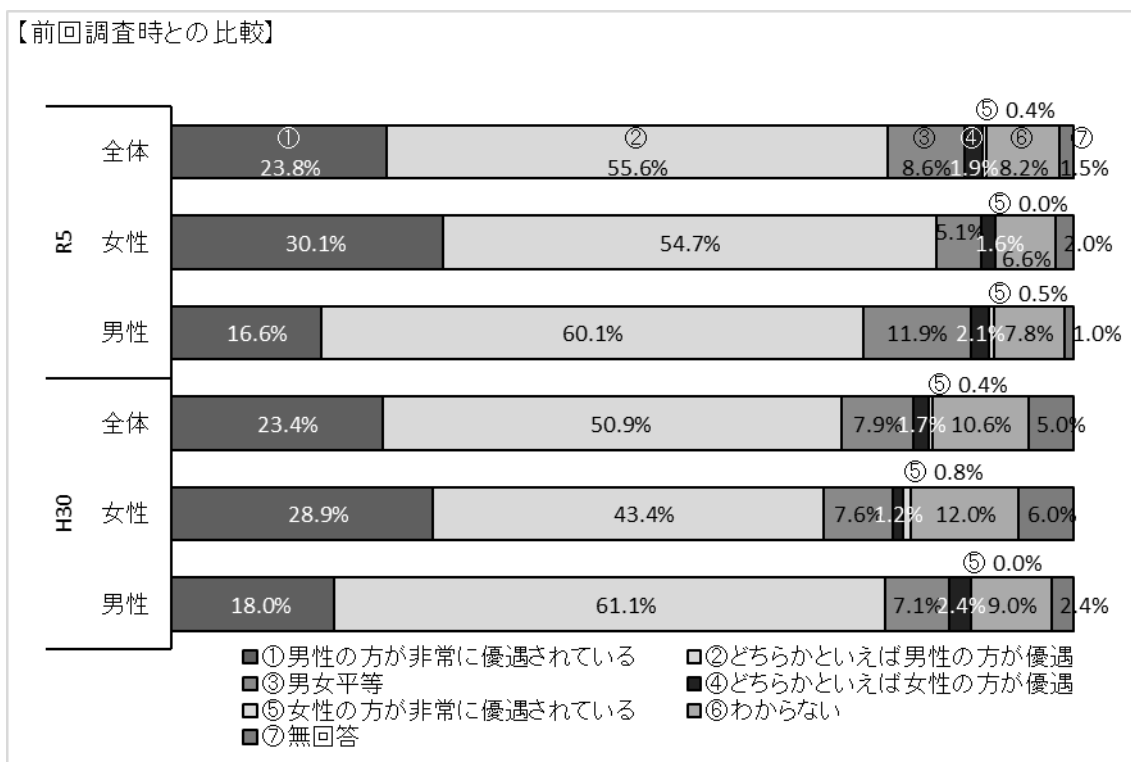
【男性】



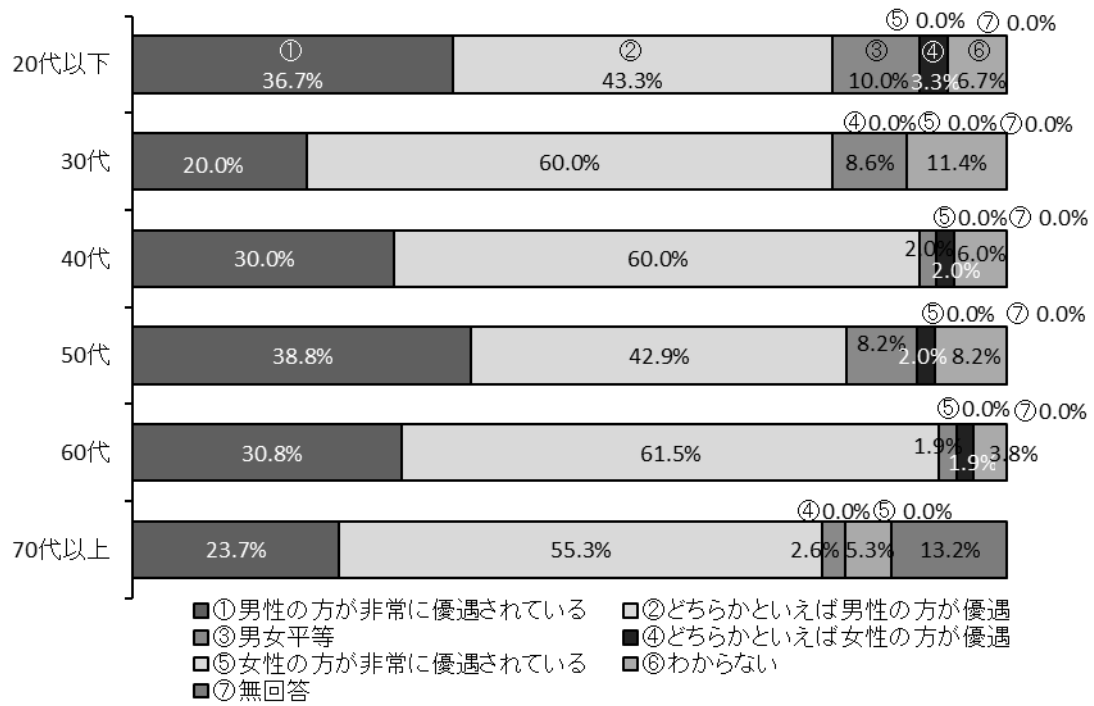
■ 社会通念・慣習・しきたり

「男女平等」と回答した人は、全体で0.7ポイント増えているが、8.6%と低い。
 「男性の方が非常に優遇されている」、「どちらかといえば男性の方が優遇されている」が7割を超え、特に女性で前回より12.5ポイント増えている。

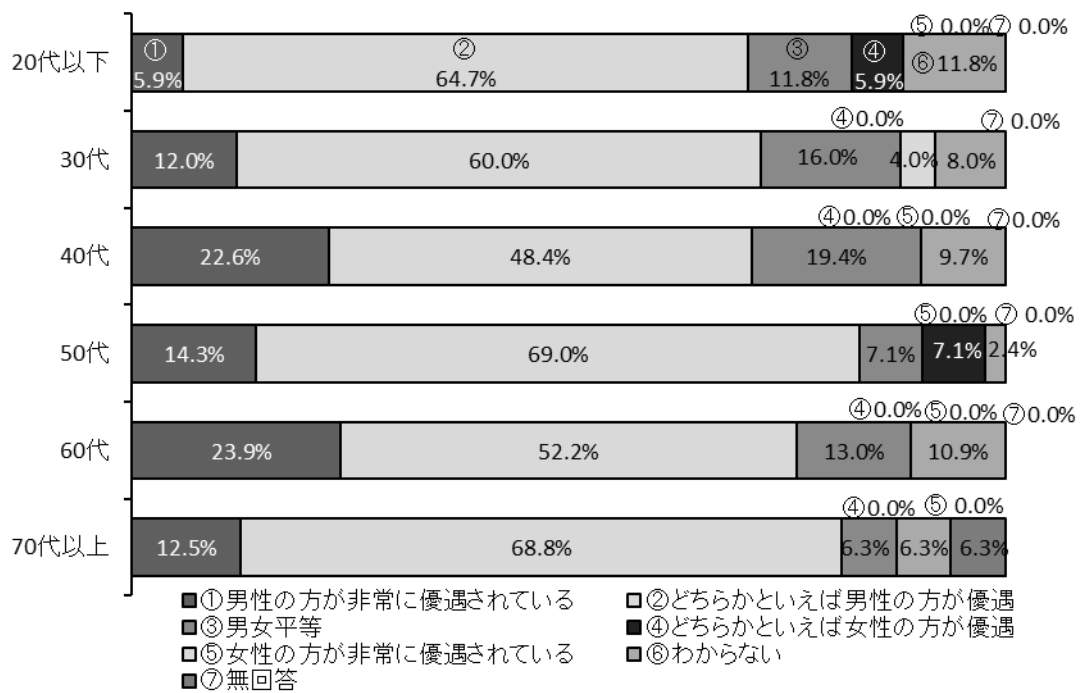
年代別でみると、女性の20代、40代、50代、60代で「男性の方が非常に優遇されている」と回答した人が3割以上となっている。



【女性】



【男性】

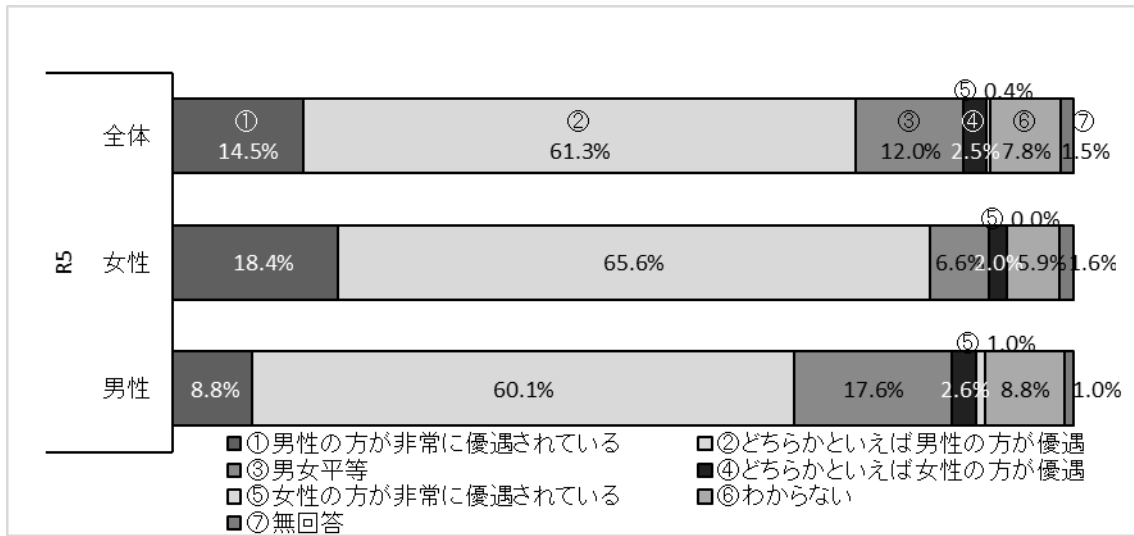


■ 社会全体として

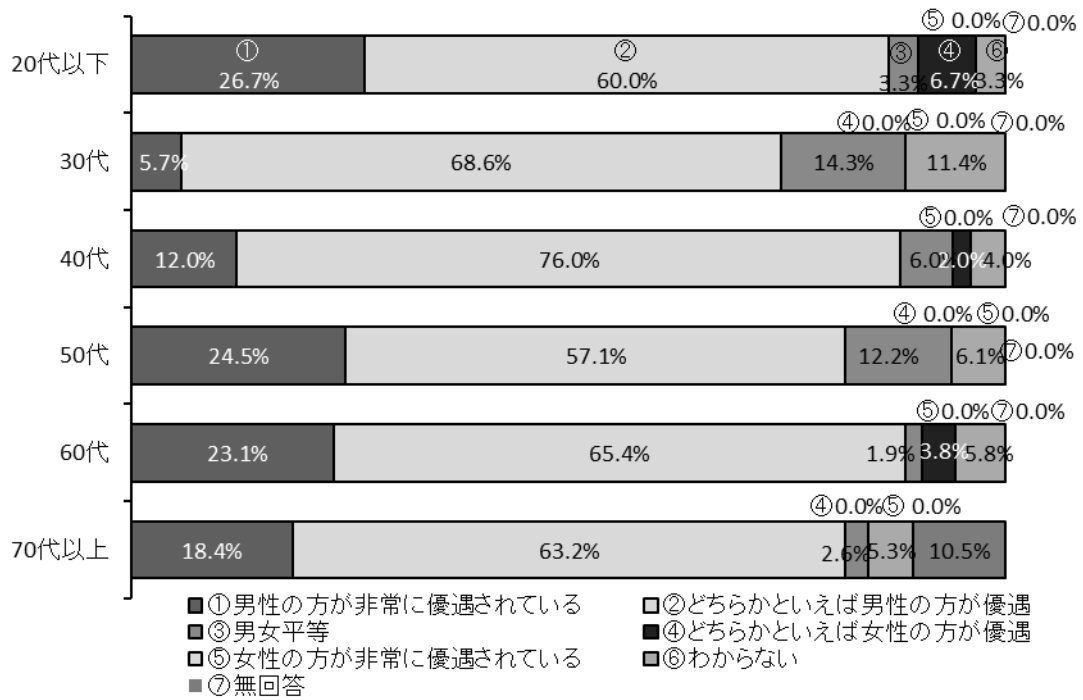
全体では、「男女平等」と回答した人は、12.0%と低い。前出の各分野における意識と比べても、社会通念・慣習・しきたり（8.6%）、政治の場（9.1%）に次いで低い。

年代別で見ると、「男性の方が非常に優遇されている」、「どちらかといえば男性の方が優遇されている」が女性ではすべての年代で7割を超えている。男性の40代以下では「男女平等」と回答した人がいずれも2割台と多い。

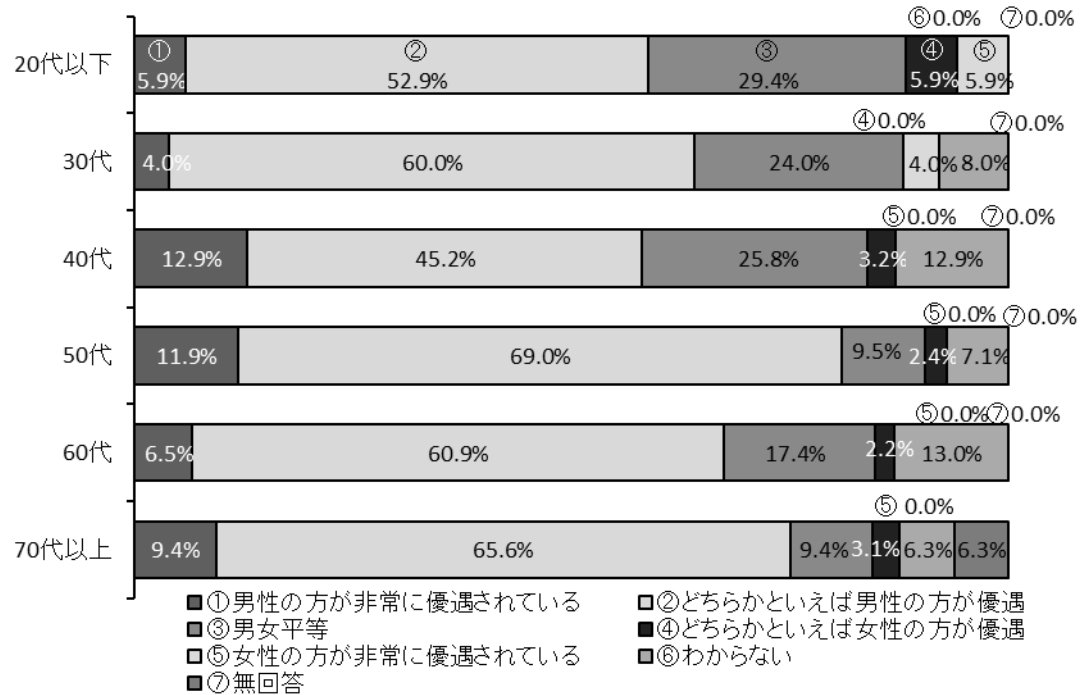
※令和5年度より調査



【女性】



【男性】

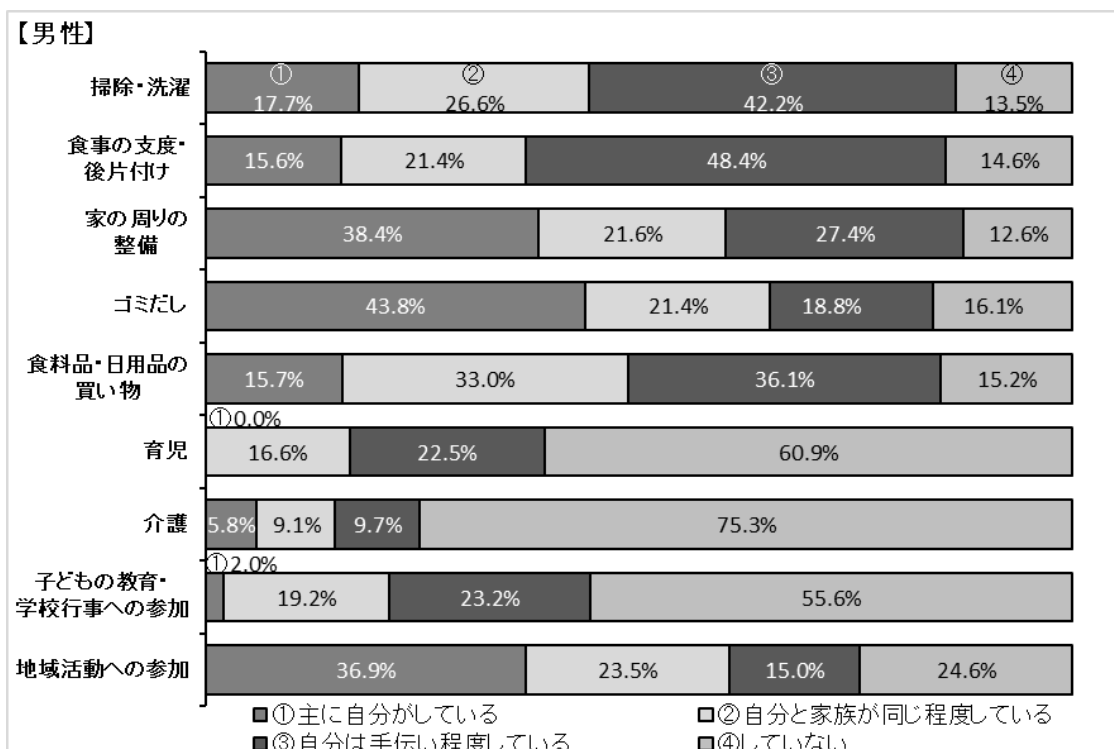
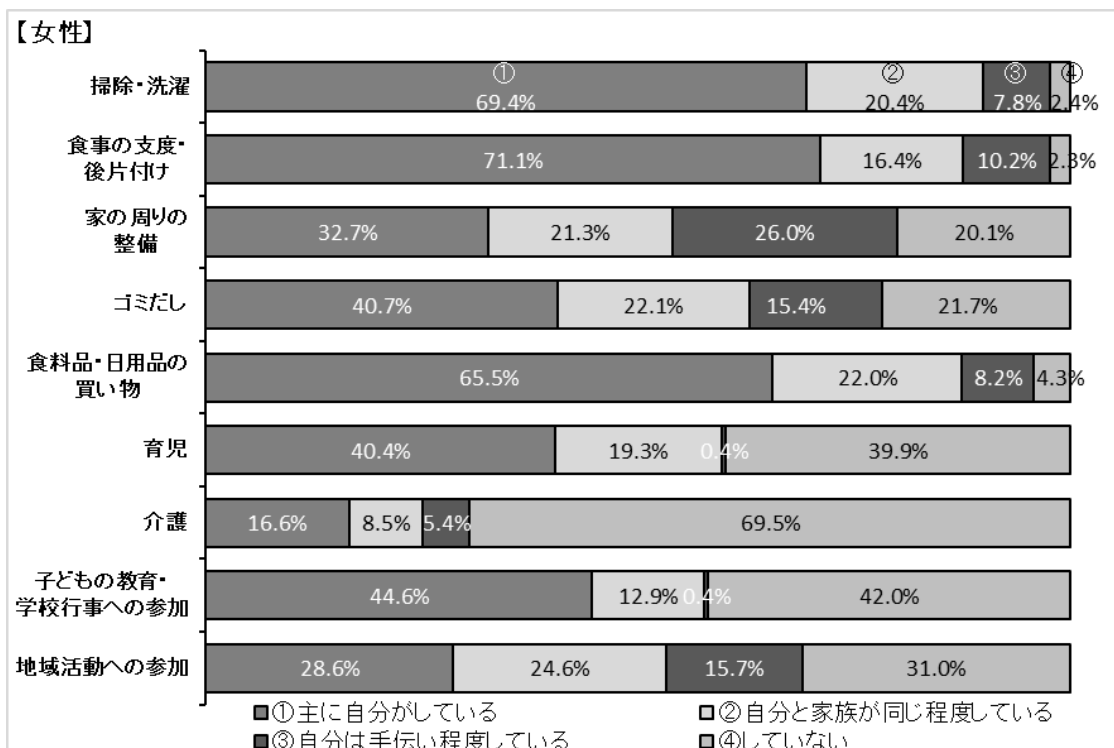


(2) 家庭生活での男女の役割について

① 家庭生活等への参加について

女性では、「掃除・洗濯」、「食事の支度・後片付け」、「食料品・日用品の買い物」などに参加している人が、男性に比べ圧倒的に多くなっている。これら家庭生活について、女性は「主に自分がしている」と認識しているが、男性は「自分は手伝い程度している」という認識にあり、男女間での認識の格差がみえる。

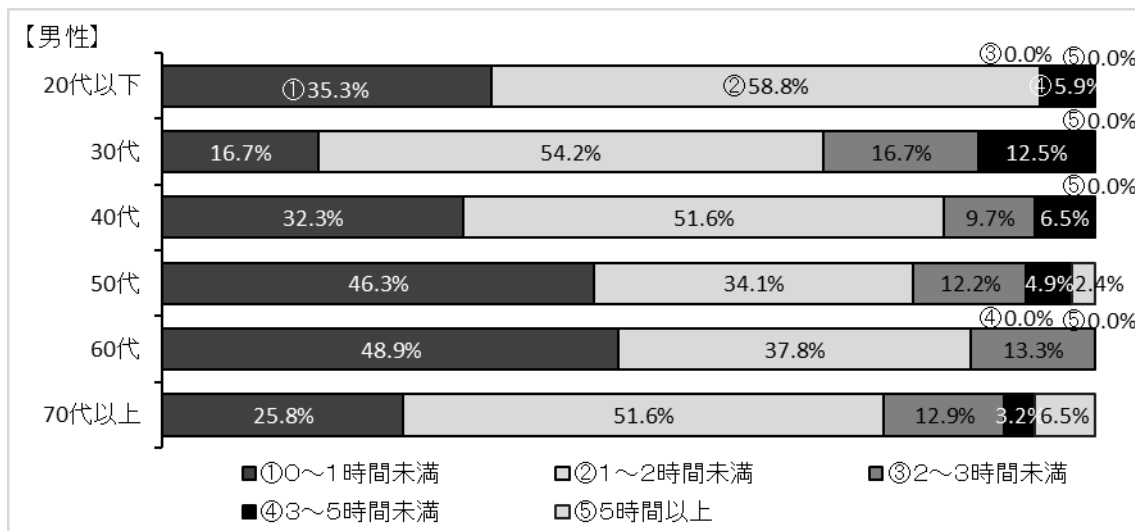
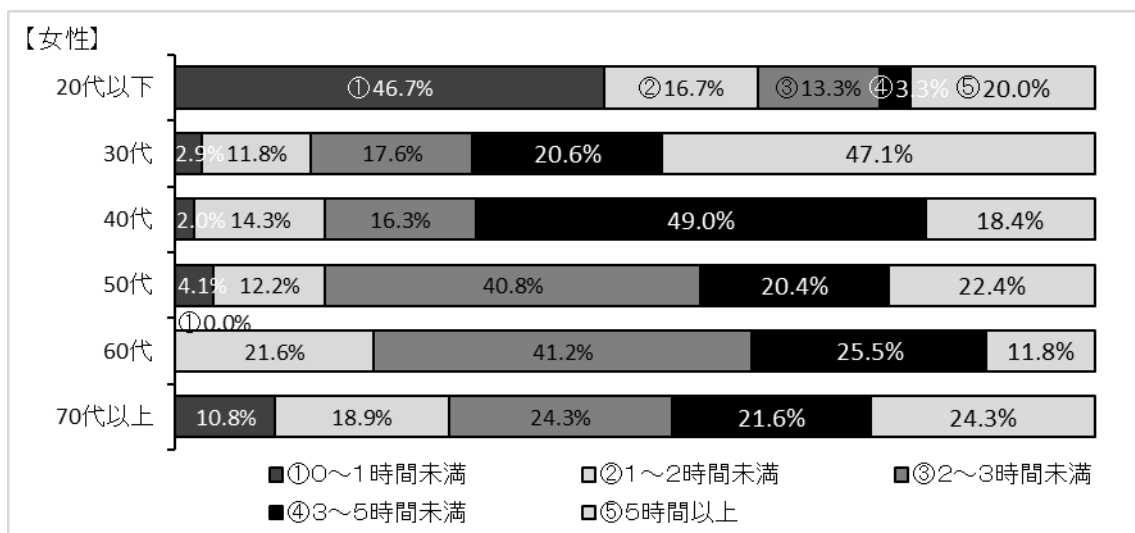
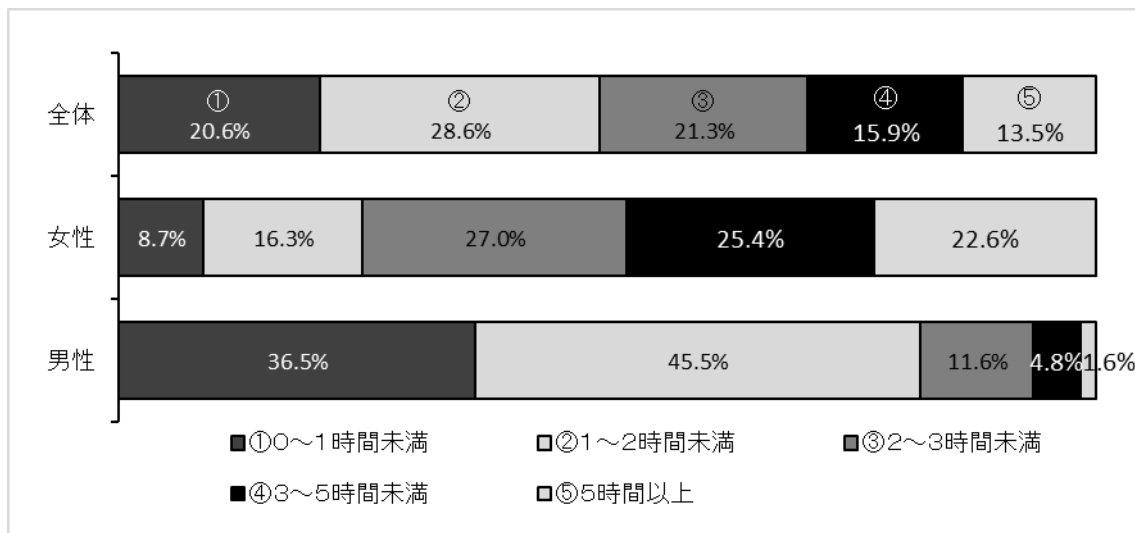
一方、男性では、「家の周りの整備」「ゴミ出し」「地域活動の参加」について「主に自分がしている」と回答した人が、女性に比べて多くなっている。



② 1日あたりの家事従事時間

男性では、家事従事時間が0～2時間未満が82.0%を占めており、女性では、2時間以上が75.0%を占めている。男女間において、家事従事時間に大きな差がある。

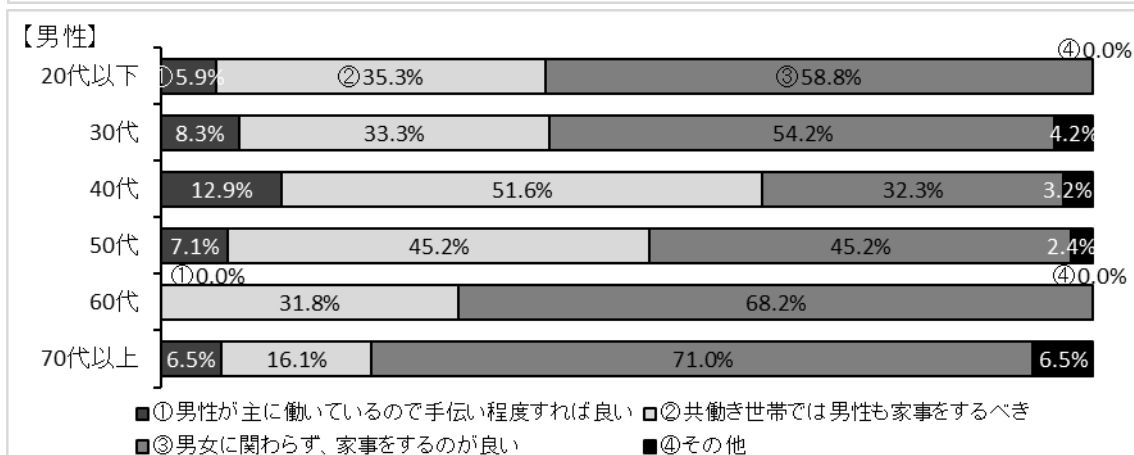
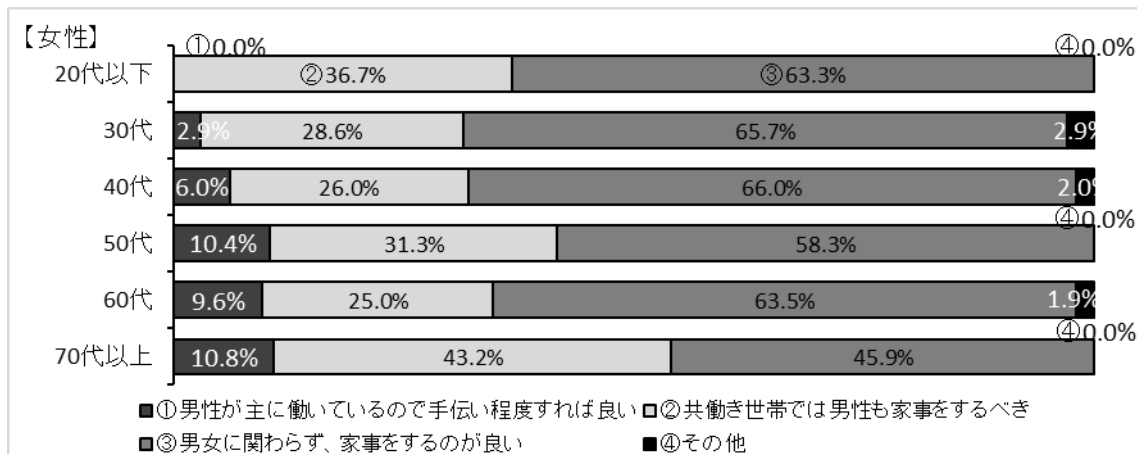
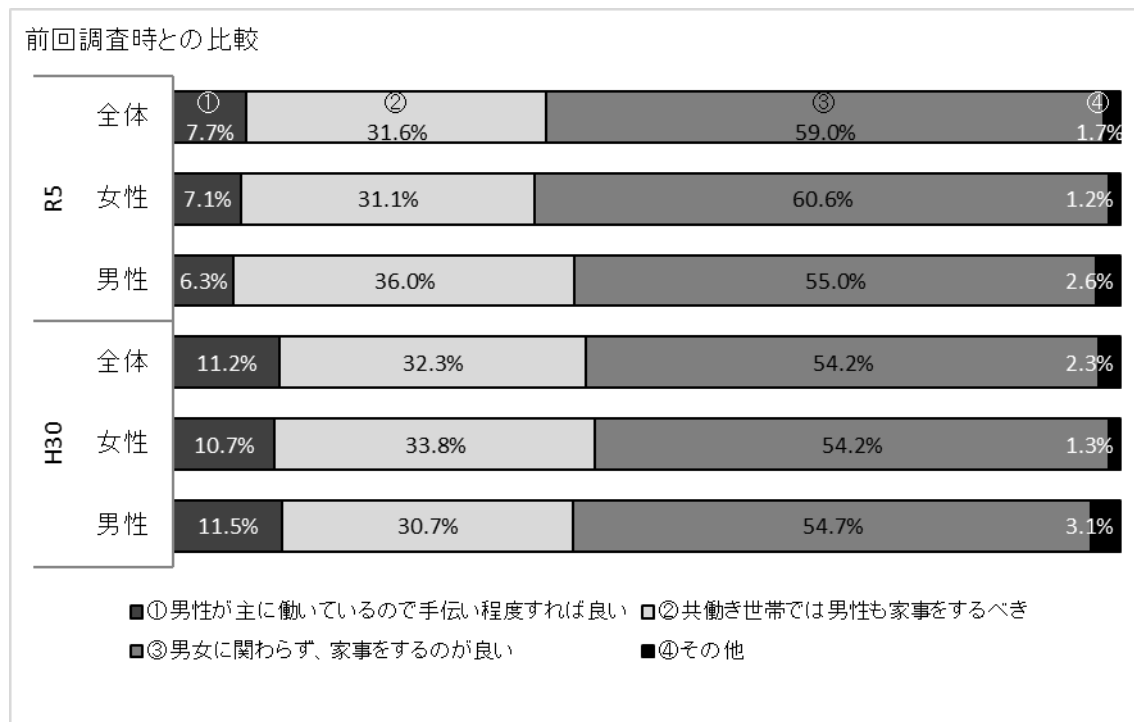
※令和5年度より調査



③ 男性が家事をすることについての意識

全体では、「共働き世帯では男性も家事をするべき」（31.6%）または「男女に関わらず、家事をするのがよい」（59.0%）と9割以上が回答している。前回に比べ全体では4.1ポイント増えており、男女ともにそういった意識が強くなっている。

ただし、女性の50代以上、男性の40代では、「男性が主に働いているので手伝い程度すれば良い」と回答した人が1割程度いる。

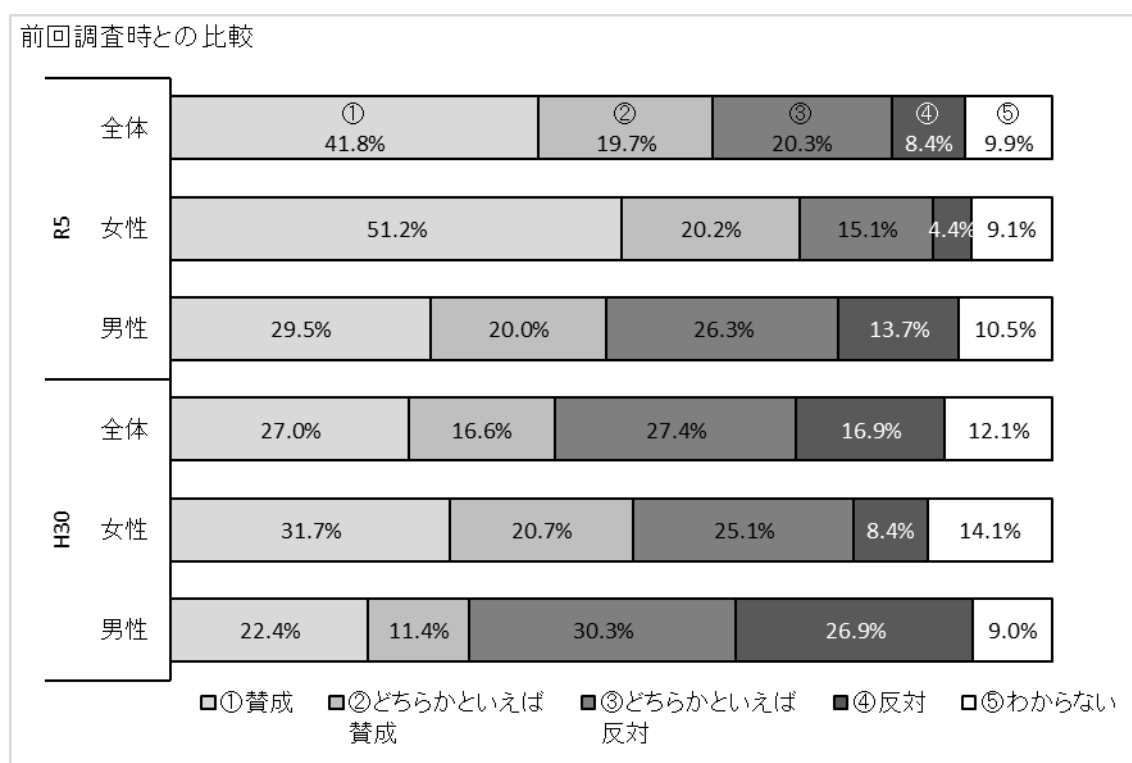


(3) 結婚・家庭に対する意識について

① 結婚・家庭に対する意識

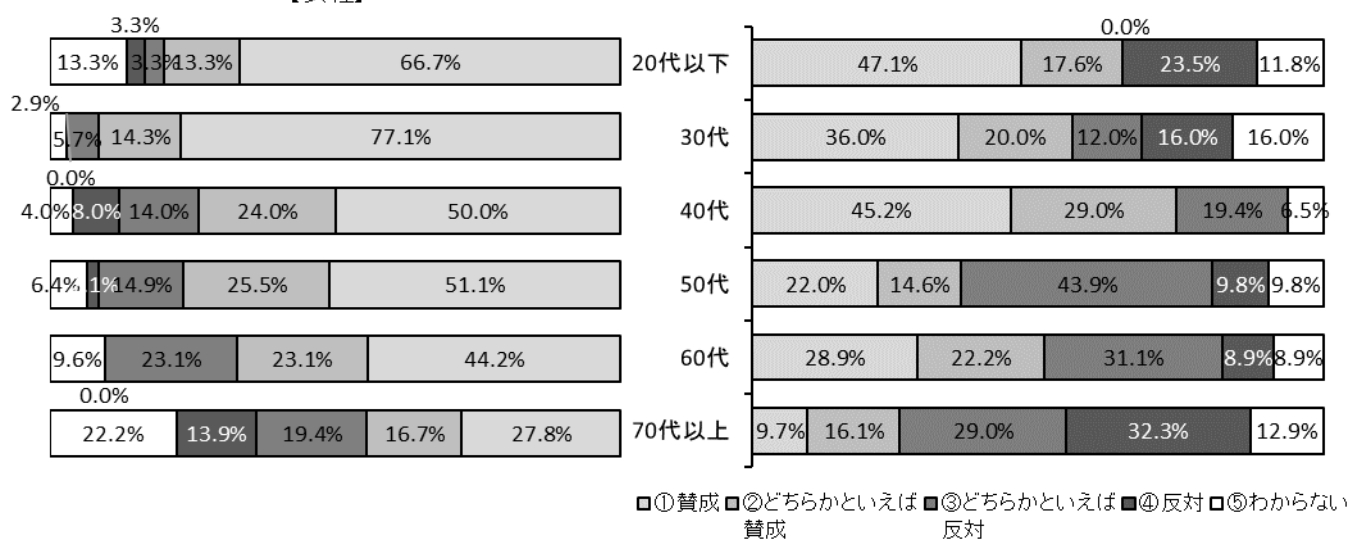
■結婚してもしなくてもどちらでもよい

全体では、「賛成」「どちらかといえば賛成」と回答した人が61.5%であり、前回（43.6%）に比べて17.9ポイントと大きく増えている。特に女性では51.2%が「賛成」している。年代別では、男女とも20代、30代で「賛成」とする傾向があり、特に女性の20代、30代では7割近くが「賛成」としている。



【女性】

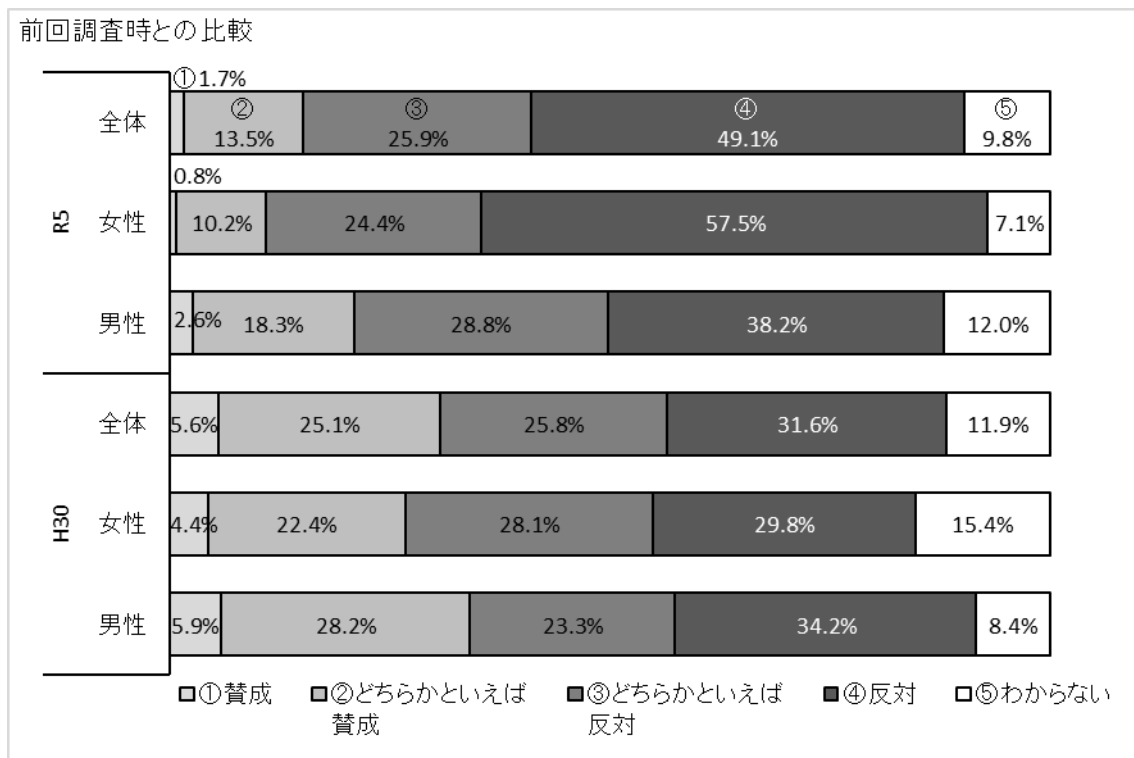
【男性】



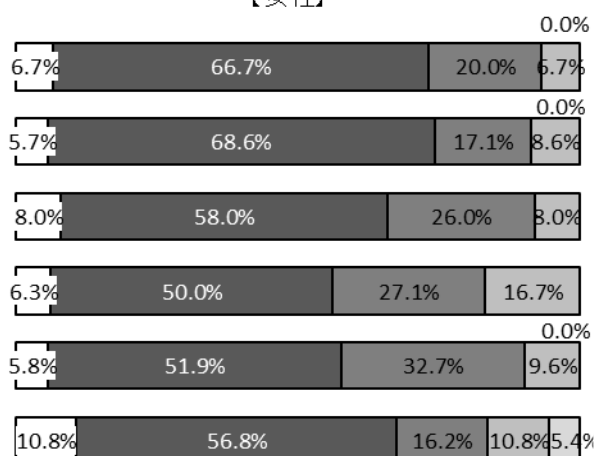
■男性は仕事をし、女性は家庭を守るべきである

全体では、「どちらかといえば反対」、「反対」と回答した人は、75.0%であり、前回（57.4%）と比べて17.6ポイントと大きく増えている。

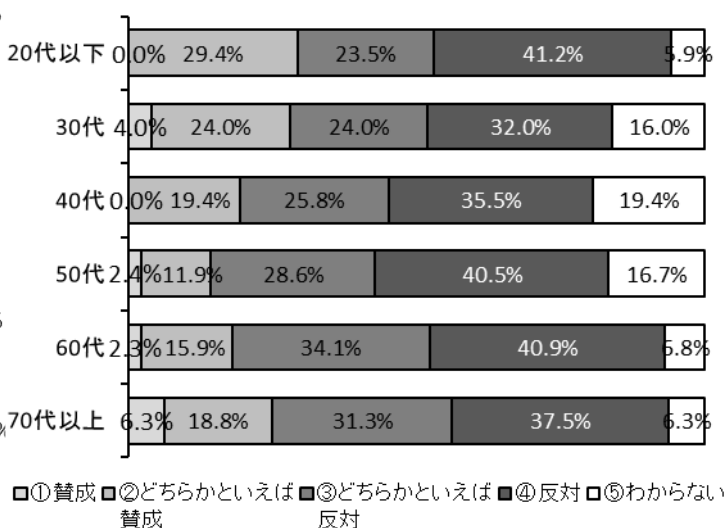
男性の20代、30代で「どちらかといえば賛成」がほかの年代よりも多い。



【女性】



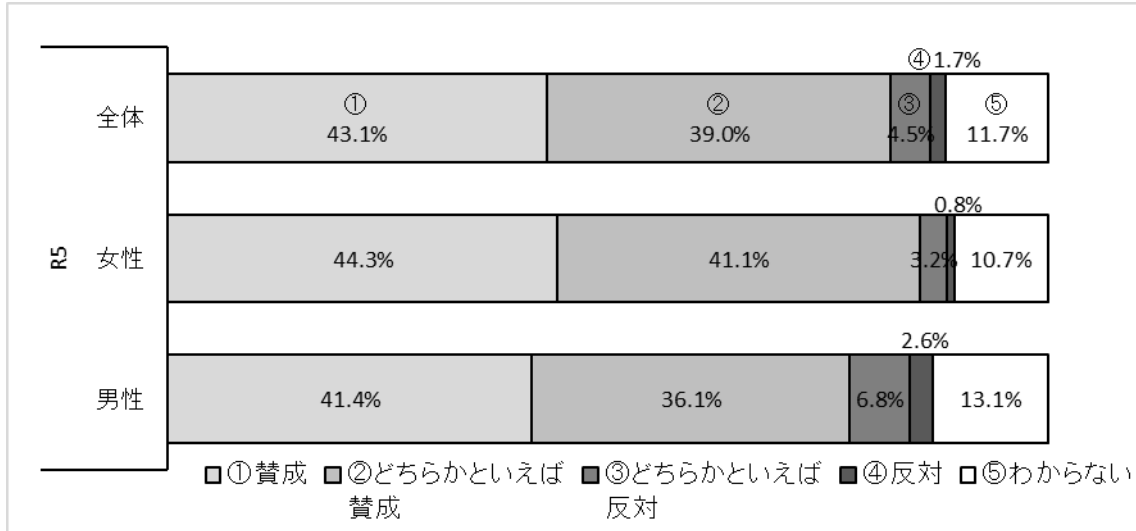
【男性】



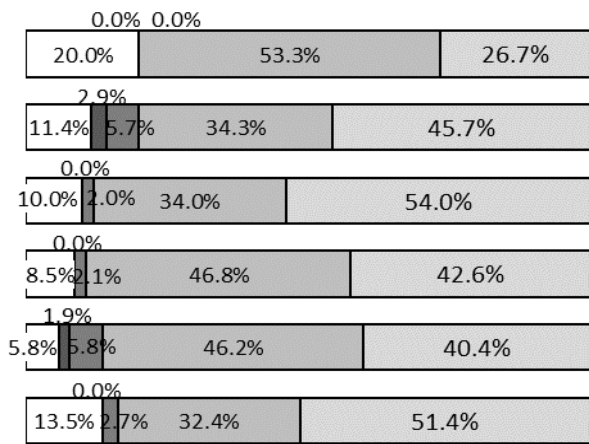
■男女とも仕事に就いた方がよい

全体では、「賛成」「どちらかといえば賛成」と回答した人は、82.1%と多くを占めている。女性の40代、70代以上、男性の70代以上で5割以上が「賛成」しており、ほかの年代よりも多い。

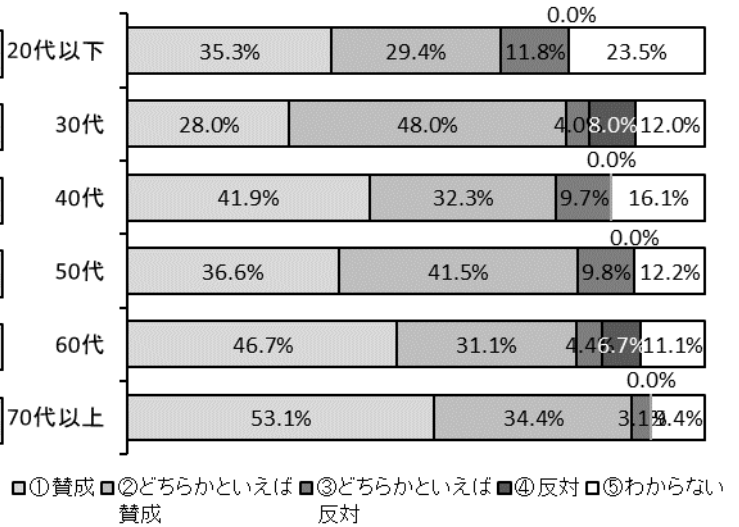
令和5年度より調査



【女性】



【男性】

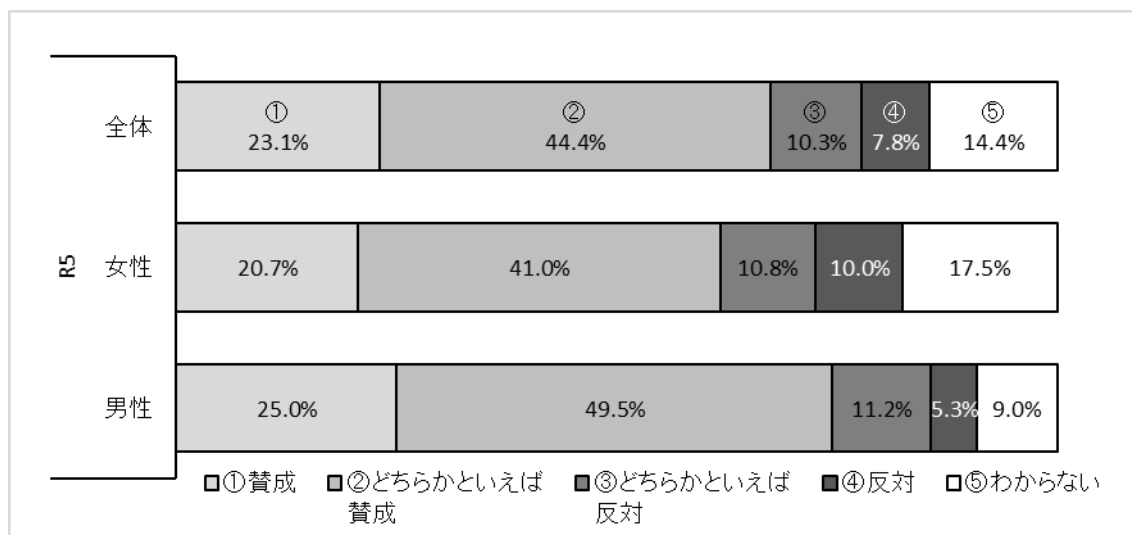


■子どもが幼いうちは、女性は家庭にいた方がよい

全体では、「賛成」「どちらかといえば賛成」と回答した人は、67.5%と多くを占めている。特に女性の50代、70代以上、男性の40代、60代以上では7割を超えている。

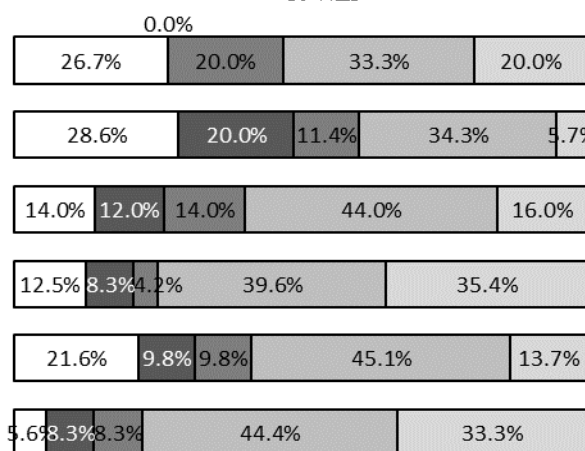
一方で、女性の30代、男性の20代では「どちらかといえば反対」「反対」と回答した人が3割以上おり、ほかの年代よりも多い。

※令和5年度より調査



【女性】

【男性】

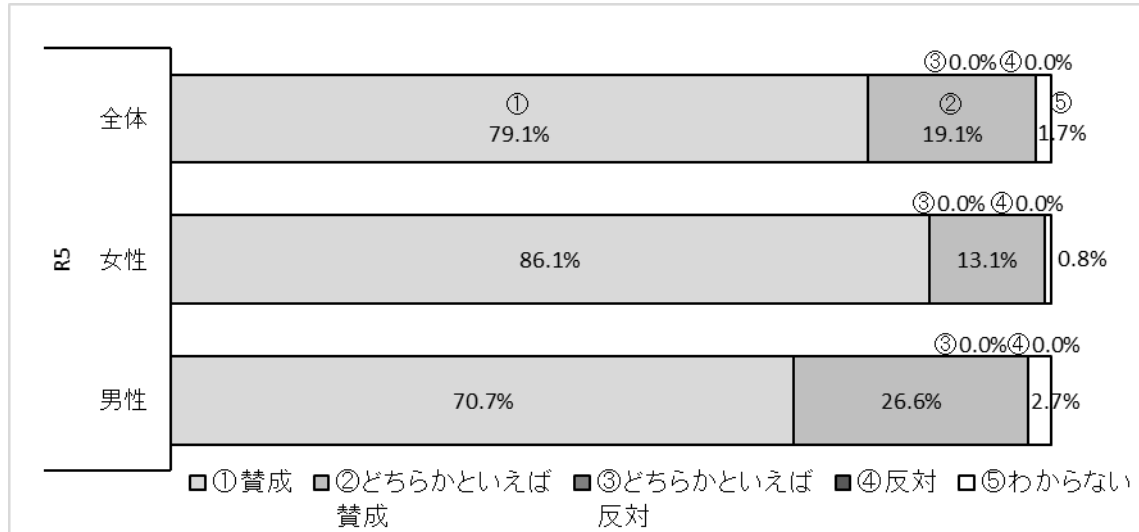


□① 賛成 □② どちらかといえば賛成 □③ どちらかといえば反対 □④ 反対 □⑤ わからない

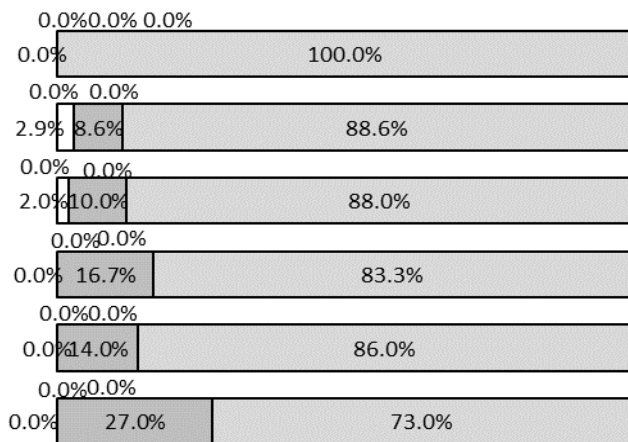
■家事・子育て・介護は男女が協力してやるべきだ

全体では、「賛成」「どちらかといえば賛成」と回答した人は、98.2%と圧倒的に多くを占めている。男女ともに年代が若くなるほどそう思う傾向が強い。

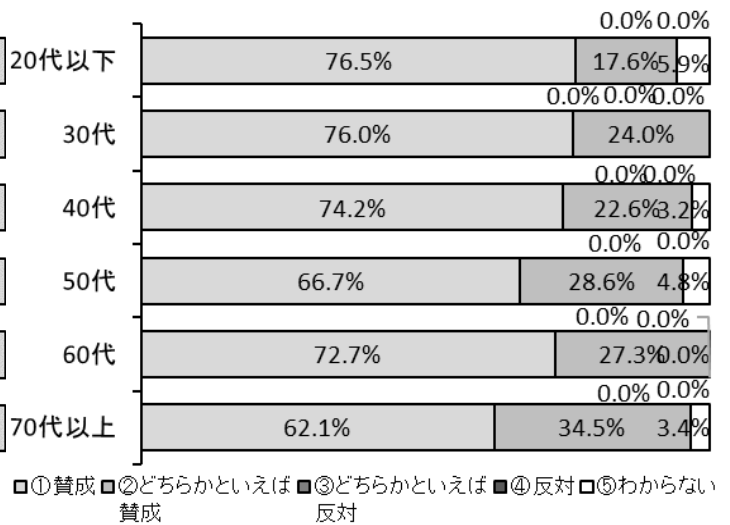
※令和5年度より調査



【女性】



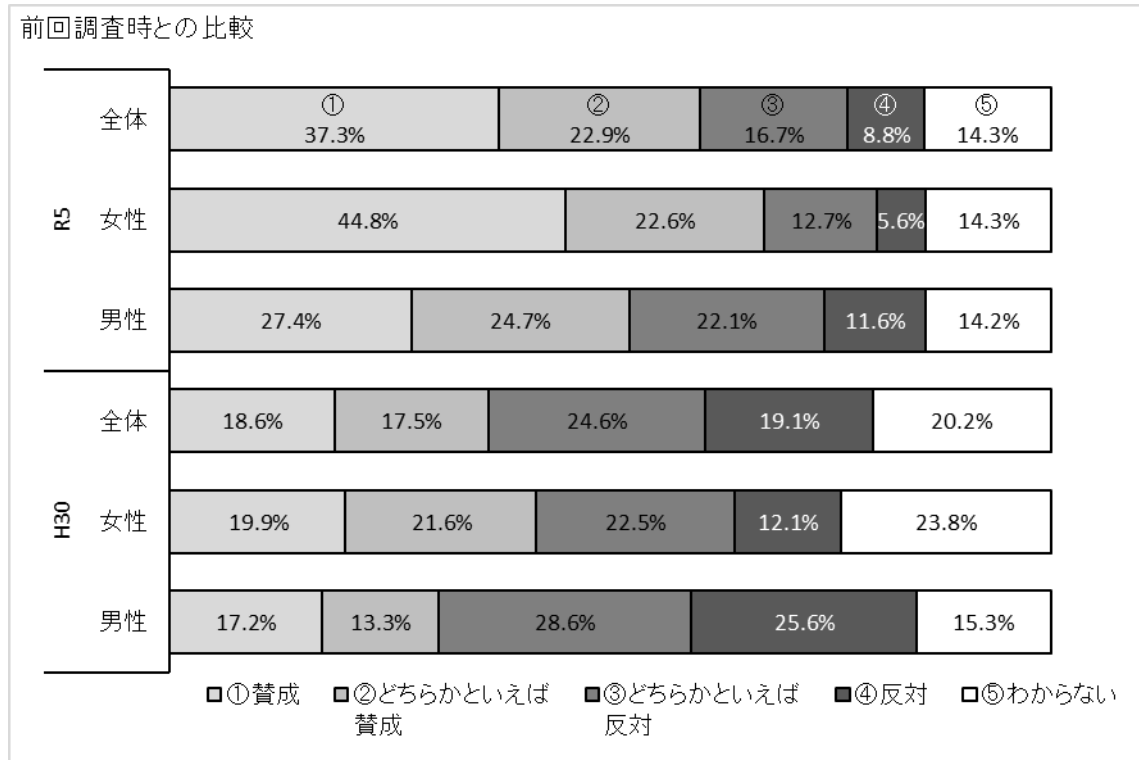
【男性】



□① 賛成 □② どちらかといえば賛成 □③ どちらかといえば反対 □④ 反対 □⑤ わからない

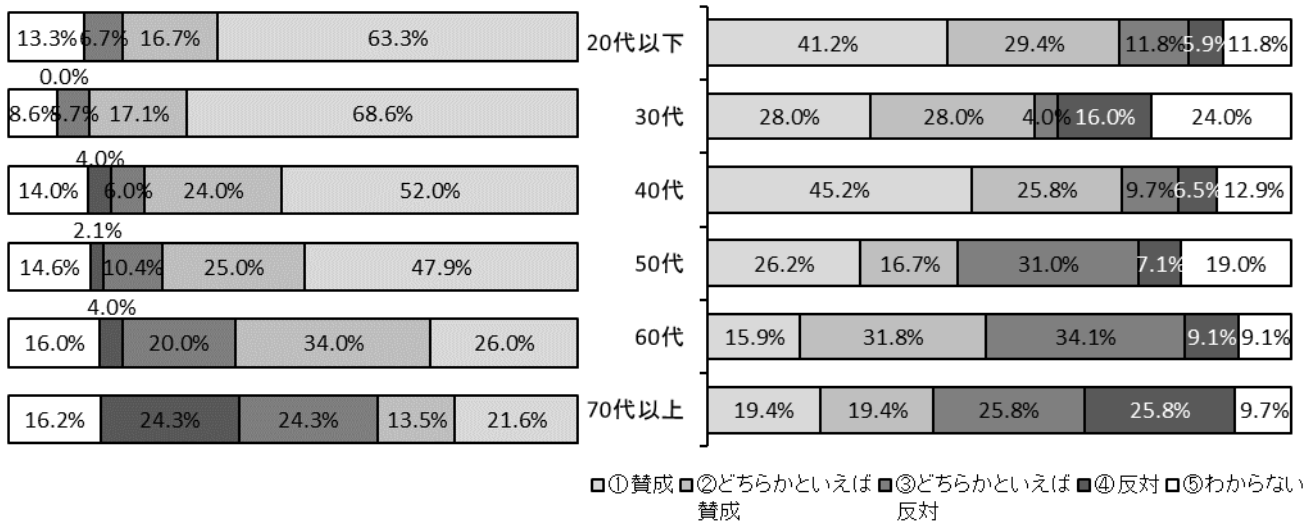
■結婚しても必ずしも子どもを持つ必要はない

全体では、「賛成」「どちらかといえば賛成」と回答した人は、60.2%であり、前回（36.1%）と比べて24.1ポイント増えている。必ずしも子どもを持つ必要はないと考える人が増えている。特に男女とも20代、30代、40代に多く、女性は5割を超えている。



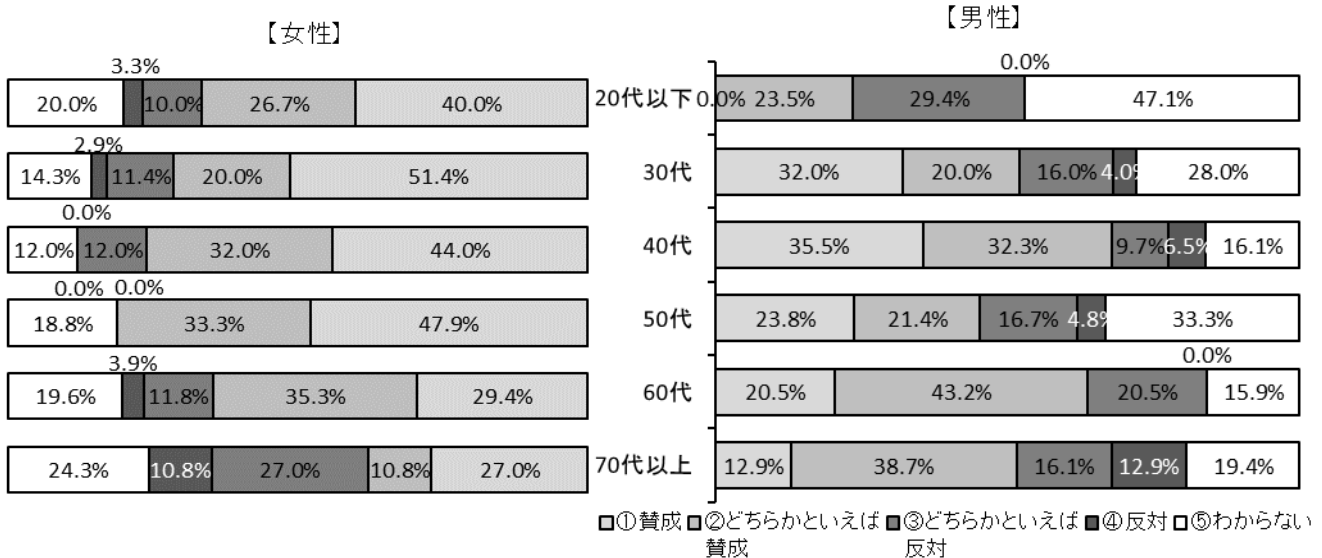
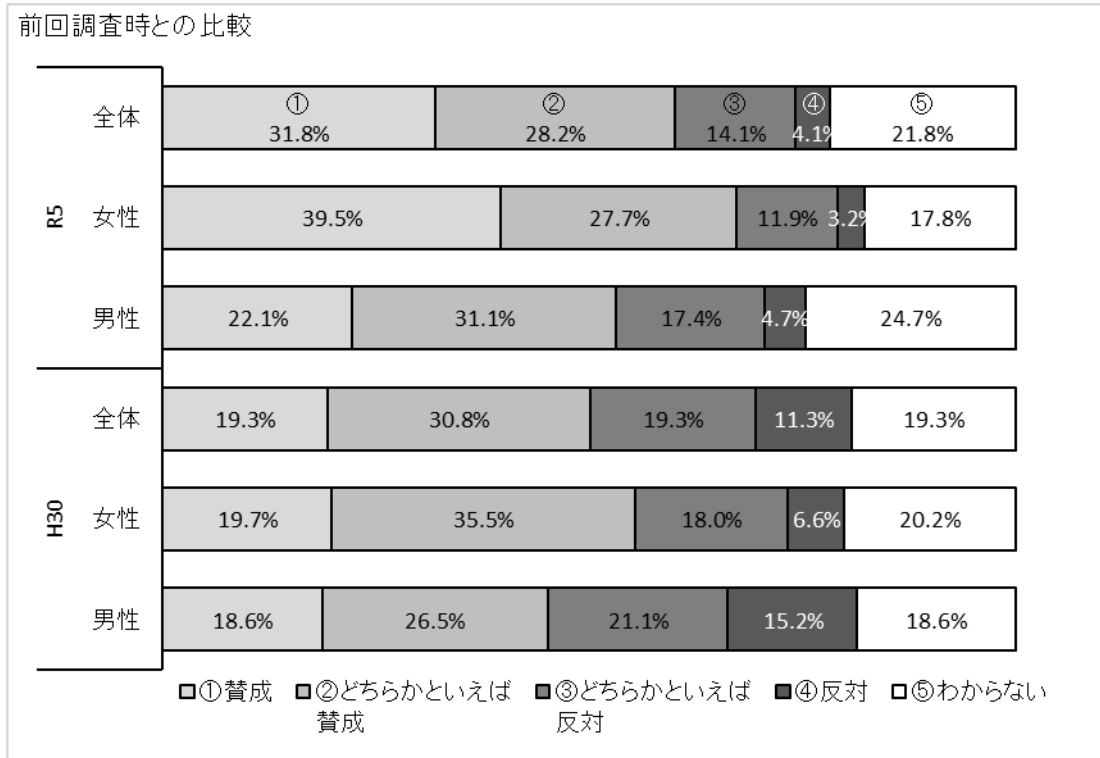
【女性】

【男性】



■結婚して相手に満足できなければ離婚してもかまわない

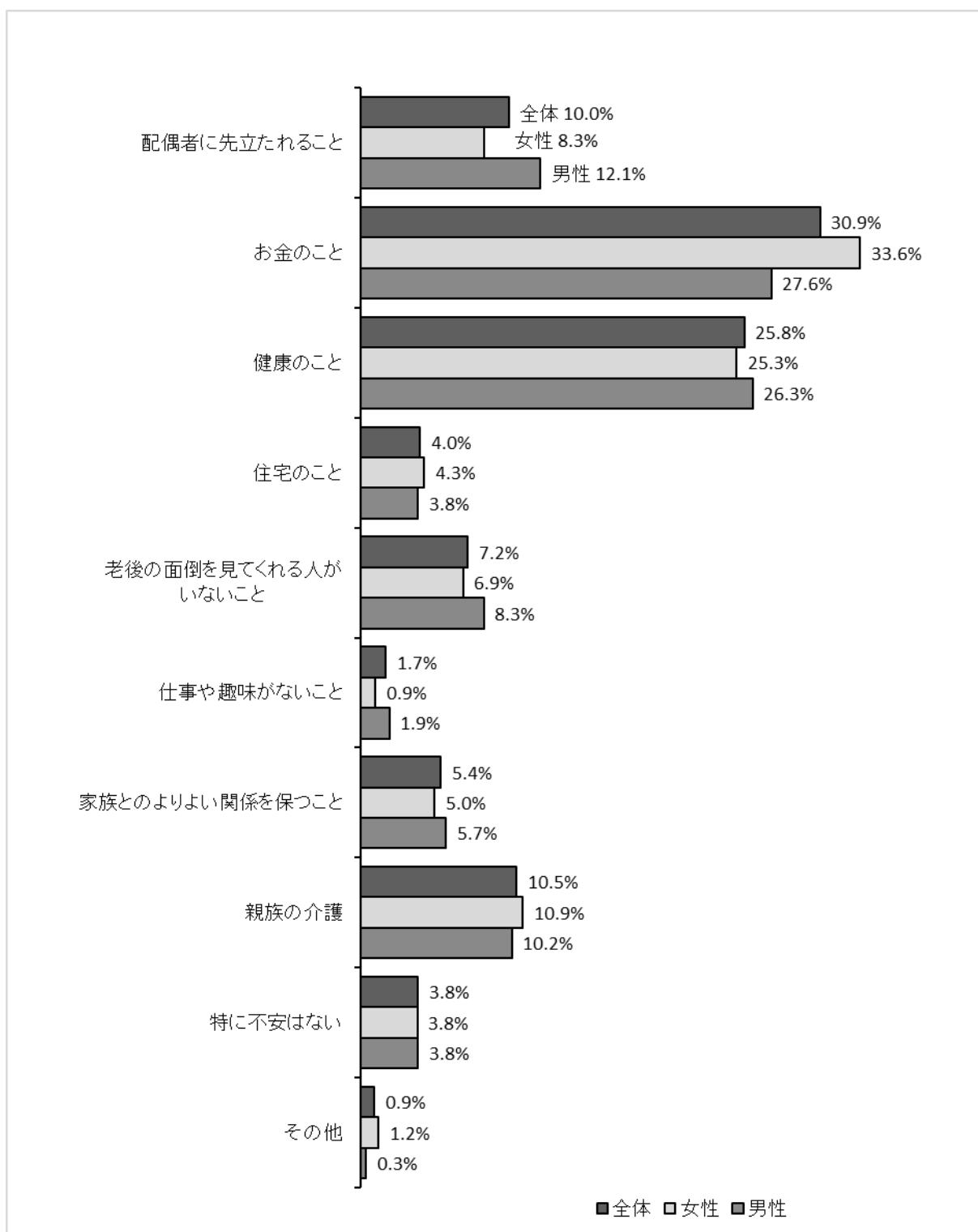
全体では、「賛成」、「どちらかといえば賛成」を合わせると、60.0%の人が離婚してもかまわないと回答している。前回（50.1%）と比べて9.9ポイント増えている。特に女性で多く、女性の30代、40代、50代では、「賛成」、「どちらかといえば賛成」を合わせると7割を超えている。



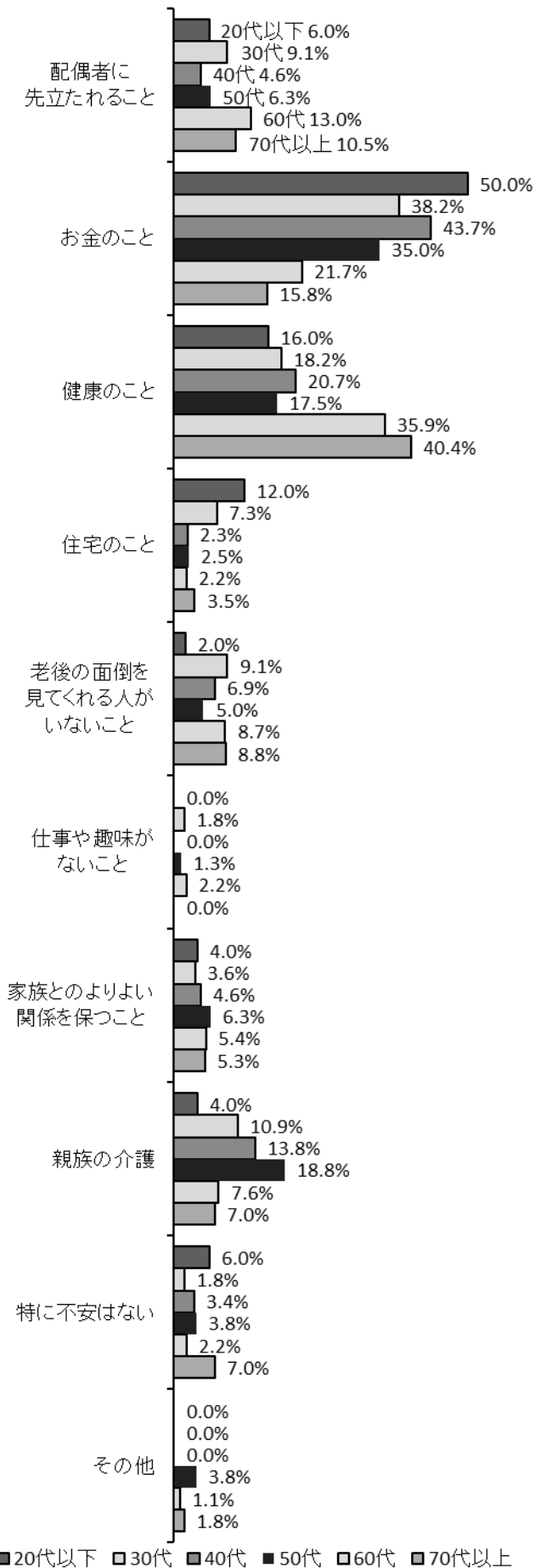
② 自身の生活において不安なこと

全体では、「お金のこと」(30.9%)、「健康のこと」(25.8%)と回答した人が多い。特に男女とも20代で「お金のこと」と回答する人が5割前後いる。

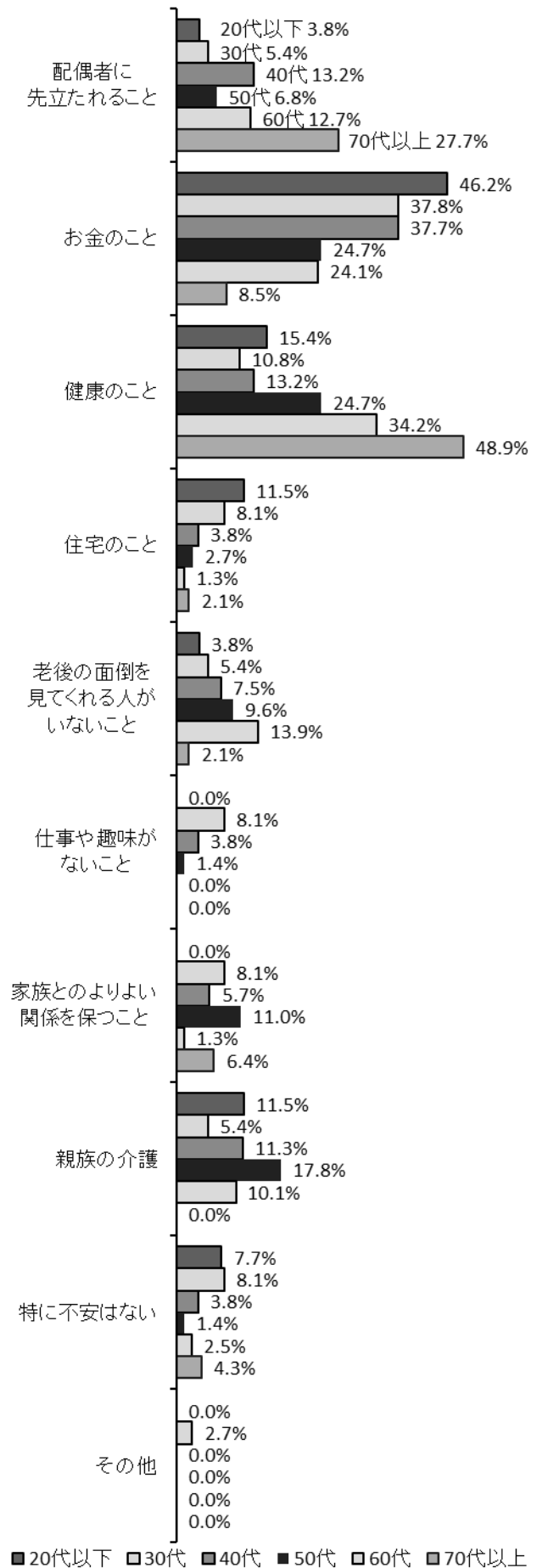
男性の70代以上で、「配偶者に先立たれること」と回答した人が、ほかの年代に比べて少し多くなっている。



【女性】



【男性】

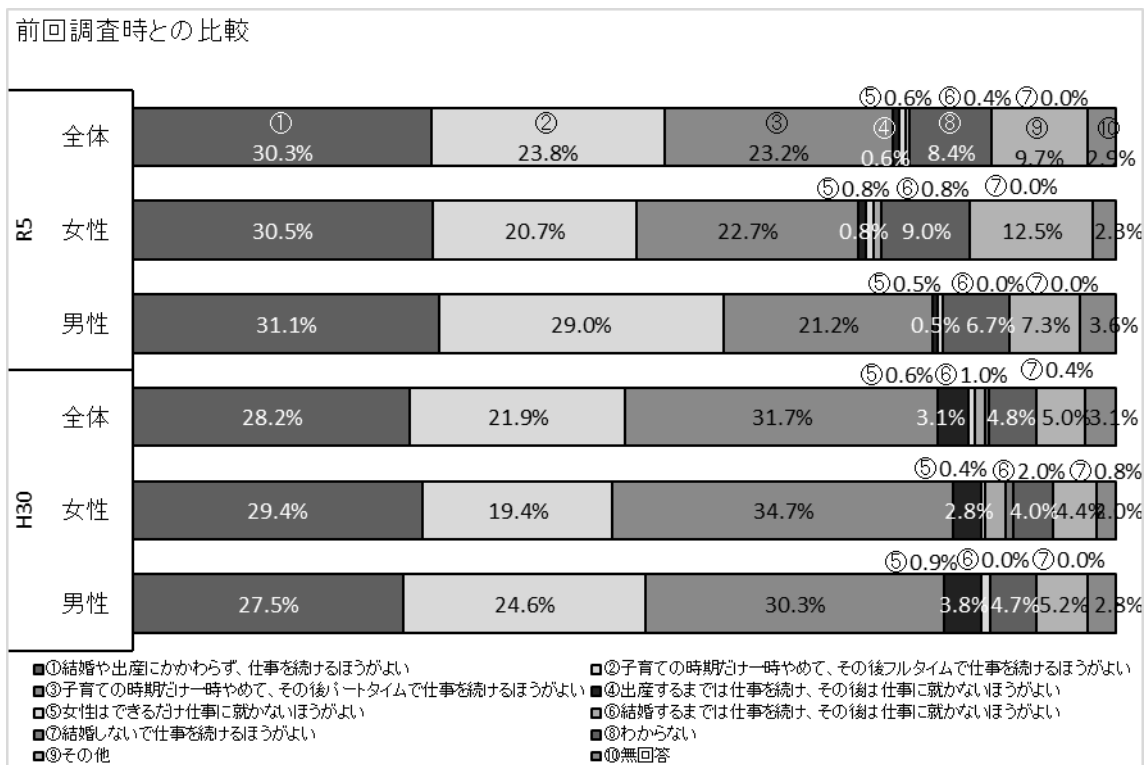


(4) 女性が仕事をすることに関する男女の意識について

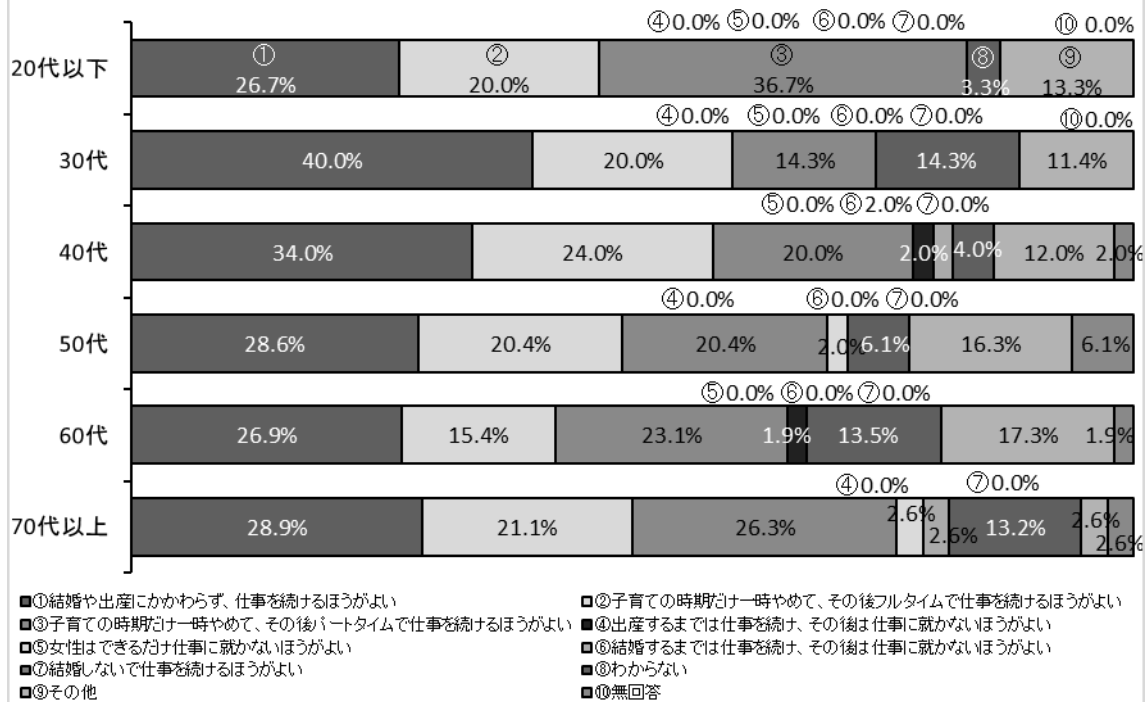
① 女性の就労のあり方

全体では、「結婚や出産にかかわらず、仕事を続けるほうがよい」と回答した人が30.3%に達し、前回一番多かった「子育ての時期だけ一時やめて、その後はパートタイムで仕事を続けるほうがよい」と逆転した。特に女性の30代で、「結婚や出産にかかわらず、仕事を続けるほうがよい」と回答した人が40.0%と多くなっている。

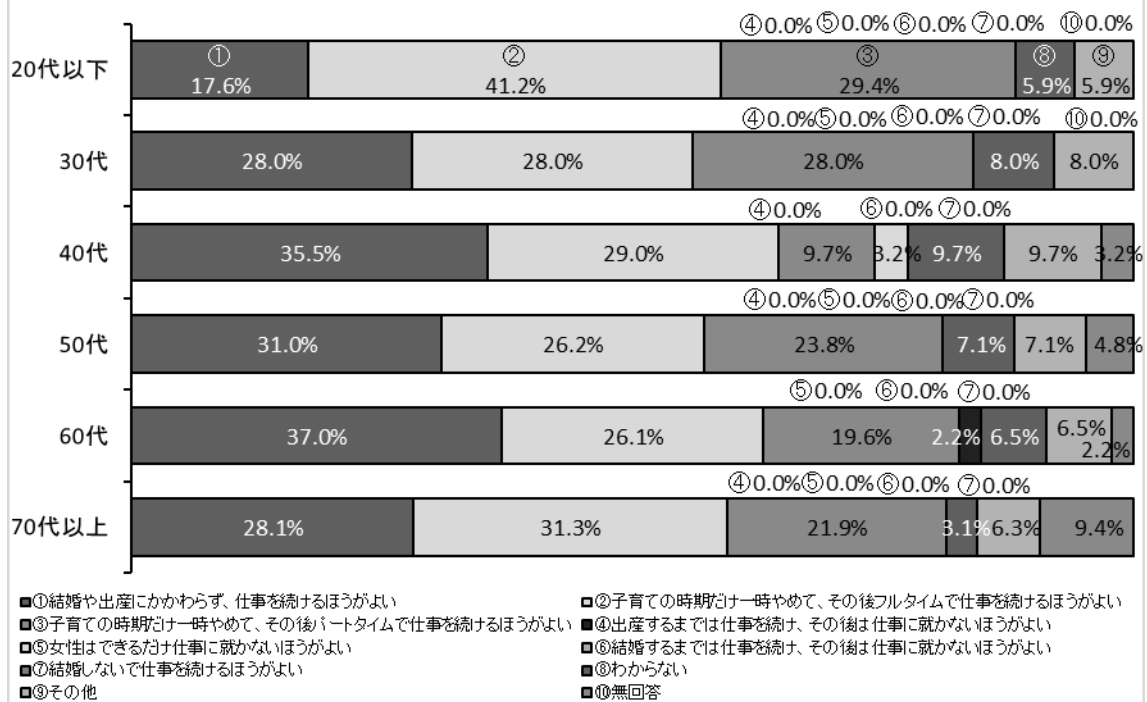
また、20代では、「子育ての時期だけ一時やめて、その後フルタイムで仕事を続けるほうがよい」、「子育ての時期だけ一時やめて、その後はパートタイムで仕事を続けるほうがよい」と回答した人も加えると女性では83.4%、男性では88.2%となり、共働きを意識している様子がうかがわれる。



【女性】



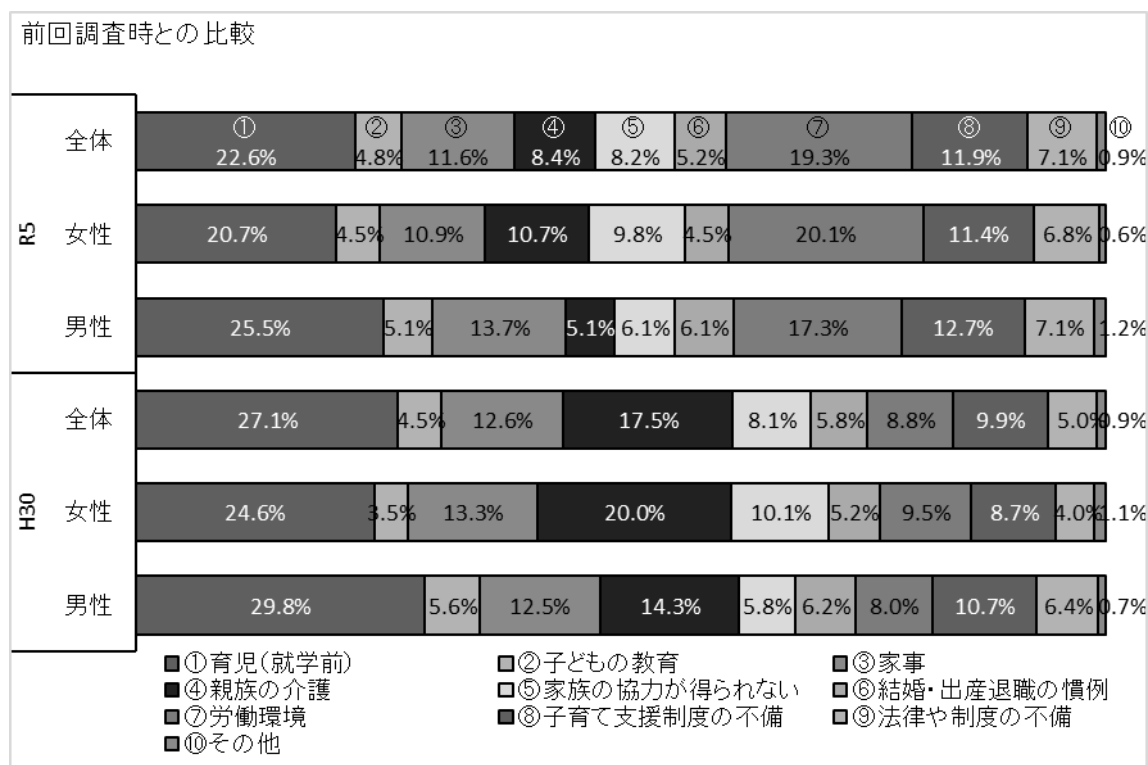
【男性】

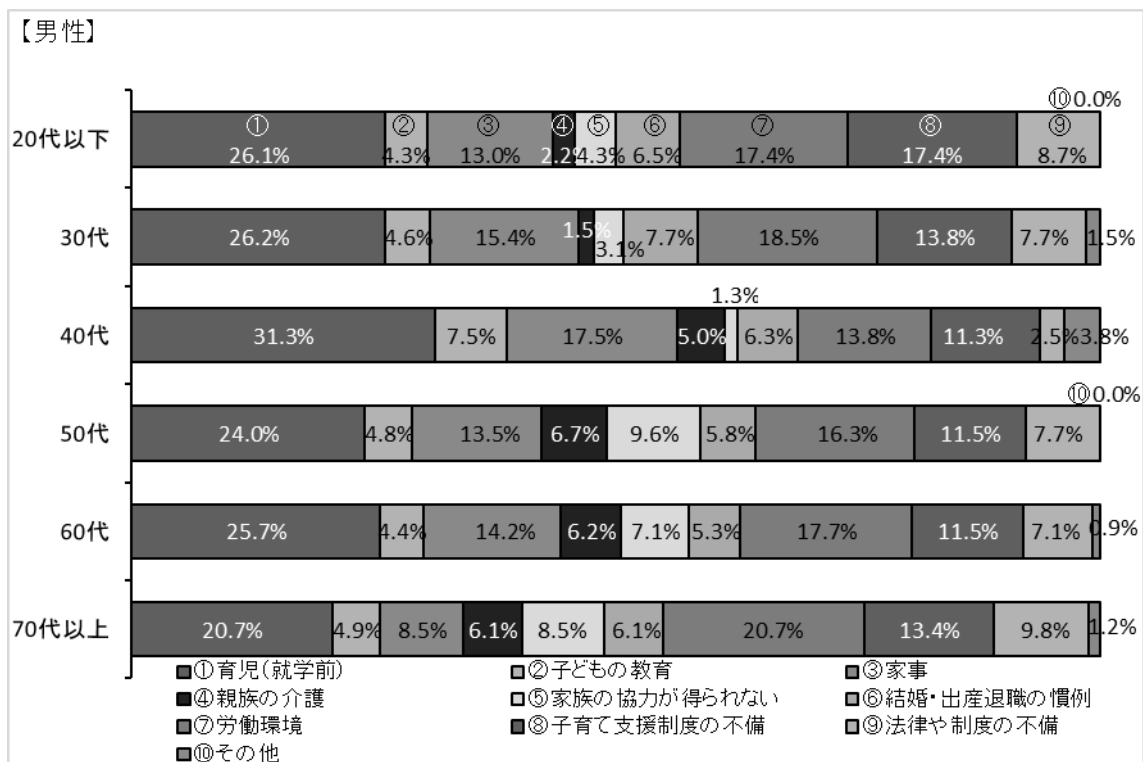
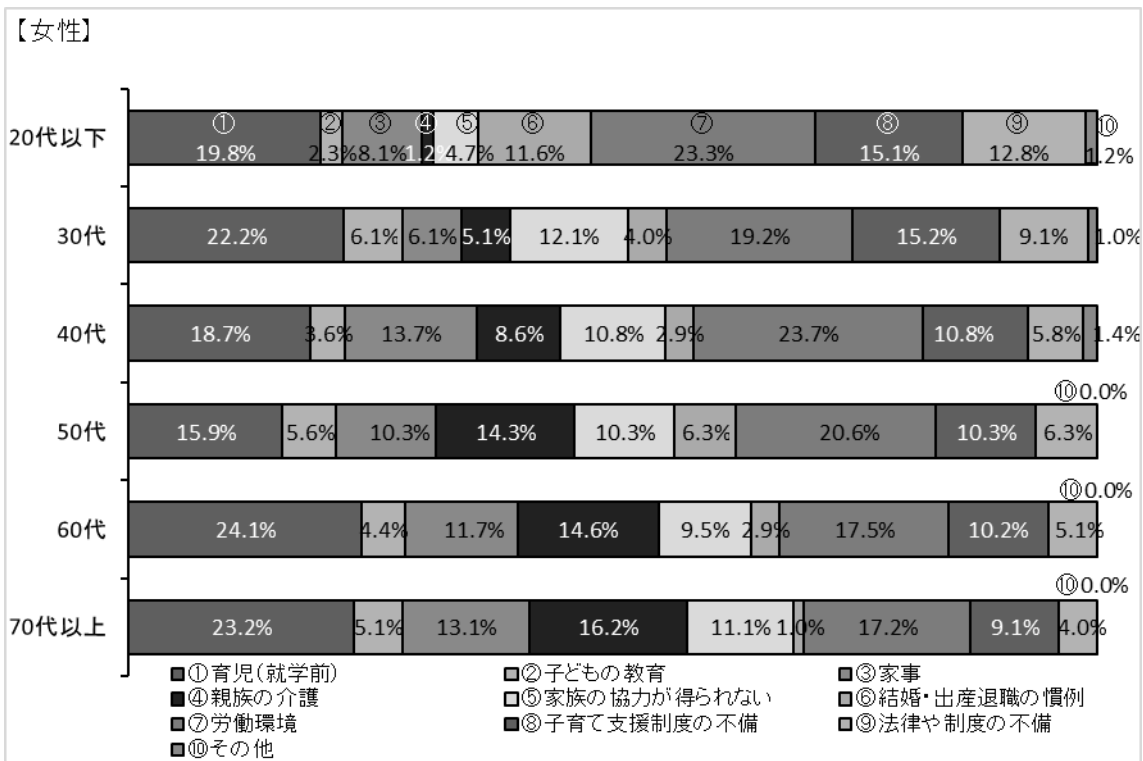


② 女性が意欲を持って働き続けるための課題

全体では、「育児」と回答した人（22.6%）が一番多く、次に「労働環境」（19.3%）、
「子育て支援制度の不備」（11.9%）となっている。なお、前回に比べて「親族の介護」
が9.1ポイント減ったが、「労働環境」は10.5ポイント増えた。

年代別では、男女とも40代で「家事」をあげている人が多い。また、年代が上がるほど
「親族の介護」をあげており、特に女性の50代以上でその傾向が顕著である。

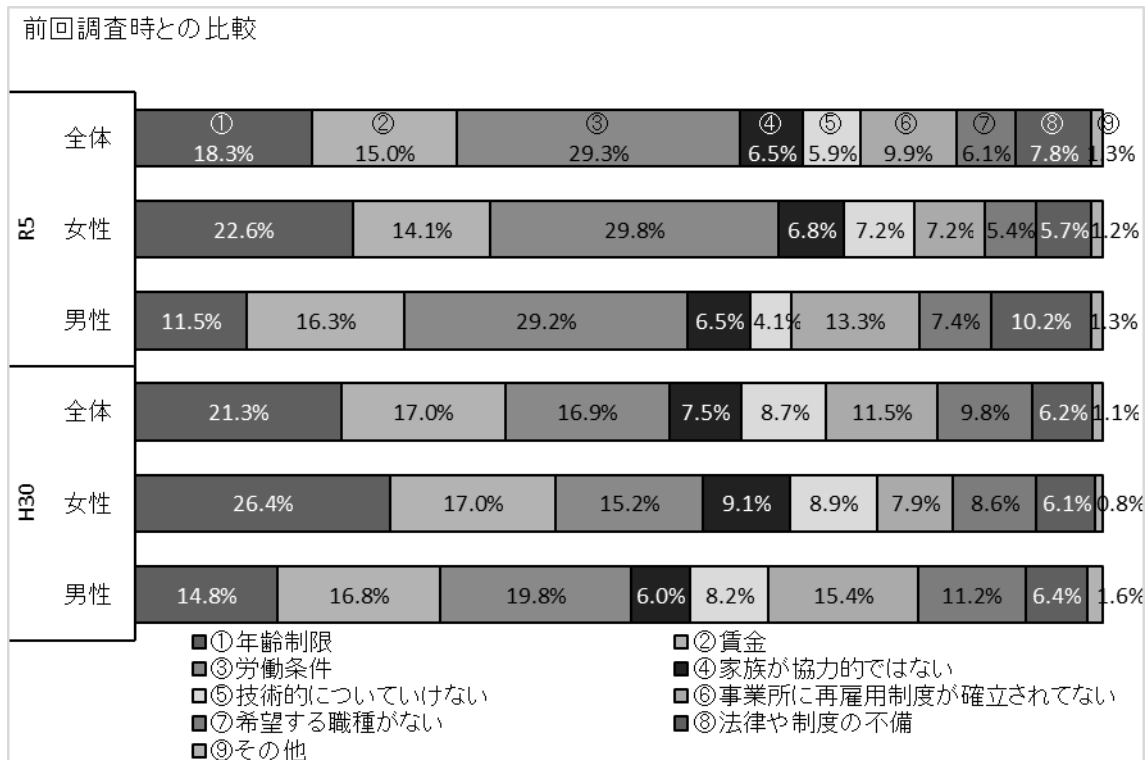




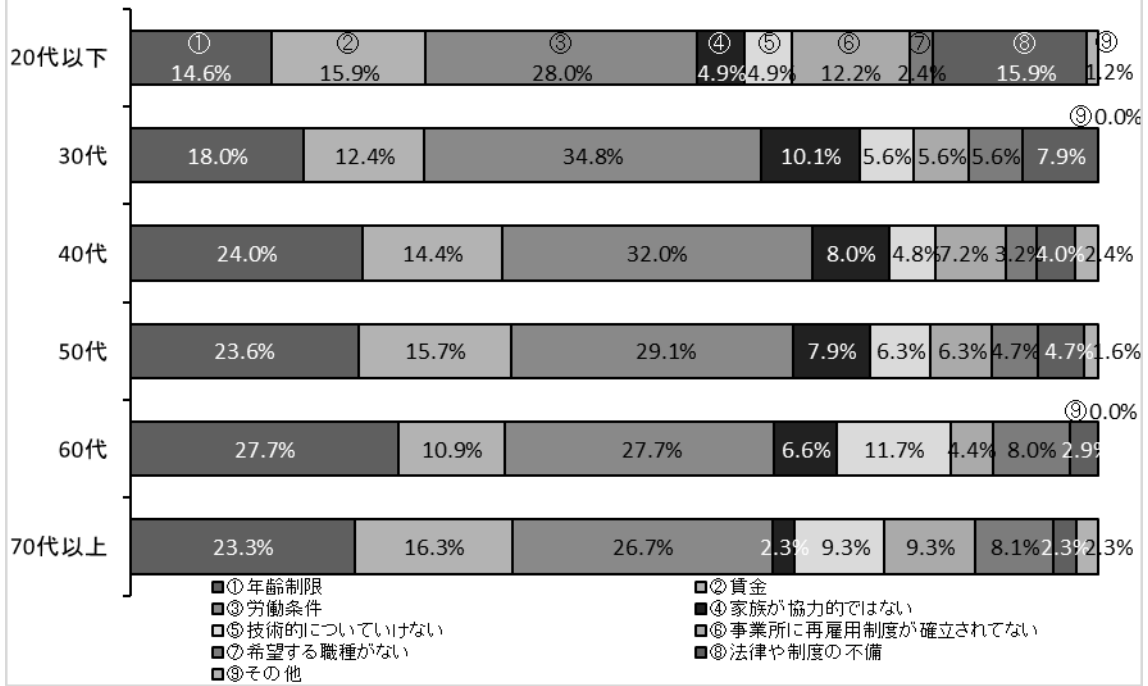
③ 女性が再就職しようとする場合の課題

全体では、「労働条件」と回答した人（29.3%）が多く、2番目に「年齢制限」（18.3%）、3番目に「賃金」（15.0%）としている。「労働条件」は前回（16.9%）に比べて12.4ポイントと大きく増えている。女性では「年齢制限」と回答した人が男性よりも多い。

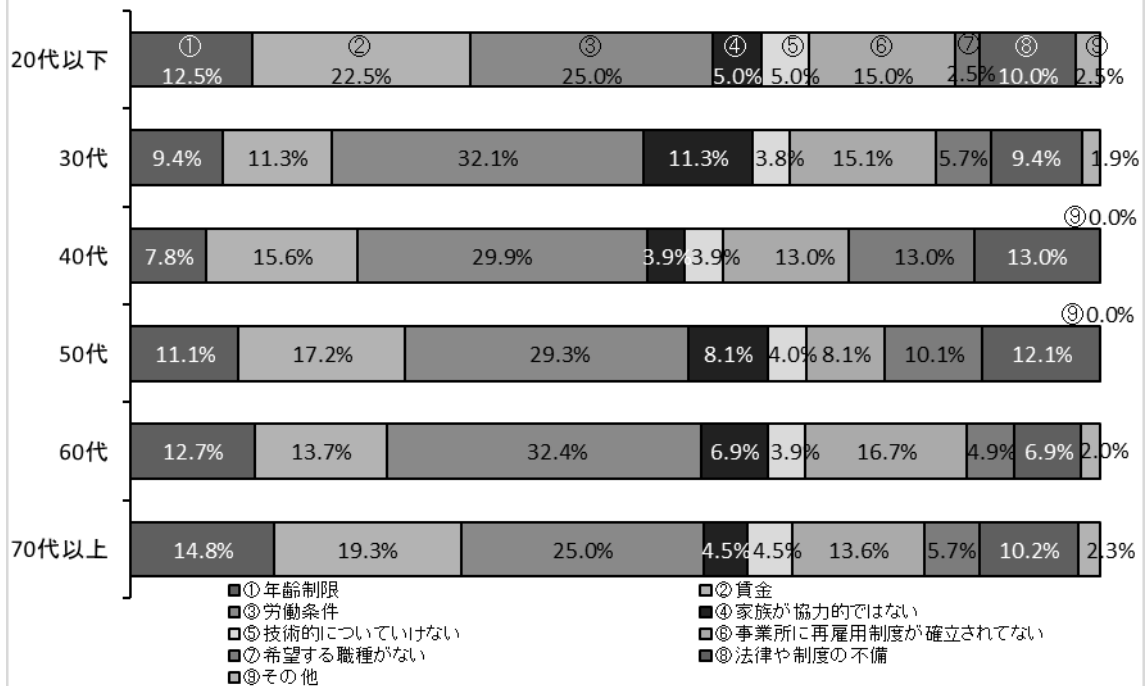
年代別で見ると、男女とも30代で上位3項目以外では「家族が協力的でない」と回答した人が多くなっている。



【女性】



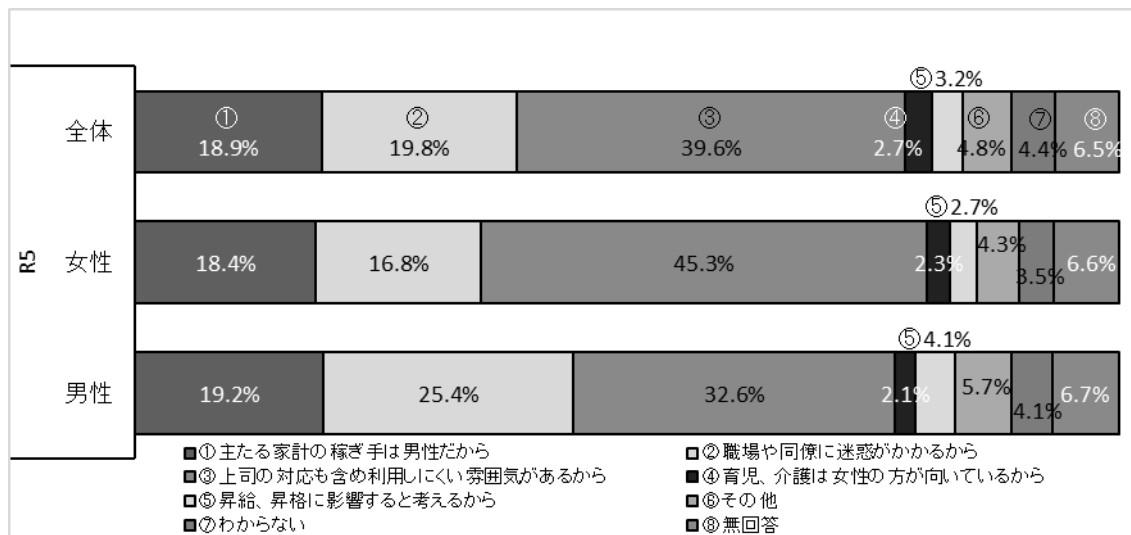
【男性】

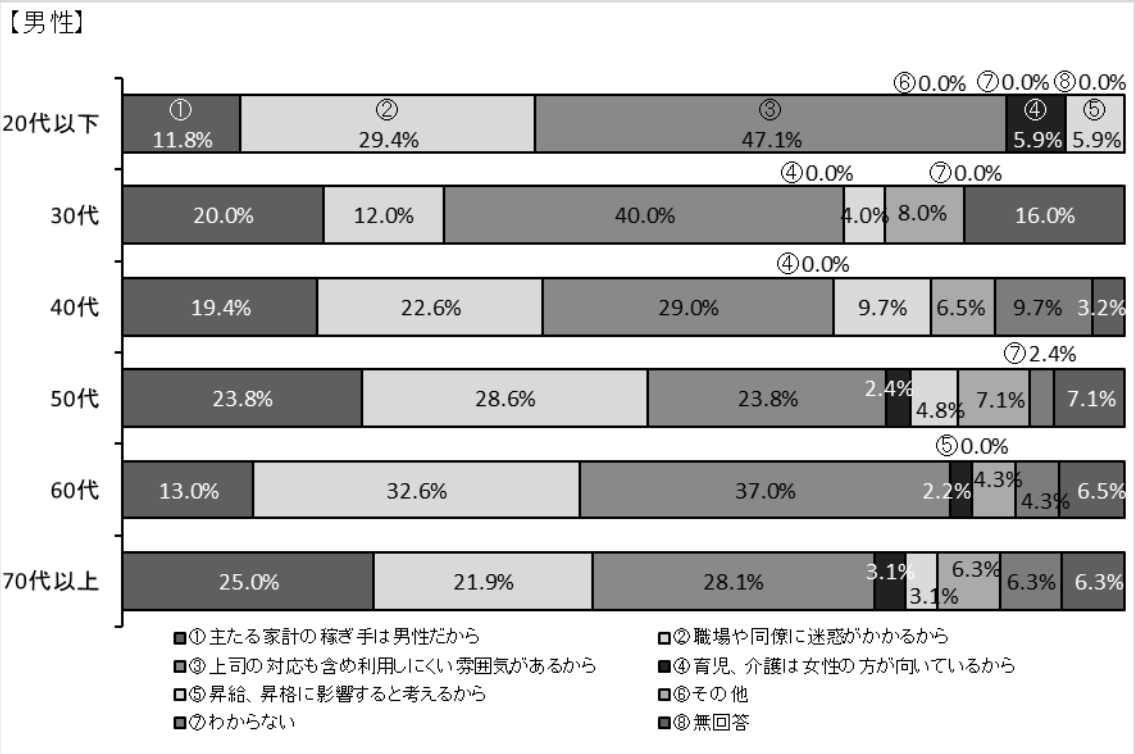
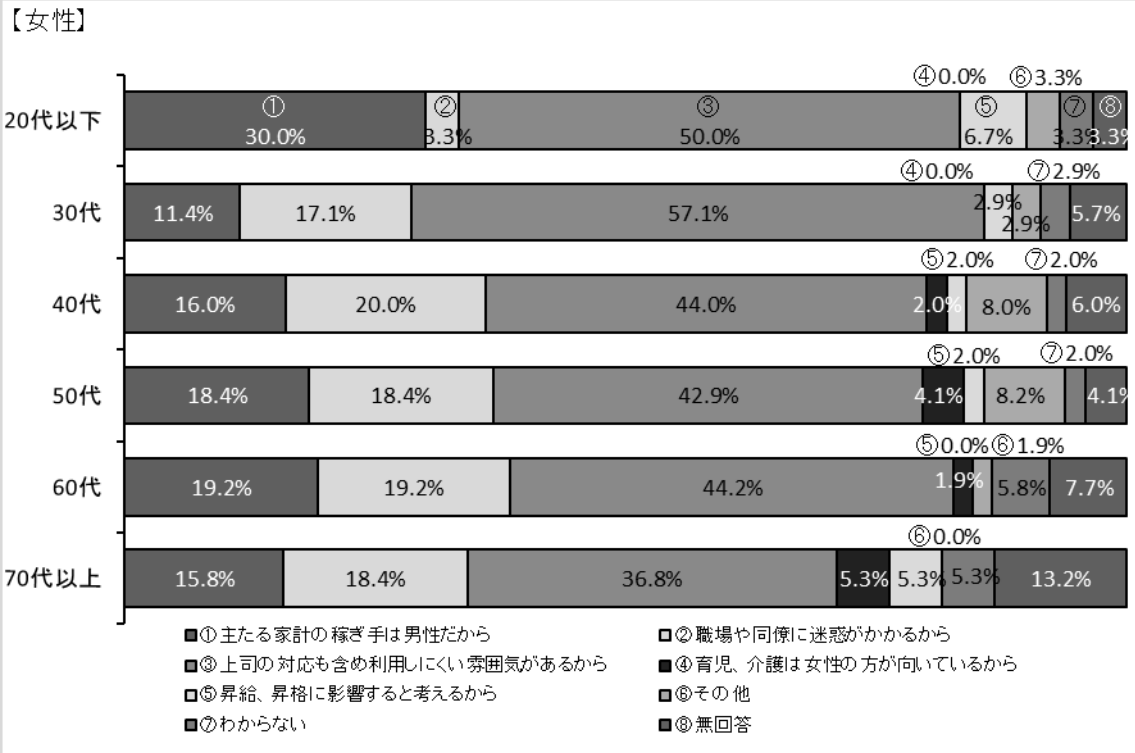


④ 男性の「育児・介護休業制度」の利用が進まない理由

全体では、「上司の対応も含め利用しにくい雰囲気があるから」と回答した人が39.6%と多い。次いで「職場や同僚に迷惑がかかるから」が19.8%であった。特に男女とも20代、30代がその傾向が強い。

※令和5年度より調査

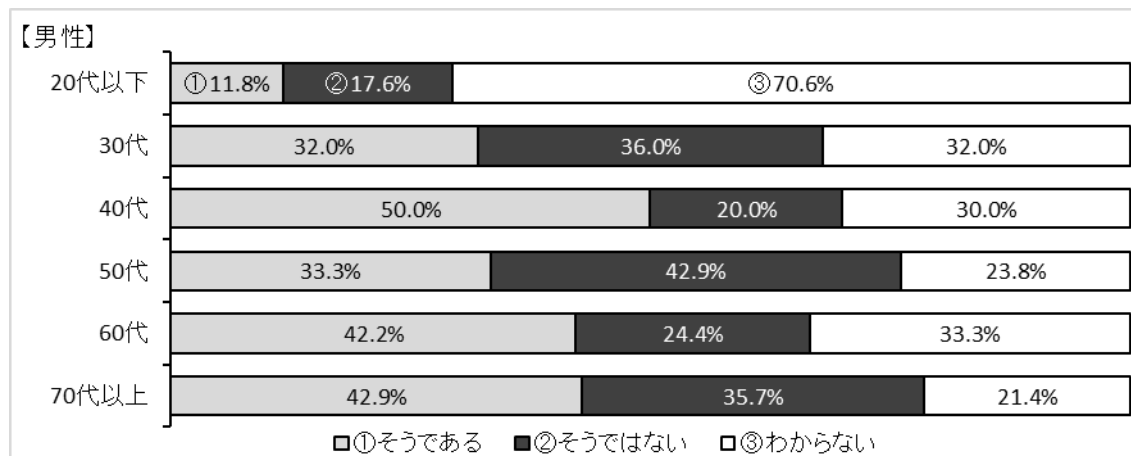
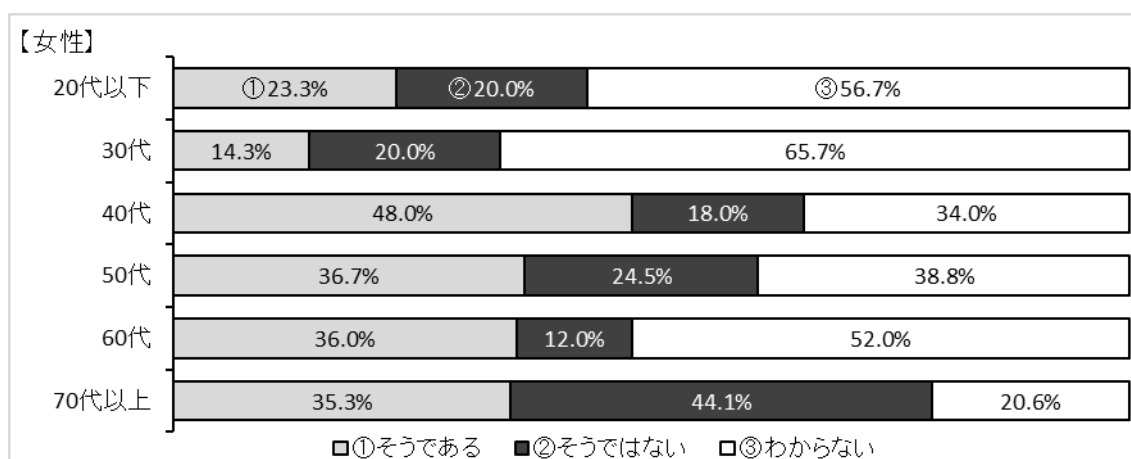
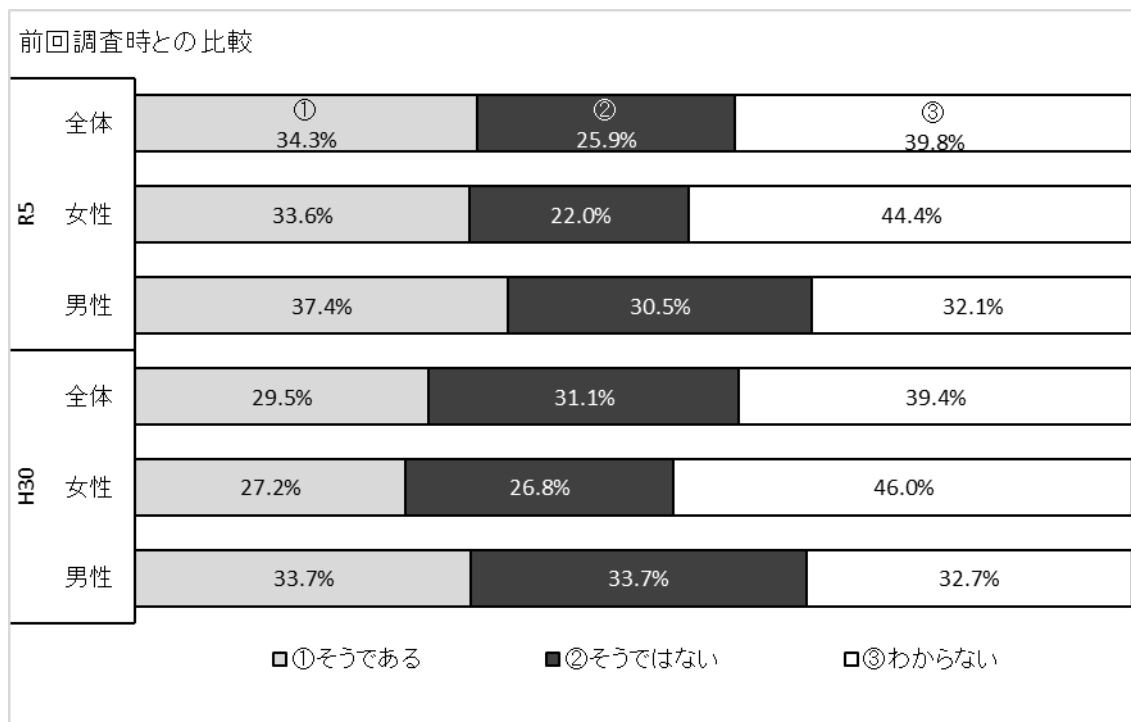




(5) 地域活動における男女共同参画の状況について

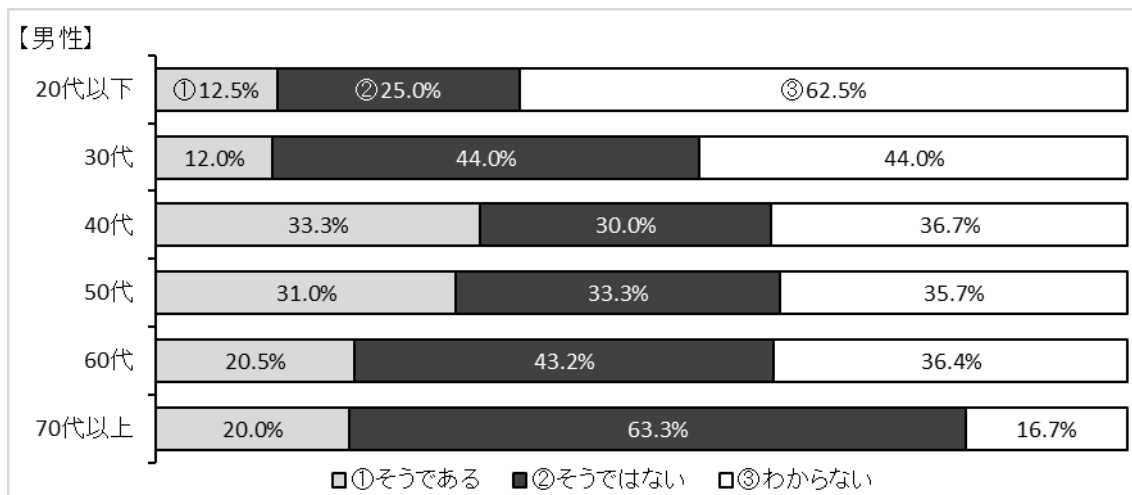
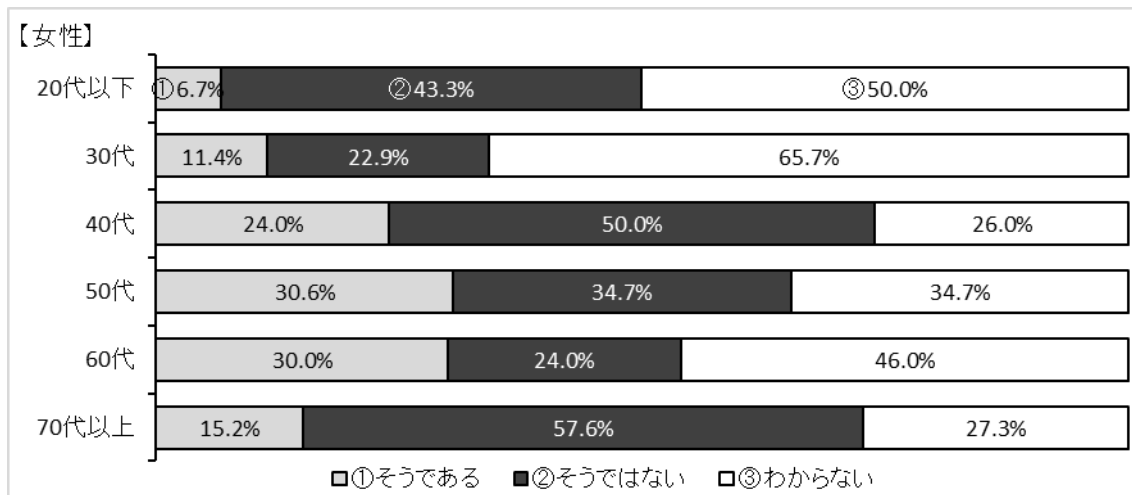
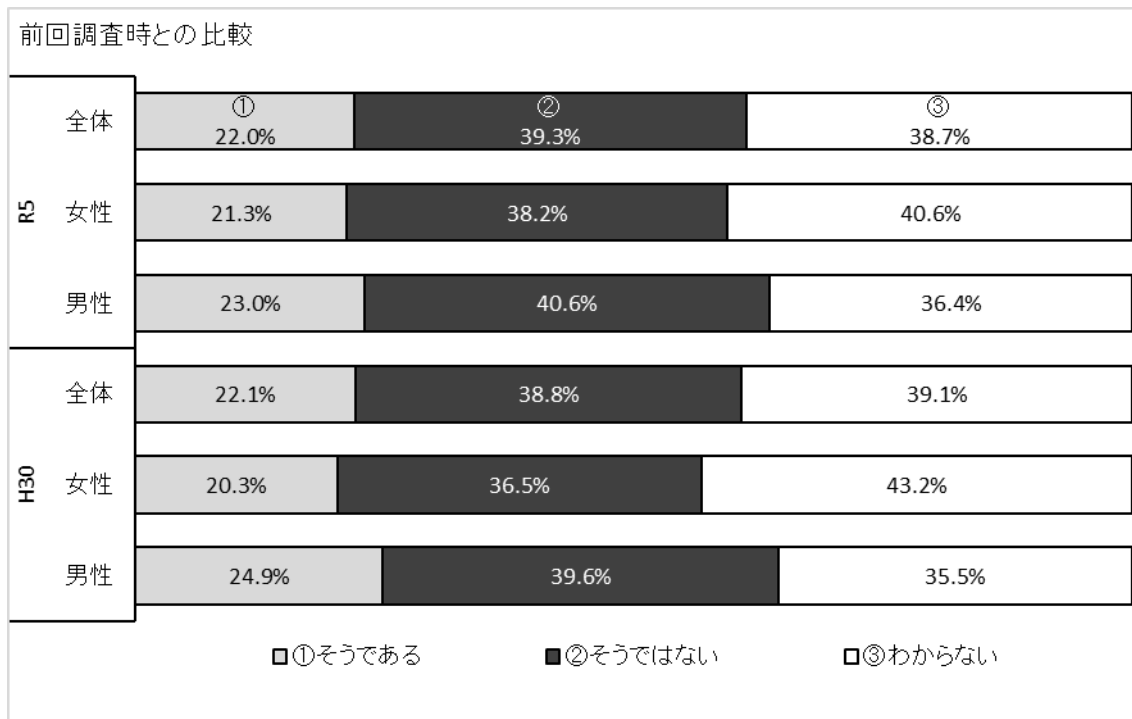
① 力仕事は男性、接待は女性と決まっている

全体では、34.3%が「そうである」と回答しており、前回(29.5%)に比べて4.8ポイント増えている。年代別でみると、男女とも40代で「そうである」が多く、女性の70代以上、男性の50代では「そうではない」が多い。



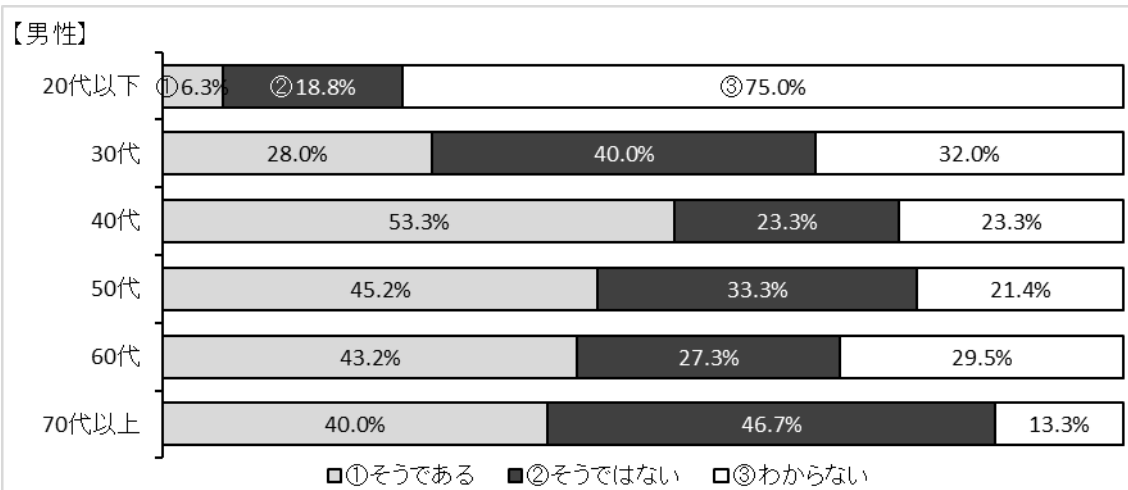
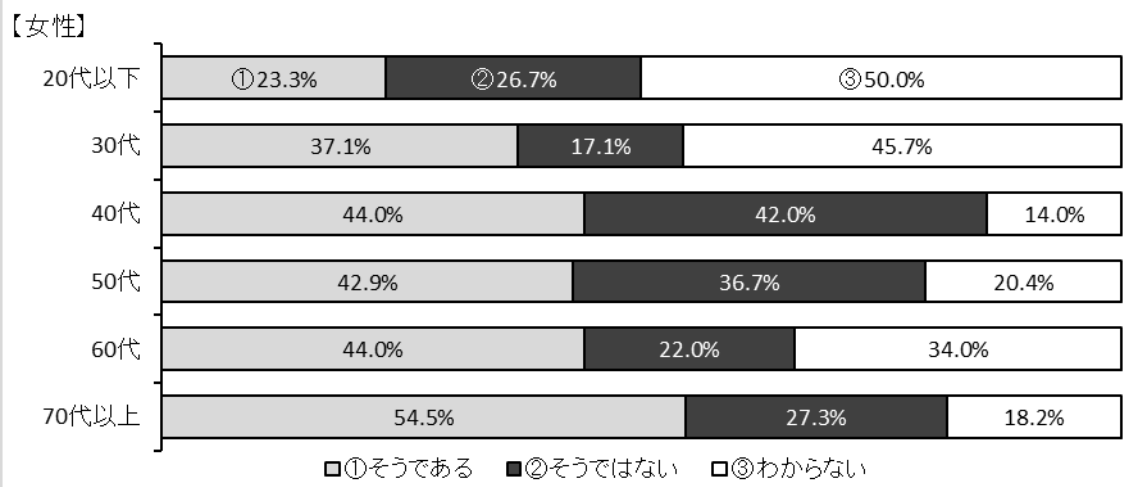
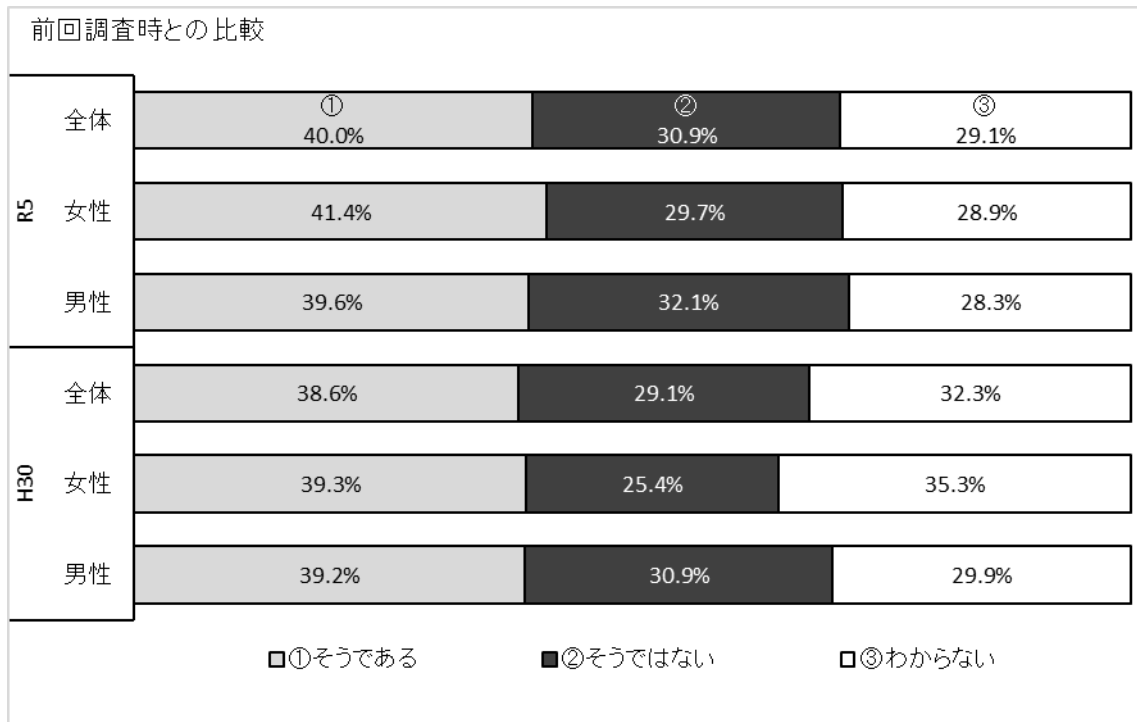
② 自治会やPTA会長は男性と決まっている

全体では39.3%が「そうではない」と回答しており、前回（38.8%）と比較して大きな変化は無い。年代別では、男女とも70代以上で6割前後が「そうではない」と回答しており、多い状況である。一方「そうである」と回答した人をみると、女性の50代、60代、男性の40代、50代が3割程いる。



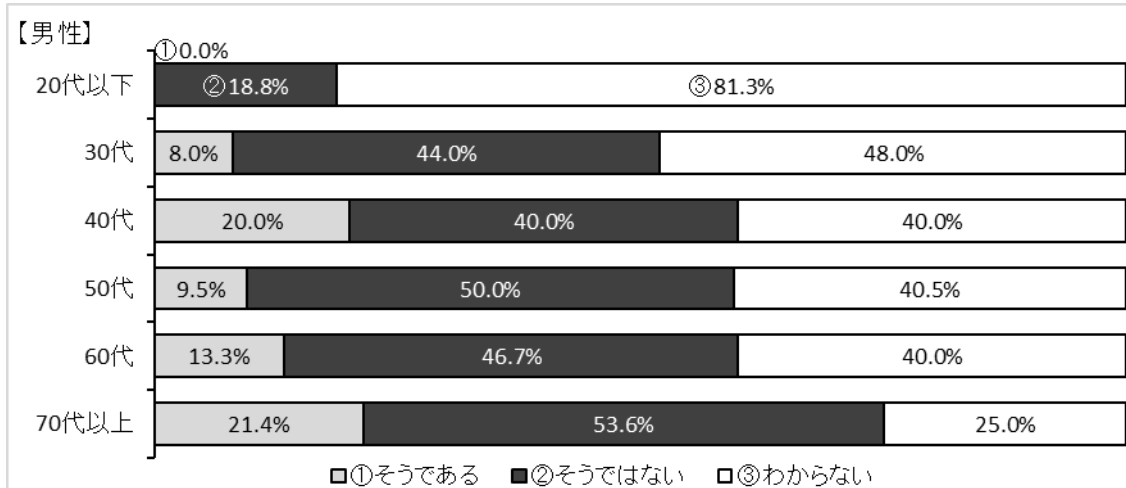
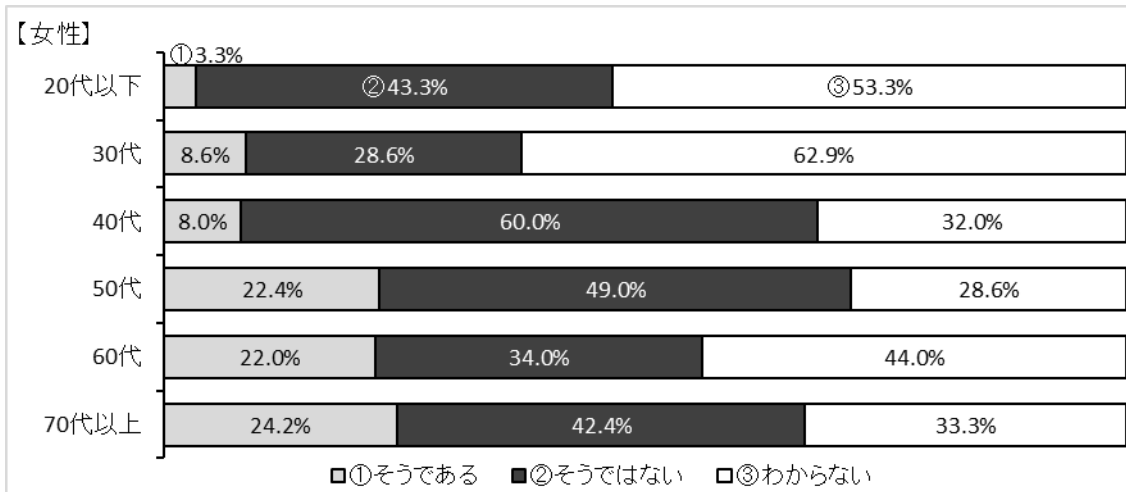
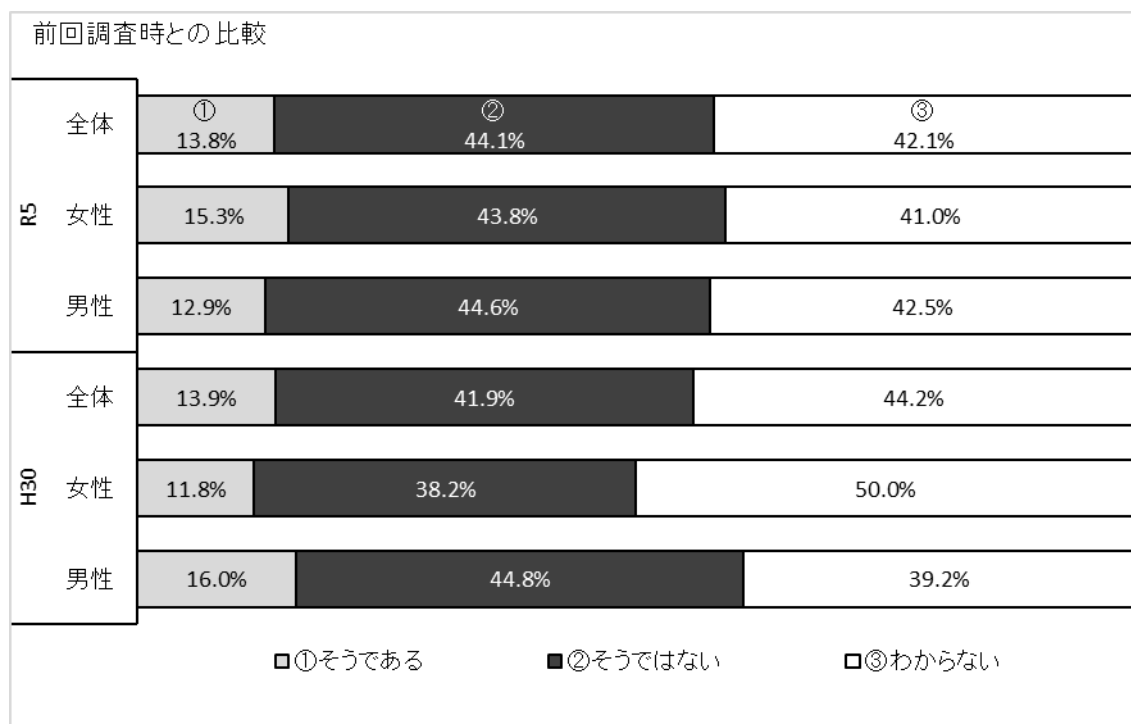
③ 自治会やPTAの責任ある役職はほとんどが男性である

全体では40.0%の人が「そうである」と回答しており、前回（38.6%）と比べて1.4ポイント増えている。男女とも40代以上では「そうである」と回答した人が4割を超えている。



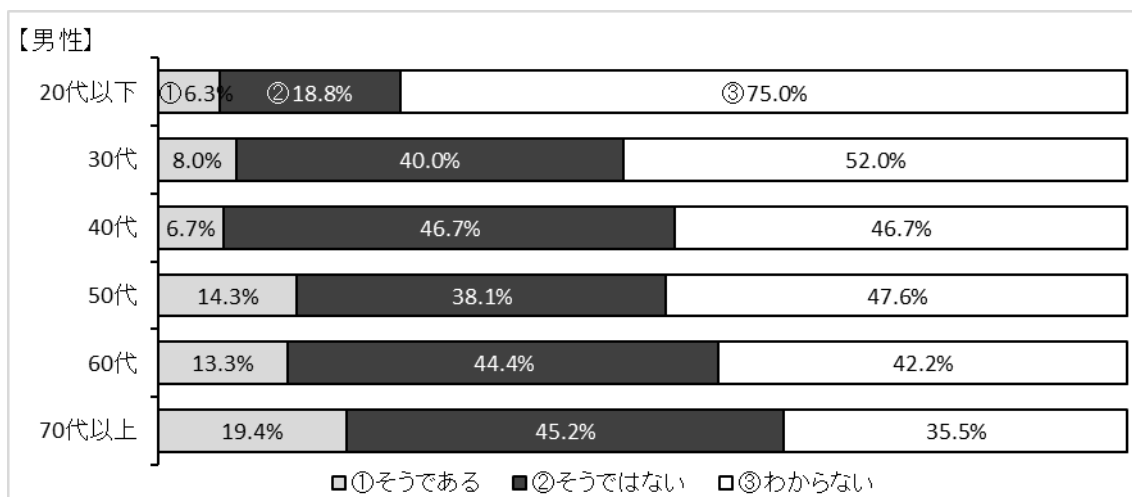
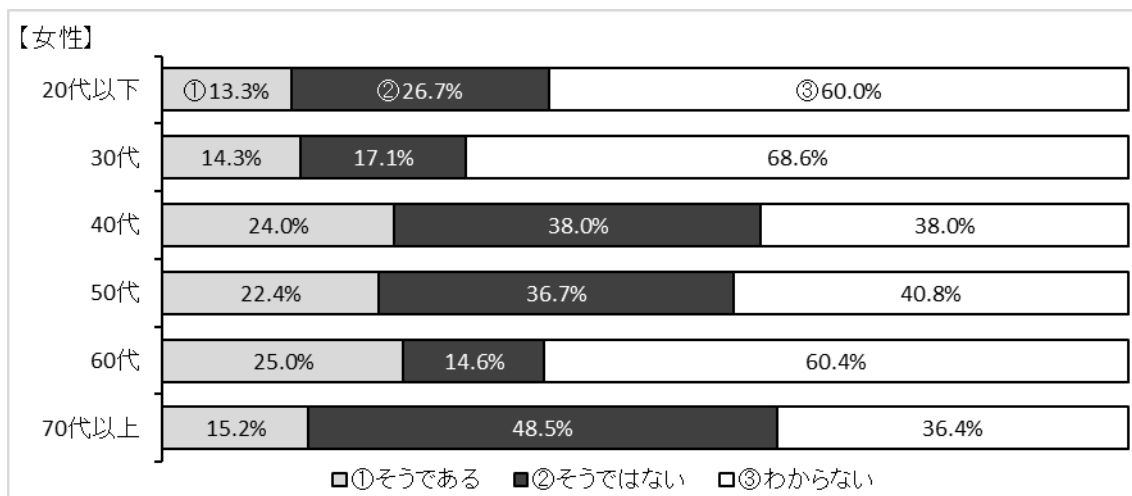
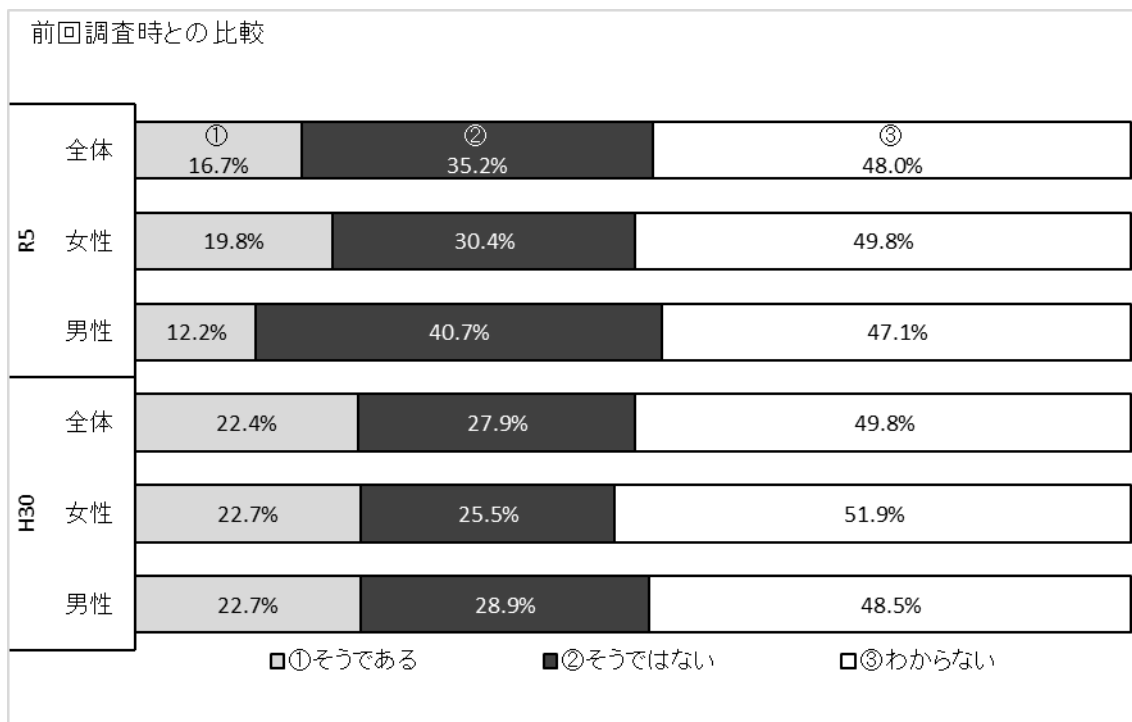
④ 役員や組織の運営事項は男性だけで決めている

全体では、44.1%が「そうではない」と回答しており、前回（41.9%）に比べて2.2ポイント増えている。なお、男女とも20代から30代において、わからないと回答した人が多く、地域活動にかかわりが少ないのではないかとと思われる状況がうかがわれる。



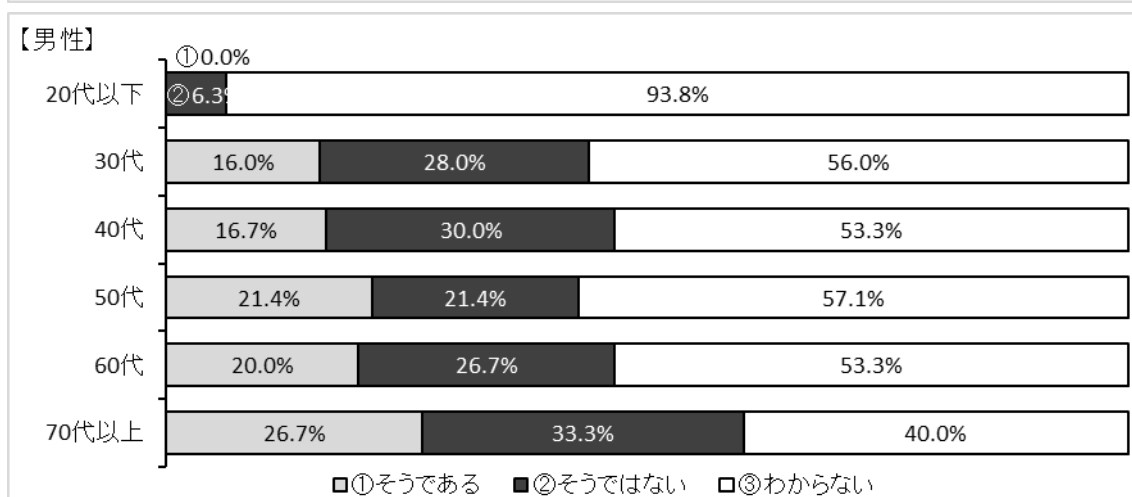
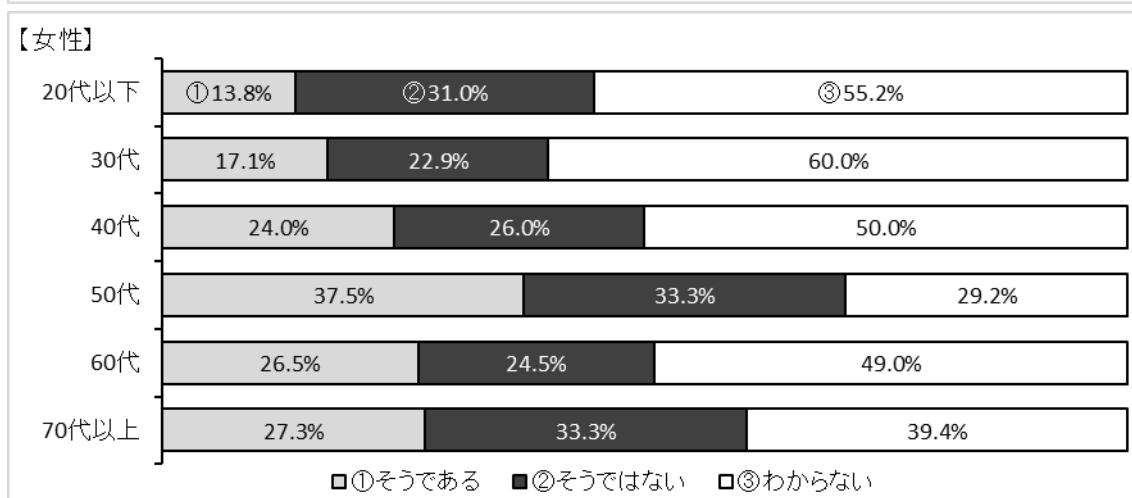
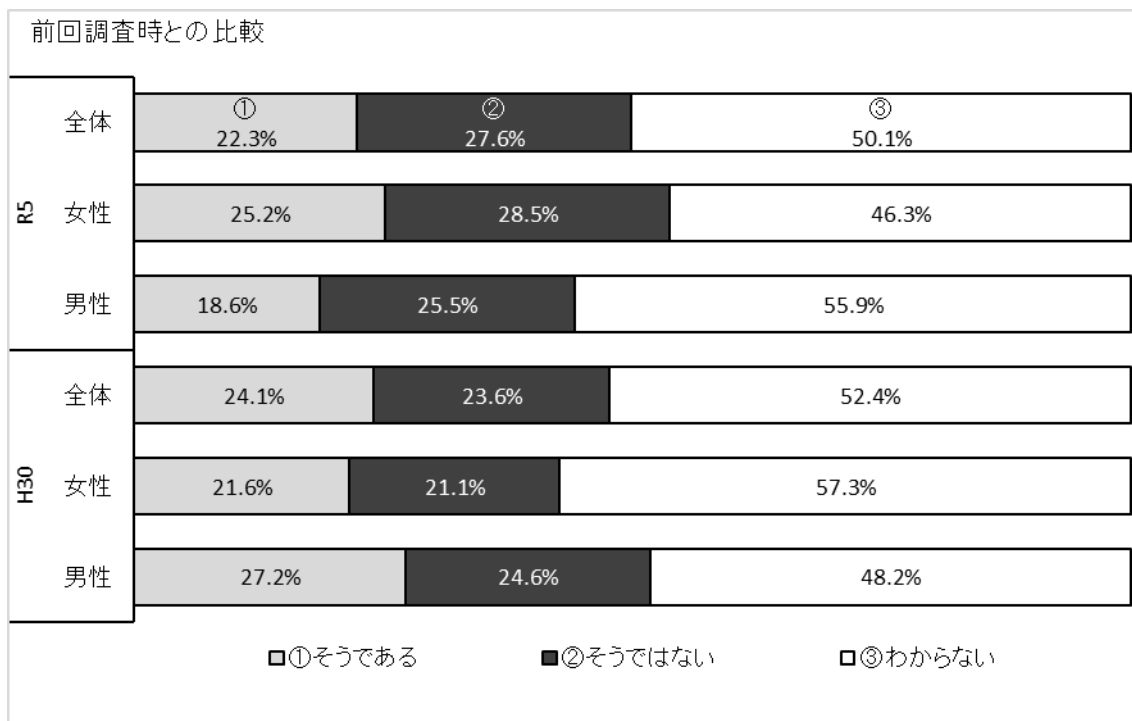
⑤ 実際の仕事は女性がしているのに、名義は男性になっている

全体では、35.2%が「そうではない」と回答しており、前回（27.9%）に比べて7.3ポイント増えている。



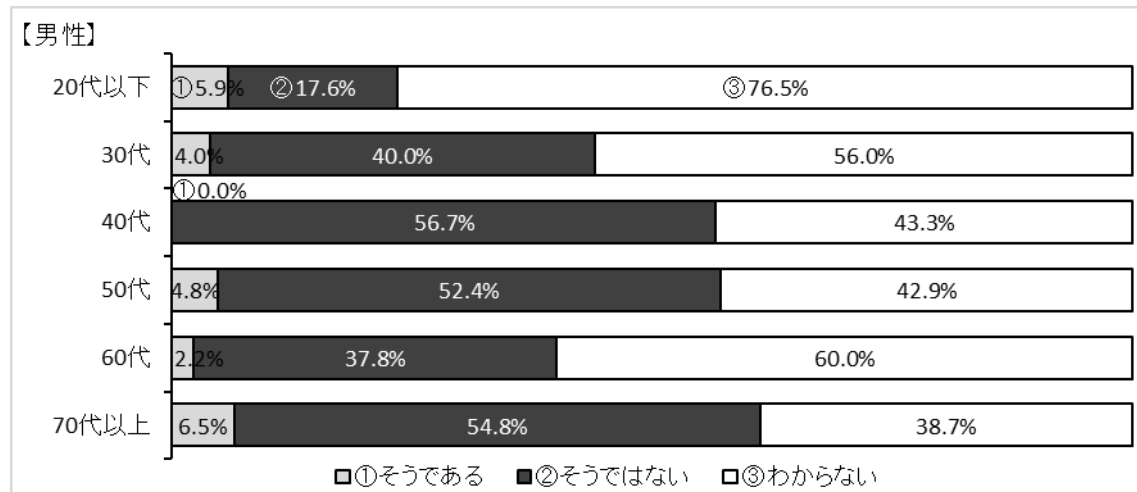
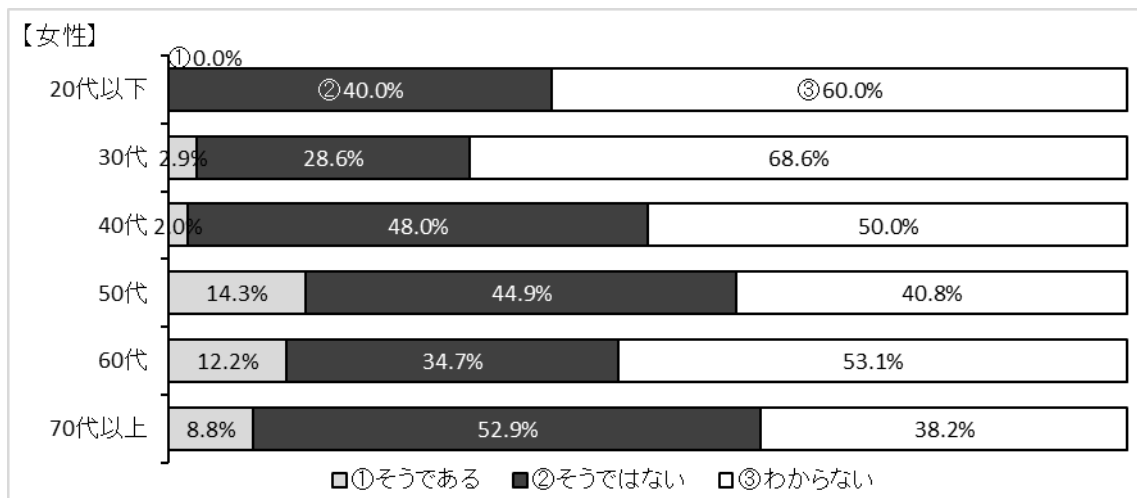
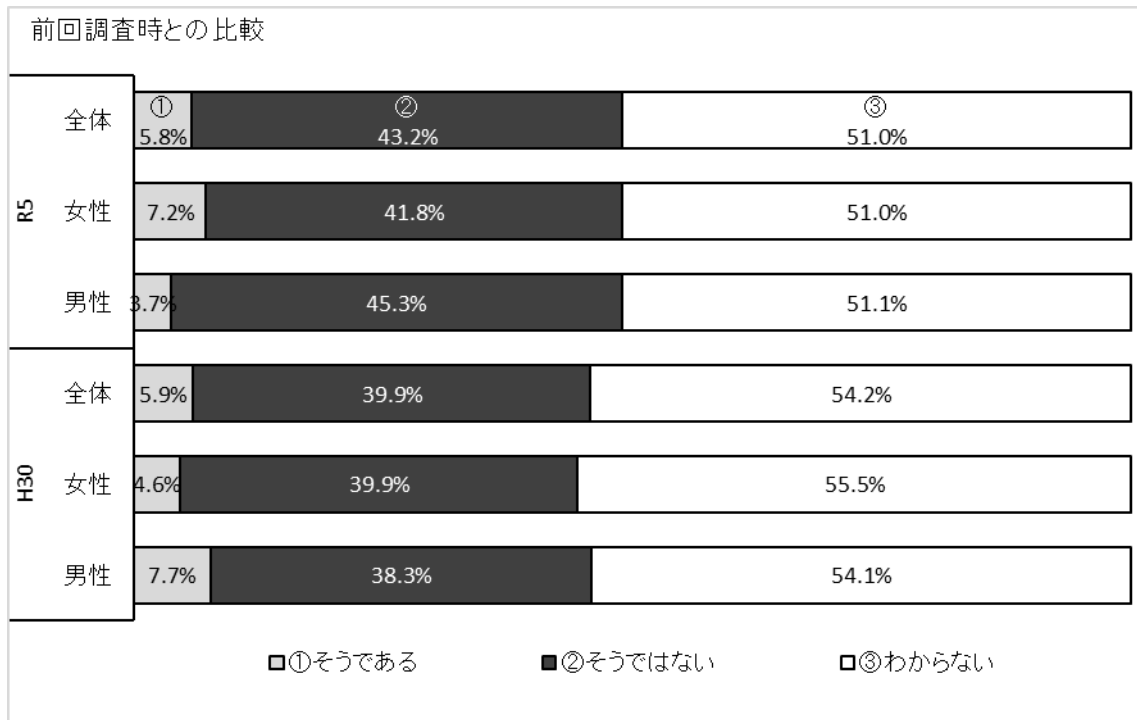
⑥ 女性自身が責任ある役職に就くのを避けている

全体では、27.6%が「そうではない」と回答しており、前回（23.6%）に比べて4.0ポイント増えている。ほかの設問に比べて「そうである」（22.3%）と「そうではない」（27.6%）が拮抗している。なお、女性の50代では「そうである」と回答した人が37.5%と多かった。



⑦ 女性が責任ある役職に就こうとすると、男性や他の女性から反対される

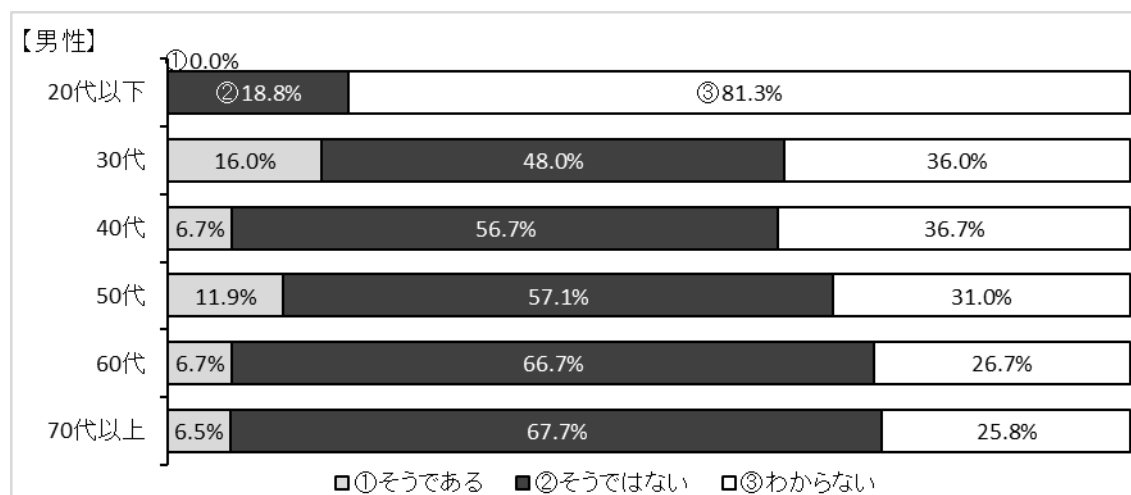
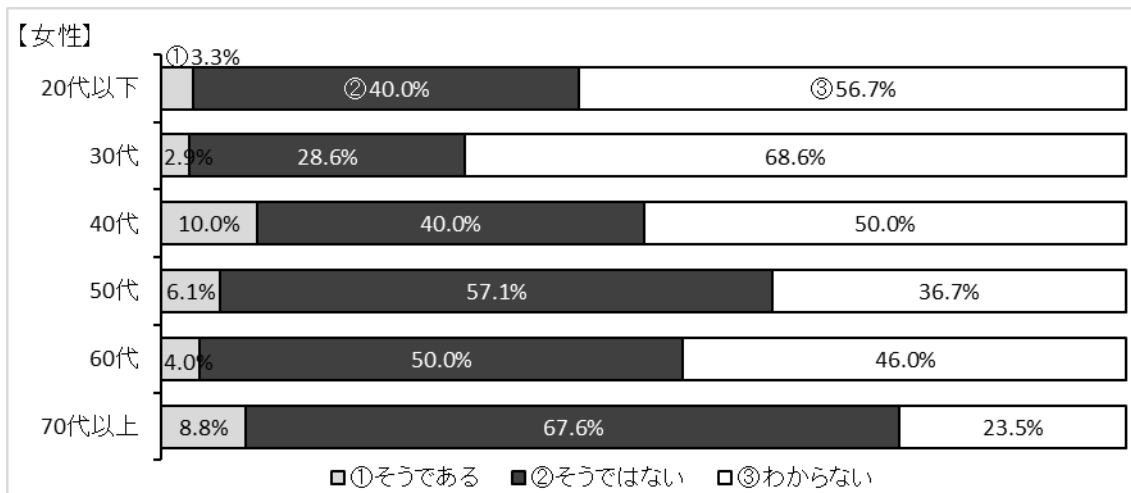
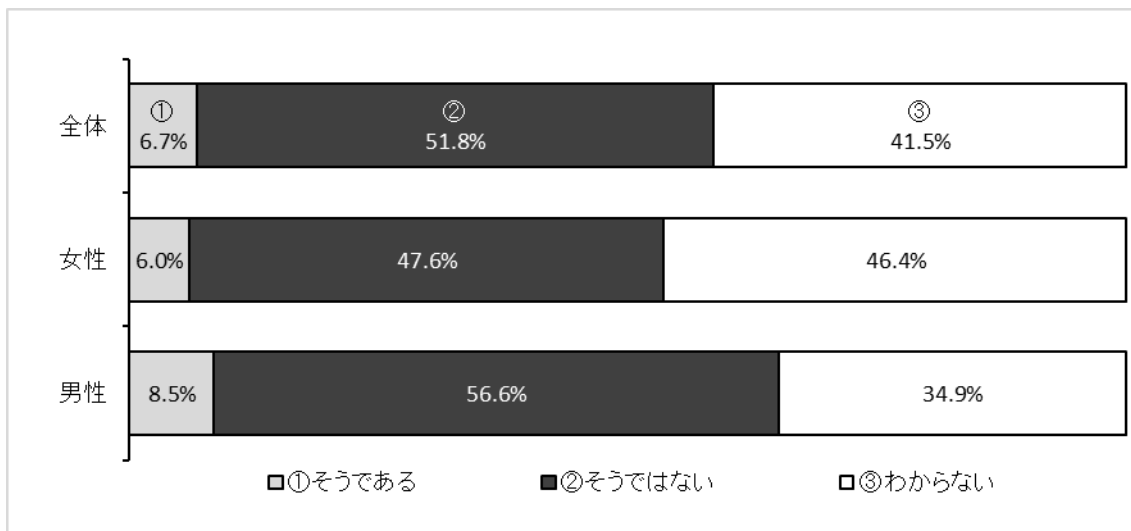
全体では、43.2%が「そうではない」と回答しており、前回（39.9%）に比べて3.3ポイント増えている。一方、「そうである」と回答した人もわずかであるが、未だ役割分担意識が強く残っていることがうかがわれる。



⑧ 防災や災害時での活動は男性だけで行っている

全体では、51.8%が「そうではない」と回答している。一方、「わからない」と回答した人が全体的に女性に多いことから、防災や災害時にかかわりが少ない様子が見られる。

※令和5年度より調査

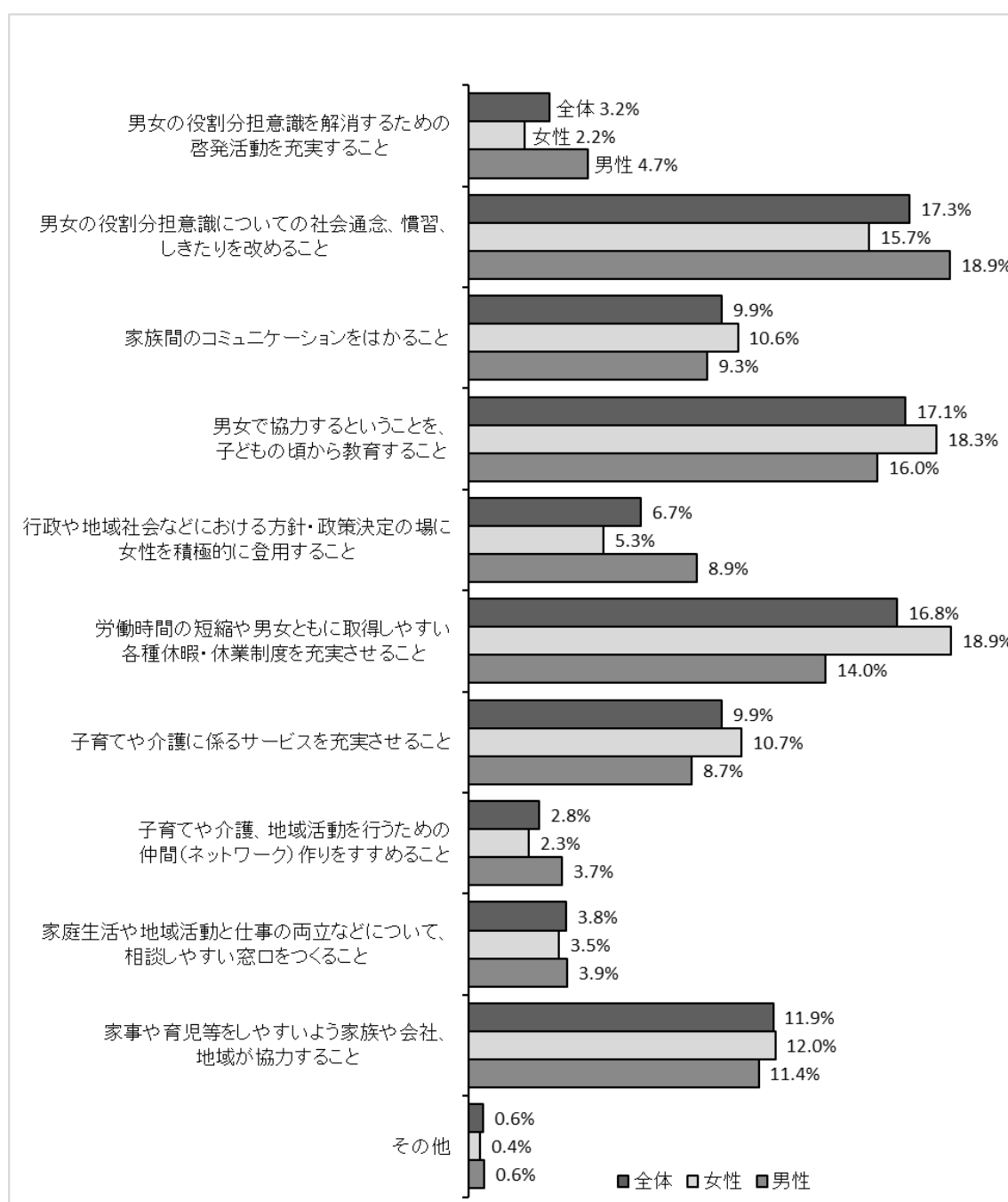


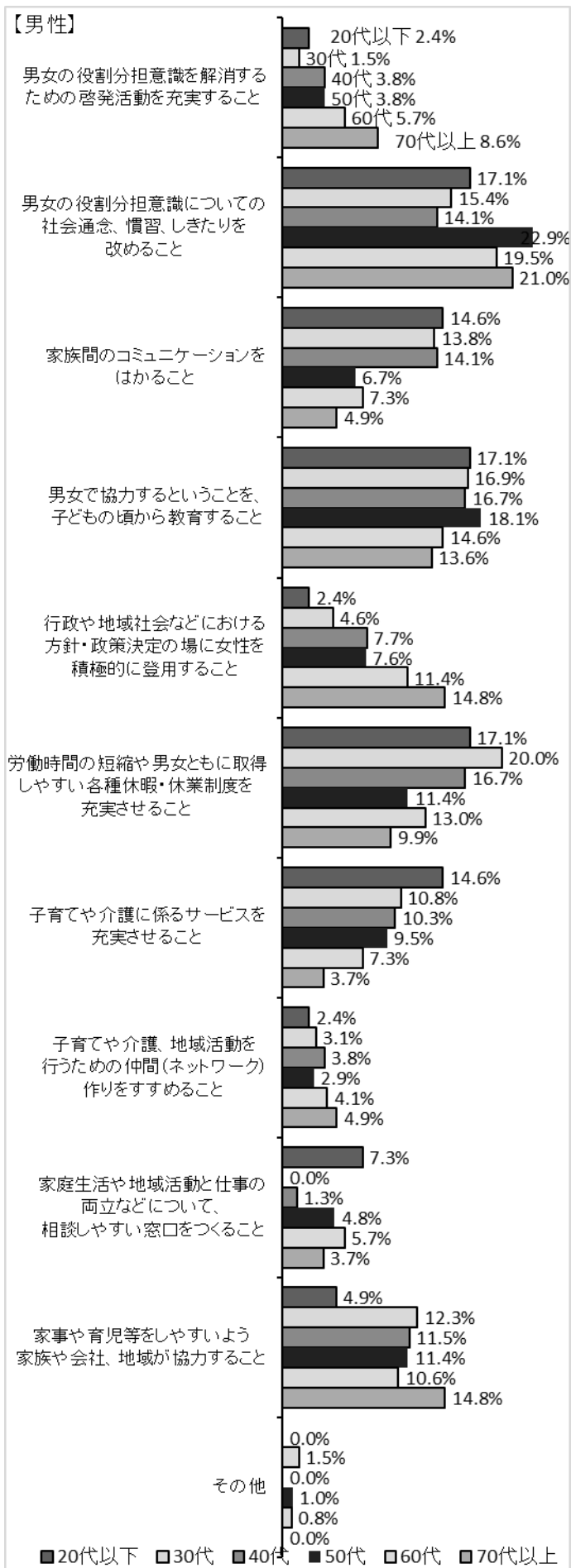
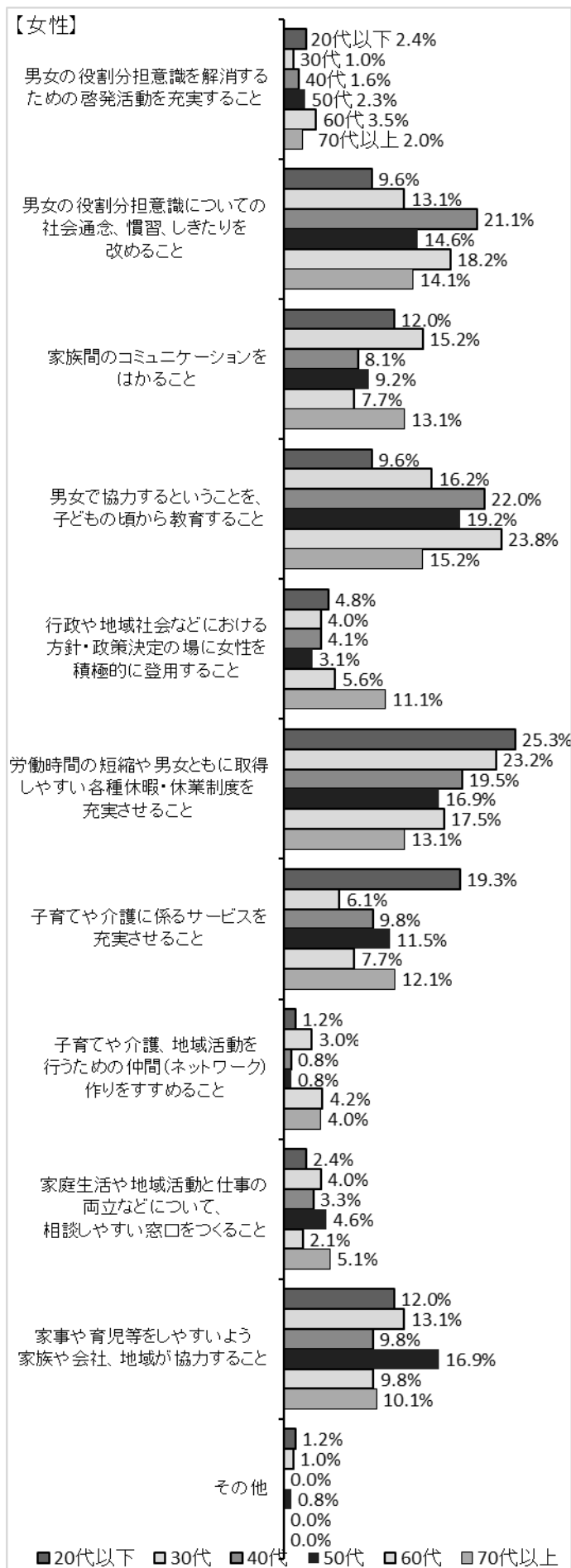
(6) 男女がともに社会に参加するために重要なこと

全体では、「男女の役割分担意識についての社会通念、慣習、しきたりを改めること」(17.3%)、「男女で協力するということ、子どもの頃から教育すること」(17.1%)、「労働時間の短縮や男女ともに取得しやすい各種休暇・休業制度を充実させること」(16.8%)と回答した人が多い。

女性では「労働時間の短縮や男女ともに取得しやすい各種休暇・休業制度を充実させること」(18.9%)が一番多く、中でも20代で最も多かった。男性では、「男女の役割分担意識についての社会通念、慣習、しきたりを改めること」(18.9%)が最も多い。

■男性と女性がともに仕事、家庭、育児、介護、地域活動へ参加していくためには、どのようなことが重要だと思いますか。





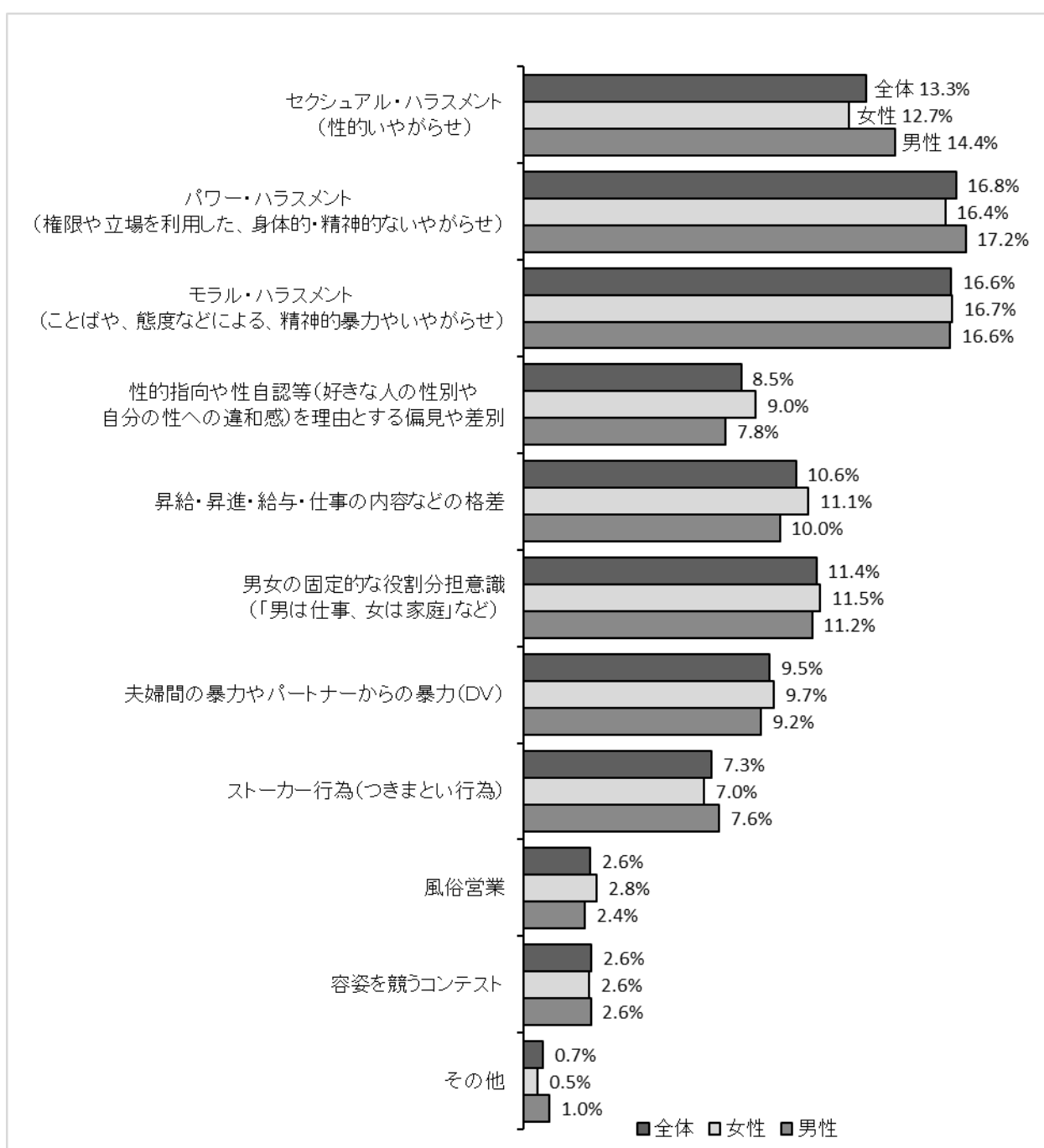
(7) 男女の人権について

① 男女の人権が尊重されていないと感じること

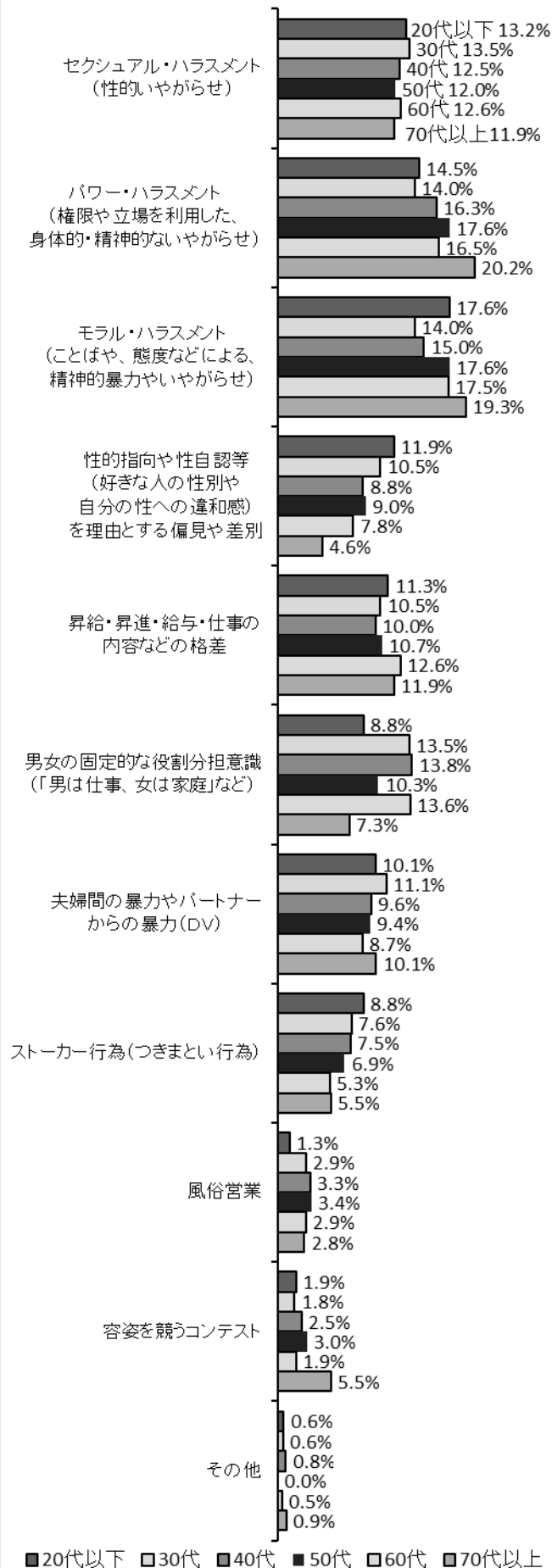
全体では、「パワー・ハラスメント（権限や立場を利用した、身体的・精神的ないやがらせ）」（16.8%）、「モラル・ハラスメント（ことばや、態度などによる、精神的暴力的いやがらせ）」（16.6%）、「セクシュアル・ハラスメント（性的いやがらせ）」（13.3%）と回答した人が多い。

特に女性の70代以上では「パワー・ハラスメント」が多く、男性の40代では「モラル・ハラスメント」が多くなっている。

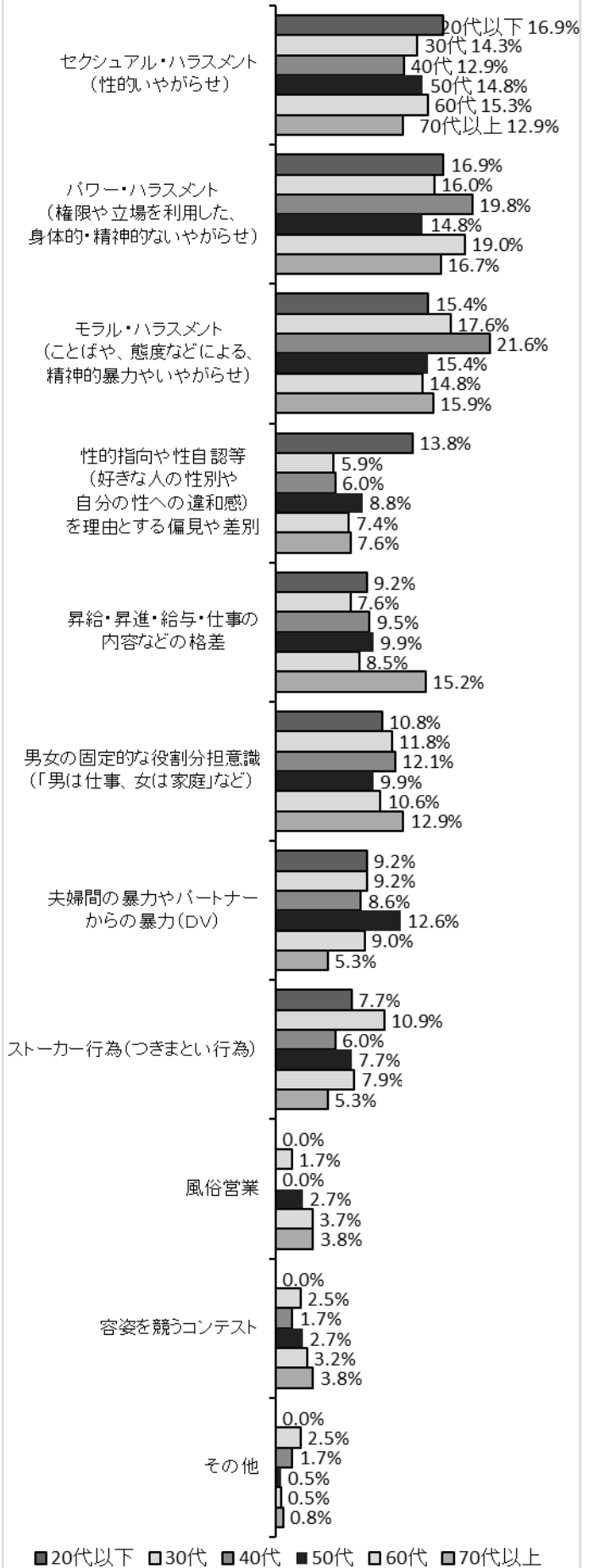
■人権が尊重されていないと感じることはどんなことですか。



【女性】



【男性】

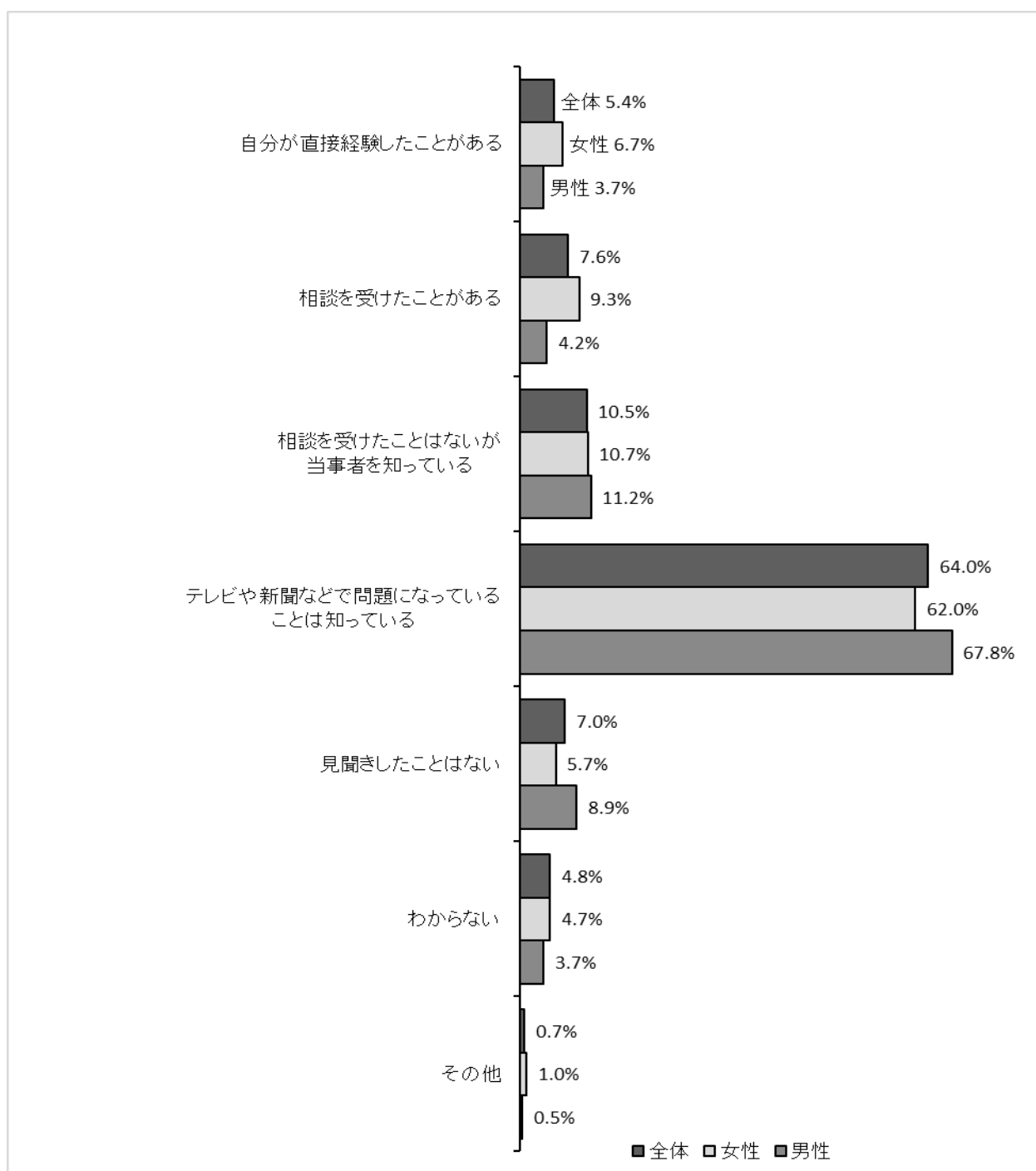


② DVを経験したり、見聞きした経験

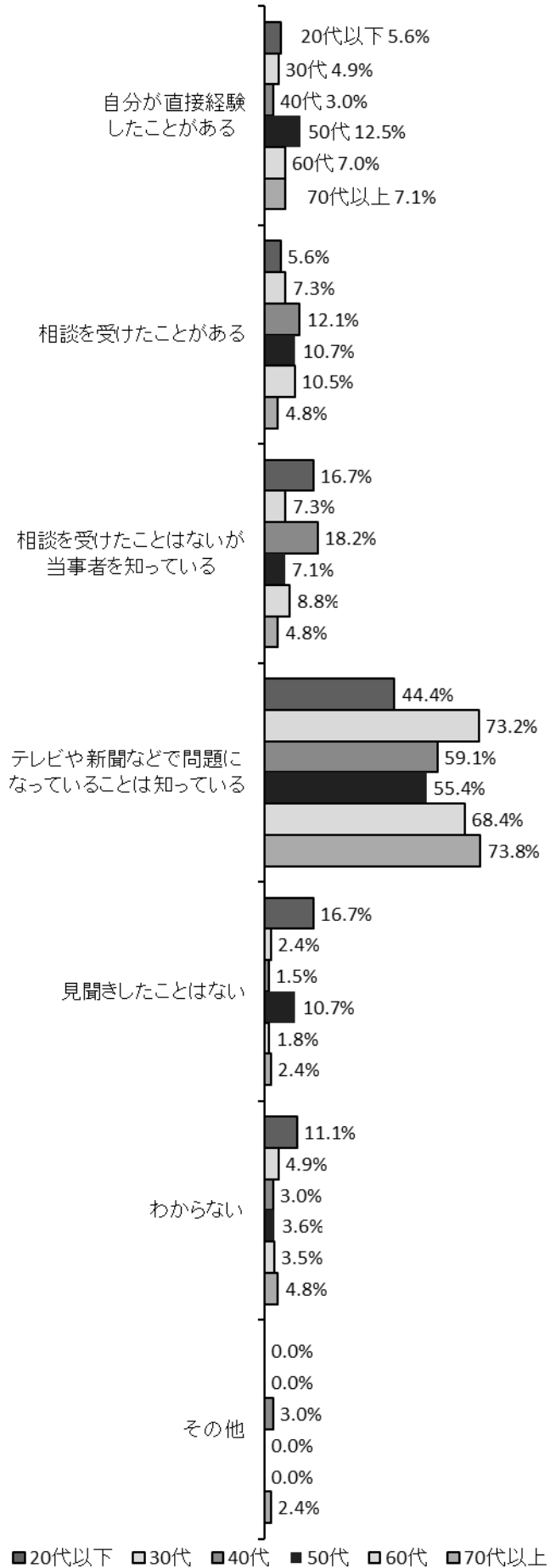
全体では、「テレビや新聞などで問題になっていることは知っている」（64.0%）と回答した人が圧倒的に多いが、「見聞きしたことはない」（7.0%）という人もいる。

また、「自分が直接経験したことがある」（5.4%）、「相談を受けたことがある」（7.6%）、「相談を受けたことはないが当事者を知っている」（10.5%）を合わせると、2割以上になる。

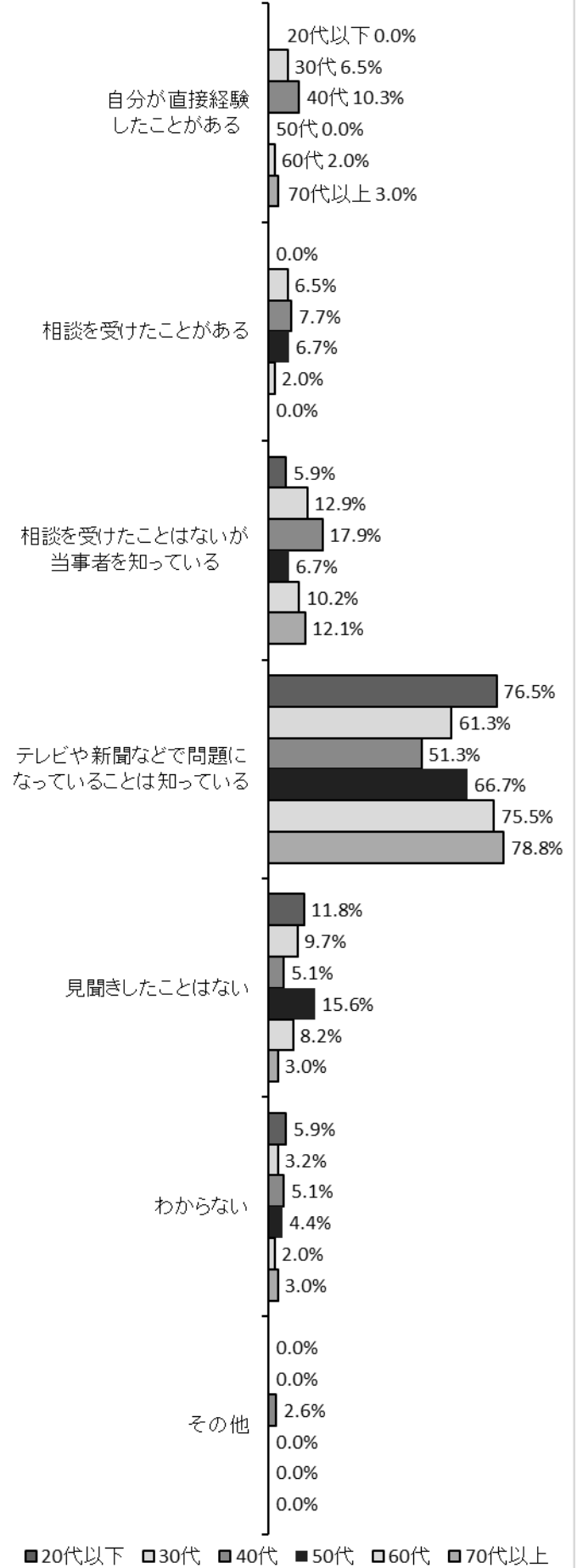
■ドメスティック・バイオレンス（DV）について、経験したり、見聞きしたことはありますか。



【女性】



【男性】

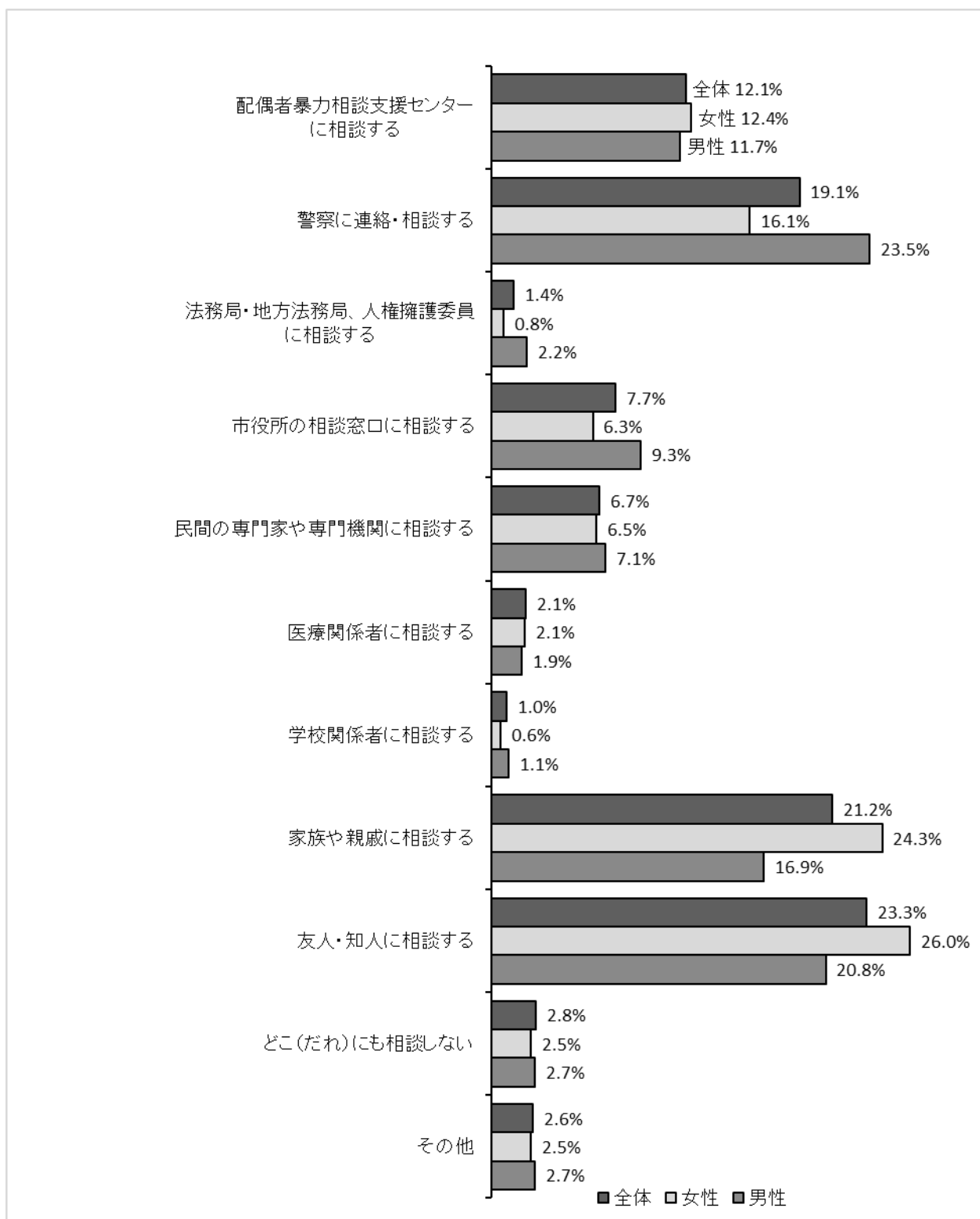


③ DVを受けたときの相談先

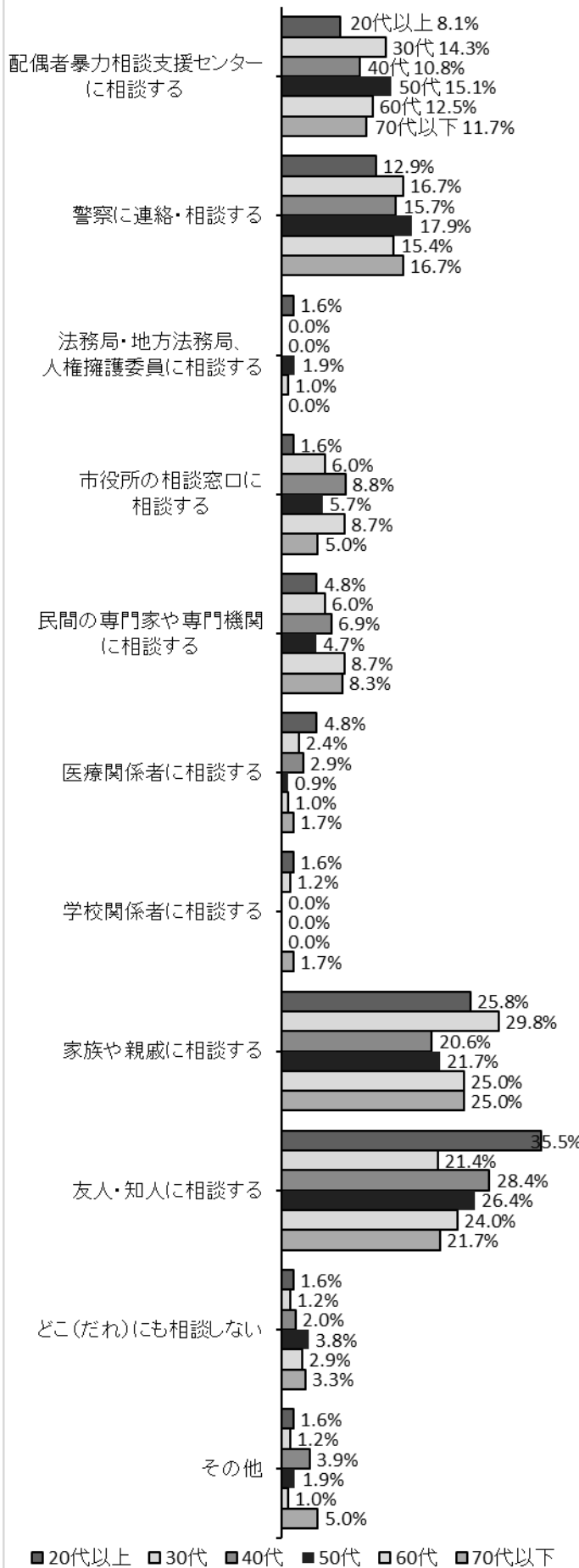
全体では「友人・知人」(23.3%)、「家族や親戚」(21.2%)が多い。次いで、「警察」(19.1%)や「配偶者暴力支援センター」(12.1%)となっている。

「誰にも相談しない」と回答した人が女性で2.5%、男性で2.7%おり、相談できない人も一定数いる状況がうかがわれる。

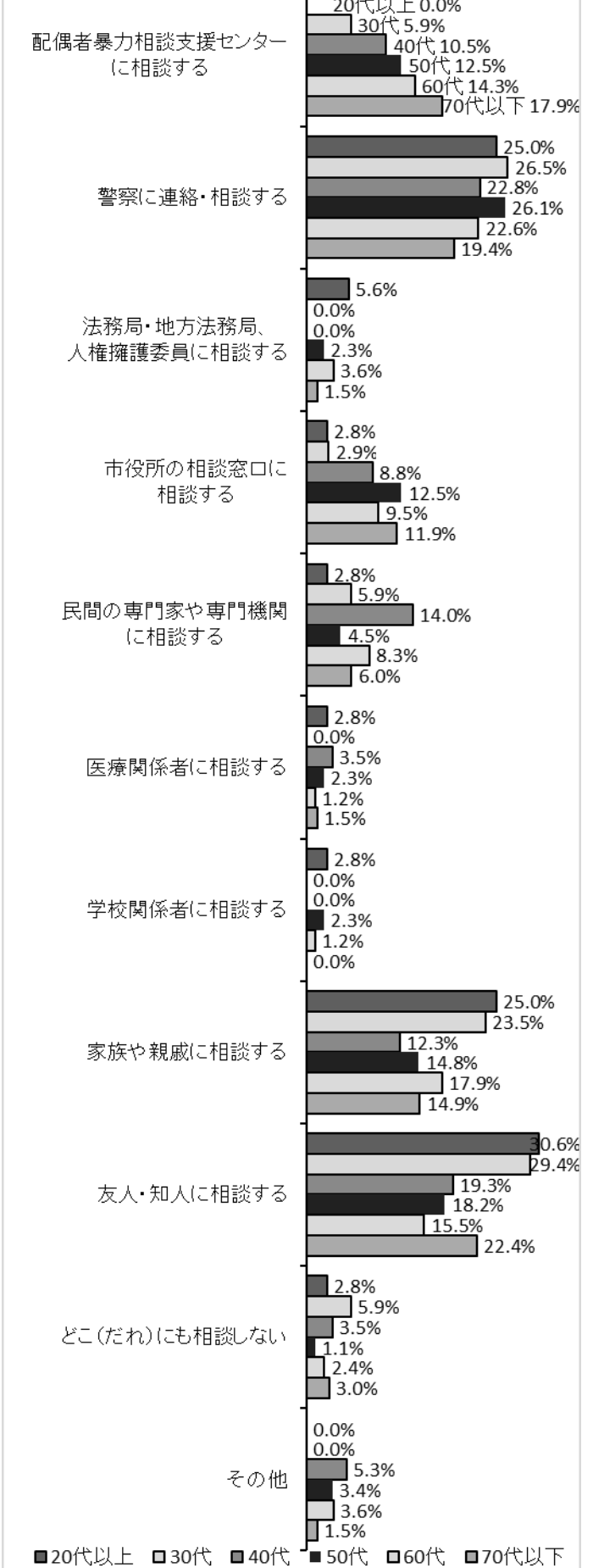
■DVを受けた場合、誰かに打ち明けたり、相談したりしますか



【女性】



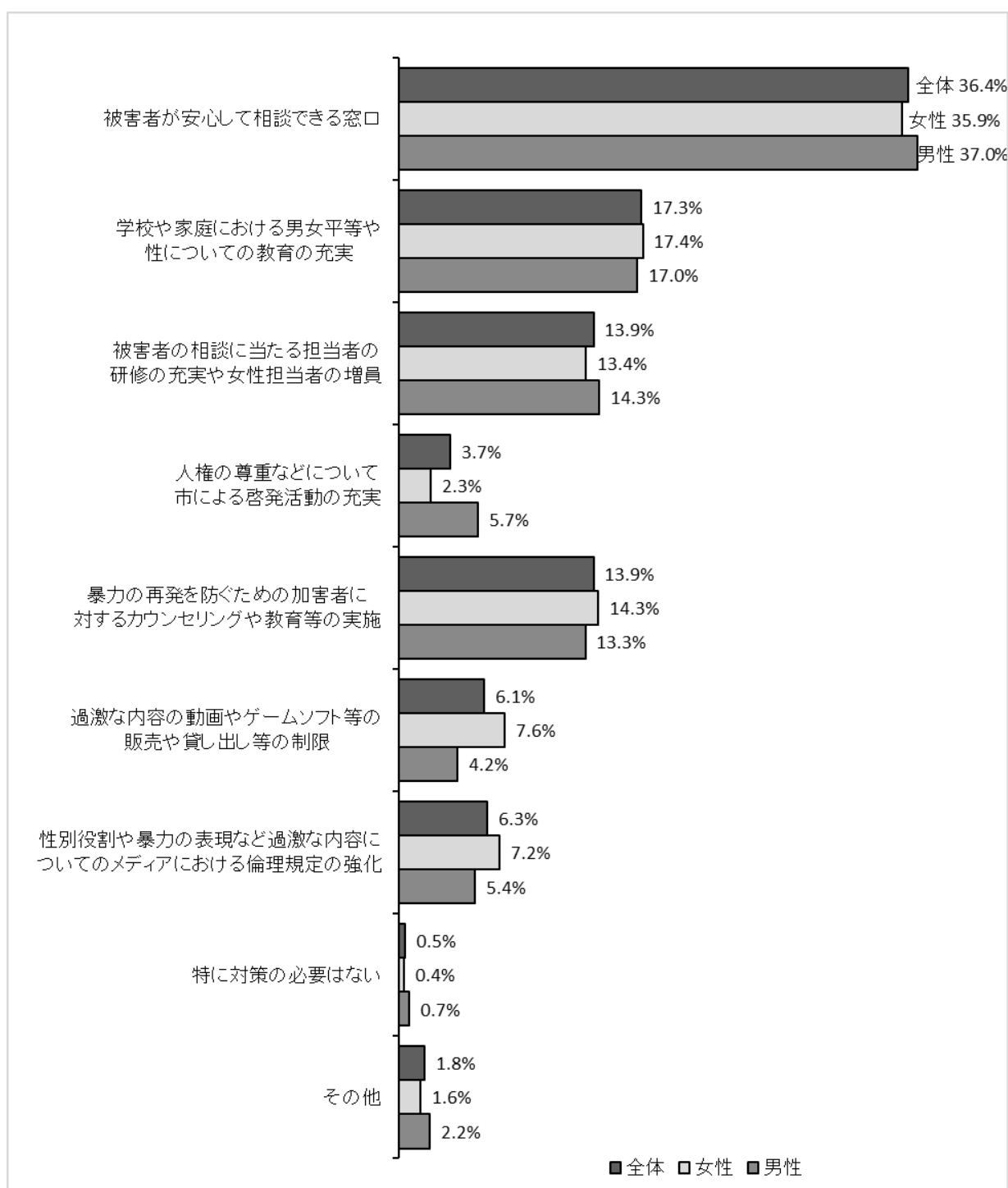
【男性】



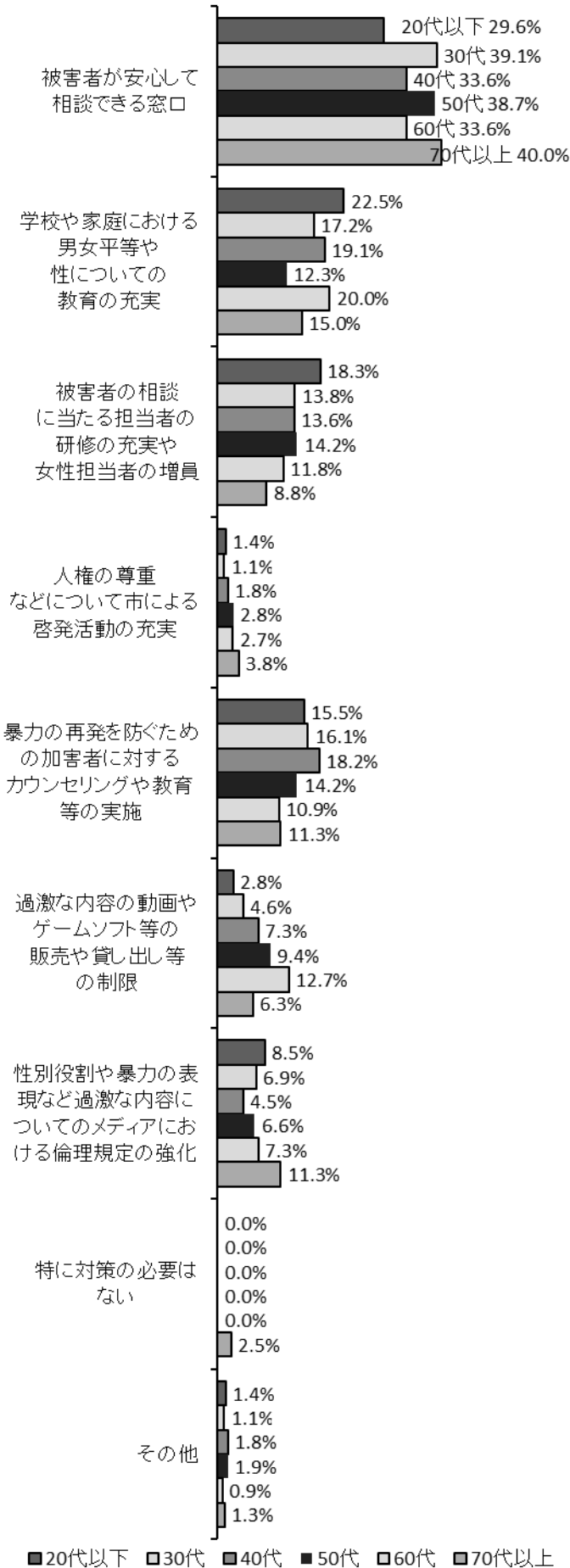
④ 性犯罪・DV・ハラスメント対策

全体では、「被害者が安心して相談できる窓口」(36.4%)と回答した人が多く、男女とも一番多い。次いで「学校や家庭における男女平等や性についての教育の充実」(17.3%)、「被害者の相談に当たる担当者の研修の充実や女性担当者の増員」(13.9%)、「暴力の再発を防ぐための加害者に対するカウンセリングや教育等の実施」(13.9%)が多い。

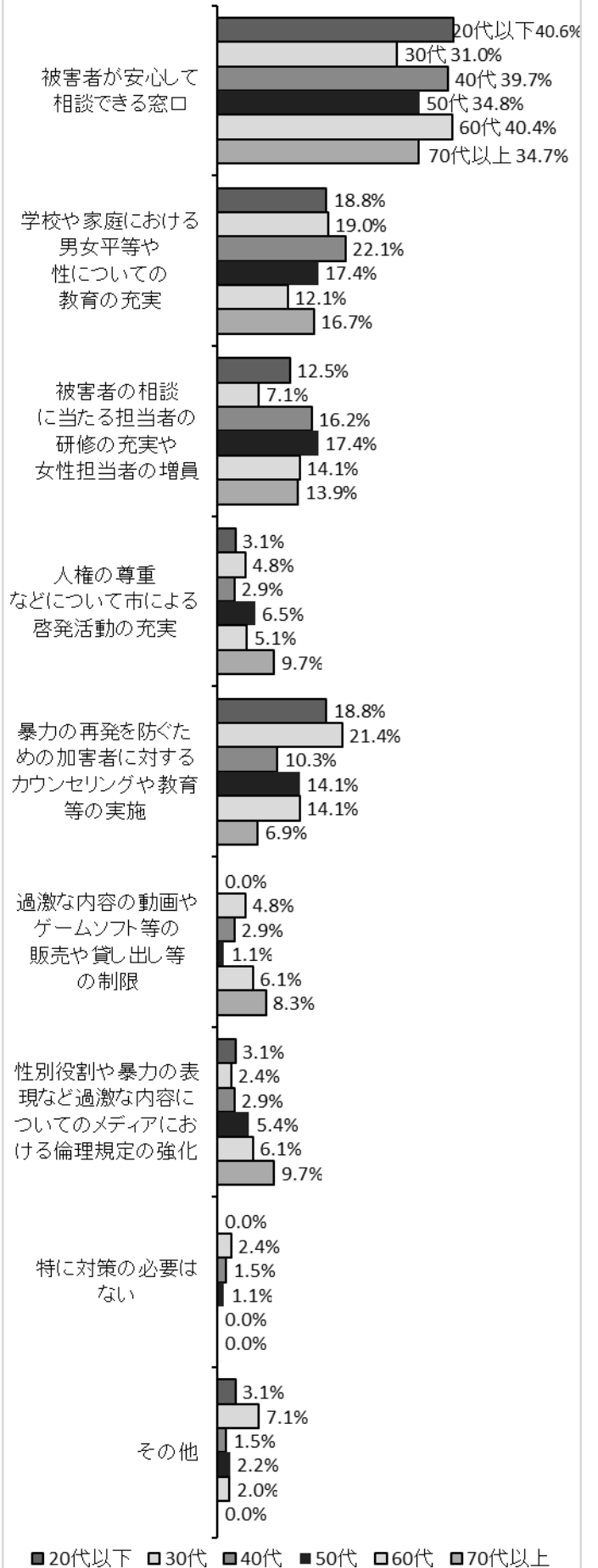
- 性犯罪、DV、セクシャル・ハラスメント（相手を不快にさせる性的言動）、パワー・ハラスメント、モラル・ハラスメント等の暴力への対策としてどのようなことが必要だと思いますか



【女性】



【男性】

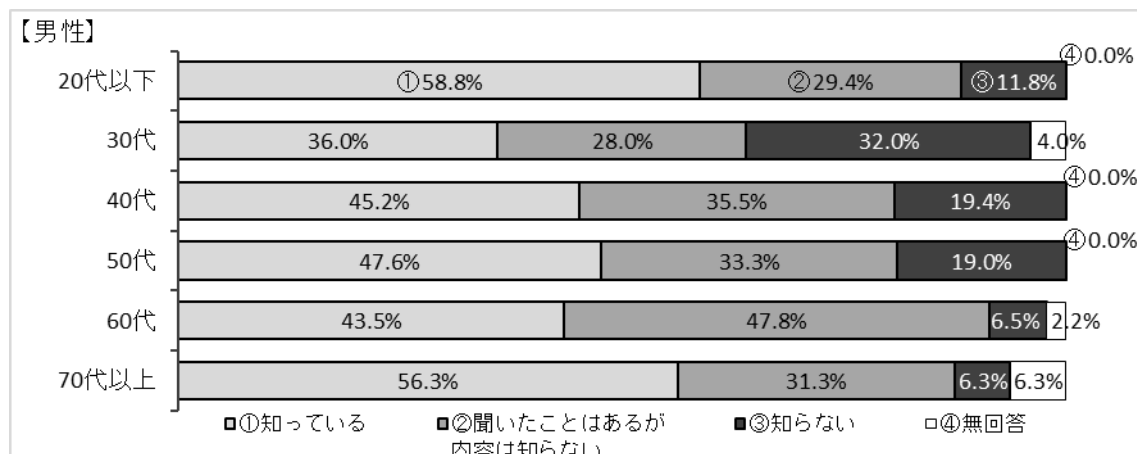
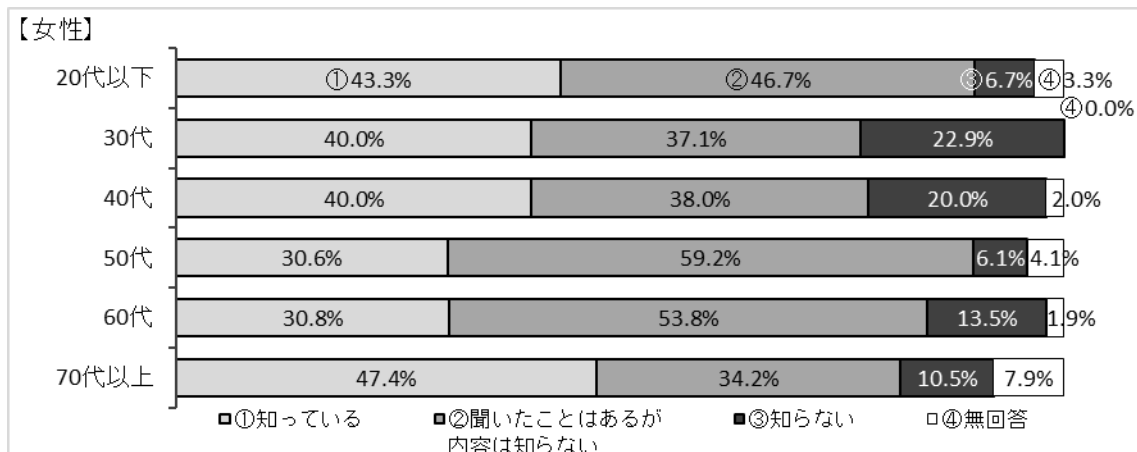
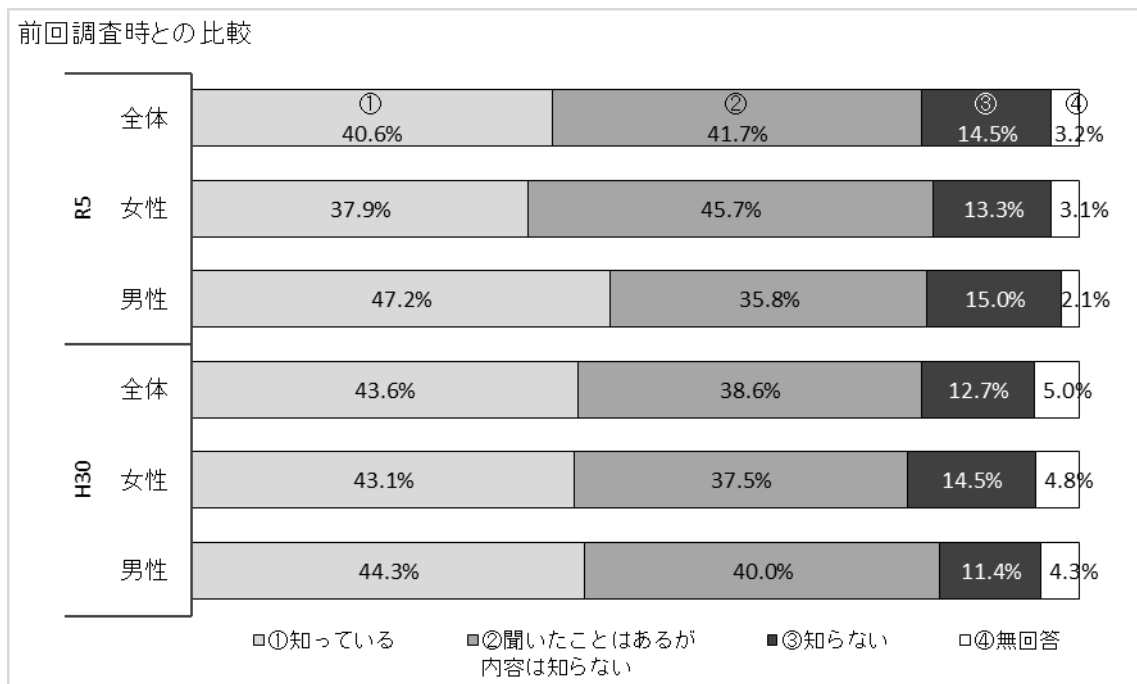


(8) 男女共同参画に関する言葉や法律の認知度

■ 男女共同参画社会

全体では、「知っている」と回答した人は、40.6%であり、前回（43.6%）より3.0ポイント減っている。一方、「聞いたことはあるが内容は知らない」と回答した人（41.7%）は3.1ポイント増えた。

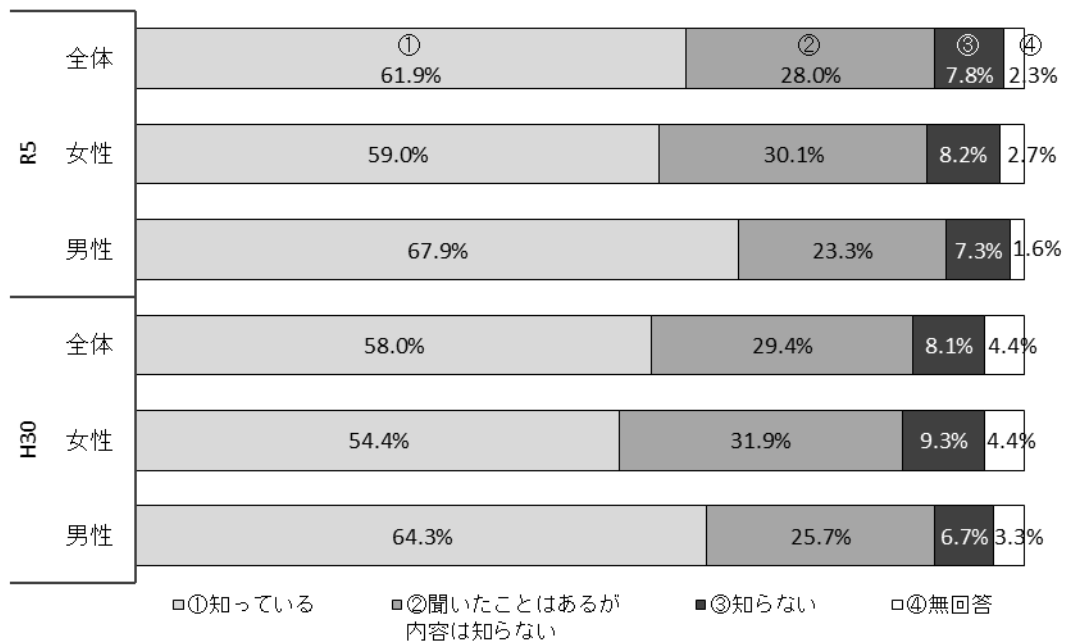
「知らない」と回答した人は、男女とも30代がほかの年代に比べて多い。



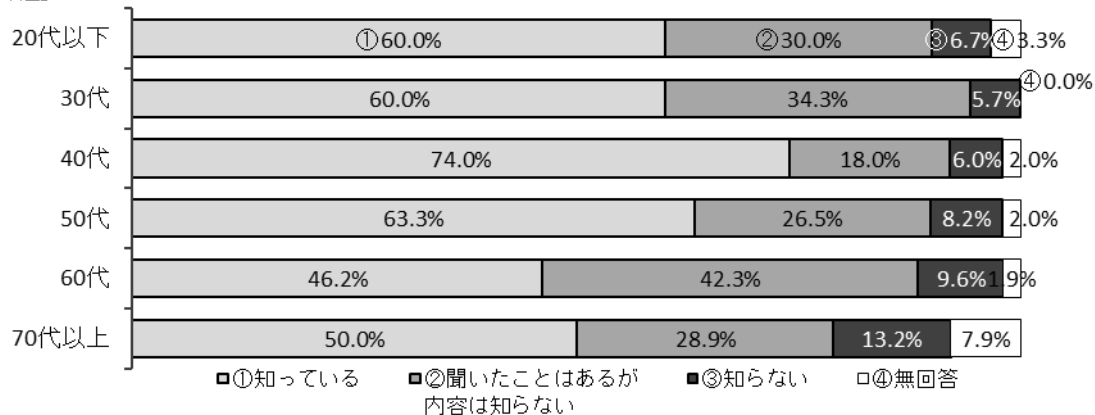
■ 男女雇用機会均等法

全体では、「知っている」と回答した人は、61.9%であり、前回（58.0%）より3.9ポイント増えている。性別で見ると、女性で4.6ポイント、男性で3.6ポイント増えている。年代別では、女性の60代以上で5割以下となっている。一方、「知らない」と回答した人は男性の40代（16.1%）がほかの年代に比べて多い。

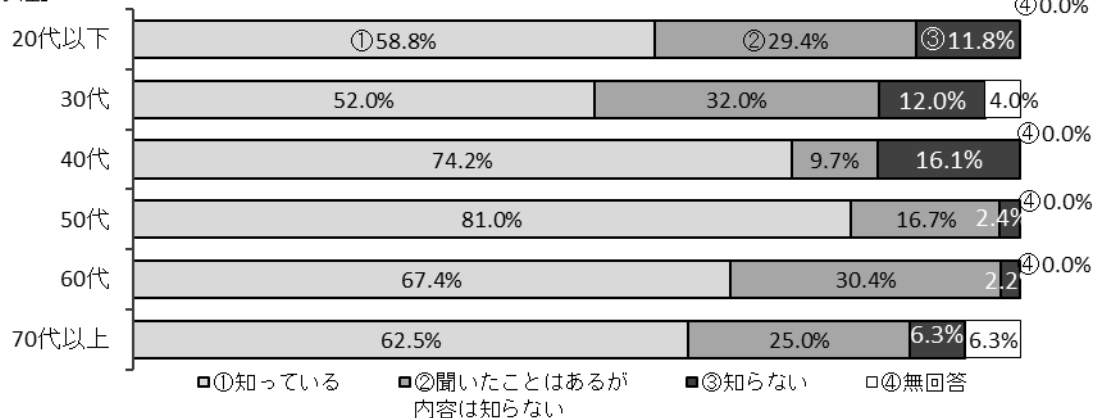
前回調査時との比較



【女性】



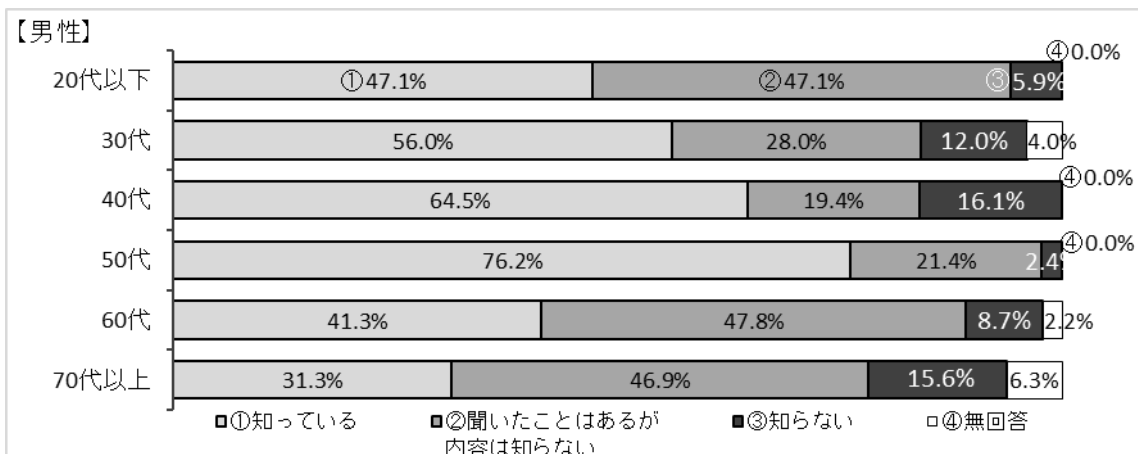
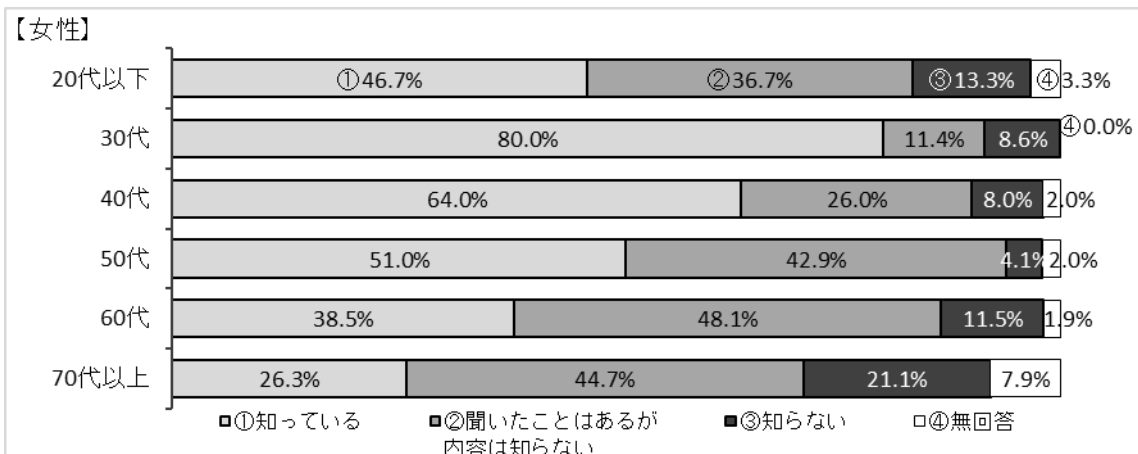
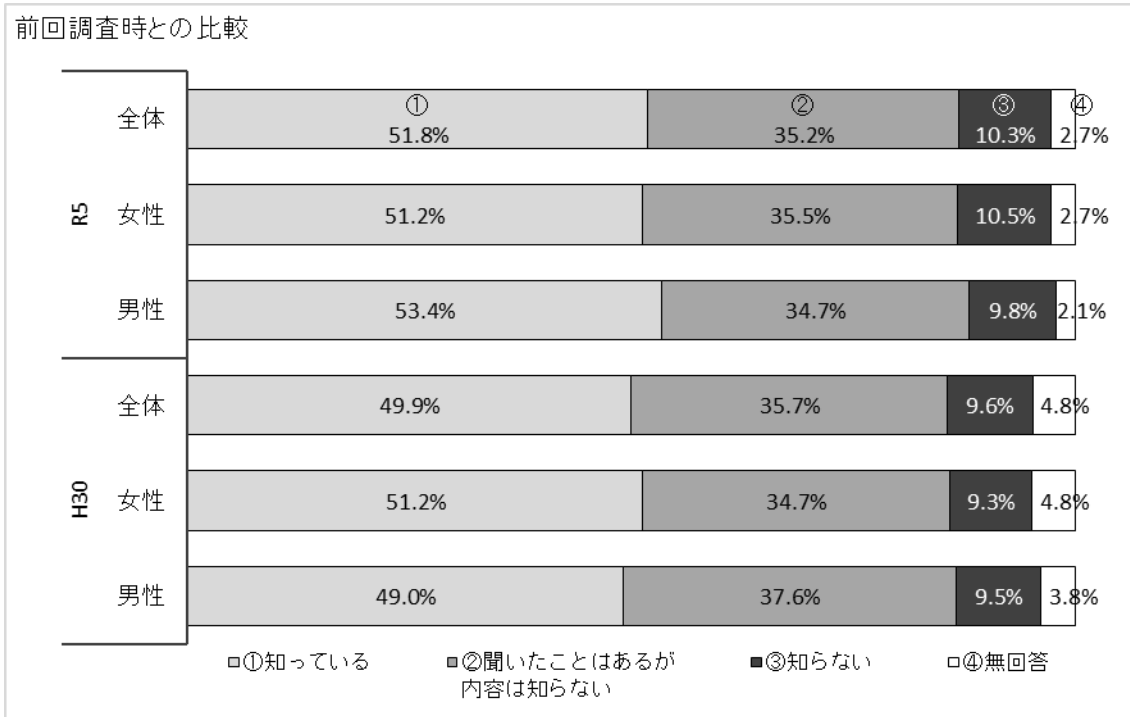
【男性】



■ 育児・介護休業法

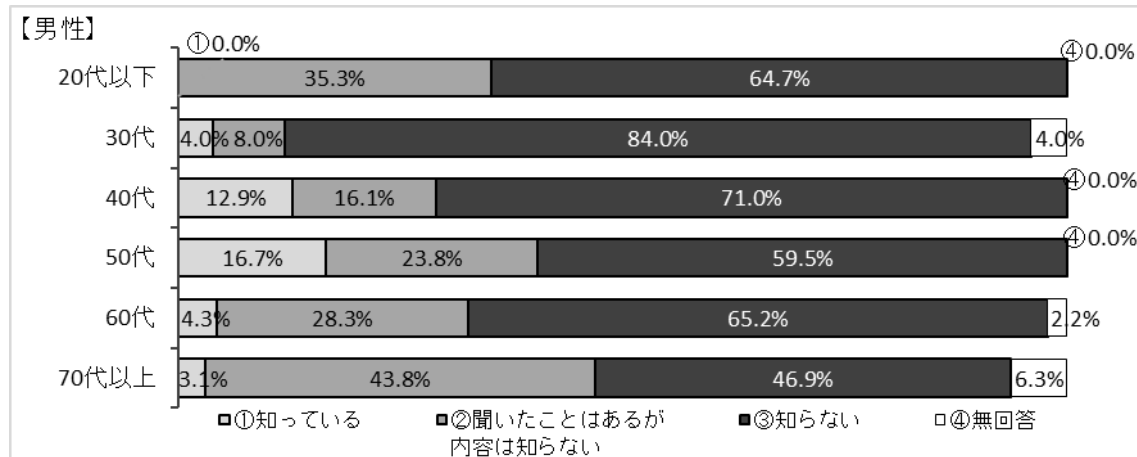
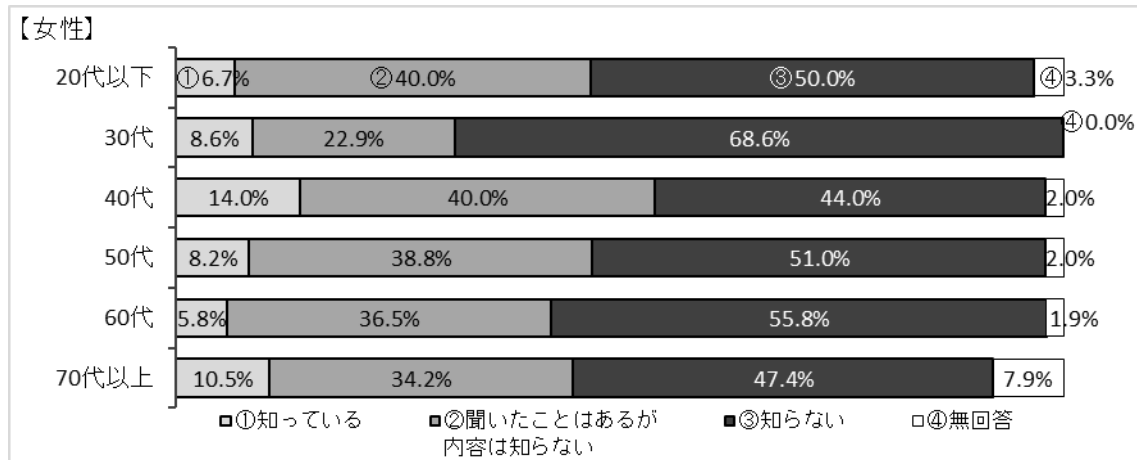
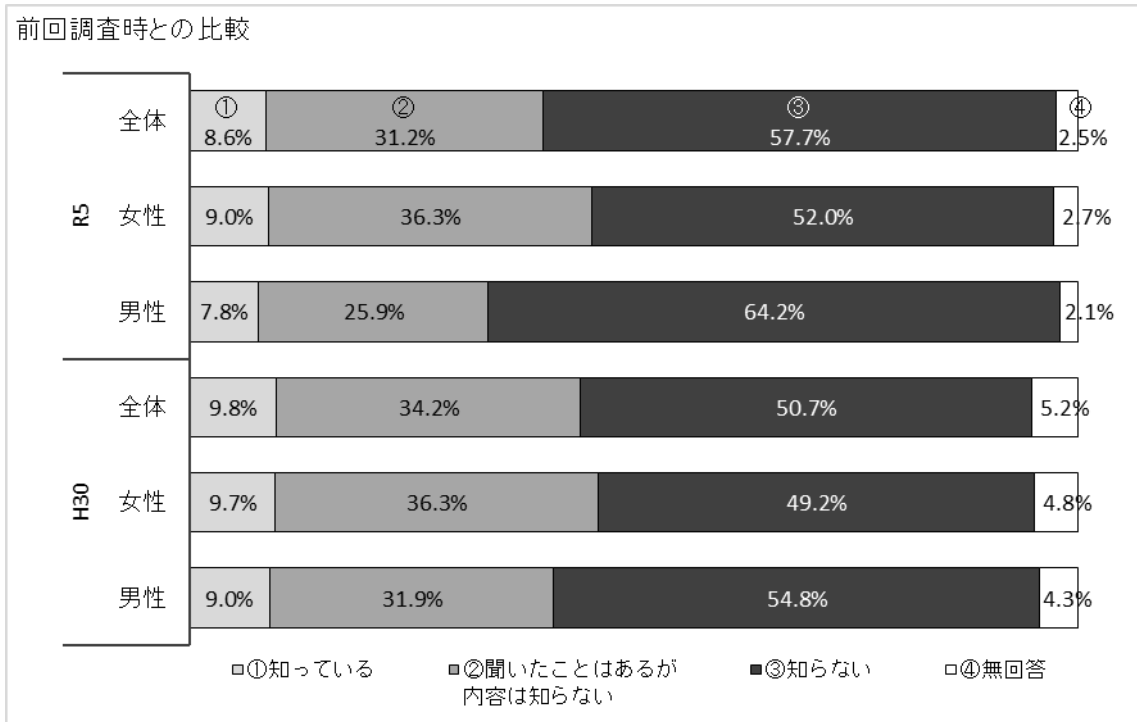
全体では、「知っている」と回答した人は、51.8%であり、前回（49.9%）より1.9ポイント増えている。

育児休業の取得や介護休業の取得の年代にある、30代、40代、50代が「知っている」と回答した人が多く、特に女性では30代、男性では50代が多い。



■ 岡谷市男女共同参画条例（平成 16 年 4 月 1 日施行）

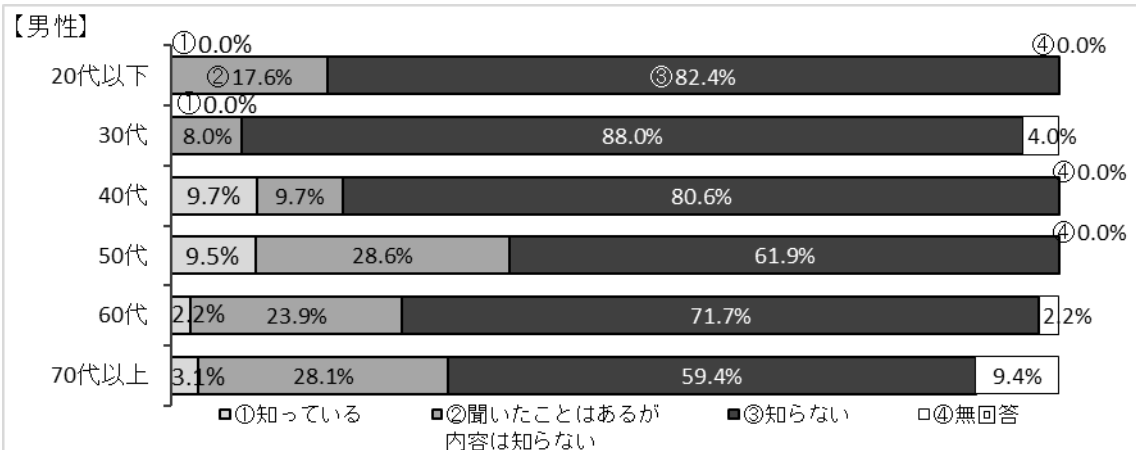
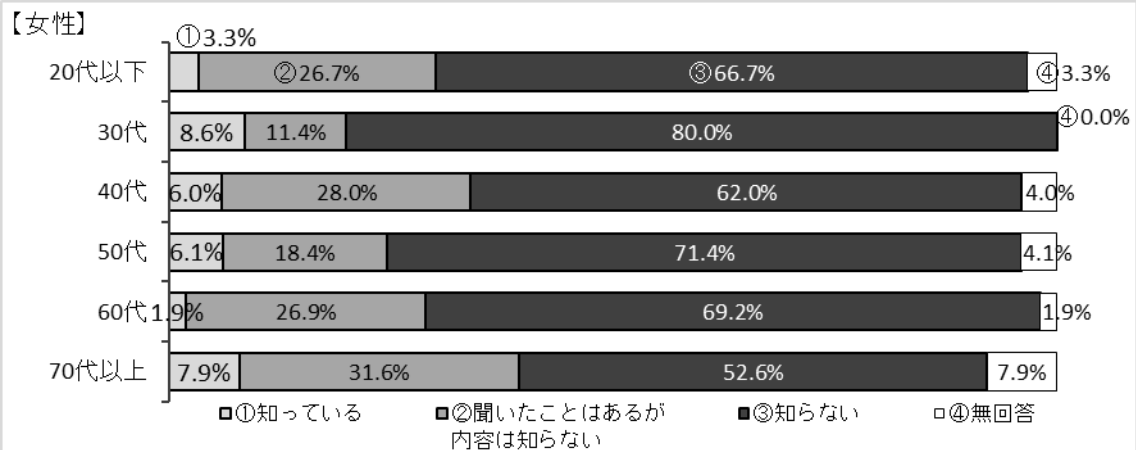
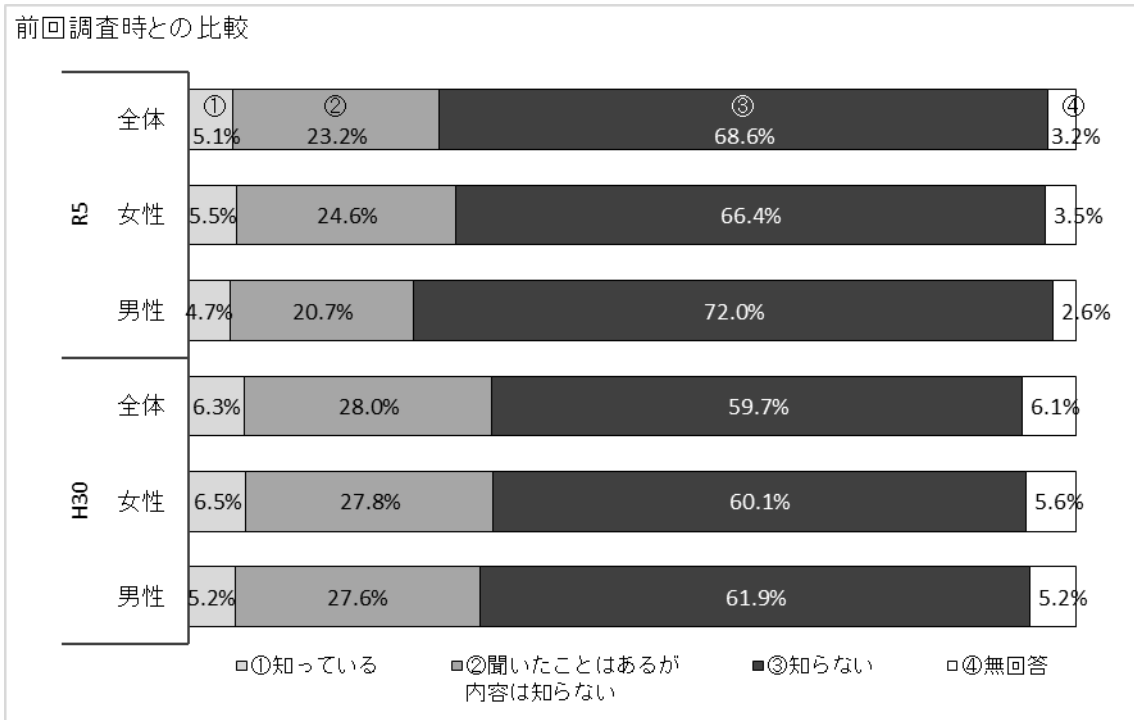
全体では、「わからない」と回答した人は、57.7%であり、認知度の低さがうかがわれる。特に男女とも30代（女性68.6%、男性84.0%）でわからないと回答した人が多い。



■ 男女共同参画おかやプランⅥ（平成31年3月策定）

全体では、「わからない」と回答した人は、68.6%であり、前回（59.7%）よりも8.9ポイント増えている。一方で「知っている」と回答した人は5.1%で前回（6.3%）よりも1.2ポイント減っており、認知度は低い。

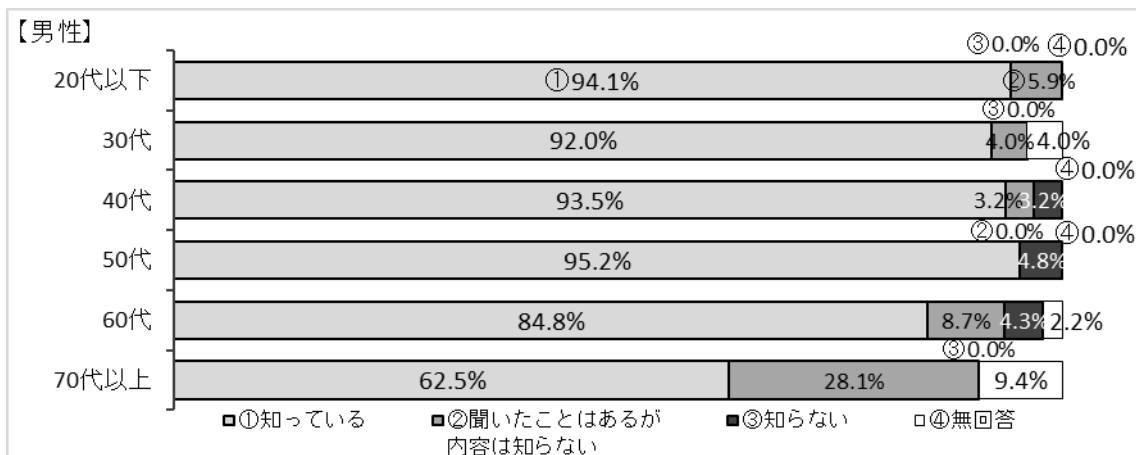
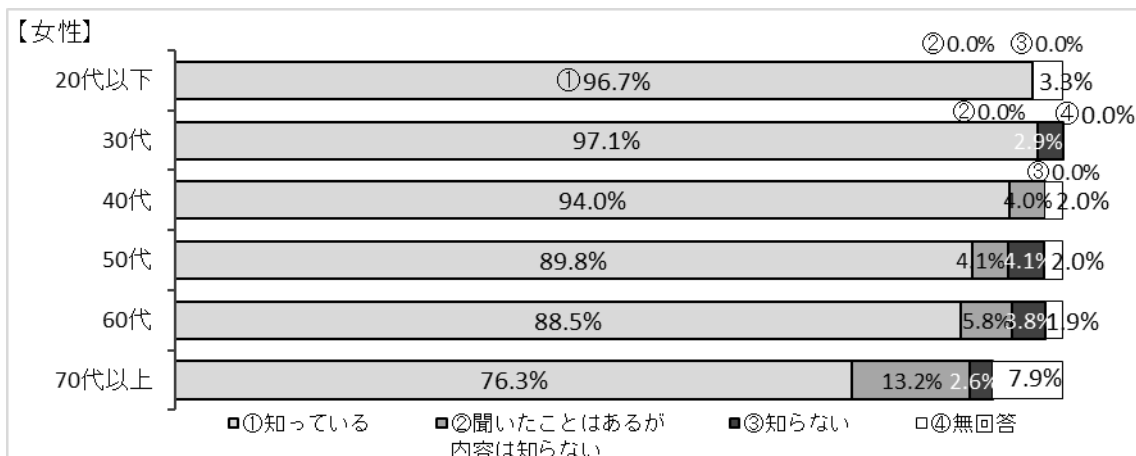
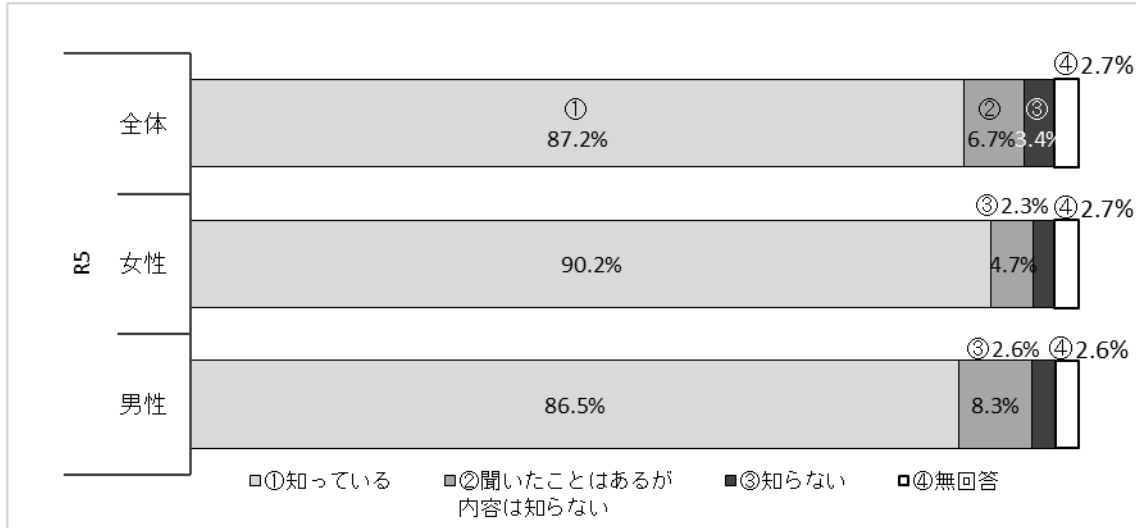
女性の30代、男性の20代、30代、40代で、「わからない」と回答した人が8割以上となっている。



■ DV（配偶者やパートナーなど親密な関係の相手からの暴力）

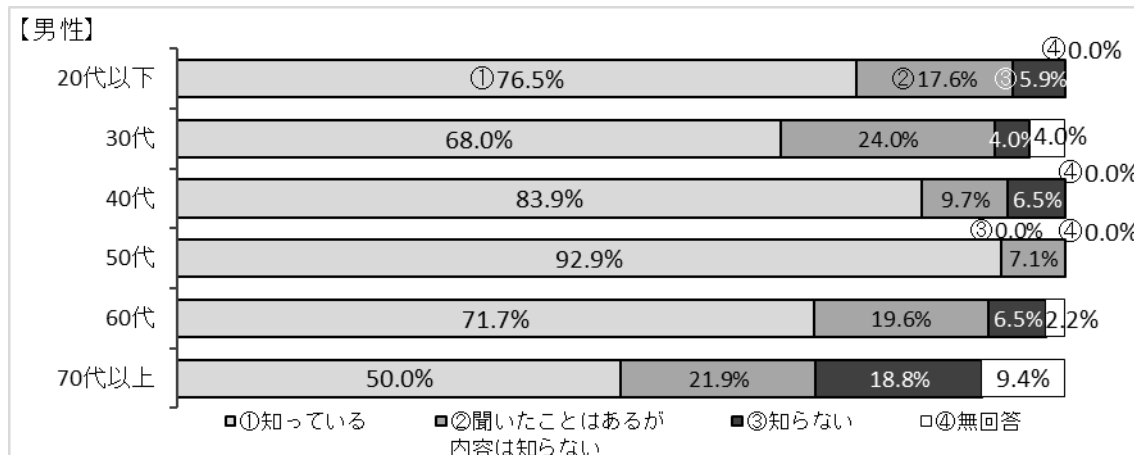
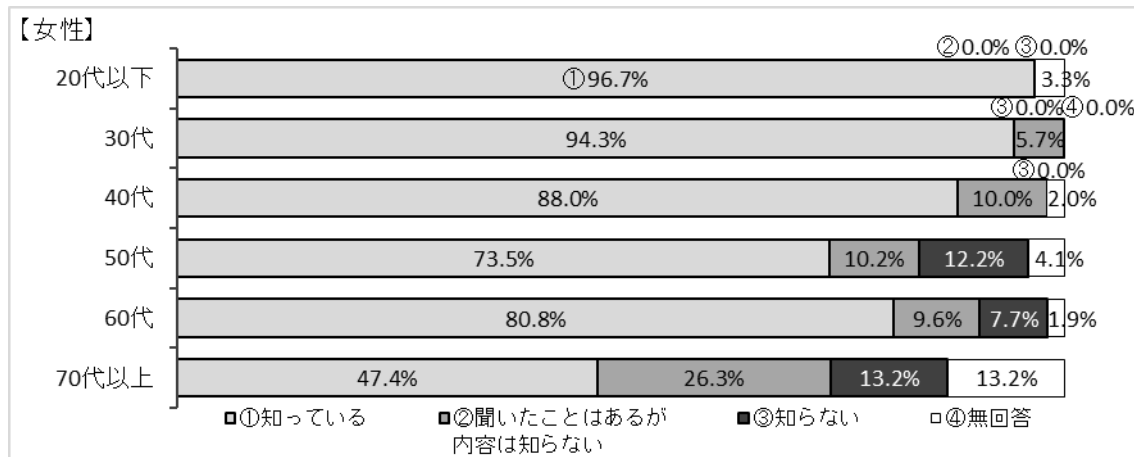
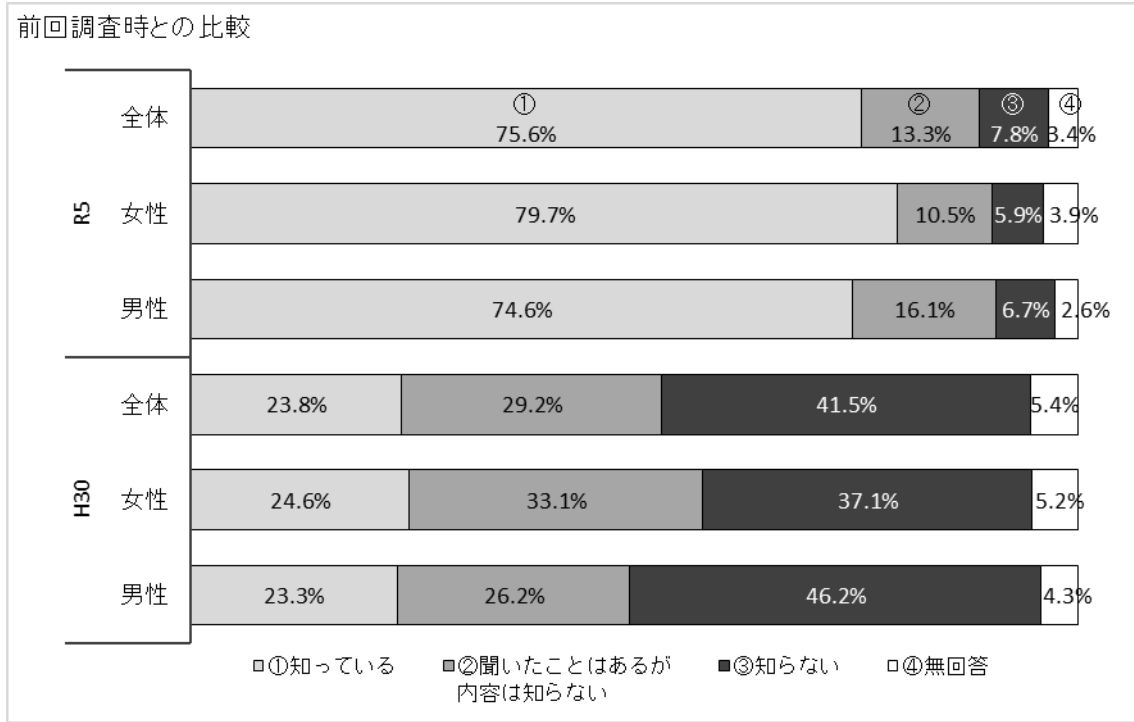
全体では、「知っている」と回答した人は、87.2%であり、大半の人が知っている。
男女とも、20代、30代と若い世代で知っている人が多く、年代が上がるほど認知度が低い傾向にある。

※令和5年度より調査



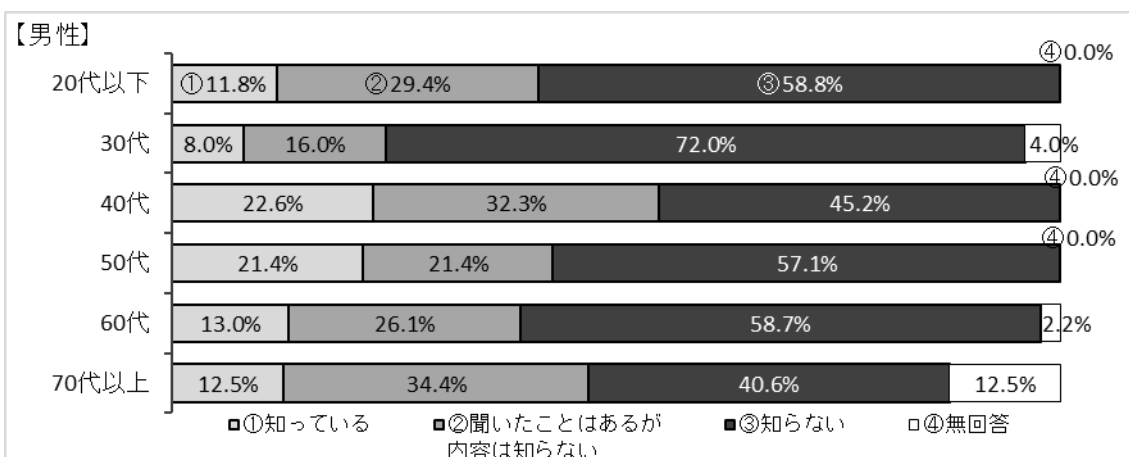
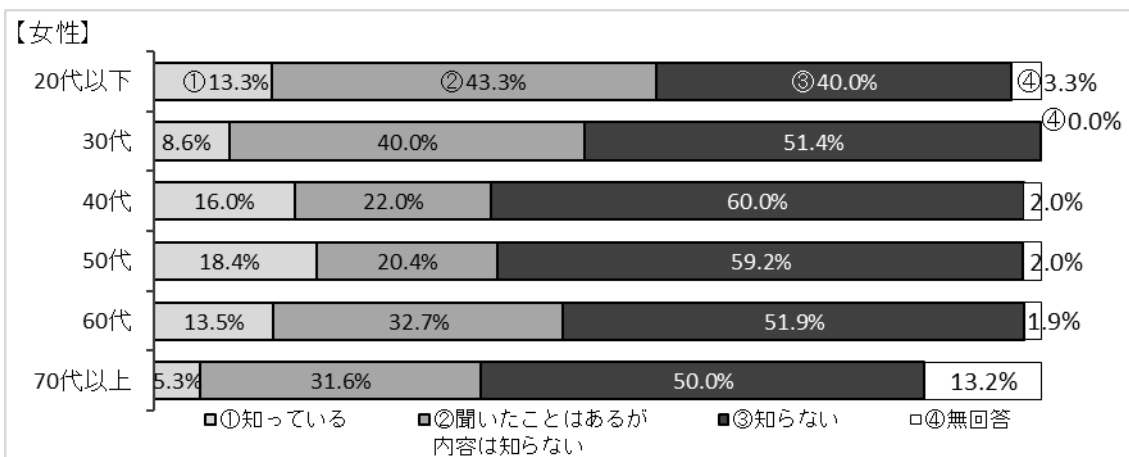
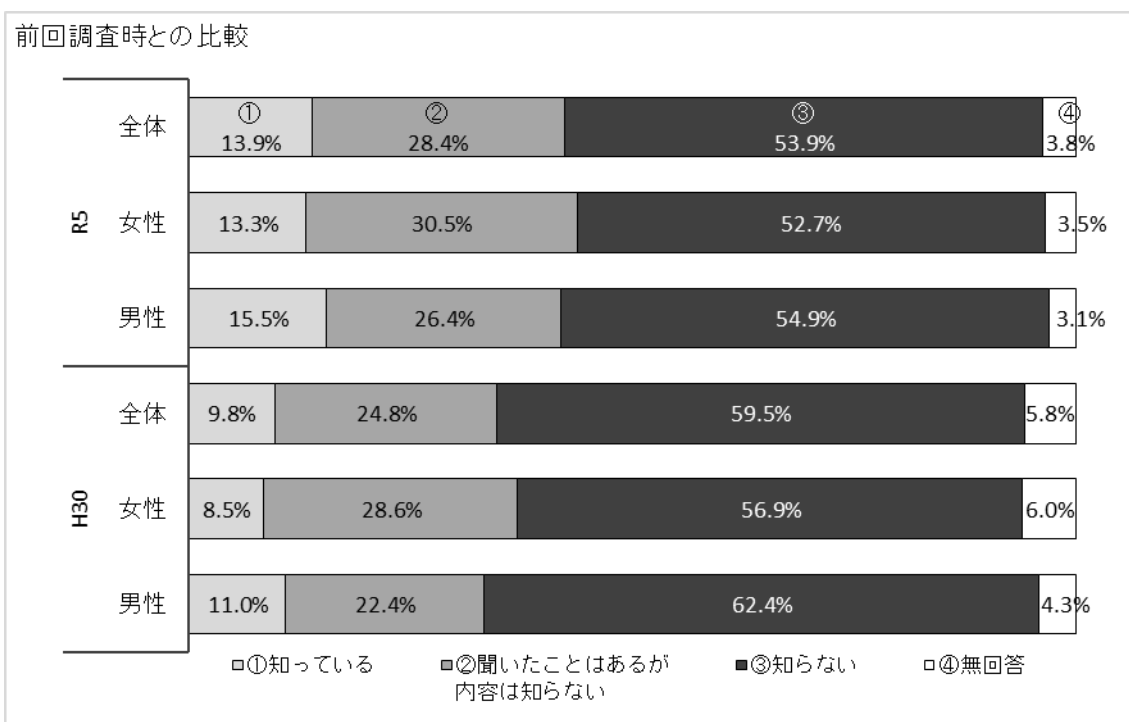
■ ジェンダー（社会的・文化的に作られた性差のこと）

全体では、「知っている」と回答した人は、75.6%であり、前回（23.8%）よりも51.8ポイントと飛躍的に増えている。「聞いたことはある」とする人も入れると9割近い人が、言葉は知っている。一方で、男女とも70代以上での認知度はほかの年代に比べて低い。



■ ポジティブ・アクション（積極的改善措置）

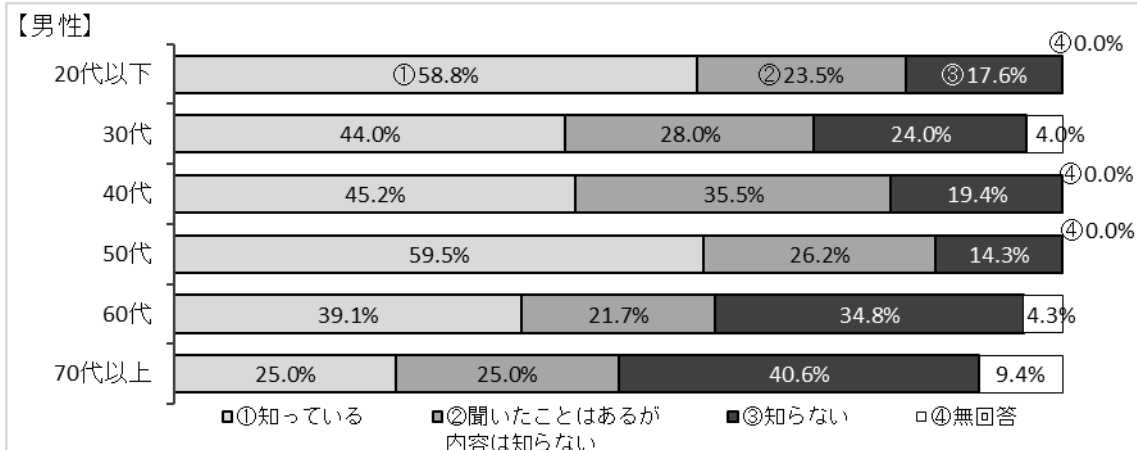
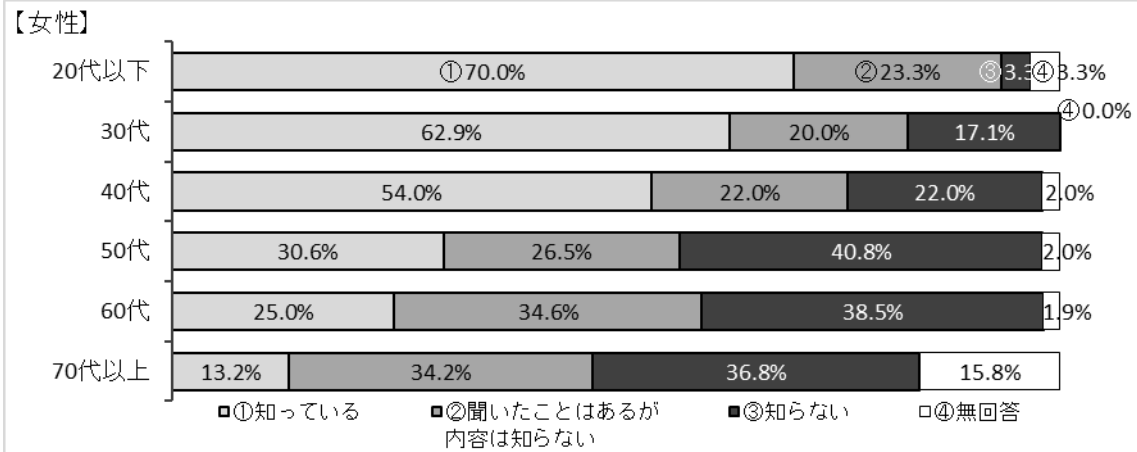
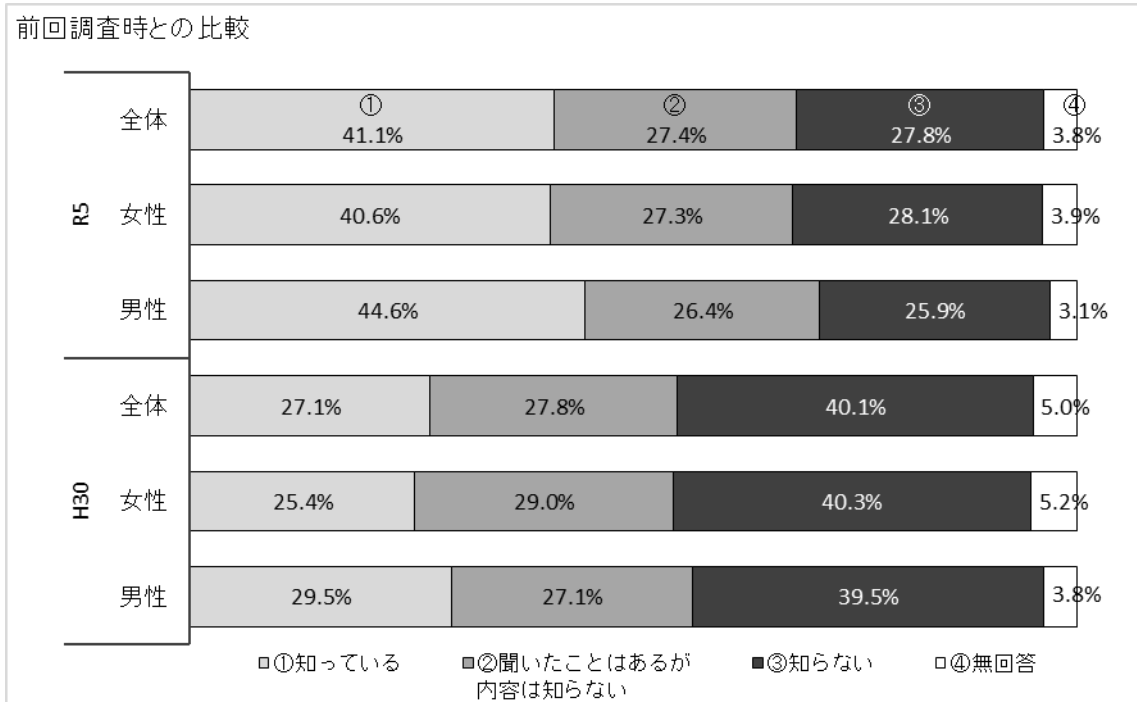
全体では、「知っている」と回答した人は、13.9%であり、認知度は低い。男女とも5割以上が「わからない」と回答している。



■ ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）

全体では、「知っている」と回答した人は、41.1%であり、前回（27.1%）よりも14.0ポイントと大きく増えている。「知っている」、「聞いたことはあるが内容は知らない」を合わせると、男女とも6割の人が知っている。

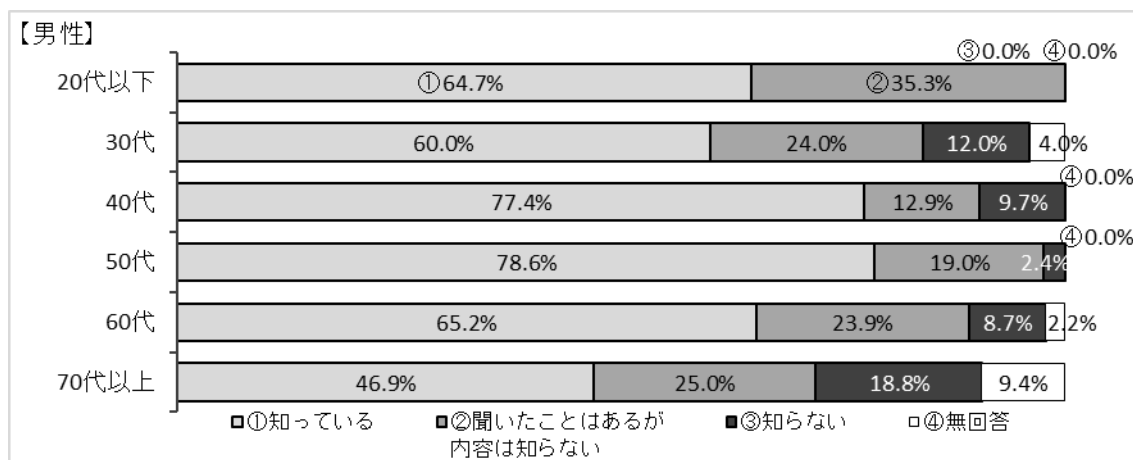
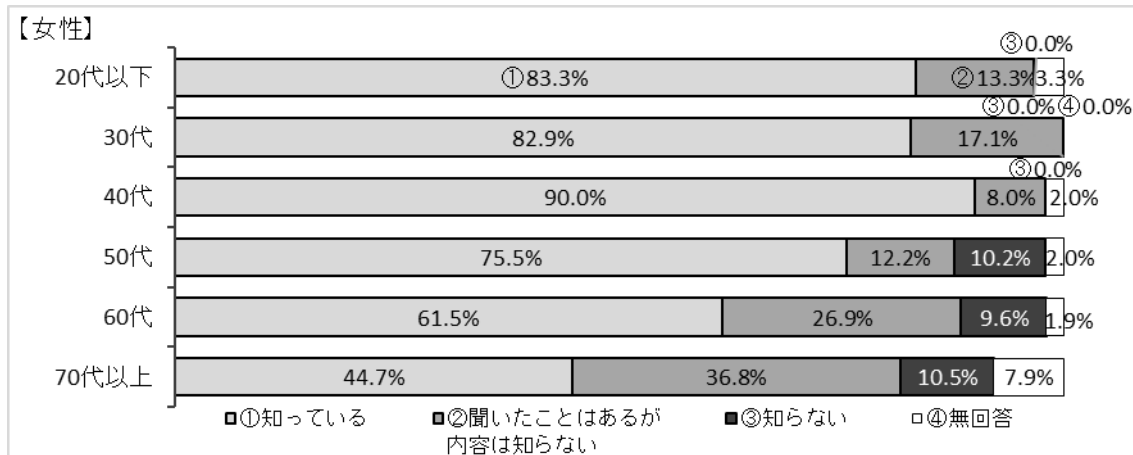
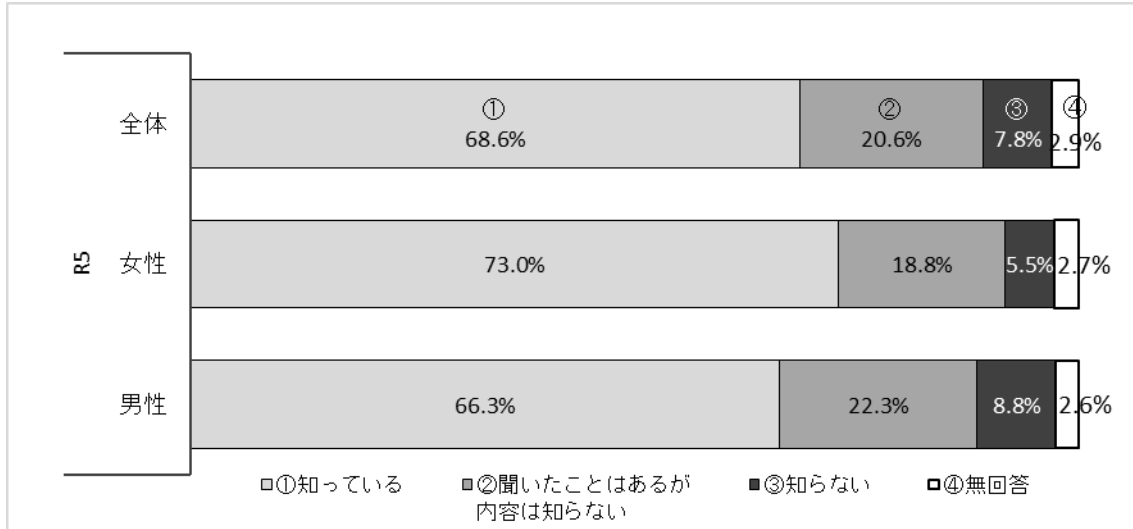
年代別では、男女とも60代、70代以上と年代が上がるほど認知度が低い傾向にある。



■ 性的マイノリティ、LGBTQ

全体では、「知っている」と回答した人は、68.6%であり、認知度は比較的高い。特に女性では、20代、30代、40代で8割を超えている。一方で、年代が上がるほど認知度が低くなる様子が見られる。

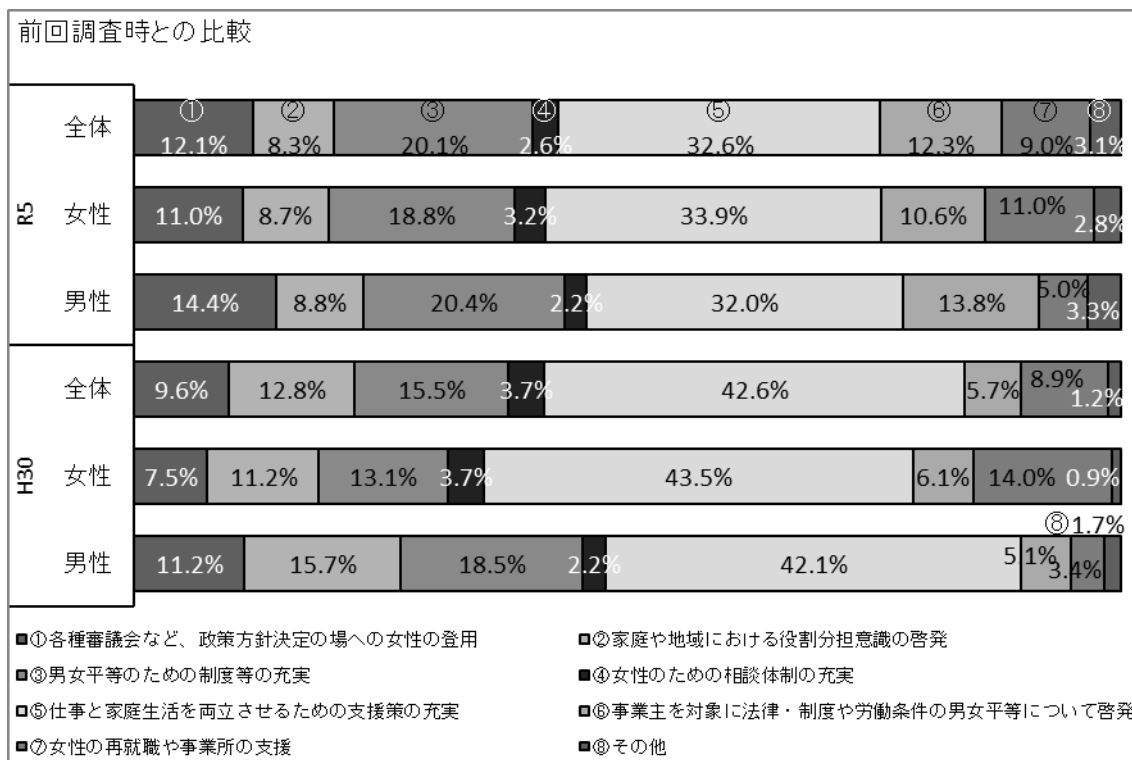
※令和5年度より調査



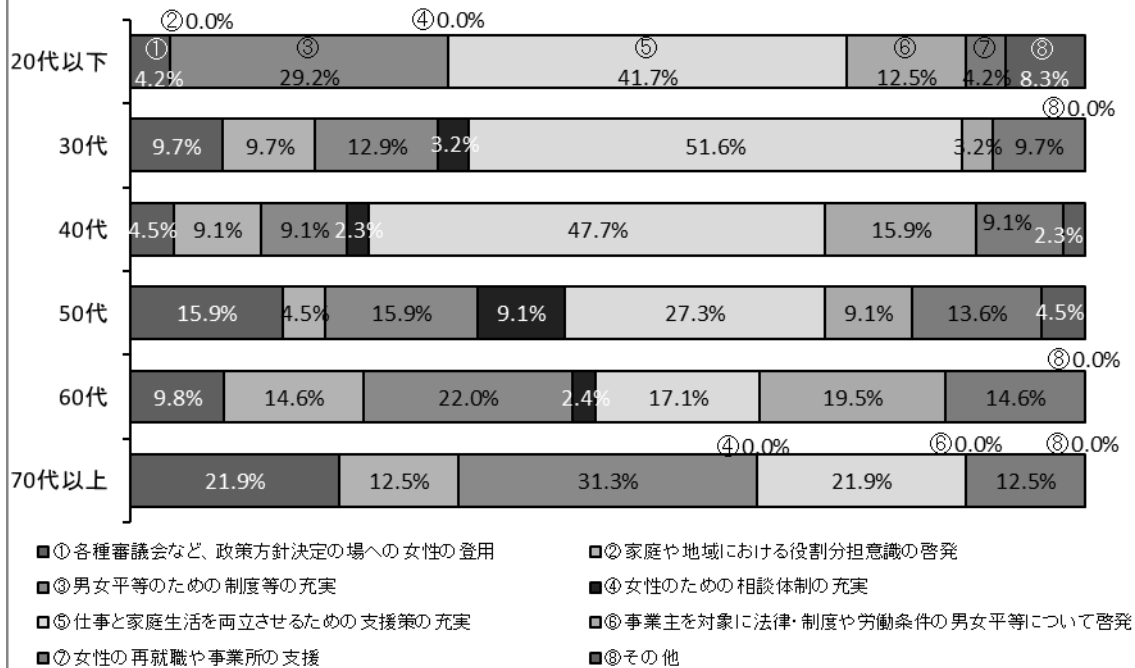
(9) 男女共同参画社会実現のために望むこと

全体では「仕事と家庭生活を両立させるための支援策の充実」(32.6%)を望む声が多い。特に男女とも、20代、30代、40代に多くなっている。次いで「男女平等のための制度等の充実」(20.1%)を望む人が多い。

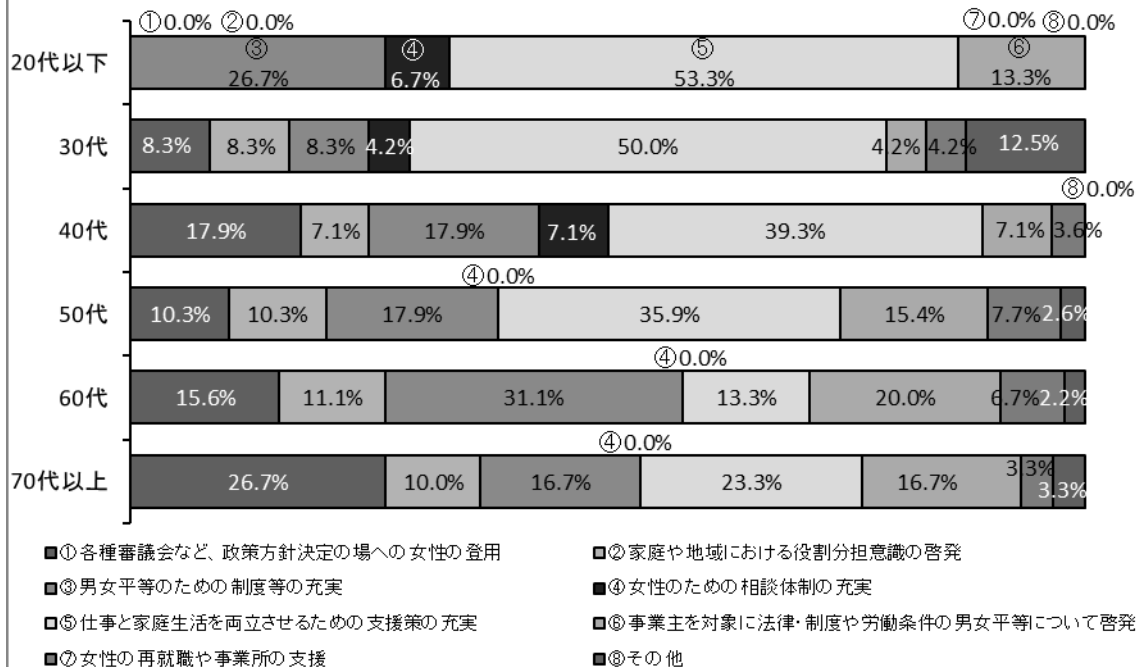
男女とも年代が上がるほど「各種審議会など、政策方針決定の場への女性の登用」が多くなる傾向にある。なお、女性では、「女性の再就職や事業所の支援」(11.0%)も多い。



【女性】



【男性】



【意見・要望】

<女性>

- とにかく全ては法から。啓発しても犯罪でないなら変わらない。教育も、その場しのぎの相談もそう。プラ袋が有料になって使う人が極端に減ったように罰金、罰則、事業停止措置など、強制的なルールが必須。その上で勝手にサービスは整ってくる。まずは公的整備。(女性・20代)
- 何より大切にすべきは個人の意思の尊重であると思います。その人やその家庭に合った選択が出来るよう、制度や法を整備して頂ければ嬉しいです。(女性・20代)
- 子供を育てやすい環境を整え、子供や親、高齢者が笑顔で安心して住める町づくりが早急に必要だと思います。実際に子育てをしている家庭の声をもっと聴いてほしいです。(女性・60代)
- 支援が必要な人ほどその方法や内容を知らず誰にも相談できないように思います。DVについて自分から行政に出向ける人は少ないでしょう。雇用や社会的な面で男女差があることに女性も諦めと、慣れがあってその状態に立ち向かうエネルギーはなかなかありません。そういう方がいたら応援したいとは思いますが。このアンケートにどんな意味があるのか分かりません。(女性・60代)
- よくわかりません。そもそも男性も育児休暇が取りやすくなったり、女性でも昇給できるようになれば良いのではないのでしょうか。それよりも国、県、市の偉いさんやおじさん達なのをどうにかした方が良いのでは？もっと若い人の意見を取り入れるべきです。(女性・20代)
- 男女←この時点で物語っている。つまり女男、女の子男の子の順にはならない。本音と建前の社会(人権も然り)。そこでどう折衷して快適に暮らし社会の中で生きていくか。(女性・40代・その他)
- 男女の質の違いと差別は違うと思う。出産育児後も、フルタイムで働きたい女性ばかりではない。逆に差別となる場合もある。やりたい女性はやれば良いし、その場合に障害や差別や嫌がらせがあってはならない。全ての人に単に“男女平等”を押し付けるのは、いささか荒っぽいと思う。(女性・50代)
- 御柱は特に“男性”がメインで動いているように感じる。地域で御柱の集まり、飲み会は必ず参加しないとイケない雰囲気を感じる。見方によってはパワハラと思う人もいるのかなと思う。岡谷市がもっと住みやすい地域になると嬉しいです。(女性・20代)
- 法律、制度が多く、理解している人は少ないと思う。まず公報の充実を願いたい。(一覧表化)(女性・70代以上)
- 人間、性別、偏見のない社会を望みます。(女性・70代以上)
- 男女共同参画は平成11年~ですが、まだまだ社会には浸透していませんね。昭和生まれの方々は男性が強い者、女性は一步下がっての考えが多いように思います。若い世代は学校で学ぶことがあると思うので考えは変わってきていると思いますが。実際女性より男性の方が力(力仕事)があるのは事実なので…。その部分は難しいと思います。(女性・50代)
- 仕事をしていて子供が小さいと病気になりやすくお休みしなければならない事が多い。周りの理解を得られず休みにくい雰囲気、時には休みすぎと注意される事もあり。自分が出産した時はそれを見ていたので仕事は辞め、再就職するのに10年以上かかった。(女性・40代)
- 男女共同参画を実現させるには、育児と仕事の両立ができることが大切だと思います。現金を配ることよりも、保育や学童のサービスの拡充、育児に関わる休暇が取りやすくなると思います。(女性・50代)
- これだけ「男女共同参画」が叫ばれているのに、日本、特にこの地域は全く進んでいない。積極的に対応していかないと、ますます逆三角形社会が進んで日本は潰れると思う。岡谷市を潰さないためにも、老若男女が自分の考えを発信できるような社会を考えていくことが大事だ

と思う。子供たちに「自分が選挙の投票に行っても何も変わらない。子供を持つのは金持ちだけの贅沢だ」などと言わせないで欲しい。今、岡谷に住んで税金を払ってくれている人を大切にして住み続けたいと思わせて欲しい。(女性・50代)

- 問22の⑤(注:「仕事と家庭生活を両立させるための支援策の充実」)が全てだと思います。女性(母)の方が収入が多いのに、子どもが体調不良になると病院に連れて行くのも母親。早退するのも女性(母)。父は仕事だけで本当に楽で羨ましくも、妬ましくも思います。(女性・40代)
- 心の問題や体力の面など、やっぱりお母さんに余裕を持って接してもらおうのがベストだと考えています。支援策だけではどうにもならないこともあると思っています。(女性・70代以上)
- 20才の時、今思えばパワーハラスメントを職場で経験しました。誰にも話す事も出来ず頑張って乗り越えてきました。(女性・70代以上)
- 議会の年齢、男女等のバランスが悪い。自分達の代表という気がしない。それこそ、男性中心なのではないか?(女性・60代)
- 何もかもが平等というのはあり得ないと思う。(女性・60代)
- 男女共同参画という言葉が聞かれるようになって大変嬉しいですがまだまだ男性が優位だと思います。男性の皆さん家庭でも奥さんに頑張らせて協力して頂き少しでも優しいお母さん素敵な奥さんが増えますように期待したいです。(女性・70代以上)
- 何でもかんでも男女で同じにするべきでもないと思う。男女の生物学的違いもあり、特に乳幼児にとって明らかに、父親より母親の必要性の方が大きいと思う。父親と母親の役割がはっきり分かれていた時代の良さもあったと思う。一部のフェミニストの声が大きく、それに振り回されている気もする。父親がほとんど家のことに携わらずうまくいっている家庭もある。日本人の文化もあり何でも海外の国と同じにするのもどうかと。その家庭ごとのやり方で良いと思えることが大切に思う。(女性・40代)
- 男女それぞれ得意なこと不得意なことがあると思います。お互いがお互いの長所・短所を認め合い、短所を補い合えるような社会になれば良いと思います。敵対する必要はないと思います。(女性・40代)
- 男女の能力は違うと認識した上で、平等を唱える事が望ましいと思います。(女性・40代)
- 正社員で働いているが、子の保育園や学校の行事、体調不良の時、有給休暇を使わなければならない、何日あっても足りない。看護休暇の給与の補助をして欲しい。時短勤務も、フルタイムとの給与の差が大きくお金の面では考えられないが、行事や体調不良など休まないといけない日が多く、仕事も進まず、正社員で働き続けるのは難しいと思うことが多い。(女性・30代)
- 男性、女性とも特性はうまく生かしながらも、基本的には1人1人の個を互いに大切に思い、生活できる世の中になれば良いと思う。(女性・50代)
- 男女の区別をつけない教育を小さい頃から学校等で取り入れて欲しい。共同参画のポスターへの応募がきっかけになる児童、生徒がいるのは非常に良い機会だと思っているが、ジェンダー平等の観点からも子供自身、全員に考えさせる場がもっとあって欲しい。(女性・50代)
- このアンケートの結果は、市民へも開示して欲しいです。相談しやすい窓口になるために、担当者は積極的に研修等を実施して誰もが話しやすい・安心する人材を求めます。(事務的な対応をされると相談しにくくなります。)(女性・30代)
- このような問題提起も必要な事と思いますが、経済、利益、物質的豊かさ追求の社会構造の中で、車や家のローン、育児、仕事、家事、地域活動に追われ、歯車のように休まず働いている現状では一般的な人々にとって、空論のようにも感じます。今、必要なのは、何かに追われぬ、ゆとりのある生活、病気にならない体づくり(添加物の無い食事、きれいな水、空気づくり、自然)によって、未来に続く“今”を大切にできる生活。大切な事を何もかもすっ飛ばして、簡易便利で走り続けて何が待っているのでしょうか。原点回帰、人間らしい本当の生き方とはが問われる今です。(女性・70代以上)

- 親の介護で20年正規で働いていた仕事を離職しました。現状のサービスで正規で働き続けるのは難しいのでデイサービス等もう少し制度内で利用できる日数を増やして欲しい。(女性・40代)
- 男女とも若い時から社会に出て、社会性を養っていけば世の中で勉強する事が出来、自分だけでなく相手の事も大切に思う事が出来れば、認め合うようになると思います。(女性・70代以上)
- 一番手伝いが欲しいのは日々の暮らしの中での家族の手です。“自分は〇〇で忙しい”ことを理由に、女性だけ(母親だけ)が自分の時間と体力を消耗しがちです。そこの手伝いが、細やかにあると助かります。(女性・50代)
- 年配の方ほど変化を拒みます。男女平等になるよう世間の動きがあってもなかなか進まない理由だと思います。小さい時からの教育だったのだから仕方ないかと、であれば会社でも政治でも上に立っている上司が年配の方(そういう考えの方)だと男女共同参画社会の実現は難しいかと思います。(女性・40代)
- 日々の生活の中で、男性が優遇されているなど感じる事が多い。私の職場では昨年社内で初めて育休を取得した男性社員がいたが周囲の反応は冷たく幻滅した。女性が産休、育休明けで戻ってきても協力的でない人が多く、自分が結婚、妊娠したいとも思わない。(女性・20代)
- 男女共同参画を謳っても実態が伴っていないことを実感します。例えば市の職員を例にとっても、部課長職への女性起用が非常に少なく、他市町村に比べて、岡谷市は、最低だと思います。素晴らしい資質と人間性を持った女性が沢山いるのに、とても残念です。つまり封建的なのです。昔からの古い観念が蔓延っていて、いつまで経っても変革されない。そんな保守的意識が岡谷市の行政に繋がっているとしたら、市民にとって「楽しく住みよい岡谷市」には、ならないと思うのです。(女性・70代以上)
- 現在自分が妊娠、育休中ということもあり、子育てをしながらの仕事の大変さを感じています。自分の母や義母もまだ働いている世代であり、頼るためには孫の看護休暇のような親世代にも頼りやすい制度があると自分が仕事で無理な時に使いやすと思います。(女性・20代)
- 男女共同参画と言っても、男の人は女の人を下に見る感は無くなっていく、いくら長く職場にいても意見は聴いてもらえない。形ばかりではなく、意識を変えていく事が大切だと思いますが…。急がなくても良い、少しずつ変えていって欲しい。上の人こそ、人の意見を聴ける心を持って指導できればと願います。(女性・50代)
- 誰もが、無理のなく負担が重くないようお願いしたいです。お世話様です。(女性・50代)
- 男尊女卑の時代が、長すぎたせいか上から目線で女性を見下した物の考え方をする人達が日本のTOPにいる限り、まだまだ一朝一夕にはいかない。(女性・60代)
- 近年優秀な女性が多いと思うので市に地域に上手く組み込まれて活躍できれば良い。(問22(注:男女共同参画社会を実現していくために、どのような施策を望みますか)のような重いものでなく)(女性・年齢不明)

<男性>

- 対等と平等は違うと思います。男性として優遇されている部分、女性として優遇されている部分、それぞれを手離す覚悟も必要です。(男性・40代)
- 大学の教員OG等社会で活躍してきた女性がいるのだから行政に引き込んでほしい。(男性・60代)
- 若い世代からの意見を吸い上げ、もっと女性が前面に出やすい環境作りが必要かと思う。(男性・60代)
- 知らないことが多いので設問が的確かどうか分かりませんが、私の中での考えを記入させていただきました。子供の時からの教育が大切だと考えます。(男性・70代以上)

- 現在、諸組織のTOP・リーダーとなっている者が、男女均等を即刻実践することが最も効果的だと思います。(男性・70代以上)
- 労働環境・育児休業を男・女共に取得しやすいよう、事業所などの幹部への指導を積極的にして欲しい。(男性・30代)
- 女性を前面に出していくだけでなく、先頭に立って色々へ行いたいと思った人が、行えるような環境、制度の整備をお願いします。(男性・20代)
- まだ、「女のくせに」とか「出しゃばり女」とかいう言葉を陰で聞くことがあります。女性が安心して育児ができる社会環境が必要だと思います。(男性・70代以上)
- この事業の推進も女性中心で行わなければ実行性が疑われる。このアンケート（〇は1つ）では意見が反映しづらい。せめて2つとか、1、2して選べるようにすべき。(男性・60代)
- 生活と仕事（経済活動）が分離しがちな現代社会、性差ばかりではなく母性（父性）、協調性、社会性などにも大きな個人差があるでしょう。子を育て、命や代を継いでいくことも本来、大切な「社会参画」のはず。雇用者、管理・監督者のみならず、個々人の意識の変改が必要ではないでしょうか。そうした型にはめない啓発が大切でしょう。(男性・60代)
- 市の取り組みに具体性がない。突然アンケートをしても生かせるか疑問。市でも、女性は課長までで、部長、局長人事が無いのに男女共同参画、笑ってしまう！（男性・50代）
- 本アンケートは本当に男女共同に寄与できるのか？疑問である。本心から男女平等充実のために何が足りないかをしっかり突き詰めて、もう一度アンケートをやり直すべきと考えます。(男性・70代以上)
- 「男女共同参画」という言葉がまだ自分の中で良く理解出来ていないので啓発活動を通じ自分も学んで行きたいと思っています。(男性・70代以上)
- 戦後の社会変化の流れは、全体的には正しい方向に向かっていると思える。(男性・60代)
- あるかどうかは知らないが賃金格差を無くせば良いと思う。(男性・20代)
- 保育園（未満児）の確保、先生たちの給料を見合った額へ。手当など。本当に子供たちは先生が大好きで良くしてもらっています。(男性・40代)
- 男女共同参画に反対です。女性が安い給与で働くことにより、労働者全体の給与が下がる。出産・子育てをしてくれる女性がとても少なくなっており、少子化の原因の1つとなっていると考えます。分断を生み、以上の理由から国力を落としている。こんなことに10兆もの予算が使われている。(男性・30代)
- 市役所の窓口や電話交換手に男性職員も起用する。(男性・50代)
- 初めて聞きました。もっと広報等で活動して欲しいです。(男性・40代)
- 男女が均等にと世の中が進んでいるが、全ての女性がそれを望んでいる訳ではない。今のままで良い。又、男女が平等にと言う事は、逆に難しい事。都合の悪い時だけ、平等を主張する人も事実増えている。(男性・50代)
- 体裁ばかりで中身がないイメージが強く、見た目でわかりやすく、ただ女性を数合わせに使っているだけに思える事が多い。能力がない人でも、要職に就けると言う事は、仕事に強い影響があって、余計に男女間の軋轢を生む。(男性・30代)
- その家庭、夫婦にあった形が良いと思います。(男性・40代)
- 啓発は必要だが具体例を挙げ自分や身近な人がそれにあたるか、それに合った改善策は何なのか等考えたり意識してもらうことが大切だと思う。受け入れる行政も、一律的な事務仕事では

なく、その人に合った対応ができるよう多くの知識、経験、学ぼうとする意欲、寄り添える優しさをもった人に対応してもらえらなら安心して相談できる場所になれると思う。平等とは何なのか今一度考えてもらいたい。(男性・50代)

- 男女共同参画という名前だけで、実際はモラル、セクハラ発言で溢れている。上司がやっているのも何も言えない。我慢をするかその人から離れるために離職が一番の解決の仕方、それしか思い浮かばない。最善の策だと思う。嫌な事をして相手がどう思うか考えられない人に教育・研修は無理。どうにかしてください！！(男性・30代)

<性別不明>

- LGBTQという言葉や男女選択欄の廃止等の現在、「男女共同参画」という言葉自体が相応しくないのでは？(性別不明・50代)
- DVを受けた人の相談窓口はあるけど、相談に乗るだけではなく、被害者の方と一緒に寄り添って、被害者丸投げにならないようにしていただきたいです。(性別不明・20代)

資 料 編

男女共同参画に関する市民アンケート

へのご協力をお願い

岡谷市では、男女がともに人権を尊重し、多様な生き方を認め、喜びも責任も分かち合い、性別にかかわることなく、誰もが能力を十分に発揮することができる、男女共同参画社会を実現するため、市民の皆さんと協力して施策の推進を図っております。

※男女共同参画社会とは

男女が、社会の対等な構成員として、自らの意思によって社会のあらゆる分野における活動に参画する機会が確保され、もって男女が均等に政治的、経済的、社会的及び文化的利益を享受することができ、かつ、共に責任を担うべき社会（男女共同参画基本法第2条）

この調査は、「男女共同参画おかやプランⅦ（令和7～令和11年度）」の策定に向けて、市民の皆さんの男女共同参画に対する意識等を把握し、施策の推進に反映させることを目的として実施するものです。

今回は、市内在住の18歳以上の方1,000人を無作為に選び、この調査票を配布させていただきました。

お忙しいところ大変恐縮ですが、ご協力いただきますようお願いいたします。

令和5年8月

岡谷市長 今井 竜五

●調査内容

現在のあなた個人の考えをお答えください。

●提出方法

記入済みの調査票を同封の返信用封筒（切手不要／住所・氏名は無記名）に入れて、9月20日（水）までにポストへ投函してください。

ご回答いただきました内容は、「男女共同参画おかやプランⅦ」を策定するための基本データとして使用し、それ以外の目的で利用することはありません。

本調査は全て無記名により行いますので、記入していただいた個人が特定されることは一切ありません。日頃感じていることを率直にお答えいただきますようお願いいたします。

皆さんからいただきました回答を統計的に集計し、調査結果は後日公表します。

（お問い合わせ先）岡谷市役所 地域創生推進課 男女共同参画・多文化共生担当 廣瀬
電話 23-4811（内線1362）

【ご記入にあたって】

- この調査は、個人調査です。ご自身のお考えでお答えください。
- 回答用紙はありません。この調査票に直接記入してください。
- この調査は、無記名調査です。調査票に、お名前を記入していただく必要はありません。
- 該当する番号を○で囲んでください。複数回答をお願いする設問もあります。
- 「その他」に該当する場合は、() 内に具体的な内容を記入してください。
- 回答できない項目は、空欄としていただいて構いません。

●あなたとあなたの世帯について

問1 あなたご自身について、該当するものに○をしてください。

性別（任意）	1. 男性 2. 女性
年代	1. 18～19 歳 2. 20 歳代 3. 30 歳代 4. 40 歳代 5. 50 歳代 6. 60 歳代 7. 70 歳以上
職業	1. 自営業（農業等を含む） 2. 正社員・正職員 3. パート・アルバイト 4. 派遣社員・契約社員など 5. 内職 6. 家事専業（専業主婦・専業主夫） 7. 学生 8. 無職 9. その他（具体的に_____）
結婚	1. <u>結婚している</u> 2. 結婚していない 3. 結婚していたが ↑ * 問2 もご回答ください。 離・死別した
子ども * 同居している子どもについてお答えください (お孫さんは含みません)	1. <u>18歳未満の子どもがいる</u> （末子の年齢 _____ 才） ↑ * 一番下のお子さんの年齢をご記入ください。 2. 18歳以上の子どもがいる 3. いない
介護が必要な人	1. 同じ世帯にいる 2. 同じ世帯以外にいる 3. いない
離職の経験	1. <u>ある（ _____ 回）</u> 2. ない ↑ * 回数をご記入し、問3 もご回答ください。

問2 問1で「結婚している」を選んだ方は、夫婦の働き方について、該当するものに○をしてください。

1. 共働き 2. 自分のみ働いている 3. 配偶者のみ働いている 4. 2人とも働いていない

問3 問1で「離職の経験 あり」を選んだ方は、その理由について、該当するものに○をしてください。（複数回経験のある方は、直近のものを選んでください。）

1. 結婚により 2. 出産・子育てにより 3. 介護により
4. その他（ _____ ）

問4 あなたのご家族の構成（世帯構成）について、該当するものに○をしてください。

1. 一人暮らし 2. 夫婦のみ 3. 二世帯（親・子） 4. 三世帯（親・子・孫）
5. その他（ _____ ）

●男女平等に関する意識について

問5 あなたは次にあげる分野で、男女は平等になっていると思いますか。(それぞれ○は1つ)

	男性の方が非常に 優遇されている	どちらかといえば 男性の方が優遇	男女平等	どちらかといえば 女性の方が優遇	女性の方が非常に 優遇されている	わからない
① 家庭生活	1	2	3	4	5	6
② 職場	1	2	3	4	5	6
③ 地域活動	1	2	3	4	5	6
④ 学校教育の場	1	2	3	4	5	6
⑤ 政治の場	1	2	3	4	5	6
⑥ 法律や制度上	1	2	3	4	5	6
⑦ 社会通念・慣習・しきたり	1	2	3	4	5	6
⑧ 社会全体として	1	2	3	4	5	6

●家庭生活について

問6 あなたは次の家事等をしていますか。(それぞれ○は1つ)

	主に自分が している	自分と家族が 同じ程度している	自分は手伝い程度 している	していない
① 掃除・洗濯	1	2	3	4
② 食事の支度・後片付け	1	2	3	4
③ 家の周りの整備（草取り等）	1	2	3	4
④ ゴミだし	1	2	3	4
⑤ 食料品・日用品の買い物	1	2	3	4
⑥ 育児	1	2	3	4
⑦ 介護	1	2	3	4
⑧ 子どもの教育・学校行事への参加	1	2	3	4
⑨ 地域活動への参加	1	2	3	4

問7 あなたの1日あたりの家事従事時間（家事・育児・介護）はどの程度ですか。（○は1つ）

1. 0～1時間未満	2. 1～2時間未満	3. 2～3時間未満
4. 3～5時間未満	5. 5時間以上	

問8 男性が家事をすることについてどう思いますか。(○は1つ)

- | |
|---|
| 1. 男性が主に働いているので手伝い程度すれば良い
2. 共働き世帯では男性も家事をするべき
3. 男女に関わらず、家事をするのが良い
4. その他 () |
|---|

問9 次のような考え方についてどう思いますか。あななの考えに近い番号に○をつけてください。(それぞれ○は1つ)

	賛成	賛成 どちらかといえは	反対 どちらかといえは	反対	わからない
① 結婚してもしなくてもどちらでもよい	1	2	3	4	5
② 男性は仕事をし、女性は家庭を守るべきである	1	2	3	4	5
③ 男女とも仕事に就いた方がよい	1	2	3	4	5
④ 子どもが幼いうちは、女性は家庭にいた方がよい	1	2	3	4	5
⑤ 家事・子育て・介護は男女が協力してやるべきだ	1	2	3	4	5
⑥ 結婚しても、必ずしも子どもを持つ必要はない	1	2	3	4	5
⑦ 相手に満足できなければ離婚してもかまわない	1	2	3	4	5

問10 あなたはご自分の生活についてどんなことが不安ですか。(○は2つまで)

- | |
|---|
| 1. 配偶者に先立たれること
2. お金のこと
3. 健康のこと
4. 住宅のこと
5. 老後の面倒を見てくれる人がいないこと
6. 仕事や趣味がないこと
7. 家族とのよりよい関係を保つこと
8. 親族の介護
9. 特に不安はない
10. その他 () |
|---|

●仕事について

問11 近年は企業等において女性も活躍できる社会が求められています。

そこで、女性の就労のあり方について、あなたの考えに近い番号に○をつけてください。(○は1つ)

- | |
|--|
| 1. 結婚や出産にかかわらず、仕事を続けるほうがよい
2. 子育ての時期だけ一時やめて、その後フルタイムで仕事を続けるほうがよい
3. 子育ての時期だけ一時やめて、その後パートタイムで仕事を続けるほうがよい
4. 出産するまでは仕事を続け、その後は仕事に就かないほうがよい
5. 女性はできるだけ仕事に就かないほうがよい
6. 結婚するまでは仕事を続け、その後は仕事に就かないほうがよい
7. 結婚しないで仕事を続けるほうがよい
8. わからない
9. その他 () |
|--|

問16 男性と女性がともに仕事、家庭、育児、介護、地域活動等へ参加していくためには、どのようなことが重要だと思いますか。(〇は3つまで)

1. 男女の役割分担意識を解消するための啓発活動を充実すること
2. 男女の役割分担意識についての社会通念、慣習、しきたりを改めること
3. 家族間のコミュニケーションをはかること
4. 男女で協力するというを、子どもの頃から教育すること
5. 行政や地域社会などにおける方針・政策決定の場に女性を積極的に登用すること
6. 労働時間の短縮や男女ともに取得しやすい各種休暇・休業制度を充実させること
7. 子育てや介護に係るサービスを充実させること
8. 子育てや介護、地域活動を行うための仲間(ネットワーク)作りをすすめること
9. 家庭生活や地域活動と仕事の両立などについて、相談しやすい窓口をつくること
10. 家事や育児等をしやすいよう家族や会社、地域が協力すること
11. その他 ()

●男女の人権について

問17 人権が尊重されていないと感じることはどんなことですか。あてはまるものすべてに〇をつけてください。

1. セクシュアル・ハラスメント(性的いやがらせ)
2. パワー・ハラスメント(権限や立場を利用した、身体的・精神的いやがらせ)
3. モラル・ハラスメント(ことばや、態度などによる、精神的暴力やいやがらせ)
4. 性的指向や性自認等(好きな人の性別や自分の性への違和感)を理由とする偏見や差別
5. 昇給・昇進・給与・仕事の内容などの格差
6. 男女の固定的な役割分担意識(「男は仕事、女は家庭」など)
7. 夫婦間の暴力やパートナーからの暴力(DV)
8. ストーカー行為(つきまとい行為)
9. 風俗営業
10. 容姿を競うコンテスト
11. その他 ()

問18 あなたは「ドメスティック・バイオレンス(DV)」(配偶者やパートナーなど親密な関係の相手からの暴力)について、経験したり、見聞きしたりしたことはありますか。あてはまるものすべてに〇をつけてください。

1. 自分が直接経験したことがある
2. 相談を受けたことがある
3. 相談を受けたことはないが、当事者を知っている
4. テレビや新聞などで問題になっていることは知っている
5. 見聞きしたことはない
6. わからない
7. その他 ()

問19 あなたは「ドメスティック・バイオレンス（DV）」（配偶者やパートナーなど親密な関係の相手からの暴力）を受けた場合、誰かに打ち明けたり、相談したりしますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 配偶者暴力相談支援センター（女性相談センター、男女共同参画センター）に相談する
2. 警察に連絡・相談する
3. 法務局・地方法務局、人権擁護委員に相談する
4. 市役所の相談窓口（女性相談員、男女共同参画担当）に相談する
5. 民間の専門家や専門機関（弁護士、カウンセラー、民間シェルターなど）に相談する
6. 医療関係者（医師、看護師など）に相談する
7. 学校関係者（教員、養護教員、スクールカウンセラーなど）に相談する
8. 家族や親戚に相談する
9. 友人・知人に相談する
10. どこ（だれ）にも相談しない
11. その他（)

問20 性犯罪、DV、セクシュアル・ハラスメント、パワー・ハラスメント、モラル・ハラスメント等の暴力への対策としてどのようなことが必要だと思いますか。（○は3つまで）

1. 被害者が安心して相談できる窓口
2. 学校や家庭における男女平等や性についての教育の充実
3. 被害者の相談に当たる担当者の研修の充実や担当者の増員
4. 人権の尊重などについて市による啓発活動の充実
5. 暴力の再発を防ぐための加害者に対するカウンセリングや教育等の実施
6. 過激な内容の動画やゲームソフト等の販売や貸し出し等の制限
7. 性別役割や暴力の表現など過激な内容についてのメディアにおける倫理規定の強化
8. 特に対策の必要はない
9. その他（)

○子どもたちが男女共同参画について考え、描いたポスターの一部です。



次のページが最後です。

●男女共同参画に関する施策について

問21 あなたは次の言葉やことばについてどの程度知っていますか。(それぞれ○は1つ)

	知っている	知らない あるが内容は 聞いたことは	知らない
① 男女共同参画社会(男女が社会の対等な構成員として社会のあらゆる分野に参画する機会が確保される社会)	1	2	3
② 男女雇用機会均等法 (雇用の分野で男女の均等な取り扱いについての規定)	1	2	3
③ 育児・介護休業法(育児又は介護を行う労働者の福祉に関する法律)	1	2	3
④ 岡谷市男女共同参画条例(平成16年4月1日施行)	1	2	3
⑤ 男女共同参画おかやプランVI(平成31年3月策定) (第6次岡谷市男女共同参画計画)	1	2	3
⑥ DV(配偶者やパートナーなど親密な関係の相手からの暴力)	1	2	3
⑦ ジェンダー(社会的・文化的に作られた性差のこと)	1	2	3
⑧ ポジティブ・アクション(積極的改善措置)	1	2	3
⑨ ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)	1	2	3
⑩ 性的マイノリティ、LGBTQ (同性に恋愛感情を持つ人や自分の性に違和感がある人のこと)	1	2	3

問22 男女共同参画社会を実現していくために、どのような施策を望みますか。(○は1つ)

1. 各種審議会など、政策方針決定の場への女性の登用 2. 家庭や地域における役割分担意識の啓発 3. 男女平等のための制度等の充実 4. 女性のための相談体制の充実 5. 仕事と家庭生活を両立させるための支援策の充実 6. 事業主を対象に法律・制度や労働条件の男女平等について啓発 7. 女性の再就職や事業所の支援 8. その他 ()
--

《男女共同参画に対するご意見・要望等ございましたら、ご自由にお書きください。》

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

●あなたとあなたの世帯について

■問1 あなた自身について

性別	回答数
①男性	193
②女性	256
無回答	26
総数	475

年代	回答数	女性	男性
①18～19歳	6	2	4
②20歳代	42	28	13
③30歳代	62	35	25
④40歳代	84	50	31
⑤50歳代	93	49	42
⑥60歳代	104	52	46
⑦70歳以上	79	38	32
無回答	5	2	0
総数	475	256	193

職業	回答数	女性	男性
①自営業（農業等を含む）	32	7	23
②正社員・正職員	185	82	98
③パート・アルバイト	91	72	14
④派遣社員・契約社員など	18	8	9
⑤内職	1	0	0
⑥家事専業（専業主婦・専業主夫）	49	46	0
⑦学生	12	8	4
⑧無職	70	25	39
⑨その他	9	5	4
⑩無回答	8	3	2
総数	475	256	193

年代別						
職業	20代	30代	40代	50代	60代	70以上
①自営業（農業等を含む）	1	2	9	4	12	4
②正社員・正職員	26	40	49	52	16	1
③パート・アルバイト	5	10	16	26	29	5
④派遣社員・契約社員など	2	2	4	2	7	1
⑤内職	0	0	0	0	0	1
⑥家事専業（専業主婦・専業主夫）	1	8	1	3	17	18
⑦学生	12	0	0	0	0	0
⑧無職	0	0	1	4	20	45
⑨その他	1	0	2	1	2	3
⑩無回答	0	0	2	1	1	1
総数	48	62	84	93	104	79

女性・年代別						
職業	20代以下	30代	40代	50代	60代	70代以上
①自営業（農業等を含む）	0	0	2	1	4	0
②正社員・正職員	16	19	26	15	4	1
③パート・アルバイト	3	6	15	25	20	3
④派遣社員・契約社員など	1	2	2	0	3	0
⑤内職	0	0	0	0	0	0
⑥家事専業（専業主婦・専業主夫）	1	8	1	3	16	16
⑦学生	8	0	0	0	0	0
⑧無職	0	0	0	3	5	17
⑨その他	1	0	2	1	0	1
⑩無回答	0	0	2	1	0	0
総数	30	35	50	49	52	38

男性・年代別						
職業	20代以下	30代	40代	50代	60代	70代以上
①自営業（農業等を含む）	1	2	7	3	7	3
②正社員・正職員	10	20	21	35	12	0
③パート・アルバイト	1	3	1	1	7	1
④派遣社員・契約社員など	1	0	1	2	4	1
⑤内職	0	0	0	0	0	0
⑥家事専業（専業主婦・専業主夫）	0	0	0	0	0	0
⑦学生	4	0	0	0	0	0
⑧無職	0	0	1	1	13	24
⑨その他	0	0	0	0	2	2
⑩無回答	0	0	0	0	1	1
総数	17	25	31	42	46	32

既婚者			
職業	回答数	女性	男性
①自営業（農業等を含む）	19	6	12
②正社員・正職員	124	54	68
③パート・アルバイト	69	60	6
④派遣社員・契約社員など	13	6	7
⑤内職	1	0	0
⑥家事専業（専業主婦・専業主夫）	43	42	0
⑦学生	0	0	0
⑧無職	47	13	30
⑨その他	7	3	4
⑩無回答	3	3	0
総数	326	187	127

女性・既婚者・年代別						
職業	20代以下	30代	40代	50代	60代	70代以上
①自営業（農業等を含む）	0	0	2	0	4	0
②正社員・正職員	5	15	19	9	4	1
③パート・アルバイト	1	5	14	20	17	3
④派遣社員・契約社員など	1	1	2	0	2	0
⑤内職	0	0	0	0	0	0
⑥家事専業（専業主婦・専業主夫）	1	8	1	3	15	13
⑦学生	0	0	0	0	0	0
⑧無職	0	0	0	1	5	7
⑨その他	0	0	2	1	0	0
⑩無回答	0	0	2	1	0	0
総数	8	29	42	35	47	24

男性・既婚者・年代別						
職業	20代以下	30代	40代	50代	60代	70代以上
①自営業（農業等を含む）	0	0	3	1	6	2
②正社員・正職員	1	13	18	26	10	0
③パート・アルバイト	0	0	0	0	5	1
④派遣社員・契約社員など	1	0	0	1	4	1
⑤内職	0	0	0	0	0	0
⑥家事専業（専業主婦・専業主夫）	0	0	0	0	0	0
⑦学生	0	0	0	0	0	0
⑧無職	0	0	0	1	8	21
⑨その他	0	0	0	0	2	2
⑩無回答	0	0	0	0	0	0
総数	2	13	21	29	35	27

結婚	回答数	女性	男性
①結婚している	326	187	127
②結婚していない	99	37	54
③結婚していたが離・死別した	46	32	12
無回答	4	0	0
総数	475	256	193

子ども	回答数
①18歳未満	120
②18歳以上	162
③いない	161
無回答	45
総数	488

※複数回答あり

介護が必要な人	回答数
①同じ世帯にいる	56
②同じ世帯以外にいる	43
③いない	363
無回答	13
総数	475

離職の経験（全体）	回答数
①ある	246
②ない	207
無回答	22
総数	475

離職の回数	回答数	割合
1回	91	37.0%
2回	67	27.2%
3回	44	17.9%
4回	16	6.5%
5回	12	4.9%
6回以上	4	1.6%
無回答	12	4.9%
総数	246	100.0%

離職の経験（男女別）	回答数	女性	男性
①ある	235	168	67
②ない	197	80	117
総数	432	248	184

※無回答・性別無回答は含まないため、「離職の経験（全体）」との総数は一致せず

■問2 夫婦の働き方（分母：既婚（配偶者あり））

夫婦の働き方	回答数	割合
①共働き	199	61.0%
②自分のみ働いている	39	12.0%
③配偶者のみ働いている	31	9.5%
④2人とも働いていない	51	15.6%
無回答	6	1.8%
総数	326	100.0%

■問3 離職の理由（分母：離職の経験あり（複数回答）から無回答を除いた回答数）

離職の理由	回答数	女性	男性	割合	女性	男性
①結婚により	36	33	2	16.4%	22.1%	3.3%
②出産・子育てにより	57	54	0	26.0%	36.2%	0.0%
③介護により	9	5	3	4.1%	3.4%	5.0%
④その他	117	57	55	53.4%	38.3%	91.7%
総数	219	149	60	100.0%	100.0%	100.0%

※複数回答あり

■問4 世帯の構成

世帯の構成	回答数	割合
①一人暮らし	40	8.4%
②夫婦のみ	115	24.2%
③二世帯（親・子）	249	52.4%
④三世帯（親・子・孫）	54	11.4%
⑤その他	9	1.9%
無回答	8	1.7%
総数	475	100.0%

年代別						
世帯の構成	20代以下	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
①一人暮らし	5	0	3	9	13	10
②夫婦のみ	3	8	8	13	49	33
③二世帯（親・子）	26	49	60	56	32	25
④三世帯（親・子・孫）	14	5	10	11	6	8
⑤その他	0	0	2	3	3	1
無回答	0	0	1	1	1	2
総数	48	62	84	93	104	79

●男女平等に関する意識について

■問5 男女平等になっていると思いますか。

家庭生活	R5			H30		
	全体	女性	男性	全体	女性	男性
①男性の方が非常に優遇されている	46	36	9	47	35	10
②どちらかといえば男性の方が優遇	214	126	79	204	110	90
③男女平等	128	49	72	131	54	71
④どちらかといえば女性の方が優遇	26	12	13	30	15	15
⑤女性の方が非常に優遇されている	6	4	2	4	2	2
⑥わからない	46	24	15	41	21	18
⑦無回答	9	5	3	22	12	5
総数	475	256	193	479	249	211

年代別						
家庭生活	20代以下	30代	40代	50代	60代	70代以上
①男性の方が非常に優遇されている	1	2	7	8	20	8
②どちらかといえば男性の方が優遇	20	25	46	43	42	34
③男女平等	15	21	18	23	25	26
④どちらかといえば女性の方が優遇	5	5	2	6	5	3
⑤女性の方が非常に優遇されている	1	2	2	0	1	0
⑥わからない	6	6	7	11	10	6
⑦無回答	0	1	2	2	1	2
総数	48	62	84	93	104	79

女性・年代別						
家庭生活	20代以下	30代	40代	50代	60代	70代以上
①男性の方が非常に優遇されている	1	2	6	7	13	7
②どちらかといえば男性の方が優遇	14	16	28	27	23	17
③男女平等	7	10	6	8	8	10
④どちらかといえば女性の方が優遇	3	2	2	1	3	1
⑤女性の方が非常に優遇されている	1	1	2	0	0	0
⑥わからない	4	4	4	5	5	2
⑦無回答	0	0	2	1	0	1
総数	30	35	50	49	52	38

男性・年代別						
家庭生活	20代以下	30代	40代	50代	60代	70代以上
①男性の方が非常に優遇されている	0	0	1	1	6	1
②どちらかといえば男性の方が優遇	6	8	17	16	17	15
③男女平等	8	10	12	14	15	13
④どちらかといえば女性の方が優遇	2	3	0	5	2	1
⑤女性の方が非常に優遇されている	0	1	0	0	1	0
⑥わからない	1	2	1	5	4	2
⑦無回答	0	1	0	1	1	0
総数	17	25	31	42	46	32

職場	R5			H30		
	全体	女性	男性	全体	女性	男性
①男性の方が非常に優遇されている	58	38	16	59	36	22
②どちらかといえば男性の方が優遇	197	101	91	203	103	94
③男女平等	121	65	51	91	44	44
④どちらかといえば女性の方が優遇	17	8	7	19	8	11
⑤女性の方が非常に優遇されている	3	1	2	3	0	3
⑥わからない	56	32	16	53	29	22
⑦無回答	23	11	10	51	29	15
総数	475	256	193	479	249	211

年代別						
職場	20代以下	30代	40代	50代	60代	70代以上
①男性の方が非常に優遇されている	3	4	10	16	15	10
②どちらかといえば男性の方が優遇	22	23	36	41	44	30
③男女平等	9	21	28	27	27	7
④どちらかといえば女性の方が優遇	3	4	5	0	4	1
⑤女性の方が非常に優遇されている	0	2	0	0	1	0
⑥わからない	10	8	5	7	12	13
⑦無回答	1	0	0	2	1	18
総数	48	62	84	93	104	79

女性・年代別						
職場	20代以下	30代	40代	50代	60代	70代以上
①男性の方が非常に優遇されている	3	2	7	11	9	6
②どちらかといえば男性の方が優遇	13	13	20	17	24	13
③男女平等	7	13	17	14	10	3
④どちらかといえば女性の方が優遇	1	1	4	0	1	1
⑤女性の方が非常に優遇されている	0	0	0	0	1	0
⑥わからない	6	6	2	5	7	6
⑦無回答	0	0	0	2	0	9
総数	30	35	50	49	52	38

男性・年代別						
職場	20代以下	30代	40代	50代	60代	70代以上
①男性の方が非常に優遇されている	0	2	3	5	4	2
②どちらかといえば男性の方が優遇	8	10	16	23	19	15
③男女平等	2	7	9	13	16	4
④どちらかといえば女性の方が優遇	2	2	1	0	2	0
⑤女性の方が非常に優遇されている	0	2	0	0	0	0
⑥わからない	4	2	2	1	4	3
⑦無回答	1	0	0	0	1	8
総数	17	25	31	42	46	32

地域活動	R5			H30		
	全体	女性	男性	全体	女性	男性
①男性の方が非常に優遇されている	27	19	8	29	19	9
②どちらかといえば男性の方が優遇	163	99	60	153	82	69
③男女平等	125	53	66	132	54	70
④どちらかといえば女性の方が優遇	38	16	20	33	15	18
⑤女性の方が非常に優遇されている	3	2	1	2	1	1
⑥わからない	106	60	34	93	56	35
⑦無回答	13	7	4	37	22	9
総数	475	256	193	479	249	211

年代別						
地域活動	20代以下	30代	40代	50代	60代	70代以上
①男性の方が非常に優遇されている	3	1	5	6	6	6
②どちらかといえば男性の方が優遇	13	20	30	33	41	24
③男女平等	15	18	18	28	24	21
④どちらかといえば女性の方が優遇	1	8	11	6	9	2
⑤女性の方が非常に優遇されている	0	1	0	1	1	0
⑥わからない	16	14	20	17	21	18
⑦無回答	0	0	0	2	2	8
総数	48	62	84	93	104	79

女性・年代別						
地域活動	20代以下	30代	40代	50代	60代	70代以上
①男性の方が非常に優遇されている	3	1	3	5	3	4
②どちらかといえば男性の方が優遇	8	13	20	19	25	12
③男女平等	8	9	11	13	6	6
④どちらかといえば女性の方が優遇	1	3	4	3	4	1
⑤女性の方が非常に優遇されている	0	0	0	1	1	0
⑥わからない	10	9	12	7	12	10
⑦無回答	0	0	0	1	1	5
総数	30	35	50	49	52	38

男性・年代別						
地域活動	20代以下	30代	40代	50代	60代	70代以上
①男性の方が非常に優遇されている	0	0	2	1	3	2
②どちらかといえば男性の方が優遇	5	7	10	14	14	10
③男女平等	7	8	7	14	17	13
④どちらかといえば女性の方が優遇	0	4	7	3	5	1
⑤女性の方が非常に優遇されている	0	1	0	0	0	0
⑥わからない	5	5	5	9	6	4
⑦無回答	0	0	0	1	1	2
総数	17	25	31	42	46	32

学校教育の場	R5			H30		
	全体	女性	男性	全体	女性	男性
①男性の方が非常に優遇されている	12	10	2	16	10	6
②どちらかといえば男性の方が優遇	90	53	35	64	40	24
③男女平等	210	102	99	217	108	102
④どちらかといえば女性の方が優遇	11	5	6	16	7	8
⑤女性の方が非常に優遇されている	1	0	1	3	2	1
⑥わからない	133	76	44	110	56	52
⑦無回答	18	10	6	53	26	18
総数	475	256	193	479	249	211

年代別						
学校教育の場	20代以下	30代	40代	50代	60代	70代以上
①男性の方が非常に優遇されている	1	1	3	2	3	2
②どちらかといえば男性の方が優遇	6	10	14	17	23	19
③男女平等	29	31	42	44	40	23
④どちらかといえば女性の方が優遇	3	1	3	3	1	0
⑤女性の方が非常に優遇されている	0	1	0	0	0	0
⑥わからない	9	18	21	25	33	25
⑦無回答	0	0	1	2	4	10
総数	48	62	84	93	104	79

女性・年代別						
学校教育の場	20代以下	30代	40代	50代	60代	70代以上
①男性の方が非常に優遇されている	1	1	3	1	2	2
②どちらかといえば男性の方が優遇	4	8	11	7	15	7
③男女平等	16	15	25	24	14	8
④どちらかといえば女性の方が優遇	1	0	1	3	0	0
⑤女性の方が非常に優遇されている	0	0	0	0	0	0
⑥わからない	8	11	9	12	20	15
⑦無回答	0	0	1	2	1	6
総数	30	35	50	49	52	38

男性・年代別						
学校教育の場	20代以下	30代	40代	50代	60代	70代以上
①男性の方が非常に優遇されている	0	0	0	1	1	0
②どちらかといえば男性の方が優遇	1	2	3	10	7	12
③男女平等	13	14	17	19	24	12
④どちらかといえば女性の方が優遇	2	1	2	0	1	0
⑤女性の方が非常に優遇されている	0	1	0	0	0	0
⑥わからない	1	7	9	12	10	5
⑦無回答	0	0	0	0	3	3
総数	17	25	31	42	46	32

政治の場	R5			H30		
	全体	女性	男性	全体	女性	男性
①男性の方が非常に優遇されている	165	101	56	143	77	60
②どちらかといえば男性の方が優遇	209	106	96	191	93	94
③男女平等	43	16	23	54	24	28
④どちらかといえば女性の方が優遇	2	1	1	1	1	0
⑤女性の方が非常に優遇されている	0	0	0	0	0	0
⑥わからない	45	25	14	56	35	20
⑦無回答	11	7	3	34	19	9
総数	475	256	193	479	249	211

年代別						
政治の場	20代以下	30代	40代	50代	60代	70代以上
①男性の方が非常に優遇されている	16	20	31	34	38	24
②どちらかといえば男性の方が優遇	23	28	34	37	48	36
③男女平等	6	8	5	9	11	4
④どちらかといえば女性の方が優遇	0	0	0	2	0	0
⑤女性の方が非常に優遇されている	0	0	0	0	0	0
⑥わからない	3	6	14	9	5	8
⑦無回答	0	0	0	2	2	7
総数	48	62	84	93	104	79

女性・年代別						
政治の場	20代以下	30代	40代	50代	60代	70代以上
①男性の方が非常に優遇されている	13	12	21	20	24	11
②どちらかといえば男性の方が優遇	12	17	21	14	22	18
③男女平等	3	3	1	7	2	0
④どちらかといえば女性の方が優遇	0	0	0	1	0	0
⑤女性の方が非常に優遇されている	0	0	0	0	0	0
⑥わからない	2	3	7	6	2	5
⑦無回答	0	0	0	1	2	4
総数	30	35	50	49	52	38

男性・年代別						
政治の場	20代以下	30代	40代	50代	60代	70代以上
①男性の方が非常に優遇されている	2	8	9	14	13	10
②どちらかといえば男性の方が優遇	11	11	12	22	23	17
③男女平等	3	4	4	2	8	2
④どちらかといえば女性の方が優遇	0	0	0	1	0	0
⑤女性の方が非常に優遇されている	0	0	0	0	0	0
⑥わからない	1	2	6	2	2	1
⑦無回答	0	0	0	1	0	2
総数	17	25	31	42	46	32

法律や制度の上	R5			H30		
	全体	女性	男性	全体	女性	男性
①男性の方が非常に優遇されている	68	46	19	59	38	19
②どちらかといえば男性の方が優遇	172	104	62	166	93	72
③男女平等	125	45	75	122	46	69
④どちらかといえば女性の方が優遇	19	10	6	20	7	13
⑤女性の方が非常に優遇されている	2	0	2	4	0	4
⑥わからない	76	43	25	75	47	26
⑦無回答	13	8	4	33	18	8
総数	475	256	193	479	249	211

年代別						
法律や制度の上	20代以下	30代	40代	50代	60代	70代以上
①男性の方が非常に優遇されている	6	8	13	13	15	12
②どちらかといえば男性の方が優遇	21	16	31	31	44	27
③男女平等	11	21	15	30	28	20
④どちらかといえば女性の方が優遇	5	4	4	0	3	2
⑤女性の方が非常に優遇されている	0	1	0	1	0	0
⑥わからない	5	10	21	16	13	11
⑦無回答	0	2	0	2	1	7
総数	48	62	84	93	104	79

女性・年代別						
法律や制度の上	20代以下	30代	40代	50代	60代	70代以上
①男性の方が非常に優遇されている	4	5	9	10	10	8
②どちらかといえば男性の方が優遇	16	10	21	15	26	14
③男女平等	3	11	6	12	8	5
④どちらかといえば女性の方が優遇	4	2	2	0	1	1
⑤女性の方が非常に優遇されている	0	0	0	0	0	0
⑥わからない	3	6	12	11	6	5
⑦無回答	0	1	0	1	1	5
総数	30	35	50	49	52	38

男性・年代別						
法律や制度の上	20代以下	30代	40代	50代	60代	70代以上
①男性の方が非常に優遇されている	1	3	4	3	5	3
②どちらかといえば男性の方が優遇	5	6	9	16	15	11
③男女平等	8	9	9	17	20	12
④どちらかといえば女性の方が優遇	1	2	1	0	1	1
⑤女性の方が非常に優遇されている	0	1	0	1	0	0
⑥わからない	2	3	8	4	5	3
⑦無回答	0	1	0	1	0	2
総数	17	25	31	42	46	32

社会通念・慣習・しきたり	R5			H30		
	全体	女性	男性	全体	女性	男性
①男性の方が非常に優遇されている	113	77	32	112	72	38
②どちらかといえば男性の方が優遇	264	140	116	244	108	129
③男女平等	41	13	23	38	19	15
④どちらかといえば女性の方が優遇	9	4	4	8	3	5
⑤女性の方が非常に優遇されている	2	0	1	2	2	0
⑥わからない	39	17	15	51	30	19
⑦無回答	7	5	2	24	15	5
総数	475	256	193	479	249	211

年代別						
社会通念・慣習・しきたり	20代以下	30代	40代	50代	60代	70代以上
①男性の方が非常に優遇されている	13	10	23	25	27	14
②どちらかといえば男性の方が優遇	24	36	46	51	59	45
③男女平等	5	8	7	7	8	6
④どちらかといえば女性の方が優遇	2	0	1	4	2	0
⑤女性の方が非常に優遇されている	0	1	0	0	0	0
⑥わからない	4	7	7	6	8	7
⑦無回答	0	0	0	0	0	7
総数	48	62	84	93	104	79

女性・年代別						
社会通念・慣習・しきたり	20代以下	30代	40代	50代	60代	70代以上
①男性の方が非常に優遇されている	11	7	15	19	16	9
②どちらかといえば男性の方が優遇	13	21	30	21	32	21
③男女平等	3	3	1	4	1	1
④どちらかといえば女性の方が優遇	1	0	1	1	1	0
⑤女性の方が非常に優遇されている	0	0	0	0	0	0
⑥わからない	2	4	3	4	2	2
⑦無回答	0	0	0	0	0	5
総数	30	35	50	49	52	38

男性・年代別						
社会通念・慣習・しきたり	20代以下	30代	40代	50代	60代	70代以上
①男性の方が非常に優遇されている	1	3	7	6	11	4
②どちらかといえば男性の方が優遇	11	15	15	29	24	22
③男女平等	2	4	6	3	6	2
④どちらかといえば女性の方が優遇	1	0	0	3	0	0
⑤女性の方が非常に優遇されている	0	1	0	0	0	0
⑥わからない	2	2	3	1	5	2
⑦無回答	0	0	0	0	0	2
総数	17	25	31	42	46	32

社会全体として	R5			前回なし		
	全体	女性	男性	全体	女性	男性
①男性の方が非常に優遇されている	69	47	17			
②どちらかといえば男性の方が優遇	291	168	116			
③男女平等	57	17	34			
④どちらかといえば女性の方が優遇	12	5	5			
⑤女性の方が非常に優遇されている	2	0	2			
⑥わからない	37	15	17			
⑦無回答	7	4	2			
総数	475	256	193			

年代別						
社会全体として	20代以下	30代	40代	50代	60代	70代以上
①男性の方が非常に優遇されている	10	3	11	17	16	11
②どちらかといえば男性の方が優遇	27	39	52	57	64	48
③男女平等	6	12	12	11	10	6
④どちらかといえば女性の方が優遇	3	0	3	1	4	1
⑤女性の方が非常に優遇されている	1	1	0	0	0	0
⑥わからない	1	7	6	7	10	6
⑦無回答	0	0	0	0	0	7
総数	48	62	84	93	104	79

女性・年代別						
社会全体として	20代以下	30代	40代	50代	60代	70代以上
①男性の方が非常に優遇されている	8	2	6	12	12	7
②どちらかといえば男性の方が優遇	18	24	38	28	34	24
③男女平等	1	5	3	6	1	1
④どちらかといえば女性の方が優遇	2	0	1	0	2	0
⑤女性の方が非常に優遇されている	0	0	0	0	0	0
⑥わからない	1	4	2	3	3	2
⑦無回答	0	0	0	0	0	4
総数	30	35	50	49	52	38

男性・年代別						
社会全体として	20代以下	30代	40代	50代	60代	70代以上
①男性の方が非常に優遇されている	1	1	4	5	3	3
②どちらかといえば男性の方が優遇	9	15	14	29	28	21
③男女平等	5	6	8	4	8	3
④どちらかといえば女性の方が優遇	1	0	1	1	1	1
⑤女性の方が非常に優遇されている	1	1	0	0	0	0
⑥わからない	0	2	4	3	6	2
⑦無回答	0	0	0	0	0	2
総数	17	25	31	42	46	32

●家庭生活について

■問6 家事等をしていますか。

全体									
家事をしているか	掃除・洗濯	食事の支度 後片付け	家の周りの 整備	ゴミ出し	食料品・日 用品の買い 物	育児	介護	子どもの教 育・学校行 事への参加	地域活動へ の参加
①主に自分がしている	222	223	168	200	205	95	49	106	145
②自分と家族が同じ程度している	108	89	98	102	127	71	34	60	108
③自分は手伝い程度している	106	124	122	78	96	37	28	37	68
④していない	36	36	81	90	43	197	284	192	136
総数	472	472	469	470	471	400	395	395	457

女性									
家事をしているか	掃除・洗濯	食事の支度 後片付け	家の周りの 整備	ゴミ出し	食料品・日 用品の買い 物	育児	介護	子どもの教 育・学校行 事への参加	地域活動へ の参加
①主に自分がしている	177	182	83	103	167	92	37	100	71
②自分と家族が同じ程度している	52	42	54	56	56	44	19	29	61
③自分は手伝い程度している	20	26	66	39	21	1	12	1	39
④していない	6	6	51	55	11	91	155	94	77
総数	255	256	254	253	255	228	223	224	248

男性									
家事をしているか	掃除・洗濯	食事の支度 後片付け	家の周りの 整備	ゴミ出し	食料品・日 用品の買い 物	育児	介護	子どもの教 育・学校行 事への参加	地域活動へ の参加
①主に自分がしている	34	30	73	84	30	0	9	3	69
②自分と家族が同じ程度している	51	41	41	41	63	25	14	29	44
③自分は手伝い程度している	81	93	52	36	69	34	15	35	28
④していない	26	28	24	31	29	92	116	84	46
総数	192	192	190	192	191	151	154	151	187

女性				
掃除・洗濯	共働き	自分のみ働 いている	配偶者のみ 働いている	2人とも働 いていない
①主に自分がしている	96	6	24	17
②自分と家族が同じ程度している	25	3	4	5
③自分は手伝い程度している	1	0	0	1
④していない	1	0	0	0
総数	123	9	28	23

男性				
掃除・洗濯	共働き	自分のみ働 いている	配偶者のみ 働いている	2人とも働 いていない
①主に自分がしている	8	1	0	0
②自分と家族が同じ程度している	24	6	0	7
③自分は手伝い程度している	31	15	1	12
④していない	7	7	2	3
総数	70	29	3	22

女性・年代別						
掃除・洗濯	20代以下	30代	40代	50代	60代	70代以上
①主に自分がしている	7	21	40	40	42	26
②自分と家族が同じ程度している	9	10	7	8	10	7
③自分は手伝い程度している	10	3	3	1	0	3
④していない	4	1	0	0	0	1
総数	30	35	50	49	52	37

男性・年代別						
掃除・洗濯	20代以下	30代	40代	50代	60代	70代以上
①主に自分がしている	3	3	4	8	12	4
②自分と家族が同じ程度している	3	11	8	11	8	10
③自分は手伝い程度している	10	9	14	17	16	15
④していない	1	2	5	6	9	3
総数	17	25	31	42	45	32

女性				
食事の支度・後片付け	共働き	自分のみ働 いている	配偶者のみ 働いている	2人とも働 いていない
①主に自分がしている	98	6	25	20
②自分と家族が同じ程度している	21	3	3	3
③自分は手伝い程度している	4	0	0	0
④していない	0	0	0	1
総数	123	9	28	24

男性				
食事の支度・後片付け	共働き	自分のみ働 いている	配偶者のみ 働いている	2人とも働 いていない
①主に自分がしている	3	0	0	0
②自分と家族が同じ程度している	17	6	0	6
③自分は手伝い程度している	43	16	2	12
④していない	7	7	1	4
総数	70	29	3	22

女性・年代別						
食事の支度・後片付け	20代以下	30代	40代	50代	60代	70代以上
①主に自分がしている	8	22	38	41	43	29
②自分と家族が同じ程度している	7	6	9	6	8	5
③自分は手伝い程度している	13	6	2	2	1	2
④していない	2	1	1	0	0	2
総数	30	35	50	49	52	38

男性・年代別						
食事の支度・後片付け	20代以下	30代	40代	50代	60代	70代以上
①主に自分がしている	4	3	2	8	10	3
②自分と家族が同じ程度している	2	5	8	10	6	10
③自分は手伝い程度している	8	16	15	19	23	12
④していない	3	1	6	5	6	7
総数	17	25	31	42	45	32

女性				
家の周りの整備	共働き	自分のみ働いている	配偶者のみ働いている	2人とも働いていない
①主に自分がしている	40	2	10	8
②自分と家族が同じ程度している	29	4	6	8
③自分は手伝い程度している	35	2	6	4
④していない	18	1	6	4
総数	122	9	28	24

男性				
家の周りの整備	共働き	自分のみ働いている	配偶者のみ働いている	2人とも働いていない
①主に自分がしている	32	10	2	8
②自分と家族が同じ程度している	19	8	0	7
③自分は手伝い程度している	14	8	1	4
④していない	4	3	0	3
総数	69	29	3	22

女性・年代別						
家の周りの整備	20代以下	30代	40代	50代	60代	70代以上
①主に自分がしている	3	5	15	23	20	16
②自分と家族が同じ程度している	2	7	10	9	15	10
③自分は手伝い程度している	8	11	17	10	11	9
④していない	17	12	8	6	6	2
総数	30	35	50	48	52	37

男性・年代別						
家の周りの整備	20代以下	30代	40代	50代	60代	70代以上
①主に自分がしている	2	9	10	18	21	13
②自分と家族が同じ程度している	1	6	10	6	6	12
③自分は手伝い程度している	6	8	7	15	12	4
④していない	8	2	4	3	5	2
総数	17	25	31	42	44	31

女性				
ゴミだし	共働き	自分のみ働いている	配偶者のみ働いている	2人とも働いていない
①主に自分がしている	48	3	13	8
②自分と家族が同じ程度している	31	2	5	9
③自分は手伝い程度している	27	3	2	1
④していない	16	1	6	6
総数	122	9	26	24

男性				
ゴミだし	共働き	自分のみ働いている	配偶者のみ働いている	2人とも働いていない
①主に自分がしている	28	13	1	10
②自分と家族が同じ程度している	19	8	0	3
③自分は手伝い程度している	14	4	1	6
④していない	9	4	1	3
総数	70	29	3	22

女性・年代別						
ゴミだし	20代以下	30代	40代	50代	60代	70代以上
①主に自分がしている	4	11	14	28	23	22
②自分と家族が同じ程度している	2	8	14	8	16	7
③自分は手伝い程度している	5	7	17	3	5	2
④していない	19	7	5	9	8	7
総数	30	33	50	48	52	38

男性・年代別						
ゴミだし	20代以下	30代	40代	50代	60代	70代以上
①主に自分がしている	5	9	14	16	21	19
②自分と家族が同じ程度している	1	7	8	12	11	2
③自分は手伝い程度している	8	3	3	9	7	6
④していない	3	6	6	5	6	5
総数	17	25	31	42	45	32

女性				
食料品・日用品の買い物	共働き	自分のみ働いている	配偶者のみ働いている	2人とも働いていない
①主に自分がしている	91	7	21	15
②自分と家族が同じ程度している	26	2	7	8
③自分は手伝い程度している	5	0	0	0
④していない	0	0	0	1
総数	122	9	28	24

男性				
食料品・日用品の買い物	共働き	自分のみ働いている	配偶者のみ働いている	2人とも働いていない
①主に自分がしている	2	1	0	1
②自分と家族が同じ程度している	30	8	0	9
③自分は手伝い程度している	31	13	2	10
④していない	7	6	1	2
総数	70	28	3	22

女性・年代別						
食料品・日用品の買い物	20代以下	30代	40代	50代	60代	70代以上
①主に自分がしている	8	16	42	38	36	26
②自分と家族が同じ程度している	5	14	5	9	14	8
③自分は手伝い程度している	11	3	3	1	2	1
④していない	6	2	0	0	0	3
総数	30	35	50	48	52	38

男性・年代別						
食料品・日用品の買い物	20代以下	30代	40代	50代	60代	70代以上
①主に自分がしている	3	2	3	6	9	7
②自分と家族が同じ程度している	3	12	9	19	12	8
③自分は手伝い程度している	6	8	14	10	20	11
④していない	5	3	5	6	4	6
総数	17	25	31	41	45	32

女性				
育児	共働き	自分のみ働いている	配偶者のみ働いている	2人とも働いていない
①主に自分がしている	63	3	12	5
②自分と家族が同じ程度している	32	0	8	1
③自分は手伝い程度している	0	0	0	0
④していない	22	3	7	9
総数	117	6	27	15

男性				
育児	共働き	自分のみ働いている	配偶者のみ働いている	2人とも働いていない
①主に自分がしている	0	0	0	0
②自分と家族が同じ程度している	22	3	0	0
③自分は手伝い程度している	19	9	1	1
④していない	20	9	1	12
総数	61	21	2	13

女性・年代別						
育児	20代以下	30代	40代	50代	60代	70代以上
①主に自分がしている	2	17	28	25	15	4
②自分と家族が同じ程度している	6	9	12	10	7	0
③自分は手伝い程度している	0	0	0	1	0	0
④していない	22	9	9	10	24	16
総数	30	35	49	46	46	20

男性・年代別						
育児	20代以下	30代	40代	50代	60代	70代以上
①主に自分がしている	0	0	0	0	0	0
②自分と家族が同じ程度している	1	8	9	7	0	0
③自分は手伝い程度している	3	4	8	9	8	2
④していない	11	12	9	17	26	17
総数	15	24	26	33	34	19

女性				
介護	共働き	自分のみ働いている	配偶者のみ働いている	2人とも働いていない
①主に自分がしている	21	3	7	4
②自分と家族が同じ程度している	11	0	2	2
③自分は手伝い程度している	7	0	1	1
④していない	73	2	16	9
総数	112	5	26	16

男性				
介護	共働き	自分のみ働いている	配偶者のみ働いている	2人とも働いていない
①主に自分がしている	2	2	1	0
②自分と家族が同じ程度している	8	4	0	1
③自分は手伝い程度している	5	4	0	2
④していない	44	13	1	12
総数	59	23	2	15

女性・年代別						
介護	20代以下	30代	40代	50代	60代	70代以上
①主に自分がしている	0	2	3	13	14	5
②自分と家族が同じ程度している	1	2	3	6	5	2
③自分は手伝い程度している	0	2	2	5	1	1
④していない	29	29	41	20	22	13
総数	30	35	49	44	42	21

男性・年代別						
介護	20代以下	30代	40代	50代	60代	70代以上
①主に自分がしている	0	2	2	3	1	1
②自分と家族が同じ程度している	0	1	2	3	6	2
③自分は手伝い程度している	1	1	3	4	3	3
④していない	14	20	18	24	25	15
総数	15	24	25	34	35	21

女性				
子どもの教育・学校行事への参加	共働き	自分のみ働いている	配偶者のみ働いている	2人とも働いていない
①主に自分がしている	69	3	14	5
②自分と家族が同じ程度している	22	0	5	1
③自分は手伝い程度している	0	0	0	0
④していない	23	2	9	9
総数	114	5	28	15

男性				
子どもの教育・学校行事への参加	共働き	自分のみ働いている	配偶者のみ働いている	2人とも働いていない
①主に自分がしている	2	0	0	1
②自分と家族が同じ程度している	19	7	0	2
③自分は手伝い程度している	22	8	1	2
④していない	17	6	1	9
総数	60	21	2	14

女性・年代別						
子どもの教育・学校行事への参加	20代以下	30代	40代	50代	60代	70代以上
①主に自分がしている	4	16	33	25	17	4
②自分と家族が同じ程度している	4	7	7	7	3	1
③自分は手伝い程度している	1	0	0	0	0	0
④していない	21	12	9	13	23	15
総数	30	35	49	45	43	20

男性・年代別						
子どもの教育・学校行事への参加	20代以下	30代	40代	50代	60代	70代以上
①主に自分がしている	0	0	0	2	0	1
②自分と家族が同じ程度している	1	8	8	7	4	1
③自分は手伝い程度している	2	4	8	11	7	3
④していない	12	12	11	14	22	13
総数	15	24	27	34	33	18

女性				
地域活動への参加	共働き	自分のみ働いている	配偶者のみ働いている	2人とも働いていない
①主に自分がしている	42	4	8	2
②自分と家族が同じ程度している	40	2	7	9
③自分は手伝い程度している	17	2	3	2
④していない	22	1	10	9
総数	121	9	28	22

男性				
地域活動への参加	共働き	自分のみ働いている	配偶者のみ働いている	2人とも働いていない
①主に自分がしている	28	18	1	9
②自分と家族が同じ程度している	26	5	1	4
③自分は手伝い程度している	9	4	1	1
④していない	6	1	0	8
総数	69	28	3	22

女性・年代別						
地域活動への参加	20代以下	30代	40代	50代	60代	70代以上
①主に自分がしている	1	9	13	23	18	6
②自分と家族が同じ程度している	2	10	19	9	12	9
③自分は手伝い程度している	6	4	9	11	5	4
④していない	21	12	9	6	16	13
総数	30	35	50	49	51	32

男性・年代別						
地域活動への参加	20代以下	30代	40代	50代	60代	70代以上
①主に自分がしている	0	6	10	17	22	14
②自分と家族が同じ程度している	2	9	10	11	4	8
③自分は手伝い程度している	6	4	5	5	6	2
④していない	9	6	5	9	10	7
総数	17	25	30	42	42	31

■問7 1日あたりの家事従事時間

1日あたりの家事従事時間	全体	女性	男性
①0～1時間未満	96	22	69
②1～2時間未満	133	41	86
③2～3時間未満	99	68	22
④3～5時間未満	74	64	9
⑤5時間以上	63	57	3
総数	465	252	189

年代別						
1日あたりの家事従事時間	20代以下	30代	40代	50代	60代	70代以上
①0～1時間未満	21	5	13	21	23	13
②1～2時間未満	15	19	24	21	28	24
③2～3時間未満	4	10	11	26	29	18
④3～5時間未満	2	10	26	12	13	10
⑤5時間以上	6	16	9	12	8	12
総数	48	60	83	92	101	77

女性・年代別						
1日あたりの家事従事時間	20代以下	30代	40代	50代	60代	70代以上
①0～1時間未満	14	1	1	2	0	4
②1～2時間未満	5	4	7	6	11	7
③2～3時間未満	4	6	8	20	21	9
④3～5時間未満	1	7	24	10	13	8
⑤5時間以上	6	16	9	11	6	9
総数	30	34	49	49	51	37

男性・年代別						
1日あたりの家事従事時間	20代以下	30代	40代	50代	60代	70代以上
①0～1時間未満	6	4	10	19	22	8
②1～2時間未満	10	13	16	14	17	16
③2～3時間未満	0	4	3	5	6	4
④3～5時間未満	1	3	2	2	0	1
⑤5時間以上	0	0	0	1	0	2
総数	17	24	31	41	45	31

■問8 男性が家事をすることについてどう思いますか。

男性が家事をすることについて	全体	女性	男性
①男性が主に働いているので手伝い程度すれば良い	36	18	12
②共働き世帯では男性も家事をするべき	148	79	68
③男女に関わらず、家事をするのが良い	276	154	104
④その他	8	3	5
総数	468	254	189

年代別						
男性が家事をすることについて	20代以下	30代	40代	50代	60代	70代以上
①男性が主に働いているので手伝い程度すれば良い	1	3	8	8	8	8
②共働き世帯では男性も家事をするべき	17	18	29	34	28	21
③男女に関わらず、家事をするのが良い	30	38	45	49	65	46
④その他	0	2	2	1	1	2
総数	48	61	84	92	102	77

女性・年代別						
男性が家事をすることについて	20代以下	30代	40代	50代	60代	70代以上
①男性が主に働いているので手伝い程度すれば良い	0	1	3	5	5	4
②共働き世帯では男性も家事をするべき	11	10	13	15	13	16
③男女に関わらず、家事をするのが良い	19	23	33	28	33	17
④その他	0	1	1	0	1	0
総数	30	35	50	48	52	37

男性・年代別						
男性が家事をすることについて	20代以下	30代	40代	50代	60代	70代以上
①男性が主に働いているので手伝い程度すれば良い	1	2	4	3	0	2
②共働き世帯では男性も家事をするべき	6	8	16	19	14	5
③男女に関わらず、家事をするのが良い	10	13	10	19	30	22
④その他	0	1	1	1	0	2
総数	17	24	31	42	44	31

■問9 結婚・家庭等についてどのように考えますか。

結婚してもしなくてもよい	R5			H30		
	全体	女性	男性	全体	女性	男性
①賛成	195	129	56	120	72	45
②どちらかといえば賛成	92	51	38	74	47	23
③どちらかといえば反対	95	38	50	122	57	61
④反対	39	11	26	75	19	54
⑤わからない	46	23	20	54	32	18
無回答	8	4	3	34	17	9
総数	467	252	190	445	227	201

女性・年代別						
結婚してもしなくてもよい	20代以下	30代	40代	50代	60代	70代以上
①賛成	20	27	25	24	23	10
②どちらかといえば賛成	4	5	12	12	12	6
③どちらかといえば反対	1	2	7	7	12	7
④反対	1	0	4	1	0	5
⑤わからない	4	1	2	3	5	8
無回答	0	0	0	2	0	2
総数	30	35	50	47	52	36

男性・年代別						
結婚してもしなくてもよい	20代以下	30代	40代	50代	60代	70代以上
①賛成	8	9	14	9	13	3
②どちらかといえば賛成	3	5	9	6	10	5
③どちらかといえば反対	0	3	6	18	14	9
④反対	4	4	0	4	4	10
⑤わからない	2	4	2	4	4	4
無回答	0	0	0	1	1	1
総数	17	25	31	41	45	31

夫は仕事、妻は家庭	R5			H30		
	全体	女性	男性	全体	女性	男性
①賛成	8	2	5	25	10	12
②どちらかといえば賛成	63	26	35	112	51	57
③どちらかといえば反対	121	62	55	115	64	47
④反対	230	146	73	141	68	69
⑤わからない	46	18	23	53	35	17
無回答	7	2	2	33	16	8
総数	468	254	191	446	228	202

女性・年代別						
夫は仕事、妻は家庭	20代以下	30代	40代	50代	60代	70代以上
①賛成	0	0	0	0	0	2
②どちらかといえば賛成	2	3	4	8	5	4
③どちらかといえば反対	6	6	13	13	17	6
④反対	20	24	29	24	27	21
⑤わからない	2	2	4	3	3	4
無回答	0	0	0	1	0	1
総数	30	35	50	48	52	37

男性・年代別						
夫は仕事、妻は家庭	20代以下	30代	40代	50代	60代	70代以上
①賛成	0	1	0	1	1	2
②どちらかといえば賛成	5	6	6	5	7	6
③どちらかといえば反対	4	6	8	12	15	10
④反対	7	8	11	17	18	12
⑤わからない	1	4	6	7	3	2
無回答	0	0	0	0	2	0
総数	17	25	31	42	44	32

男女とも 仕事に就いた方がよい	R5			前回なし		
	全体	女性	男性			
①賛成	202	112	79			
②どちらかといえば賛成	183	104	69			
③どちらかといえば反対	21	8	13			
④反対	8	2	5			
⑤わからない	55	27	25			
無回答	6	3	2			
総数	469	253	191			

女性・年代別						
男女とも仕事に就いた方がよい	20代以下	30代	40代	50代	60代	70代以上
①賛成	8	16	27	20	21	19
②どちらかといえば賛成	16	12	17	22	24	12
③どちらかといえば反対	0	2	1	1	3	1
④反対	0	1	0	0	1	0
⑤わからない	6	4	5	4	3	5
無回答	0	0	0	2	0	1
総数	30	35	50	47	52	37

男性・年代別						
男女とも仕事に就いた方がよい	20代以下	30代	40代	50代	60代	70代以上
①賛成	6	7	13	15	21	17
②どちらかといえば賛成	5	12	10	17	14	11
③どちらかといえば反対	2	1	3	4	2	1
④反対	0	2	0	0	3	0
⑤わからない	4	3	5	5	5	3
無回答	0	0	0	1	1	0
総数	17	25	31	41	45	32

子どもが幼いうちは、 女性は家庭にいた方がよい	R5			前回なし		
	全体	女性	男性	全体	女性	男性
①賛成	107	52	47			
②どちらかといえば賛成	206	103	93			
③どちらかといえば反対	48	27	21			
④反対	36	25	10			
⑤わからない	67	44	17			
無回答	11	5	5			
総数	464	251	188			

女性・年代別						
子どもが幼いうちは、女性は家庭にいた方がよい	20代以下	30代	40代	50代	60代	70代以上
①賛成	6	2	8	17	7	12
②どちらかといえば賛成	10	12	22	19	23	16
③どちらかといえば反対	6	4	7	2	5	3
④反対	0	7	6	4	5	3
⑤わからない	8	10	7	6	11	2
無回答	0	0	0	1	1	2
総数	30	35	50	48	51	36

男性・年代別						
子どもが幼いうちは、女性は家庭にいた方がよい	20代以下	30代	40代	50代	60代	70代以上
①賛成	3	10	8	4	12	10
②どちらかといえば賛成	8	7	17	23	21	17
③どちらかといえば反対	4	2	2	9	2	2
④反対	1	1	0	3	4	1
⑤わからない	0	5	4	3	5	0
無回答	1	0	0	0	2	2
総数	16	25	31	42	44	30

家事・子育て・介護は 男女が協力してやるべきだ	R5			前回なし		
	全体	女性	男性	全体	女性	男性
①賛成	368	217	133			
②どちらかといえば賛成	89	33	50			
③どちらかといえば反対	0	0	0			
④反対	0	0	0			
⑤わからない	8	2	5			
無回答	10	4	5			
総数	465	252	188			

女性・年代別						
家事・子育て・介護は男女が協力してやるべきだ	20代以下	30代	40代	50代	60代	70代以上
①賛成	30	31	44	40	43	27
②どちらかといえば賛成	0	3	5	8	7	10
③どちらかといえば反対	0	0	0	0	0	0
④反対	0	0	0	0	0	0
⑤わからない	0	1	1	0	0	0
無回答	0	0	0	1	2	1
総数	30	35	50	48	50	37

男性・年代別						
家事・子育て・介護は男女が協力してやるべきだ	20代以下	30代	40代	50代	60代	70代以上
①賛成	13	19	23	28	32	18
②どちらかといえば賛成	3	6	7	12	12	10
③どちらかといえば反対	0	0	0	0	0	0
④反対	0	0	0	0	0	0
⑤わからない	1	0	1	2	0	1
無回答	0	0	0	0	2	3
総数	17	25	31	42	44	29

結婚しても、必ずしも子どもを持つ必要はない	R5			H30		
	全体	女性	男性	全体	女性	男性
①賛成	174	113	52	84	46	35
②どちらかといえば賛成	107	57	47	79	50	27
③どちらかといえば反対	78	32	42	111	52	58
④反対	41	14	22	86	28	52
⑤わからない	67	36	27	91	55	31
無回答	8	4	3	28	13	7
総数	467	252	190	451	231	203

女性・年代別						
結婚しても、必ずしも子どもを持つ必要はない	20代以下	30代	40代	50代	60代	70代以上
①賛成	19	24	26	23	13	8
②どちらかといえば賛成	5	6	12	12	17	5
③どちらかといえば反対	2	2	3	5	10	9
④反対	0	0	2	1	2	9
⑤わからない	4	3	7	7	8	6
無回答	0	0	0	1	2	1
総数	30	35	50	48	50	37

男性・年代別						
結婚しても、必ずしも子どもを持つ必要はない	20代以下	30代	40代	50代	60代	70代以上
①賛成	7	7	14	11	7	6
②どちらかといえば賛成	5	7	8	7	14	6
③どちらかといえば反対	2	1	3	13	15	8
④反対	1	4	2	3	4	8
⑤わからない	2	6	4	8	4	3
無回答	0	0	0	0	2	1
総数	17	25	31	42	44	31

相手に満足できなければ離婚してもかまわない	R5			H30		
	全体	女性	男性	全体	女性	男性
①賛成	149	100	42	87	45	38
②どちらかといえば賛成	132	70	59	139	81	54
③どちらかといえば反対	66	30	33	87	41	43
④反対	19	8	9	51	15	31
⑤わからない	102	45	47	87	46	38
無回答	7	3	3	28	15	6
総数	468	253	190	451	228	204

女性・年代別						
相手に満足できなければ離婚してもかまわない	20代以下	30代	40代	50代	60代	70代以上
①賛成	12	18	22	23	15	10
②どちらかといえば賛成	8	7	16	16	18	4
③どちらかといえば反対	3	4	6	0	6	10
④反対	1	1	0	0	2	4
⑤わからない	6	5	6	9	10	9
無回答	0	0	0	1	1	1
総数	30	35	50	48	51	37

男性・年代別						
相手に満足できなければ離婚してもかまわない	20代以下	30代	40代	50代	60代	70代以上
①賛成	0	8	11	10	9	4
②どちらかといえば賛成	4	5	10	9	19	12
③どちらかといえば反対	5	4	3	7	9	5
④反対	0	1	2	2	0	4
⑤わからない	8	7	5	14	7	6
無回答						
総数	17	25	31	42	44	31

■問10 自分の生活についてどんなことが不安ですか。

自分の生活において不安なこと	全体	女性	男性
配偶者に先立たれること	78	35	38
お金のこと	242	142	87
健康のこと	202	107	83
住宅のこと	31	18	12
老後の面倒を見てくれる人がいないこと	56	29	26
仕事や趣味がないこと	13	4	6
家族とのよりよい関係を保つこと	42	21	18
親族の介護	82	46	32
特に不安はない	30	16	12
その他	7	5	1
総数	783	423	315

女性・年代別						
自分の生活において不安なこと	20代以下	30代	40代	50代	60代	70代以上
配偶者に先立たれること	3	5	4	5	12	6
お金のこと	25	21	38	28	20	9
健康のこと	8	10	18	14	33	23
住宅のこと	6	4	2	2	2	2
老後の面倒を見てくれる人がいないこと	1	5	6	4	8	5
仕事や趣味がないこと	0	1	0	1	2	0
家族とのよりよい関係を保つこと	2	2	4	5	5	3
親族の介護	2	6	12	15	7	4
特に不安はない	3	1	3	3	2	4
その他	0	0	0	3	1	1
総数	50	55	87	80	92	57

男性・年代別						
自分の生活において不安なこと	20代以下	30代	40代	50代	60代	70代以上
配偶者に先立たれること	1	2	7	5	10	13
お金のこと	12	14	20	18	19	4
健康のこと	4	4	7	18	27	23
住宅のこと	3	3	2	2	1	1
老後の面倒を見てくれる人がいないこと	1	2	4	7	11	1
仕事や趣味がないこと	0	3	2	1	0	0
家族とのよりよい関係を保つこと	0	3	3	8	1	3
親族の介護	3	2	6	13	8	0
特に不安はない	2	3	2	1	2	2
その他	0	1	0	0	0	0
総数	26	37	53	73	79	47

●仕事について

■問11 女性の就労のあり方

女性の就労のあり方	R5			H30		
	全体	女性	男性	全体	女性	男性
①結婚や出産にかかわらず、仕事を続けるほうがよい	144	78	60	135	73	58
②子育ての時期だけ一時やめて、その後フルタイムで仕事を続けるほうがよい	113	53	56	105	48	52
③子育ての時期だけ一時やめて、その後パートタイムで仕事を続けるほうがよい	110	58	41	152	86	64
④出産するまでは仕事を続け、その後は仕事に就かないほうがよい	3	2	1	15	7	8
⑤女性はできるだけ仕事に就かないほうがよい	3	2	1	3	1	2
⑥結婚するまでは仕事を続け、その後は仕事に就かないほうがよい	2	2	0	5	5	0
⑦結婚しないで仕事を続けるほうがよい	0	0	0	2	2	0
⑧わからない	40	23	13	23	10	10
⑨その他	46	32	14	24	11	11
⑩無回答	14	6	7	15	5	6
総数	475	256	193	479	248	211

女性・年代別						
女性の就労のあり方	20代以下	30代	40代	50代	60代	70代以上
①結婚や出産にかかわらず、仕事を続けるほうがよい	8	14	17	14	14	11
②子育ての時期だけ一時やめて、その後フルタイムで仕事を続けるほうがよい	6	7	12	10	8	8
③子育ての時期だけ一時やめて、その後パートタイムで仕事を続けるほうがよい	11	5	10	10	12	10
④出産するまでは仕事を続け、その後は仕事に就かないほうがよい	0	0	1	0	1	0
⑤女性はできるだけ仕事に就かないほうがよい	0	0	0	1	0	1
⑥結婚するまでは仕事を続け、その後は仕事に就かないほうがよい	0	0	1	0	0	1
⑦結婚しないで仕事を続けるほうがよい	0	0	0	0	0	0
⑧わからない	1	5	2	3	7	5
⑨その他	4	4	6	8	9	1
⑩無回答	0	0	1	3	1	1
総数	30	35	50	49	52	38

男性・年代別						
女性の就労のあり方	20代以下	30代	40代	50代	60代	70代以上
①結婚や出産にかかわらず、仕事を続けるほうがよい	3	7	11	13	17	9
②子育ての時期だけ一時やめて、その後フルタイムで仕事を続けるほうがよい	7	7	9	11	12	10
③子育ての時期だけ一時やめて、その後パートタイムで仕事を続けるほうがよい	5	7	3	10	9	7
④出産するまでは仕事を続け、その後は仕事に就かないほうがよい	0	0	0	0	1	0
⑤女性はできるだけ仕事に就かないほうがよい	0	0	1	0	0	0
⑥結婚するまでは仕事を続け、その後は仕事に就かないほうがよい	0	0	0	0	0	0
⑦結婚しないで仕事を続けるほうがよい	0	0	0	0	0	0
⑧わからない	1	2	3	3	3	1
⑨その他	1	2	3	3	3	2
⑩無回答	0	0	1	2	1	3
総数	17	25	31	42	46	32

■問12 女性が意欲を持って働き続けるためには、どのような課題があると思われるですか。

女性が働き続けるための課題	全体	女性	男性	全体	女性	男性
①育児（就学前）	22.6%	20.7%	25.5%	281	143	125
②子どもの教育	4.8%	4.5%	5.1%	60	31	25
③家事	11.6%	10.9%	13.7%	145	75	67
④親族の介護	8.4%	10.7%	5.1%	104	74	25
⑤家族の協力が得られない	8.2%	9.8%	6.1%	102	68	30
⑥結婚・出産退職の慣例	5.2%	4.5%	6.1%	65	31	30
⑦労働環境	19.3%	20.1%	17.3%	240	139	85
⑧子育て支援制度の不備	11.9%	11.4%	12.7%	148	79	62
⑨法律や制度の不備	7.1%	6.8%	7.1%	89	47	35
⑩その他	0.9%	0.6%	1.2%	11	4	6
総数	100.0%	100.0%	100.0%	1245	691	490

女性・年代別						
女性が働き続けるための課題	20代以下	30代	40代	50代	60代	70代以上
①育児（就学前）	17	22	26	20	33	23
②子どもの教育	2	6	5	7	6	5
③家事	7	6	19	13	16	13
④親族の介護	1	5	12	18	20	16
⑤家族の協力が得られない	4	12	15	13	13	11
⑥結婚・出産退職の慣例	10	4	4	8	4	1
⑦労働環境	20	19	33	26	24	17
⑧子育て支援制度の不備	13	15	15	13	14	9
⑨法律や制度の不備	11	9	8	8	7	4
⑩その他	1	1	2	0	0	0
総数	86	99	139	126	137	99

男性・年代別						
女性が働き続けるための課題	20代以下	30代	40代	50代	60代	70代以上
①育児（就学前）	12	17	25	25	29	17
②子どもの教育	2	3	6	5	5	4
③家事	6	10	14	14	16	7
④親族の介護	1	1	4	7	7	5
⑤家族の協力が得られない	2	2	1	10	8	7
⑥結婚・出産退職の慣例	3	5	5	6	6	5
⑦労働環境	8	12	11	17	20	17
⑧子育て支援制度の不備	8	9	9	12	13	11
⑨法律や制度の不備	4	5	2	8	8	8
⑩その他	0	1	3	0	1	1
総数	46	65	80	104	113	82

■問13 女性が再就職しようとする場合、どのような課題があると思われますか。

女性が再就職する場合の課題	全体	女性	男性	全体	女性	男性
①年齢制限	18.3%	22.6%	11.5%	214	147	53
②賃金	15.0%	14.1%	16.3%	176	92	75
③労働条件	29.3%	29.8%	29.2%	343	194	134
④家族が協力的ではない	6.5%	6.8%	6.5%	76	44	30
⑤技術的についていけない	5.9%	7.2%	4.1%	69	47	19
⑥事業所に再雇用制度が確立されていない	9.9%	7.2%	13.3%	116	47	61
⑦希望する職種がない	6.1%	5.4%	7.4%	72	35	34
⑧法律や制度の不備	7.8%	5.7%	10.2%	91	37	47
⑨その他	1.3%	1.2%	1.3%	15	8	6
総数	100.0%	100.0%	100.0%	1172	651	459

女性・年代別						
女性が再就職する場合の課題	20代以下	30代	40代	50代	60代	70代以上
①年齢制限	12	16	30	30	38	20
②賃金	13	11	18	20	15	14
③労働条件	23	31	40	37	38	23
④家族が協力的ではない	4	9	10	10	9	2
⑤技術的についていけない	4	5	6	8	16	8
⑥事業所に再雇用制度が確立されていない	10	5	9	8	6	8
⑦希望する職種がない	2	5	4	6	11	7
⑧法律や制度の不備	13	7	5	6	4	2
⑨その他	1	0	3	2	0	2
総数	82	89	125	127	137	86

男性・年代別						
男性年代別	20代以下	30代	40代	50代	60代	70代以上
①年齢制限	5	5	6	11	13	13
②賃金	9	6	12	17	14	17
③労働条件	10	17	23	29	33	22
④家族が協力的ではない	2	6	3	8	7	4
⑤技術的についていけない	2	2	3	4	4	4
⑥事業所に再雇用制度が確立されていない	6	8	10	8	17	12
⑦希望する職種がない	1	3	10	10	5	5
⑧法律や制度の不備	4	5	10	12	7	9
⑨その他	1	1	0	0	2	2
総数	40	53	77	99	102	88

■問14 男性が「育児・介護休業制度」を利用することが進まないのはなぜだと思いますか。

男性の「育児・介護休業制度」 利用が進まない理由	R5			前回なし		
	全体	女性	男性	全体	女性	男性
①主たる家計の稼ぎ手は男性だから	90	47	37			
②職場や同僚に迷惑がかかるから	94	43	49			
③上司の対応も含め利用しにくい雰囲気があるから	188	116	63			
④育児、介護は女性の方が向いているから	13	6	4			
⑤昇給、昇格に影響すると考えるから	15	7	8			
⑥その他	23	11	11			
⑦わからない	21	9	8			
⑧無回答	31	17	13			
総数	475	256	193			

女性・年代別						
男性の「育児・介護休業制度」 利用が進まない理由	20代以下	30代	40代	50代	60代	70代以上
①主たる家計の稼ぎ手は男性だから	9	4	8	9	10	6
②職場や同僚に迷惑がかかるから	1	6	10	9	10	7
③上司の対応も含め利用しにくい雰囲気があるから	15	20	22	21	23	14
④育児、介護は女性の方が向いているから	0	0	1	2	1	2
⑤昇給、昇格に影響すると考えるから	2	1	1	1	0	2
⑥その他	1	1	4	4	1	0
⑦わからない	1	1	1	1	3	2
⑧無回答	1	2	3	2	4	5
総数	30	35	50	49	52	38

男性・年代別						
男性の「育児・介護休業制度」利用が進まない理由	20代以下	30代	40代	50代	60代	70代以上
①主たる家計の稼ぎ手は男性だから	2	5	6	10	6	8
②職場や同僚に迷惑がかかるから	5	3	7	12	15	7
③上司の対応も含め利用しにくい雰囲気があるから	8	10	9	10	17	9
④育児、介護は女性の方が向いているから	1	0	0	1	1	1
⑤昇給、昇格に影響すると思われるから	1	1	3	2	0	1
⑥その他	0	2	2	3	2	2
⑦わからない	0	0	3	1	2	2
⑧無回答	0	4	1	3	3	2
総数	17	25	31	42	46	32

■問15 地域活動において、次のような事例が見受けられますか。

力仕事は男性、 接待は女性と決まっている	R5			H30		
	全体	女性	男性	全体	女性	男性
①そうである	158	84	70	127	61	66
②そうではない	119	55	57	134	60	66
③わからない	183	111	60	170	103	64
総数	460	250	187	431	224	196

女性・年代別						
力仕事は男性、接待は女性と決まっている	20代以下	30代	40代	50代	60代	70代以上
①そうである	7	5	24	18	18	12
②そうではない	6	7	9	12	6	15
③わからない	17	23	17	19	26	7
総数	30	35	50	49	50	34

男性・年代別						
力仕事は男性、接待は女性と決まっている	20代以下	30代	40代	50代	60代	70代以上
①そうである	2	8	15	14	19	12
②そうではない	3	9	6	18	11	10
③わからない	12	8	9	10	15	6
総数	17	25	30	42	45	28

自治会やPTAの会長は 男性と決まっている	R5			H30		
	全体	女性	男性	全体	女性	男性
①そうである	101	53	43	95	45	49
②そうではない	181	95	76	167	81	78
③わからない	178	101	68	168	96	70
総数	460	249	187	430	222	197

女性・年代別						
自治会やPTAの会長は男性と決まっている	20代以下	30代	40代	50代	60代	70代以上
①そうである	2	4	12	15	15	5
②そうではない	13	8	25	17	12	19
③わからない	15	23	13	17	23	9
総数	30	35	50	49	50	33

男性・年代別						
自治会やPTAの会長は男性と決まっている	20代以下	30代	40代	50代	60代	70代以上
①そうである	2	3	10	13	9	6
②そうではない	4	11	9	14	19	19
③わからない	10	11	11	15	16	5
総数	16	25	30	42	44	30

自治体やPTAの責任ある役職は ほとんどが男性である	R5			H30		
	全体	女性	男性	回答数	女性	男性
①そうである	184	103	74	166	88	76
②そうではない	142	74	60	125	57	60
③わからない	134	72	53	139	79	58
総数	460	249	187	430	224	194

女性・年代別						
自治体やPTAの責任ある役職はほとんどが男性である	20代以下	30代	40代	50代	60代	70代以上
①そうである	7	13	22	21	22	18
②そうではない	8	6	21	18	11	9
③わからない	15	16	7	10	17	6
総数	30	35	50	49	50	33

男性・年代別						
自治体やPTAの責任ある役職はほとんどが男性である	20代以下	30代	40代	50代	60代	70代以上
①そうである	1	7	16	19	19	12
②そうではない	3	10	7	14	12	14
③わからない	12	8	7	9	13	4
総数	16	25	30	42	44	30

役員や組織の運営事項は 男性だけで決めている	R5			H30		
	全体	女性	男性	全体	女性	男性
①そうである	63	38	24	59	26	31
②そうではない	202	109	83	178	84	87
③わからない	193	102	79	188	110	76
総数	458	249	186	425	220	194

女性・年代別						
役員や組織の運営事項は男性だけで決めている	20代以下	30代	40代	50代	60代	70代以上
①そうである	1	3	4	11	11	8
②そうではない	13	10	30	24	17	14
③わからない	16	22	16	14	22	11
総数	30	35	50	49	50	33

男性・年代別						
役員や組織の運営事項は男性だけで決めている	20代以下	30代	40代	50代	60代	70代以上
①そうである	0	2	6	4	6	6
②そうではない	3	11	12	21	21	15
③わからない	13	12	12	17	18	7
総数	16	25	30	42	45	28

実際の仕事は女性がしているのに 名義は男性になっている	R5			H30		
	全体	女性	男性	全体	女性	男性
①そうである	77	49	23	94	49	44
②そうではない	162	75	77	117	55	56
③わからない	221	123	89	209	112	94
総数	460	247	189	420	216	194

女性・年代別						
実際の仕事は女性がしているのに、名義は男性になっている	20代以下	30代	40代	50代	60代	70代以上
①そうである	4	5	12	11	12	5
②そうではない	8	6	19	18	7	16
③わからない	18	24	19	20	29	12
総数	30	35	50	49	48	33

男性・年代別						
実際の仕事は女性がしているのに、名義は男性になっている	20代以下	30代	40代	50代	60代	70代以上
①そうである	1	2	2	6	6	6
②そうではない	3	10	14	16	20	14
③わからない	12	13	14	20	19	11
総数	16	25	30	42	45	31

女性自身が責任ある役職に 就くのを避けている	R5			H30		
	全体	女性	男性	回答数	女性	男性
①そうである	102	62	35	102	47	53
②そうではない	126	70	48	100	46	48
③わからない	229	114	105	222	125	94
総数	457	246	188	424	218	195

女性・年代別						
女性自身が責任ある役職に就くのを避けている	20代以下	30代	40代	50代	60代	70代以上
①そうである	4	6	12	18	13	9
②そうではない	9	8	13	16	12	11
③わからない	16	21	25	14	24	13
総数	29	35	50	48	49	33

男性・年代別						
女性自身が責任ある役職に就くのを避けている	20代以下	30代	40代	50代	60代	70代以上
①そうである	0	4	5	9	9	8
②そうではない	1	7	9	9	12	10
③わからない	15	14	16	24	24	12
総数	16	25	30	42	45	30

女性が責任ある役職に就こうとすると、 男性や他の女性から反対される	R5			H30		
	全体	女性	男性	回答数	女性	男性
①そうである	27	18	7	25	10	15
②そうではない	200	104	86	169	87	75
③わからない	236	127	97	230	121	106
総数	463	249	190	424	218	196

女性・年代別						
女性が責任ある役職に就こうとすると、反対される	20代以下	30代	40代	50代	60代	70代以上
①そうである	0	1	1	7	6	3
②そうではない	12	10	24	22	17	18
③わからない	18	24	25	20	26	13
総数	30	35	50	49	49	34

男性・年代別						
女性が責任ある役職に就こうとすると、反対される	20代以下	30代	40代	50代	60代	70代以上
①そうである	1	1	0	2	1	2
②そうではない	3	10	17	22	17	17
③わからない	13	14	13	18	27	12
総数	17	25	30	42	45	31

防災や災害時での活動は 男性だけで行っている	R5			前回なし		
	全体	女性	男性	回答数	女性	男性
①そうである	31	15	16			
②そうではない	240	119	107			
③わからない	192	116	66			
総数	463	250	189			

女性・年代別						
防災や災害時での活動は男性だけで行っている	20代以下	30代	40代	50代	60代	70代以上
①そうである	1	1	5	3	2	3
②そうではない	12	10	20	28	25	23
③わからない	17	24	25	18	23	8
総数	30	35	50	49	50	34

男性・年代別						
防災や災害時での活動は男性だけで行っている	20代以下	30代	40代	50代	60代	70代以上
①そうである	0	4	2	5	3	2
②そうではない	3	12	17	24	30	21
③わからない	13	9	11	13	12	8
総数	16	25	30	42	45	31

■問16 女性と男性がともに仕事、家庭、育児、介護、地域活動へ参加するために重要なこと

ともに社会参加するために重要なこと	全体	女性	男性
男女の役割分担意識を解消するための啓発活動を充実すること	39	15	23
男女の役割分担意識についての社会通念、慣習、しきたりを改めること	213	107	93
家族間のコミュニケーションをはかること	122	72	46
男女で協力するということ、子どもの頃から教育すること	211	125	79
行政や地域社会などにおける方針・政策決定の場に女性を積極的に登用すること	83	36	44
労働時間の短縮や男女ともに取得しやすい各種休暇・休業制度を充実させること	207	129	69
子育てや介護に係るサービスを充実させること	122	73	43
子育てや介護、地域活動を行うための仲間（ネットワーク）作りをすすめること	34	16	18
家庭生活や地域活動と仕事の両立などについて、相談しやすい窓口をつくること	47	24	19
家事や育児等をしやすいよう家族や会社、地域が協力すること	147	82	56
その他	7	3	3
総数	1232	682	493

女性・年代別						
ともに社会参加するために重要なこと	20代以下	30代	40代	50代	60代	70代以上
男女の役割分担意識を解消するための啓発活動を充実すること	2	1	2	3	5	2
男女の役割分担意識についての社会通念、慣習、しきたりを改めること	8	13	26	19	26	14
家族間のコミュニケーションをはかること	10	15	10	12	11	13
男女で協力するということ、子どもの頃から教育すること	8	16	27	25	34	15
行政や地域社会などにおける方針・政策決定の場に女性を積極的に登用すること	4	4	5	4	8	11
労働時間の短縮や男女ともに取得しやすい各種休暇・休業制度を充実させること	21	23	24	22	25	13
子育てや介護に係るサービスを充実させること	16	6	12	15	11	12
子育てや介護、地域活動を行うための仲間（ネットワーク）作りをすすめること	1	3	1	1	6	4
家庭生活や地域活動と仕事の両立などについて、相談しやすい窓口をつくること	2	4	4	6	3	5
家事や育児等をしやすいよう家族や会社、地域が協力すること	10	13	12	22	14	10
その他	1	1	0	1	0	0
総数	83	99	123	130	143	99

男性・年代別						
ともに社会参加するために重要なこと	20代以下	30代	40代	50代	60代	70代以上
男女の役割分担意識を解消するための啓発活動を充実すること	1	1	3	4	7	7
男女の役割分担意識についての社会通念、慣習、しきたりを改めること	7	10	11	24	24	17
家族間のコミュニケーションをはかること	6	9	11	7	9	4
男女で協力するということ、子どもの頃から教育すること	7	11	13	19	18	11
行政や地域社会などにおける方針・政策決定の場に女性を積極的に登用すること	1	3	6	8	14	12
労働時間の短縮や男女ともに取得しやすい各種休暇・休業制度を充実させること	7	13	13	12	16	8
子育てや介護に係るサービスを充実させること	6	7	8	10	9	3
子育てや介護、地域活動を行うための仲間（ネットワーク）作りをすすめること	1	2	3	3	5	4
家庭生活や地域活動と仕事の両立などについて、相談しやすい窓口をつくること	3	0	1	5	7	3
家事や育児等をしやすいよう家族や会社、地域が協力すること	2	8	9	12	13	12
その他	0	1	0	1	1	0
総数	41	65	78	105	123	81

●男女の人権について

■問17 人権が尊重されていないと感じることはどんなことですか。

人権が尊重されていないと感じること	全体	女性	男性
セクシュアル・ハラスメント（性的いやがらせ）	268	143	116
パワー・ハラスメント（権限や立場を利用した、身体的・精神的いやがらせ）	338	185	138
モラル・ハラスメント（ことばや、態度などによる、精神的暴力やいやがらせ）	334	188	133
性的指向や性自認等（好きな人の性別や自分の性への違和感）を理由とする偏見や差別	170	102	63
昇給・昇進・給与・仕事の内容などの格差	213	125	80
男女の固定的な役割分担意識（「男は仕事、女は家庭」など）	229	130	90
夫婦間の暴力やパートナーからの暴力（DV）	192	110	74
ストーカー行為（つきまとい行為）	147	79	61
風俗営業	52	32	19
容姿を競うコンテスト	53	29	21
その他	15	6	8
総数	2011	1129	803

女性・年代別						
人権が尊重されていないと感じること	20代以下	30代	40代	50代	60代	70代以上
セクシュアル・ハラスメント（性的いやがらせ）	21	23	30	28	26	13
パワー・ハラスメント（権限や立場を利用した、身体的・精神的いやがらせ）	23	24	39	41	34	22
モラル・ハラスメント（ことばや、態度などによる、精神的暴力やいやがらせ）	28	24	36	41	36	21
性的指向や性自認等（好きな人の性別や自分の性への違和感）を理由とする偏見や差別	19	18	21	21	16	5
昇給・昇進・給与・仕事の内容などの格差	18	18	24	25	26	13
男女の固定的な役割分担意識（「男は仕事、女は家庭」など）	14	23	33	24	28	8
夫婦間の暴力やパートナーからの暴力（DV）	16	19	23	22	18	11
ストーカー行為（つきまとい行為）	14	13	18	16	11	6
風俗営業	2	5	8	8	6	3
容姿を競うコンテスト	3	3	6	7	4	6
その他	1	1	2	0	1	1
総数	159	171	240	233	206	109

男性・年代別						
人権が尊重されていないと感じること	20代以下	30代	40代	50代	60代	70代以上
セクシュアル・ハラスメント（性的いやがらせ）	11	17	15	27	29	17
パワー・ハラスメント（権限や立場を利用した、身体的・精神的いやがらせ）	11	19	23	27	36	22
モラル・ハラスメント（ことばや、態度などによる、精神的暴力やいやがらせ）	10	21	25	28	28	21
性的指向や性自認等（好きな人の性別や自分の性への違和感）を理由とする偏見や差別	9	7	7	16	14	10
昇給・昇進・給与・仕事の内容などの格差	6	9	11	18	16	20
男女の固定的な役割分担意識（「男は仕事、女は家庭」など）	7	14	14	18	20	17
夫婦間の暴力やパートナーからの暴力（DV）	6	11	10	23	17	7
ストーカー行為（つきまとい行為）	5	13	7	14	15	7
風俗営業	0	2	0	5	7	5
容姿を競うコンテスト	0	3	2	5	6	5
その他	0	3	2	1	1	1
総数	65	119	116	182	189	132

■問18 「ドメスティック・バイオレンス（DV）」について経験、見聞きしたことはありますか

DVを経験したり、見聞きしたこと	全体	女性	男性
自分が直接経験したことがある	29	20	8
相談を受けたことがある	41	28	9
相談を受けたことはないが当事者を知っている	57	32	24
テレビや新聞などで問題になっていることは知っている	346	186	145
見聞きしたことはない	38	17	19
わからない	26	14	8
その他	4	3	1
総数	541	300	214

女性・年代別						
DVを経験したり、見聞きしたこと	20代以下	30代	40代	50代	60代	70代以上
自分が直接経験したことがある	2	2	2	7	4	3
相談を受けたことがある	2	3	8	6	6	2
相談を受けたことはないが当事者を知っている	6	3	12	4	5	2
テレビや新聞などで問題になっていることは知っている	16	30	39	31	39	31
見聞きしたことはない	6	1	1	6	1	1
わからない	4	2	2	2	2	2
その他	0	0	2	0	0	1
総数	36	41	66	56	57	42

男性・年代別						
DVを経験したり、見聞きしたこと	20代以下	30代	40代	50代	60代	70代以上
自分が直接経験したことがある	0	2	4	0	1	1
相談を受けたことがある	0	2	3	3	1	0
相談を受けたことはないが当事者を知っている	1	4	7	3	5	4
テレビや新聞などで問題になっていることは知っている	13	19	20	30	37	26
見聞きしたことはない	2	3	2	7	4	1
わからない	1	1	2	2	1	1
その他	0	0	1	0	0	0
総数	17	31	39	45	49	33

■問19 DVを受けた場合、誰かに打ち明けたり、相談したりしますか。

DVを受けた場合	全体	女性	男性
配偶者暴力相談支援センターに相談する	113	65	43
警察に連絡・相談する	179	84	86
法務局・地方法務局、人権擁護委員に相談する	13	4	8
市役所の相談窓口相談する	72	33	34
民間の専門家や専門機関に相談する	63	34	26
医療関係者に相談する	20	11	7
学校関係者に相談する	9	3	4
家族や親戚に相談する	198	127	62
友人・知人に相談する	218	136	76
どこ（だれ）にも相談しない	26	13	10
その他	24	13	10
総数	935	523	366

女性・年代別						
DVを受けた場合	20代以上	30代	40代	50代	60代	70代以下
配偶者暴力相談支援センターに相談する	5	12	11	16	13	7
警察に連絡・相談する	8	14	16	19	16	10
法務局・地方法務局、人権擁護委員に相談する	1	0	0	2	1	0
市役所の相談窓口相談する	1	5	9	6	9	3
民間の専門家や専門機関に相談する	3	5	7	5	9	5
医療関係者に相談する	3	2	3	1	1	1
学校関係者に相談する	1	1	0	0	0	1
家族や親戚に相談する	16	25	21	23	26	15
友人・知人に相談する	22	18	29	28	25	13
どこ（だれ）にも相談しない	1	1	2	4	3	2
その他	1	1	4	2	1	3
総数	62	84	102	106	104	60

男性・年代別						
DVを受けた場合	20代以上	30代	40代	50代	60代	70代以下
配偶者暴力相談支援センターに相談する	0	2	6	11	12	12
警察に連絡・相談する	9	9	13	23	19	13
法務局・地方法務局、人権擁護委員に相談する	2	0	0	2	3	1
市役所の相談窓口相談する	1	1	5	11	8	8
民間の専門家や専門機関に相談する	1	2	8	4	7	4
医療関係者に相談する	1	0	2	2	1	1
学校関係者に相談する	1	0	0	2	1	0
家族や親戚に相談する	9	8	7	13	15	10
友人・知人に相談する	11	10	11	16	13	15
どこ（だれ）にも相談しない	1	2	2	1	2	2
その他	0	0	3	3	3	1
総数	36	34	57	88	84	67

■問20 暴力への対策としてどのようなことが必要だと思いますか。）

暴力への対策	全体	女性	男性
被害者が安心して相談できる窓口	374	204	150
学校や家庭における男女平等や性についての教育の充実	178	99	69
被害者の相談に当たる担当者の研修の充実や女性担当者の増員	143	76	58
人権の尊重などについて市による啓発活動の充実	38	13	23
暴力の再発を防ぐための加害者に対するカウンセリングや教育等の実施	143	81	54
過激な内容の動画やゲームソフト等の販売や貸し出し等の制限	63	43	17
性別役割や暴力の表現など過激な内容についてのメディアにおける倫理規定の強化	65	41	22
特に対策の必要はない	5	2	3
その他	19	9	9
総数	1028	568	405

女性・年代別						
暴力への対策	20代以下	30代	40代	50代	60代	70代以上
被害者が安心して相談できる窓口	21	34	37	41	37	32
学校や家庭における男女平等や性についての教育の充実	16	15	21	13	22	12
被害者の相談に当たる担当者の研修の充実や女性担当者の増員	13	12	15	15	13	7
人権の尊重などについて市による啓発活動の充実	1	1	2	3	3	3
暴力の再発を防ぐための加害者に対するカウンセリングや教育等の実施	11	14	20	15	12	9
過激な内容の動画やゲームソフト等の販売や貸し出し等の制限	2	4	8	10	14	5
性別役割や暴力の表現など過激な内容についてのメディアにおける倫理規定の強化	6	6	5	7	8	9
特に対策の必要はない	0	0	0	0	0	2
その他	1	1	2	2	1	1
総数	71	87	110	106	110	80

男性・年代別						
暴力への対策	20代以下	30代	40代	50代	60代	70代以上
被害者が安心して相談できる窓口	13	13	27	32	40	25
学校や家庭における男女平等や性についての教育の充実	6	8	15	16	12	12
被害者の相談に当たる担当者の研修の充実や女性担当者の増員	4	3	11	16	14	10
人権の尊重などについて市による啓発活動の充実	1	2	2	6	5	7
暴力の再発を防ぐための加害者に対するカウンセリングや教育等の実施	6	9	7	13	14	5
過激な内容の動画やゲームソフト等の販売や貸し出し等の制限	0	2	2	1	6	6
性別役割や暴力の表現など過激な内容についてのメディアにおける倫理規定の強化	1	1	2	5	6	7
特に対策の必要はない	0	1	1	1	0	0
その他	1	3	1	2	2	0
総数	32	42	68	92	99	72

●男女共同参画に関する施策について

■問21 次の言葉や法律についてどの程度知っていますか。

男女共同参画社会	R5			H30		
	全体	女性	男性	全体	女性	男性
①知っている	193	97	91	209	107	93
②聞いたことはあるが内容は知らない	198	117	69	185	93	84
③知らない	69	34	29	61	36	24
④無回答	15	8	4	24	12	9
総数	475	256	193	479	248	210

女性・年代別						
男女共同参画社会	20代以下	30代	40代	50代	60代	70代以上
①知っている	13	14	20	15	16	18
②聞いたことはあるが内容は知らない	14	13	19	29	28	13
③知らない	2	8	10	3	7	4
④無回答	1	0	1	2	1	3
総数	30	35	50	49	52	38

男性・年代別						
男女共同参画社会	20代以下	30代	40代	50代	60代	70代以上
①知っている	10	9	14	20	20	18
②聞いたことはあるが内容は知らない	5	7	11	14	22	10
③知らない	2	8	6	8	3	2
④無回答	0	1	0	0	1	2
総数	17	25	31	42	46	32

男女雇用機会均等法	R5			H30		
	全体	女性	男性	全体	女性	男性
①知っている	294	151	131	278	135	135
②聞いたことはあるが内容は知らない	133	77	45	141	79	54
③知らない	37	21	14	39	23	14
④無回答	11	7	3	21	11	7
総数	475	256	193	479	248	210

女性・年代別						
男女雇用機会均等法	20代以下	30代	40代	50代	60代	70代以上
①知っている	18	21	37	31	24	19
②聞いたことはあるが内容は知らない	9	12	9	13	22	11
③知らない	2	2	3	4	5	5
④無回答	1	0	1	1	1	3
総数	30	35	50	49	52	38

男性・年代別						
男女雇用機会均等法	20代以下	30代	40代	50代	60代	70代以上
①知っている	10	13	23	34	31	20
②聞いたことはあるが内容は知らない	5	8	3	7	14	8
③知らない	2	3	5	1	1	2
④無回答	0	1	0	0	0	2
総数	17	25	31	42	46	32

育児・介護休業法	R5			H30		
	全体	女性	男性	全体	女性	男性
①知っている	246	131	103	239	127	103
②聞いたことはあるが内容は知らない	167	91	67	171	86	79
③知らない	49	27	19	46	23	20
④無回答	13	7	4	23	12	8
総数	475	256	193	479	248	210

女性・年代別						
育児・介護休業法	20代以下	30代	40代	50代	60代	70代以上
①知っている	14	28	32	25	20	10
②聞いたことはあるが内容は知らない	11	4	13	21	25	17
③知らない	4	3	4	2	6	8
④無回答	1	0	1	1	1	3
総数	30	35	50	49	52	38

男性・年代別						
育児・介護休業法	20代以下	30代	40代	50代	60代	70代以上
①知っている	8	14	20	32	19	10
②聞いたことはあるが内容は知らない	8	7	6	9	22	15
③知らない	1	3	5	1	4	5
④無回答	0	1	0	0	1	2
総数	17	25	31	42	46	32

岡谷市男女共同参画条例 (平成16年4月1日施行)	R5			H30		
	全体	女性	男性	全体	女性	男性
①知っている	41	23	15	47	24	19
②聞いたことはあるが内容は知らない	148	93	50	164	90	67
③知らない	274	133	124	243	122	115
④無回答	12	7	4	25	12	9
総数	475	256	193	479	248	210

女性・年代別						
岡谷市男女共同参画条例	20代以下	30代	40代	50代	60代	70代以上
①知っている	2	3	7	4	3	4
②聞いたことはあるが内容は知らない	12	8	20	19	19	13
③知らない	15	24	22	25	29	18
④無回答	1	0	1	1	1	3
総数	30	35	50	49	52	38

男性・年代別						
岡谷市男女共同参画条例	20代以下	30代	40代	50代	60代	70代以上
①知っている	0	1	4	7	2	1
②聞いたことはあるが内容は知らない	6	2	5	10	13	14
③知らない	11	21	22	25	30	15
④無回答	0	1	0	0	1	2
総数	17	25	31	42	46	32

※H30年は「男女共同参画おかやプランV」

男女共同参画おかやプランⅥ (平成31年3月策定)	R5			H30		
	全体	女性	男性	全体	女性	男性
①知っている	24	14	9	30	16	11
②聞いたことはあるが内容は知らない	110	63	40	134	69	58
③知らない	326	170	139	286	149	130
④無回答	15	9	5	29	14	11
総数	475	256	193	479	248	210

女性・年代別						
男女共同参画おかやプランⅥ	20代以下	30代	40代	50代	60代	70代以上
①知っている	1	3	3	3	1	3
②聞いたことはあるが内容は知らない	8	4	14	9	14	12
③知らない	20	28	31	35	36	20
④無回答	1	0	2	2	1	3
総数	30	35	50	49	52	38

男性・年代別						
男女共同参画おかやプランⅥ	20代以下	30代	40代	50代	60代	70代以上
①知っている	0	0	3	4	1	1
②聞いたことはあるが内容は知らない	3	2	3	12	11	9
③知らない	14	22	25	26	33	19
④無回答	0	1	0	0	1	3
総数	17	25	31	42	46	32

DV	R5			前回なし		
	全体	女性	男性	全体	女性	男性
①知っている	414	231	167			
②聞いたことはあるが内容は知らない	32	12	16			
③知らない	16	6	5			
④無回答	13	7	5			
総数	475	256	193			

女性・年代別						
DV	20代以下	30代	40代	50代	60代	70代以上
①知っている	29	34	47	44	46	29
②聞いたことはあるが内容は知らない	0	0	2	2	3	5
③知らない	0	1	0	2	2	1
④無回答	1	0	1	1	1	3
総数	30	35	50	49	52	38

男性・年代別						
DV	20代以下	30代	40代	50代	60代	70代以上
①知っている	16	23	29	40	39	20
②聞いたことはあるが内容は知らない	1	1	1	0	4	9
③知らない	0	0	1	2	2	0
④無回答	0	1	0	0	1	3
総数	17	25	31	42	46	32

ジェンダー	R5			H30		
	全体	女性	男性	全体	女性	男性
①知っている	359	204	144	114	61	49
②聞いたことはあるが内容は知らない	63	27	31	140	82	55
③知らない	37	15	13	199	92	97
④無回答	16	10	5	26	13	9
総数	475	256	193	479	248	210

女性・年代別						
ジェンダー	20代以下	30代	40代	50代	60代	70代以上
①知っている	29	33	44	36	42	18
②聞いたことはあるが内容は知らない	0	2	5	5	5	10
③知らない	0	0	0	6	4	5
④無回答	1	0	1	2	1	5
総数	30	35	50	49	52	38

男性・年代別						
ジェンダー	20代以下	30代	40代	50代	60代	70代以上
①知っている	13	17	26	39	33	16
②聞いたことはあるが内容は知らない	3	6	3	3	9	7
③知らない	1	1	2	0	3	6
④無回答	0	1	0	0	1	3
総数	17	25	31	42	46	32

ポジティブ・アクション	R5			H30		
	全体	女性	男性	全体	女性	男性
①知っている	66	34	30	47	21	23
②聞いたことはあるが内容は知らない	135	78	51	119	71	47
③知らない	256	135	106	285	141	131
④無回答	18	9	6	28	15	9
総数	475	256	193	479	248	210

女性・年代別						
ポジティブ・アクション	20代以下	30代	40代	50代	60代	70代以上
①知っている	4	3	8	9	7	2
②聞いたことはあるが内容は知らない	13	14	11	10	17	12
③知らない	12	18	30	29	27	19
④無回答	1	0	1	1	1	5
総数	30	35	50	49	52	38

男性・年代別						
ポジティブ・アクション	20代以下	30代	40代	50代	60代	70代以上
①知っている	2	2	7	9	6	4
②聞いたことはあるが内容は知らない	5	4	10	9	12	11
③知らない	10	18	14	24	27	13
④無回答	0	1	0	0	1	4
総数	17	25	31	42	46	32

ワーク・ライフ・バランス	R5			H30		
	全体	女性	男性	全体	女性	男性
①知っている	195	104	86	130	63	62
②聞いたことはあるが内容は知らない	130	70	51	133	72	57
③知らない	132	72	50	192	100	83
④無回答	18	10	6	24	13	8
総数	475	256	193	479	248	210

女性・年代別						
ワーク・ライフ・バランス	20代以下	30代	40代	50代	60代	70代以上
①知っている	21	22	27	15	13	5
②聞いたことはあるが内容は知らない	7	7	11	13	18	13
③知らない	1	6	11	20	20	14
④無回答	1	0	1	1	1	6
総数	30	35	50	49	52	38

男性・年代別						
ワーク・ライフ・バランス	20代以下	30代	40代	50代	60代	70代以上
①知っている	10	11	14	25	18	8
②聞いたことはあるが内容は知らない	4	7	11	11	10	8
③知らない	3	6	6	6	16	13
④無回答	0	1	0	0	2	3
総数	17	25	31	42	46	32

性的マイノリティ、LGBTQ	R5			前回なし		
	全体	女性	男性			
①知っている	326	187	128			
②聞いたことはあるが内容は知らない	98	48	43			
③知らない	37	14	17			
④無回答	14	7	5			
総数	475	256	193			

女性・年代別						
性的マイノリティ、LGBTQ	20代以下	30代	40代	50代	60代	70代以上
①知っている	25	29	45	37	32	17
②聞いたことはあるが内容は知らない	4	6	4	6	14	14
③知らない	0	0	0	5	5	4
④無回答	1	0	1	1	1	3
総数	30	35	50	49	52	38

男性・年代別						
性的マイノリティ、LGBTQ	20代以下	30代	40代	50代	60代	70代以上
①知っている	11	15	24	33	30	15
②聞いたことはあるが内容は知らない	6	6	4	8	11	8
③知らない	0	3	3	1	4	6
④無回答	0	1	0	0	1	3
総数	17	25	31	42	46	32

■問22 男女共同参画社会を実現していくために、どのような施策を望みますか。

男女共同参画社会実現への施策	R5			H30		
	全体	女性	男性	全体	女性	男性
①各種審議会など、政策方針決定の場への女性の登用	51	24	26	39	16	20
②家庭や地域における役割分担意識の啓発	35	19	16	52	24	28
③男女平等のための制度等の充実	85	41	37	63	28	33
④女性のための相談体制の充実	11	7	4	15	8	4
⑤仕事と家庭生活を両立させるための支援策の充実	138	74	58	173	93	75
⑥事業主を対象に法律・制度や労働条件の男女平等について啓発	52	23	25	23	13	9
⑦女性の再就職や事業所の支援	38	24	9	36	30	6
⑧その他	13	6	6	5	2	3
総数	423	218	181	406	214	178

女性・年代別						
男女共同参画社会実現への施策	20代以下	30代	40代	50代	60代	70代以上
①各種審議会など、政策方針決定の場への女性の登用	1	3	2	7	4	7
②家庭や地域における役割分担意識の啓発	0	3	4	2	6	4
③男女平等のための制度等の充実	7	4	4	7	9	10
④女性のための相談体制の充実	0	1	1	4	1	0
⑤仕事と家庭生活を両立させるための支援策の充実	10	16	21	12	7	7
⑥事業主を対象に法律・制度や労働条件の男女平等について啓発	3	1	7	4	8	0
⑦女性の再就職や事業所の支援	1	3	4	6	6	4
⑧その他	2	0	1	2	0	0
総数	24	31	44	44	41	32

男性・年代別						
男女共同参画社会実現への施策	20代以下	30代	40代	50代	60代	70代以上
①各種審議会など、政策方針決定の場への女性の登用	0	2	5	4	7	8
②家庭や地域における役割分担意識の啓発	0	2	2	4	5	3
③男女平等のための制度等の充実	4	2	5	7	14	5
④女性のための相談体制の充実	1	1	2	0	0	0
⑤仕事と家庭生活を両立させるための支援策の充実	8	12	11	14	6	7
⑥事業主を対象に法律・制度や労働条件の男女平等について啓発	2	1	2	6	9	5
⑦女性の再就職や事業所の支援	0	1	1	3	3	1
⑧その他	0	3	0	1	1	1
総数	15	24	28	39	45	30